山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第220集

山梨県甲府市

# 甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）

－山梨県北口駐車場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－

２００４・３
山梨県教育委員会
山梨県土地開発公社

山梨県甲府市

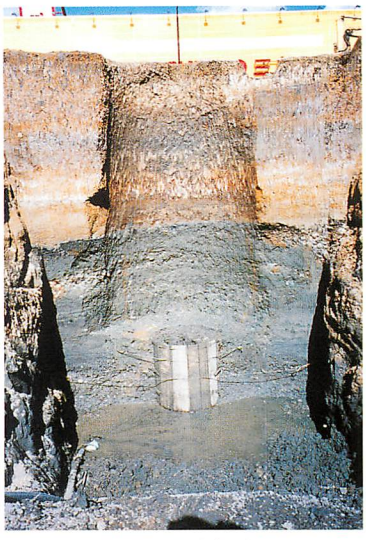
# 甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）

－山梨県北口駐車場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－

２００４・３
山梨県教育委員会
山梨県土地開発公社

第1号井戸半截状況

第2号井戸半截状況



第6号井戸完掘状況

第2号井戸検出状況

第4号井戸半截状況

第4号井戸完掘状況

第4号井戸胴木検出状況

第5号井戸半截状況

第6号井戸半截状況

口絵２

第3号溝状遺構杭列検出状況

第4号溝状遺構遺物出土状況

第7号溝状遺構完掘状況

第4号溝状遺構北端部断面

第4号溝状遺構炭化材検出状況

第7a. b号溝状遺構瓦出土状況

第5号溝状遺構遺物出土状況

第5号井戸礫出土状況・第6号土坑完掘状況

第2・3号暗渠完掘状況

第2・5・6号井戸出土遺物

第3号井戸出土遺物

第4号溝状遺構出土遺物(1)

第4号溝状遺構出土遺物(2)

第4号溝状遺構出土遺物(3)

第4号溝状遺構出土遺物(4)

第5・7号溝状遺構出土遺物

第7号土坑・第2号暗渠出土遺物

# 序

甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）の所在する甲府駅北口一帯は、中世戦国期の武田信虎・信玄・勝頼親子三代の時代には、躑躅ヶ崎館（国史跡武田氏館跡）を拠点に開かれた城下の東南端にあたり、近世には県指定史跡甲府城の城下となり、追手門に近い位置にあたることから武家地として土地利用が幕末までなされた地域であります。

今回の甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）の発掘調査は、山梨県北口駐車場建設に伴い、その事前調査として2001（平成13）年度に行われました。調査の結果、井戸跡、溝状遺構、墓坑などをはじめ中世から近代に属する遺構・遺物を検出することができました。中世では16世紀後半の墓坑や溝状遺構などが散在的に分布し、積極的な土地利用が見られない状況を確認することができました。また、江戸時代では、武家屋敷の境界と考えられる溝状遺構や井戸など、甲府勤番支配が配置された18世紀中葉から幕末までの遺構が中心に検出され、大量に出土した近世の陶磁器とともに甲府城下町における生活の実態を解明する上で欠かせない資料を得ることができました。本書に掲載しておりますこれらの調査結果は、学術的価値が非常に高く、中世城下町に始まり近世・近代都市へと発展したこの地の歴史的変遷過程の解明にも大いに役立つ資料になることと思います。

本報告書が多くの方々に研究学習資料としてご活用いただければ幸甚であります。

末筆ながら、種々ご協力賜りました関係機関各位、地元の方々並びに直接調査、整理に従事していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

2004年３月

山梨県埋蔵文化財センター
所長　渡　辺　　誠

# 例　言

1．本報告書は、2000年度に実施した山梨県甲府市北口２丁目11に所在する甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）の発掘調査報告書である。

2．本調査は、山梨県北口駐車場建設に伴う事前調査であり、山梨県土地開発公社より委託を受け、山梨県埋蔵文化財センターが調査を実施したものである。

3．発掘調査および出土品の整理は、山梨県埋蔵文化財センターが行い、小林広和、保坂和博、楠間美季江が担当した。

4．本報告書の編集および執筆は、保坂和博が担当した。関連科学については、第Ⅳ章自然科学分析をパリノ・サーヴェイ株式会社に委託した。

5．本報告書作成のための主な作業分担は下記のとおりである。

| | |
|---|---|
| 遺構写真撮影 | 小林広和、楠間美季江 |
| 遺物写真撮影 | 清水　守、保坂和博 |
| 遺物洗浄 | 真道みゆき、長谷川りん、福島祥子、保坂信明、山本三重子、渡辺旭光 |
| 遺物注記・接合・復元・実測・拓本・トレース | 梶原初美、佐野眞雪、平川涼子、望月厚子 |
| 遺構トレース | 佐野眞雪、平川涼子 |
| 図版作成 | 保坂和博、佐野眞雪、平川涼子 |
| 写真図版作成 | 保坂和博 |
| 表作成 | 保坂和博、佐野眞雪 |

6．発掘調査および整理事業において下記の業務を委託した。
樹種・種実同定、動・植物遺存体同定、花粉分析、漆器製作技法：パリノ・サーヴェイ株式会社
基準杭測量：昭和測量株式会社

7．本報告書にかかる出土品および記録図面、写真等は一括して山梨県埋蔵文化財センターに保管してある。

8．本遺跡の発掘調査および報告書作成に関わる組織は下記のとおりである。

| | |
|---|---|
| 調査主体 | 山梨県教育委員会 |
| 調査機関 | 山梨県埋蔵文化財センター |
| 調査担当者 | 小林広和、楠間美季江 |
| 整理担当者 | 保坂和博（主任文化財主事） |
| 発掘作業員 | 有泉弘巳、石川友子、石川久子、石川正明、今村貞雄、奥山宗石、加藤秀代、神沢正孝、河野逸広、小林伝三、小林松生、座間昭子、真道みゆき、手塚房子、手塚盛明、長谷川りん、花形三男、深沢芳邦、福島祥子、保坂信明、宮沢初恵、三枝千穂美、向井袈裟春、守屋敏子、山本三重子、横山英麿、渡辺旭光 |
| 整理作業員 | 基礎整理：真道みゆき、長谷川りん、福島祥子、保坂信明、山本三重子、渡辺旭光<br>報告書作成：梶原初美、佐野眞雪、平川涼子、望月厚子 |

9．発掘調査から報告書作成にいたる過程で、下記の諸氏、諸機関から多大なるご教示、ご協力を賜った。記して謝意を表す次第である。（順不同・敬称略）
甲府市教育委員会（志村憲一、佐々木満）、パリノ・サーヴェイ株式会社、昭和測量株式会社、清水　守

10．本報告の遺跡名について
当初、本建設事業地内の遺跡名は甲府市における遺跡台帳と照らし合わせて「甲府城下町遺跡」として進めてきたが、他の周辺遺跡の多くの名称が「甲府城下町遺跡」であり混同を防ぐため、隣接地で埋蔵文化財センターが調査した日向町遺跡の第２地点として本報告では遺跡名を加筆記載することとした。

# 凡　例

1．掲載した図面の縮尺は、原則として次のとおりである。

＜遺構＞

遺構全体図：１／250　　井戸・土坑・ピット：１／40　　溝状遺構：１／70（２・３・４・７号平面・エレベーション図：１／140）　　暗渠：１／60

＜遺物＞

磁器・陶器・炻器・土器：１／３　　土製品１／３　　瓦：１／４　　石製品１／３　　木製品：１／４　　金属製品：１／３（銭貨：２／３）

2．遺物図版中の表記は次のとおりである。

ａ．回転復元実測した陶磁器については、口縁部または底部の中心線と接する箇所を切断して示した。

ｂ．遺物図版中以下のようにスクリーントーンを使用した。

木製品炭化範囲：　木製品断面：　陶器・土器煤付着範囲：

木製品漆塗面　：　石製品断面：　土器・土製品・瓦・石製品欠損部：

3．遺構図版中の表記は次のとおりである。

ａ．遺構図・全体図などに示した方位は、国土座標による真北である。

ｂ．遺構図の断面脇等にある数値は、標高を示す。

ｃ．遺構図版中の遺物番号は、遺物図版番号・遺物観察表番号と一致している。

ｄ．遺構図版中以下のようなスクリーントーンを使用した。

地山　：　礫集中検出地点：　炭化材集中検出地点：

礫断面：

ｅ 遺物分布に使用したドットマークは各図版中に示したとおりである。

4．遺構および遺物写真の縮尺は、統一されていない。

5．推定個体数

陶磁器類の推定個体数は残存した底部破片から算定した「底部換算値」と個体別資料の和である。「底部換算値」は『内藤町遺跡』（新宿区内藤町遺跡調査会ほか、1992）第Ⅱ分冊第２章第２節に基づいて算定した。

6．遺物一覧表

陶磁器類の分類については、前掲『内藤町遺跡』第Ⅱ分冊及び『南山伏町遺跡』（新宿区南山伏町遺跡調査団、1997）を基準とした。

7．遺物総破片点数および総重量

遺物総破片点数および総重量については、微小な細片が多い木製品（布製品を含む）および自然遺物（動・植物遺存体）を除いたデータである。

## 本文目次


**第Ⅰ章　序説** …… 1
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　調査の概要 …… 1
**第Ⅱ章　遺跡の立地と環境** …… 2
　第１節　地理的環境 …… 2
　第２節　歴史的環境 …… 2
**第Ⅲ章　発掘調査の成果** …… 4
　第１節　遺跡の概要 …… 4
　第２節　基本層序 …… 4
　第３節　遺構 …… 7
　第４節　遺物 …… 9
**第Ⅳ章　自然科学分析** …… 20
　第１節　木材利用 …… 20
　第２節　漆器製作技術の検証 …… 23
　第３節　繊維の材質 …… 24
　第４節　種実遺体からみた植物利用 …… 25
　第５節　動物遺体からみた動物利用 …… 27
　第６節　古植生復元 …… 29
**第Ⅴ章　まとめ** …… 32
　第１節　遺構について …… 32
　第２節　遺物について …… 34


## 挿図・表目次


Ⅰ－１　調査進行表 …… 1
Ⅱ－２　遺跡分布図 …… 3
Ⅱ－３　遺跡分布一覧 …… 3
Ⅱ－４　調査区の位置 …… 3
Ⅲ－１　検出遺構一覧 …… 4
Ⅲ－２　検出遺物集計 …… 4
Ⅲ－３　基本層序 …… 4
Ⅲ－４　検出遺構全体図 …… 5・6
Ⅲ－５　遺構一覧表（井戸） …… 7
Ⅲ－６　遺構一覧表（溝状遺構） …… 7
Ⅲ－７　遺構一覧表（土坑） …… 8
Ⅲ－８　遺構一覧表（暗渠） …… 8
Ⅲ－９　遺構一覧表（ピット） …… 8
Ⅲ－10　検出遺物集計表 …… 9
Ⅲ－11　遺物一覧表（磁器）① …… 10
Ⅲ－12　遺物一覧表（磁器）② …… 11
Ⅲ－13　遺物一覧表（磁器）③ …… 12
Ⅲ－14　遺物一覧表（陶器）① …… 12
Ⅲ－15　遺物一覧表（陶器）② …… 13
Ⅲ－16　遺物一覧表（陶器）③ …… 14
Ⅲ－17　遺物一覧表（炻器） …… 14
Ⅲ－18　遺物一覧表（土器）① …… 14
Ⅲ－19　遺物一覧表（土器）② …… 15
Ⅲ－20　遺物一覧表（土製品） …… 15
Ⅲ－21　遺物一覧表（瓦） …… 15
Ⅲ－22　遺物一覧表（石製品） …… 15
Ⅲ－23　遺物一覧表（木製品）① …… 16
Ⅲ－24　遺物一覧表（木製品）② …… 17
Ⅲ－25　遺物一覧表（木製品）③ …… 18
Ⅲ－26　遺物一覧表（木製品）④ …… 19
Ⅲ－27　遺物一覧表（金属製品＜煙管＞） …… 19
Ⅲ－28　遺物一覧表（金属製品＜銅・鉄製品＞） …… 19
Ⅲ－29　遺物一覧表（金属製品＜銭貨＞） …… 19
Ⅳ－１　樹種同定結果 …… 21
Ⅳ－２　用途別種類構成 …… 23
Ⅳ－３　漆断面観察結果 …… 24
Ⅳ－４　種実遺体同定結果 …… 26
Ⅳ－５　出土動物分類群一覧 …… 28
Ⅳ－６　骨貝類同定結果 …… 29
Ⅳ－７　花粉分析結果 …… 30
Ⅳ－８　花粉化石群集 …… 31
Ⅴ－１　甲府城下町絵図 …… 32
Ⅴ－２　遺構の変遷 …… 33
Ⅴ－３　４号溝状遺構 磁器・陶器・炻器・土器 器種組成表 …… 34
Ⅴ－４　土地利用の変化 …… 35・36
Ⅴ－５　検出遺物の様相（１）＜第４号溝状遺構＞ …… 37・38
Ⅴ－６　検出遺物の様相（２）＜その他＞ …… 39・40


## 図版目次


**遺構図**

1　第１～３号井戸
2　第４～６号井戸
3　第１・５・６・８号溝状遺構
4　第２号溝状遺構
5　第３号溝状遺構
6　第４号溝状遺構
7　第４号溝状遺構遺物分布図（１）
8　第４号溝状遺構遺物分布図（２）
9　第４号溝状遺構遺物分布図（３）
10　第４号溝状遺構遺物分布図（４）
11　第７ａ・ｂ号溝状遺構
12　第７ａ・ｂ号溝状遺構瓦集中出土地点
13　第９号溝状遺構
14　第１～５号土坑
15　第６号土坑・ピット群
16　第１～３号暗渠

**遺物実測図**

17　磁器　碗類（１）
18　磁器　碗類（２）
19　磁器　碗類（３）・皿類
20　磁器　鉢類・壺類・瓶類・水注類
21　磁器　蓋類　陶器　碗類（１）
22　陶器　碗類（２）・皿類
23　陶器　鉢類（１）

24　陶器　鉢塁（２）・甕類・瓶類・水注類（１）
25　陶器　水注類（２）・鍋類・秉燭類
26　陶器　器台類・蓋類　炻器　皿類・鉢類土器　皿類（１）
27　土器　皿類（２）・鉢類（１）
28　土器　鉢類（２）・甕類（１）
29　土器　甕類（２）・釜類・鍋類・蓋類・鉢類（３）　土製品
30　瓦　石製品
31　木製品　漆器　食関係（１）
32　木製品　食関係（２）
33　木製品　食関係（３）　衣・容飾
34　木製品　容器（１）
35　木製品　容器（２）
36　木製品　容器（３）
37　木製品　容器（４）
38　木製品　容器（５）
39　木製品　農耕・生業　遊玩具　喫煙具　武器・武具　楔
40　木製品　不明製品　加工木（１）
41　木製品　加工木（２）
42　木製品　加工木（３）
43　木製品　加工木（４）
44　木製品　加工木（５）
45　木製品　加工木（６）
46　木製品　加工木（７）
47　木製品　加工木（８）
48　木製品　住関係　金属製品

**遺構写真**

49　調査区全景　検出遺構（井戸）
Ａ区全景　Ｂ区全景　第１号井戸（東から）　第２号井戸検出状況（西から）　第２号井戸半截状況（西から）　第３号井戸半截状況（南から）　第４号井戸礫検出状況（南から）　第５号井戸礫検出状況（東から）　第６号井戸桶検出状況（南から）
50　検出遺構（溝状遺構　ピット）
第１号溝状遺構（南から）　第２号溝状遺構礫検出状況（北から）　第３号溝状遺構（南から）　第４号溝状遺構（北から）　第４号溝状遺構礫検出状況（南から）　第５・６号溝状遺構（南から）　第８号溝状遺構（南から）　第９号溝状遺構・第21～33号ピット（南から）
51　検出遺構（土坑　暗渠　ピット）
第１号土坑（西から）　第２号土坑（南から）　第４・５号土坑半截状況（南から）　第５号土坑（南から）　第６号土坑木棺検出状況（東から）　第１号暗渠（西から）　第２・３号暗渠（南から）　第41～50号ピット（南から）

**遺物写真**

52　磁器　碗類
53　磁器　皿類・鉢類・瓶類・蓋類　　陶器 碗類・皿類
54　陶器　皿類・鉢類・甕類
55　陶器　瓶類・鍋類・秉燭類・器台類・蓋類
56　炻器　皿類・鉢類　土器　皿類・鉢類・甕類・釜類
57　土器　鍋類・蓋類　土製品　瓦　石製品
58　木製品　漆器　食関係　衣・容飾　容器（１）
59　木製品　容器（２）　農耕・生業　遊玩具　木札　楔　武器・武具　不明製品　加工木　木っ端
60　木製品　竹筒　胴木　住関係　金属製品
61　花粉分析　樹種同定分析（１）
花粉化石　木材（１）
62　樹種同定分析（２）
木材（２）　木材（３）
63　樹種同定分析（３）　種実遺体同定分析
木材（４）　種実遺体
64　漆塗膜分析　繊維材質分析
漆断面　繊維断面

# 第Ⅰ章　序説

## 第１節　調査に至る経緯

甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）は、山梨県甲府市北口２丁目11に所在する。当該地は山梨県土地開発公社（山梨県北口駐車場）の用地にあたるが駐車場の改築にあたり、県教育委員会あてに土地開発公社より、埋蔵文化財の存否照会が為された。県教委はこれに対し本遺跡一帯が江戸時代武家屋敷であったこと、近接して平成11（1999）年に調査が行われた甲府城下町遺跡（日向町遺跡第1地点）および甲府城下町遺跡（桜シルク跡）Ａ・Ｂ区が所在することから埋蔵文化財の試掘調査の実施を依頼した。試掘調査は平成12（2000）年４月24日に行われ、５ヶ所の試掘坑から中世から近代にかけての井戸・土坑・暗渠などや陶磁器類等が確認された。このため、土地開発公社および県学術文化財課と同埋蔵文化財センターで平成13年10月22日に埋蔵文化財の保護についての協議を行い、駐車場改築予定地約2,400㎡に対し、本格調査を実施することとなった。

| 工程＼時期 | | 00 | 01 | 02 | | 03 | | 04 | 担当調査員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ４～ | 11 12 | １２３ | ４５６７８９10 11 12 | １２３ | ４５６７８９10 11 12 | １２３ | |
| 調査 | 試掘 | | | | | | | | 小林(広)小林(公) |
| | Ａ区 | | | | | | | | 小林(広)楠間 |
| | Ｂ区 | | | | | | | | 小林(広)楠間 |
| 整理 | 基礎整理 | | | 一次整理 | ●年報刊行 | | | | 小林(広)楠間 |
| | 報告書作成 | | | | 二次整理 | | 三次整理 | ●報告書刊行 | 保坂 |

Ⅰ－１　調査進行表

発掘調査・整理作業及び文化財保護法に基づく手続き等は以下のとおりである（表Ⅰ－１）。

【発掘調査・整理作業】

平成13（2001）年11月１日～平成14（2002）年２月15日：発掘調査

平成14（2002）年２月19日～平成14（2002）年３月27日：第１次（基礎）整理作業

平成14（2002）年７月11日～平成15（2003）年３月27日：第２次（報告書作成）整理作業

平成15（2003）年６月２日～平成15（2003）年７月22日：第３次（報告書作成）整理作業

【文化財保護法に基づく手続き】

平成13（2001）年10月31日：文化財保護法第58条の２第１項に基づく「埋蔵文化財発掘調査の報告」を山梨県教育委員会教育長に提出

平成14（2002）年２月20日：文化財保護法第59条第２項に基づく「埋蔵文化財発見の通知」を山梨県教育委員会教育長に提出

## 第２節　調査の概要

### 第１項　調査の方法

調査は、排土の都合上、南北で二分し南側調査区（Ａ区）と北側調査区（Ｂ区）に分けて実施した。調査区設定後、重機により表土を除去し、引き続いて遺構確認面直上から人力による掘り下げを行い、遺構確認に努めた。その後、遺構内の精査を進めた。

グリッドの設定は、調査区全体を覆うようにして、南北方向をＸ軸、東西方向をＹ軸とする国土座標系に合わせた５ｍメッシュを設定した。Ｘ軸（南から北）方向に１・２・３…の算用数字を、Ｙ軸（西から東）方向にＡ・Ｂ・Ｃ…のアルファベットを付した。グリッドの名称は両ラインの交差点を基準とし、各グリッドの南西隅の交点をもって呼称した（図Ⅲ－４）。

遺物の記録・取り上げは、遺構確認面に到達するまでは各グリッドごとに一括して取り上げ、遺構内出土の遺物（井戸出土遺物を除く）に関しては平板測量及びレベル測量により取り上げた。

遺構図及び遺物微細図は、平板及び簡易やり方を適宜選択して実測した。

# 第Ⅱ章　遺跡の立地と環境

## 第１節　地理的環境

甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）は、山梨県甲府市北口２丁目に所在し、甲府駅北口に近接している。地質学的に見ると、遺跡周辺は、秩父山系から湧き出し、甲府市北部の山裾より盆地へ流れ込む相川により形成された扇状地扇端部に相当する。調査地点は、標高279.5～280.5ｍの南傾緩斜面上に位置し、西方が相川、東方が藤川および標高約423ｍの愛宕山によって挟まれ、南方には近世に甲府城が築城された標高約305ｍの一条小山と呼ばれる独立した丘陵が存在している。調査地点には、近接する日向町遺跡第１地点および甲府城下町遺跡（桜シルク跡Ａ・Ｂ区）同様、相川扇状地に一般的に見られる自然堆積層が確認され、地表下約３～４ｍで砂層の透水層が検出された。調査区内では、標高が低下する南方ほど水位が高くなる傾向が見られる。

## 第２節　歴史的環境

本遺跡が位置する相川扇状地域の土地利用の歴史は古く、永正16（1519）年、武田信虎がそれまで本拠としていた甲府市東部の川田館を引き払い躑躅ヶ崎に新たな居館を造営し、その南側に家臣団屋敷地と町人地を坊条に城下町を形成したことに始まり、この中世段階の調査地点は戦国期城下町の南端部にあたる。

本遺跡周辺は、近世段階においては、近世甲府城の「山手御門」北側に位置する内郭の武家屋敷地にあたる。近世甲府城の築城開始は、近年の甲府城跡の発掘調査成果により武田氏滅亡後の天正18（1590）年頃と推定され、当初から豊臣秀吉側近の羽柴秀勝、加藤光泰、浅野長政・幸長父子が建設にあたり、関東を拠点とする徳川家康の動静を牽制する目的を持っていたことが証明されている。城下町は身分制度を都市構造に反映し、内堀で画された内城を中心に、二の堀内側（内郭）の武家屋敷地、三の堀内側（外郭）およびその外側（郭外）の町人町と、身分による居住地域が定められていた。また、武家屋敷地（内郭）は内城を中心に南北の二郭に分かれ、15か所の見付けで外郭と連絡されていた。この武家屋敷地を挟む格好で北部に上府中（古府中）26町、南部・東部に下府中（新府中）23町の計49町が整備され、上府中26町は中世の城下町を継承し、下府中の23町は甲府城築城に伴い新たに建設されたものである。武家地は城代・城番制が敷かれ、支配者が在勤しなかったため、甲府在勤の家臣は少なく、大手門の正面に広がっているが範囲は狭い。また、神社・寺院は一蓮寺など中世の武田氏時代の城下町から三の堀内側（外郭）およびその周辺に移転された。

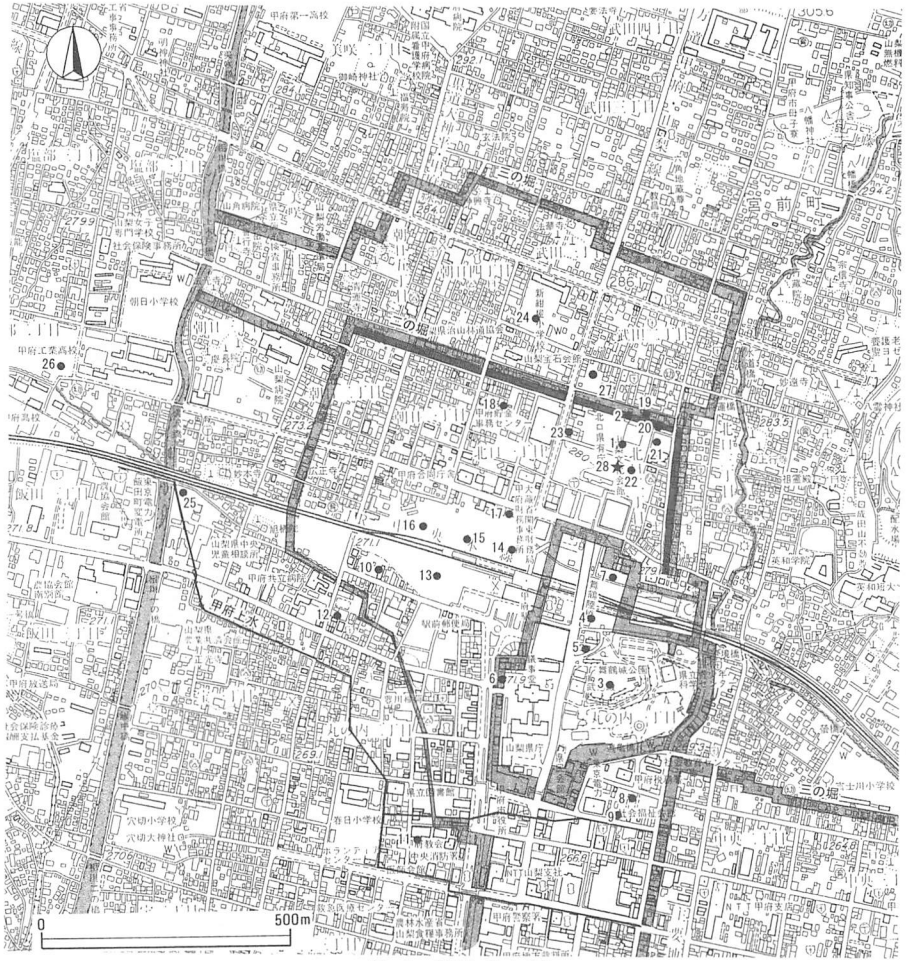
慶長５（1600）年関ヶ原戦の後、徳川家康は浅野幸長を紀州和歌山へ移すと、幕府にとって軍事上の要地である甲斐は以降、徳川氏一門または譜代大名を領主とするか、幕府の直轄地とするのを例とし、徳川義直（城代平岩親吉）、徳川忠長、徳川綱重・綱豊父子と、宝永元年（1704）まで徳川氏の一族の領主が続いた間に一時直轄領に組み入れられた。

宝永元年、五代将軍綱吉の信任の下に側用人として幕閣の中枢にあった柳沢吉保が武蔵野国川越から十五万石で入部し、甲府藩を立藩した。翌宝永２(1705）には、甲府城の屋形曲輪・楽屋曲輪の殿舎などの建設と石垣の修築をはじめ、城下も城代・城番制時代とは異なり、藩主が在勤となるため従来の武家地では家臣の屋敷を配置できないため、城下町の本格的な再整備に着手し、吉保・吉里父子の時代には、近世甲府の最盛期を迎えることとなった。柳沢時代は、郭外の侍屋敷225軒、役人屋敷60軒、足軽屋敷627軒、同心組屋敷100軒、小人組屋敷14軒を数え、町人人口推定14000人に増加し、近世甲府の最高を記録した。

徳川吉宗の「享保の改革」の一連の政策の中で、享保９（1724）年、柳沢吉里が大和郡山へ転封になると甲府は幕府直轄下となり、甲府城・甲府城下町の守備を目的に甲府勤番支配が設置され、支配や勤番士は江戸から甲府へ赴任した。その後、享保12（1727）年、城内から出火したした火災により柳沢時代に築かれた武家屋敷や、櫓などの城内建築物の多くは焼失した。

元治元（1864）年、町方兼務を廃止し、新しく甲府町奉行が置かれ、慶長２（1866）年には勤番支配を廃止し、慶応４年、明治元（1868）年まで甲府城代が置かれた。

明治初年以降の近代段階では、調査区周辺にあった勤番士の屋敷は撤去され、畑地となった。




Ⅱ-1　遺跡分布図

| | 遺跡名 | 検出遺構・遺物など | 時代 | | 遺跡名 | 検出遺構・遺物など | 時代 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 甲府城下町遺跡(桜シルク跡)A区 | 武家屋敷跡(井戸・溝・土坑) | 中世～近代 | 15 | 甲府城関係遺跡B区 | 武家屋敷跡及び御先手小路 | 近世～近代 |
| 2 | 甲府城下町遺跡(桜シルク跡)B区 | 甲府城二の堀・土塁・井戸・溝 | 中世～近代 | 16 | 甲府城関係遺跡B西区 | 武家屋敷跡 | 近世 |
| 3 | 県史跡甲府城 | 近世初頭の近世城郭 | 近世 | 17 | 甲府城下町遺跡 | 集石・土坑墓 | 中世～近世 |
| 4 | 甲府城屋形曲輪(駐輪場予定地) | 甲府城屋形曲輪堀跡(瓦大量に検出) | 近世 | 18 | 甲府城下町遺跡 | 土坑2基・瀬戸美濃系陶器 | 中世 |
| 5 | 甲府城屋形曲輪(駐輪場) | 大規模瓦溜(浅野家紋瓦) | 近世 | 19 | 甲府城下町遺跡 | 井戸・ピット・甲府城二の堀 | 中世～近世 |
| 6 | 甲府城内堀 | 甲府城内堀石垣 | 近世 | 20 | 甲府城下町遺跡 | 溝3条・土坑墓 | 中世～近世 |
| 7 | 甲府城下町遺跡30街区 | 山手御門土橋・清水曲輪石垣 | 近世 | 21 | 甲府城下町遺跡(日向町遺跡第1地点) | 溝・ピット・土坑・柵列 | 中世～近世 |
| 8 | 甲府城下町遺跡 | 溝2条・溝状遺構3条・ピット・土坑 | 近世 | 22 | 甲府城下町遺跡 | 井戸・溝・土坑2基 | 近世 |
| 9 | 甲府城下町遺跡 | 溝1条・井戸1基 | 近世～近代 | 23 | 甲府城下町遺跡 | 井戸(かわらけ・漆器製品出土) | 中世 |
| 10 | 甲府城下町遺跡(裏先手小路) | 道路面 | 近世 | 24 | 新紺屋小学校遺跡 | 散布地 | 近世 |
| 11 | 甲府城下町遺跡(百石町) | 土師器出土 | 古墳 | 25 | 甲府上水遺跡 | 甲府上水跡 | 近世 |
| 12 | 甲府城下町遺跡 | 井戸1基・屋敷境知石 | 近世 | 26 | 塩部遺跡 | 住居跡・溝 | 弥生～中世 |
| 13 | 甲府城関係遺跡42・43街区 | 溝跡 | 近世 | 27 | 甲府城下町遺跡Ⅱ | 溝・土坑・井戸・柱穴・建物跡 | 中世～近世 |
| 14 | 甲府城関係遺跡 | 柳沢権太夫屋敷及び山手御役宅跡 | 中世～近代 | 28 | 甲府城下町遺跡(日向町遺跡第2地点) | 井戸6基・溝9条・土坑6基・ピット59基・埋葉3基 | 中世～近世 |

Ⅱ-2　遺跡分布一覧

Ⅱ-3　調査区の位置

# 第Ⅲ章　発掘調査の成果

## 第１節　遺跡の概要

本遺跡は、中世から近世を主体とする遺跡である。今回の調査では、古代の遺物はほとんど発見されていないが、近接する日向町遺跡第１地点や甲府城下町遺跡（桜シルク跡Ａ・Ｂ区）では、古墳時代の遺物が検出されていることから、本遺跡周辺に古代の集落が存在していた可能性がある（図Ⅱ－３）。中世の当該地は、戦国期城下町の一角を占め、また江戸時代以降、幕末期までは甲府城「山手御門」北側に位置する内郭の武家屋敷地に相当した範囲である。

＜遺構＞　検出された遺構は、中世から近世に所属するもので、ピット59基を含めて総数83基である（表Ⅲ－１）。遺構分布は、各時代を通して概ね低密度である。中世では、16世紀後半の墓坑や溝状遺構などが散在的に分布し、積極的な土地利用が見られない状況である。江戸時代では、17世紀後半の墓坑、18世紀後半から19世紀中葉の井戸、溝状遺構、墓坑、暗渠などが確認され、井戸をはじめ調査区北側に集中する傾向がある。溝状遺構は、武家屋敷を区画する境界と考えられるものが存在している。

＜遺物＞　検出された遺物は、縄文時代の凹石を除き、中世から明治時代に帰属し、総破片数2,054点、総重量60,149.22ｇ（木製品、自然遺物を除く）である（表Ⅲ－２）。遺物総破片数のうち、磁器・陶器・炻器・土器の破片数は1,789点で、87％となり主体的である。これらの製作年代は16世紀後半から19世紀中葉まで幅広い年代幅を持つが、量的に増加するのは18世紀後半以降である。

| 遺構性格 | 井戸 | 溝状遺構 | 土坑 | 暗渠 | ピット | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 遺構数 | 6 | 9 | 6 | 3 | 59 | 83 |

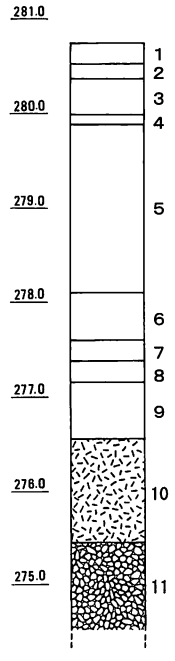
Ⅲ－１　検出遺構一覧

| | 磁器 | 陶器 | 炻器 | 土器 | 土製品 | 瓦 | 金属製品 | 石製品 | ガラス製品 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総破片数 | 752 | 656 | 32 | 349 | 15 | 148 | 84 | 11 | 5 | 2 | 2054 |
| 総重量（g） | 12959.21 | 13990.44 | 984.67 | 13288.88 | 205.64 | 16559.69 | 899.09 | 1107.30 | 130.98 | 23.32 | 60149.22 |

Ⅲ－２　検出遺物集計

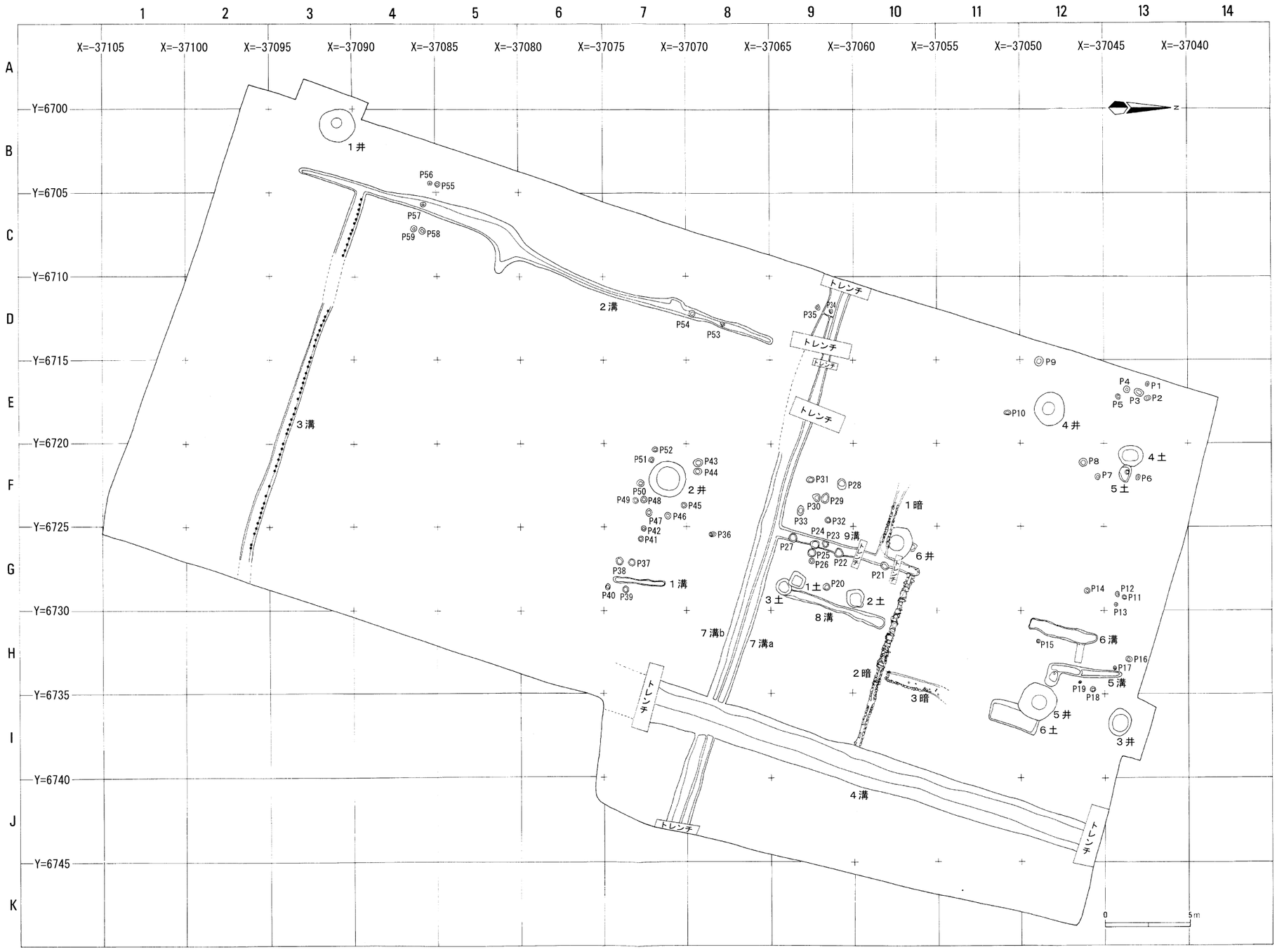
## 第２節　基本層序

相川扇状地の扇端部、南傾緩斜面上に位置する本遺跡の標高は、北部で約280.5ｍ、南部で279.5ｍを測る。基本層序は、調査区中央部の第２号井戸（Ａ－Ａ´）および北端部の第４号溝状遺構（Ａ－Ａ´）の２箇所の断面観察に基づくものである。現地表面から約50㎝の深さまでは、第１層の表土層で、その下層の第２層は炭化物を多量に含む堆積層、第３層は18～19世紀代の遺物を含む近世の堆積層、第４層は近世以前の堆積層と推定される。自然堆積層は、第２号井戸の断面観察から地表下5.5ｍ地点までに７層が確認され、第10層の砂層は、標高約276.5ｍ地点に位置する透水層である。




１．灰白色土層（表土層）
２．黒褐色土層
３．暗褐色土層
４．暗褐色土層
５．黄褐色土層
６．緑色砂質粘土層
７．黒色粘土層
８．暗青灰色砂礫層
９．緑色砂質粘土層
10．暗緑灰色砂層（透水層）
11．暗青灰色砂礫層

Ⅲ－３　　基本土層


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14
X=-37105 X=-37100 X=-37095 X=-37090 X=-37085 X=-37080 X=-37075 X=-37070 X=-37065 X=-37060 X=-37055 X=-37050 X=-37045 X=-37040
A B C D E F G H I J K
Y=6700 Y=6705 Y=6710 Y=6715 Y=6720 Y=6725 Y=6730 Y=6735 Y=6740 Y=6745
N
1井
2井
3井
4井
5井
6井
1土
2土
3土
4土
5土
6土
1溝
2溝
3溝
4溝
5溝
6溝
7溝a
7溝b
8溝
9溝
1暗
2暗
3暗
トレンチ
P1 P2 P3 P4 P5 P6 P7 P8 P9 P10
P11 P12 P13 P14 P15 P16 P17 P18 P19
P20 P21 P22 P23 P24 P25 P26 P27 P28 P29 P30 P31 P32 P33 P34 P35 P36
P37 P38 P39 P40 P41 P42 P43 P44 P45 P46 P47 P48 P49 P50 P51 P52
P53 P54 P55 P56 P57 P58 P59
0 5m

Ⅲ－４　検出遺構全体図

## 第３節　遺構

検出遺構は、中世から近世に所属する井戸６基、溝状遺構９条、土坑６基、暗渠３基、ピット59基の総数83基である（表Ⅲ－５～Ⅲ－９）。

＜井戸＞　井戸の形態は、素掘り井戸（第１号）、積み上げ式井戸枠の結桶組型井戸（第２・６号）、積み上げ式井戸枠の石組型（第４・５号）の３型式に大別され、いずれも平面形は円形を呈する。第２号井戸は５段の結桶が組まれ、近接する第41～52号ピットは井屋に関わる可能性がある。また埋土内からは結桶の釣瓶など木製品が多量に出土している。第４号井戸は遺構面下約２ｍの地点に木材（転用材）２本が並行し、これと直角方向に２カ所の穴が確認された。これらは木材を井桁状に組み、その上に石積みを行った痕跡と思われる。第６号井戸は底部に結桶が１段確認されたが、堀形の状況より廃棄の際に枠材を抜き取った可能がある。廃棄年代は、第１号井戸を除き肥前系磁器を主体とする出土遺物より18世紀中葉から19世紀初頭と考えられる。

＜溝状遺構＞　溝状遺構の長軸方位は、Ｎ－20°－Ｅ前後（第２・４・６・８・９号）およびＮ－72°－Ｗ前後（第３・７ａ・７ｂ号）となり、現在の街路と並行（直交）し、武家屋敷を区画する境界の塀か溝状遺構と考えられる。第３号溝状遺構の杭列、第４号溝状遺構の多量の出土遺物、第７ａ・７ｂ号溝状遺構の瓦集中出土が特筆される。これらの年代は、18世紀中葉から19世紀中葉と考えられる。このほか、第１号溝状遺構は16世紀後半から17世紀初頭の瀬戸・美濃系天目碗、志戸呂系灯明皿など、第５号溝状遺構は17世紀後半から18世紀初頭の肥前系唐津の大鉢やかわらけ、灯明皿などが出土している。

＜土坑＞　第１号土坑（20～30㎝大の平石）、第２号土坑（煙管、不明銅製品）、第６号土坑（木棺、釘）は、それぞれ遺物の検出状況より墓坑と思われる。これらの構築年代は、16世紀後半（第１号土坑）、18世紀後半（第６号土坑）および19世紀代（第２号土坑）と考えられる。

＜暗渠＞　暗渠の主軸方位は、Ｎ－78°－Ｗ（第１・２号暗渠）およびＮ－12°－Ｅ（第３号暗渠）となる。これらの年代は、第４号溝状遺構および第６号井戸との重複関係より19世紀中葉以降と考えられる。いずれも近世後半の土地区画（第４・７ａ・７ｂ号溝状遺構など）を踏襲している。

＜ピット＞　ピットのみで群集するタイプ（１～５、７・８、11～14、28～33など）と他の遺構に付随するタイプに大別される。第２号井戸の井屋に関わると思われる第41～52号ピットや第２号溝状遺構に付随すると思われる第55～59号ピット以外は、規則的な配列は見られず、明確に建物や柱穴として把握できるものはなく、また、検出遺物が無いため、年代は不明である。

各遺構の概要は、遺構一覧表（表Ⅲ－５～表Ⅲ－９）に掲載した。

### Ⅲ－５　遺構一覧表（井戸）

| 遺構番号 | 検出地点 | 重複関係（新→旧）（不明≠） | 諸特徴 | 長軸方位 | 形状 | | | 規模(cm)[現存地](推定値) | | | 確認面(m) | 覆土 | 検出遺物 | 遺構間接合 | 遺構時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 平面 | 底面 | 壁面 | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | | | |
| 1 | B－3･4G | | 素堀 | Ｎ－20°－Ｅ | ほぼ円形 | 半円形 | ロート状 | 208 | 198 | 394 | 279.5 | 22層に分層<br>上層炭化物増加 | 木製品（曲物等）：少量出土 | | 16世紀後半? |
| 2 | F－7G | | 積み上げ式井戸枠の結桶組型井戸（井戸枠桶5段検）<br>41～52ピット：付随？ | Ｎ－69°－Ｅ | ほぼ円形 | 平坦 | 垂直 | 240 | 214 | 535 | 280.0 | 確認した範囲では4層に分層 | 陶磁器類：肥前系磁器（紅猪口・小坏など）少量出土<br>土製品：南蛮二朱銀模造銭貨　金属製品：煙管<br>木製品：箸・櫛・柄杓・井戸桶・曲物・楔等多量出土 | | 19世紀後半 |
| 3 | I－13G | | 素堀 | Ｎ－90°－Ｅ | ほぼ円形 | 未調査 | ほぼ垂直 | 162 | 136 | (300) | 280.5 | | 磁器：肥前系主体、瀬戸・美濃系<br>陶器：瀬戸・美濃系主体、肥前系現川<br>土器：在地系、江戸系、泉州系　木製品：漆椀・曲物・蓋・桒、下駄、箆、将棋の駒、人形、刀鞘、竹筒等多量出土 | | 19世紀後半 |
| 4 | E－12G | | 積み上げ式井戸枠の石組型井桁状胴木設置 | Ｎ－90°－Ｅ | ほぼ円形 | 平坦 | 垂直（胴木設置部より幅広） | 196 | 185 | 400 | 280.4 | 上部礫充填 | 陶器：瀬戸・美濃系<br>木製品：加工木等少量出土 | | 19世紀後半 |
| 5 | H･I－12G | 5井→6土 | 積み上げ式井戸枠の石組型 | Ｎ－29°－Ｗ | ほぼ円形 | 半円形 | 垂直（上部外反） | 240 | 225 | 405 | 280.5 | 上部礫群<br>下部礫群 | 磁器：肥前系<br>陶器：京焼系、瀬戸・美濃系<br>木製品：炭化材出土 | 6井･4溝（小瓶） | 19世紀初頭 |
| 6 | G－10G | 1暗→6井→9溝 | 積み上げ式井戸枠の結桶組型井戸の可能性あり（井戸枠桶1段検出） | Ｎ－49°－Ｗ | ほぼ円形 | 平坦 | 垂直 | 230 | 181 | 495 | 280.1 | | 磁器：肥前系、瀬戸・美濃系<br>陶器：肥前系<br>木製品：炭化材、曲物・楔・建築材等多量出土 | 5井･4溝（小瓶）<br>7溝（広東碗） | 19世紀初頭 |

### Ⅲ－６　遺構一覧表（溝状遺構）

| 遺構番号 | 検出地点 | 重複関係（新→旧）（不明≠） | 諸特徴 | 長軸方位 | 形状 | | | 規模(cm)[現存地](推定値) | | | 確認面(m) | 覆土 | 検出遺物 | 遺構間接合 | 遺構時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 平面 | 底面 | 壁面 | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | | | |
| 1 | G－7G | | 37～40号ピット近接 | Ｎ－10°－Ｅ | 直線的 | 平坦 | ほぼ垂直 | 313 | 33 | 91 | 280.4 | 1層に分層 | 磁器：龍泉窯青磁、肥前系、瀬戸・美濃系<br>陶器：志戸呂系、瀬戸・美濃系<br>土器：在地系 | | 16世紀中葉～17世紀前半 |
| 2 | B－3～D－9G | 2溝≠3溝、53･54･57ピット | 礫群集中出土<br>53～59ピット近接 | Ｎ－20°－Ｅ | 直線的<br>中央やや南側クランク状に屈曲 | レンズ状 | 緩傾斜 | 3000 | 240 | 24 | 279.8 | 2層に分層<br>炭化物粒子少量 | なし | | 不明 |
| 3 | C－4～G－2G | 2溝≠3溝 | 瀬戸美濃系碗被災<br>北壁沿い杭列検出 | Ｎ－72°－Ｗ | 直線的 | 平坦 | 急～緩傾斜 | (2195) | 63 | 24 | 279.8 | 1層に分層<br>炭化物粒子多量 | 磁器：肥前系、瀬戸・美濃系主体<br>陶器：瀬戸・美濃系<br>土器：在地系 | 4溝（ミニチュア行平） | 18世紀中葉～19世紀中葉 |
| 4 | G･H－7～J－13G | 2暗→4溝≠7溝 | 南側は延長すると思われる礫群集中出土3箇所<br>炭化材集中出土 | Ｎ－20°－Ｅ | 直線的 | 平坦 | 急傾斜 | (2670) | 200 | 100 | 280.3 | 10層に分層<br>4層：炭化物多量 | 磁器：肥前系、瀬戸・美濃系<br>陶器：肥前系、瀬戸美濃系<br>炻器：備前系、堺系<br>土器：在地系、泉州系、<br>土製品：京都系<br>石製品：硯<br>金属製品：煙管 | 5･6井戸（小瓶）<br>3溝（ミニチュア行平）<br>5溝（擂鉢）<br>6土（筒形碗）<br>6土（焼塩壺蓋）<br>2暗（手水鉢） | 18世紀中葉～19世紀中葉 |
| 5 | H－12･13G | | 墓坑 | Ｎ－6°－Ｅ | 直線的<br>南端東へ屈曲 | 平坦 | ほぼ垂直 | 435 | 137 | 36 | 280.5 | 3層に分層<br>炭化物多量 | 磁器：瀬戸・美濃系<br>陶器：肥前系唐津、瀬戸・美濃系炻器：堺系<br>土器：在地系 | 4溝（擂鉢） | 17世紀後半～18世紀初頭 |

| 遺構番号 | 検出地点 | 重複関係(新→旧)(不明≠) | 諸特徴 | 長軸方位 | 形状 | | | 規模(cm)〔現存地〕(推定値) | | | 確認面(m) | 覆土 | 検出遺物 | 遺構間接合 | 遺構時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 平面 | 底面 | 壁面 | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | | | |
| 6 | H－12G | | | N－15°－E | 直線的 | 平坦 | 緩傾斜 | 413 | 75 | 9 | 280.5 | 1層に分層 | なし | | 不明 |
| 7 | D－9～J－7G | 7b溝≠34ピット | 2本(7a・7b)並行走向 中央西側後世の撹乱 | N－73°－W | 直線的 両端調査区外 | 平坦 | 北壁:急傾斜 南壁:緩傾斜 | (3110) | 126 | 42 | 280.2 | 5層に分層 1層:炭化物粒子多量 | 磁器:肥前系、瀬戸・美濃系(銅板・型紙あり) 瓦:集中出土 | 6井(広東碗) | 18世紀中葉～19世紀中葉 |
| 8 | G－9・H－10G | 3土→8溝 | | N－17°－E | 直線的 | レンズ状 | 緩傾斜 | (645) | 59 | 6 | 280.2 | 1層に分層 | 磁器:肥前系？少量出土 | | 不明 |
| 9 | G－9・10G | 9溝≠7a溝、21～24・27ピット | 25・26・32・33ピット近接 | N－20°－E | 直線的 | 平坦 | ほぼ垂直 | (874) | 62 | 33 | 280.2 | 3層に分層 1層:炭化物粒子少量 | なし | | 不明 |

## Ⅲ－7　遺構一覧表（土坑）

| 遺構番号 | 検出地点 | 重複関係(新→旧)(不明≠) | 諸特徴 | 長軸方位 | 形状 | | | 規模(cm)〔現存地〕(推定値) | | | 確認面(m) | 覆土 | 検出遺物 | 遺構間接合 | 遺構時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 平面 | 底面 | 壁面 | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | | | |
| 1 | G－9G | 1土→3土 | 底部より20～30cm大平石検出 | N－64°－W | 隅丸方形 | 平坦 | 緩傾斜 | 90 | 88 | 22 | 280.2 | | 陶器:志戸呂系 | | 16世紀後半 |
| 2 | G－9・10G | | 墓坑 | 真北 | 不整円形 | レンズ状 | 緩傾斜 | 105 | 104 | 18 | 280.2 | | 磁器:瀬戸・美濃系 金属製品:煙管 | | 19世紀代 |
| 3 | G－9G | 1土→3土→8溝 | 底部より25cm大平石検出 | N－67°－W | ほぼ円形 | 平坦 | 急傾斜 | 99 | 95 | 31 | 280.2 | | 磁器:肥前系 | | 不明 |
| 4 | F－13G | 5土→4土 | | N－45°－E | 楕円形 | 平坦 | 急傾斜 | 145 | 123 | 73 | 280.5 | 2層に分層 1層:炭化物多量 | 磁器:瀬戸・美濃系 土器:かわらけ少量出土 | | 不明 |
| 5 | F－13G | 5土→4土 | 底部に25cm大小ピット(小礫含有) | N－71°－W | 不整楕円形 | 平坦 | 緩傾斜 | 97 | 68 | 40 | 280.5 | 2層に分層 | 金属製品:釘 | | 不明 |
| 6 | I－11・12G | 5井→6土 | 墓坑(木棺) | N－22°－E | ほぼ円形 | 平坦 | 急傾斜 | 295 | 142 | 52 | 280.4 | 2層に分層 1層:炭化物粒子少量 | 磁器:肥前系土体 陶器:瀬戸・美濃系 金属製品:釘 | 4溝(焼塩壺蓋) 4溝(擂骨形碗) | 18世紀前半 |

## Ⅲ－8　遺構一覧表（暗渠）

| 遺構番号 | 検出地点 | 重複関係(新→旧)(不明≠) | 諸特徴 | 長軸方位 | 形状 | | | 規模(cm)〔現存地〕(推定値) | | | 確認面(m) | 覆土 | 検出遺物 | 遺構間接合 | 遺構時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 平面 | 底面 | 壁面 | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | | | |
| 1 | F・G－10G | 1暗→6井→9溝 | 緑石:長径10～20cmの自然石1段遺存 | N－78°－W | 直線的 | 平坦 | 垂直 | 〔270〕 | 43 | 28 | 280.2 | | 磁器:瀬戸・美濃系 陶器:不明 | | 19世紀中葉～ |
| 2 | G・H・I－10G | 2暗→4溝、9溝 | 緑石:長径10～20cmの自然石1段、蓋石:径30前後遺存 | N－78°－W | 直線的 | 平坦 | 垂直 | 1061 | 49 | 14 | 280.2 | | 磁器:肥前系、瀬戸・美濃系 陶器:瀬戸・美濃系 | 4溝(手水鉢) | 19世紀中葉～ |
| 3 | H－10G | 2暗＝3暗 | 緑石:長径10前後の自然石1段遺存 | N－12°－E | 直線的 | 平坦 | ほぼ垂直 | 344 | 68 | 10 | 280.2 | | なし | | 19世紀中葉～ |

## Ⅲ－9　遺構一覧表（ピット）

| 遺構番号 | 図版番号 | 重複関係(新→旧)(不明≠) | 平面形 | 規模(cm)〔現存地〕(推定値) | | | 諸特徴 | 検出遺物 | 遺構時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 長軸 | 短軸 | 深さ | | | |
| 1 | PL-15 | | ほぼ円形 | 28 | 17 | 9 | 1～5ピット集中 | なし | 不明 |
| 2 | PL-15 | | ほぼ円形 | 39 | 30 | 10 | | なし | 不明 |
| 3 | PL-15 | | 楕円形 | 61 | 39 | 10 | | なし | 不明 |
| 4 | PL-15 | | ほぼ円形 | 45 | 41 | 34 | | なし | 不明 |
| 5 | PL-15 | | ほぼ円形 | 29 | 19 | 10 | | なし | 不明 |
| 6 | PL-14 | | ほぼ円形 | 29 | 24 | 44 | 4・5土近接 | なし | 不明 |
| 7 | PL-15 | | ほぼ円形 | 33 | 27 | 14 | 4・5土近接 | なし | 不明 |
| 8 | PL-15 | | ほぼ円形 | 46 | 44 | 13 | 7ピット近接 | なし | 不明 |
| 9 | 挿図Ⅰ－5 | | ほぼ円形 | 60 | 47 | 34 | | なし | 不明 |
| 10 | 挿図Ⅰ－5 | | ほぼ円形 | 43 | 36 | 17 | | なし | 不明 |
| 11 | PL-15 | | ほぼ円形 | 26 | 22 | 32 | 11～13ピット集中 | なし | 不明 |
| 12 | PL-15 | | 楕円形 | 33 | 24 | 8 | | なし | 不明 |
| 13 | PL-15 | | ほぼ円形 | 19 | 19 | 11 | | なし | 不明 |
| 14 | PL-15 | | ほぼ円形 | 25 | 23 | 6 | | なし | 不明 |
| 15 | PL-3 | | ほぼ円形 | 22 | 20 | 7 | | なし | 不明 |
| 16 | PL-3 | | ほぼ円形 | 35 | 33 | 34 | | なし | 不明 |
| 17 | PL-3 | | ほぼ円形 | 21 | 18 | 14 | 5溝近接 | なし | 不明 |
| 18 | PL-3 | | ほぼ円形 | 32 | 28 | 18 | 5溝近接 | なし | 不明 |
| 19 | PL-3 | | ほぼ円形 | 17 | 11 | 9 | | なし | 不明 |
| 20 | PL-3 | | ほぼ円形 | 42 | 38 | 8 | 8溝近接 | なし | 不明 |
| 21 | PL-13 | 21ピット→9溝 | ほぼ円形 | 52 | 37 | 40 | 礫検出 | なし | 不明 |
| 22 | PL-13 | | ほぼ円形 | 56 | 52 | 22 | 礫検出 | なし | 不明 |
| 23 | PL-13 | | ほぼ円形 | 40 | 37 | 20 | 礫検出 | なし | 不明 |
| 24 | PL-13 | | ほぼ円形 | 55 | 49 | 21 | 礫検出 | なし | 不明 |
| 25 | PL-13 | | ほぼ円形 | 51 | 48 | 14 | 26ピット、8溝、24ピット近接　礫検出 | なし | 不明 |
| 26 | PL-13 | | ほぼ円形 | 30 | 29 | 16 | 25ピット近接 | なし | 不明 |
| 27 | PL-13 | 27ピット→9溝 | ほぼ円形 | 54 | 47 | 13 | 礫検出 | なし | 不明 |
| 28 | PL-13 | | 楕円形 | 67 | 52 | 21 | 28～33ピット集中　32・33ピット:礫検出 | なし | 不明 |
| 29 | PL-13 | | 楕円形 | 61 | 42 | 27 | | なし | 不明 |
| 30 | PL-13 | | ほぼ円形 | 46 | 40 | 13 | | なし | 不明 |
| 31 | PL-13 | | ほぼ円形 | 43 | 35 | 12 | | なし | 不明 |
| 32 | PL-13 | | ほぼ円形 | 36 | 31 | 32 | | なし | 不明 |
| 33 | PL-13 | | ほぼ円形 | 62 | 39 | 27 | | なし | 不明 |
| 34 | PL-11 | 34ピット≠7b溝 | ほぼ円形 | 25 | 22 | 15 | | なし | 不明 |
| 35 | PL-11 | | ほぼ円形 | 32 | 28 | 20 | 7b溝、34ピット近接 | なし | 不明 |
| 36 | 挿図Ⅰ－5 | | ほぼ円形 | 37 | 28 | 26 | | なし | 不明 |
| 37 | PL-3 | | ほぼ円形 | 43 | 43 | 43 | 1溝周辺:37～40ピット集中 | なし | 不明 |
| 38 | PL-3 | | ほぼ円形 | 45 | 43 | 21 | | なし | 不明 |
| 39 | PL-3 | | ほぼ円形 | 39 | 37 | 38 | | なし | 不明 |
| 40 | PL-3 | | ほぼ円形 | 34 | 30 | 26 | | なし | 不明 |
| 41 | 挿図Ⅰ－5 | | ほぼ円形 | 31 | 31 | 17 | 2井周辺:41～52ピット集中 | なし | 不明 |
| 42 | 挿図Ⅰ－5 | | ほぼ円形 | 28 | 27 | 20 | | なし | 不明 |
| 43 | PL-1 | | ほぼ円形 | 55 | 47 | 22 | | なし | 不明 |
| 44 | PL-1 | | ほぼ円形 | 45 | 39 | 20 | | なし | 不明 |
| 45 | PL-1 | | ほぼ円形 | 35 | 30 | 15 | | なし | 不明 |
| 46 | PL-1 | | ほぼ円形 | 41 | 36 | 26 | | なし | 不明 |
| 47 | PL-1 | | ほぼ円形 | 44 | 35 | 27 | | なし | 不明 |
| 48 | PL-1 | | ほぼ円形 | 35 | 34 | 95 | | なし | 不明 |
| 49 | PL-1 | | ほぼ円形 | 34 | 32 | 11 | | なし | 不明 |
| 50 | PL-1 | | ほぼ円形 | 44 | 37 | 21 | | なし | 不明 |
| 51 | PL-1 | | ほぼ円形 | 30 | 29 | 13 | | なし | 不明 |
| 52 | PL-1 | | ほぼ円形 | 33 | 30 | 10 | | なし | 不明 |
| 53 | PL-4 | 53・54・57ピット≠2溝 | ほぼ円形 | 26 | 24 | 15 | | なし | 不明 |
| 54 | PL-4 | | ほぼ円形 | 40 | 31 | 18 | | なし | 不明 |
| 55 | PL-4 | | ほぼ円形 | 27 | 24 | 36 | 2溝周辺:55～59ピット集中 | なし | 不明 |
| 56 | PL-4 | | ほぼ円形 | 28 | 25 | 35 | | なし | 不明 |
| 57 | PL-4 | | ほぼ円形 | 30 | 25 | 42 | | なし | 不明 |
| 58 | PL-4 | | ほぼ円形 | 40 | 38 | 30 | | なし | 不明 |
| 59 | PL-4 | | ほぼ円形 | 37 | 34 | 33 | | なし | 不明 |

## 第４節　遺物

検出された遺物は、縄文時代の凹石を除き、中世から明治時代に帰属し、その内容は、磁器・陶器・炻器・土器・土製品・瓦・金属製品・石製品・ガラス・木製品・自然遺物などから構成される。

木製品および自然遺物を除くすべての出土遺物は、総破片数2,054点、総重量60,149.22ｇとなり、材質別破片数と重量は、各遺構単位ごとに計測し、表Ⅲ－10に掲載した。

甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）では、磁器・陶器・土器・瓦・金属製品の破片数・重量が相対的に多く、また年代が下がるにつれて磁器・陶器に比べ土器の破片数・重量は徐々に少なくなる傾向が見られる。瓦は、特定の遺構（第７ａ・７ｂ号溝状遺構）から偏って出土する傾向がある。木製品および自然遺物の破片数・重量の計測は今回行っていないが、井戸から集中して多量に出土する傾向があり、有機質という性質および陶磁器類などとの廃棄のされ方が異なることが想定される。土製品・石製品・ガラス製品は、他の遺物に比して、破片数・重量ともに非常に少なく、特定の遺構（第１号井戸・第４号溝状遺構）から出土する傾向がある。

特筆すべき遺構としては、総破片数の46%、総重量の47%にのぼる遺物を出土した第４号溝状遺構がある。

各遺物の概要は、観察表（Ⅲ－11～Ⅲ－29）の通りである。

**Ⅲ－10　検出遺物集計表**

| 遺構 | 磁器 | 陶器 | 炻器 | 土器 | 土製品 | 瓦 | 金属製品 | 石製品 | ガラス製品 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 | 点数 |
| | 重量(g) | 重量(g) | 重量(g) | 重量(g) | 重量(g) | 重量(g) | 重量(g) | 重量(g) | 重量(g) | 重量(g) | 重量(g) |
| 2号井戸 | 29 | 18 | 1 | 37 | 2 | 16 | 21 | 5 | 2 | 1 | 132 |
| | 199.51 | 48.03 | 15.40 | 288.11 | 5.61 | 1251.00 | 110.13 | 19.61 | 7.48 | 0.61 | 1945.49 |
| 3号井戸 | 33 | 27 | 0 | 53 | 0 | 10 | 5 | 0 | 0 | 0 | 128 |
| | 835.78 | 534.87 | 0 | 2254.74 | 0 | 1976.00 | 29.08 | 0 | 0 | 0 | 5630.47 |
| 4号井戸 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | 0 | 366.57 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 366.57 |
| 5号井戸 | 62 | 41 | 0 | 21 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 127 |
| | 564.28 | 487.78 | 0 | 414.22 | 0 | 0 | 23.41 | 0 | 1.50 | 0 | 1491.19 |
| 6号井戸 | 5 | 7 | 0 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 |
| | 189.04 | 113.88 | 0 | 200.76 | 0 | 1480.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1983.68 |
| 1号溝状遺構 | 4 | 11 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 |
| | 57.47 | 263.80 | 0 | 100.89 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 422.16 |
| 3号溝状遺構 | 25 | 17 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 |
| | 89.57 | 84.20 | 0 | 266.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 439.77 |
| 4号溝状遺構 | 362 | 369 | 17 | 118 | 12 | 33 | 22 | 4 | 2 | 1 | 940 |
| | 8067.85 | 8539.18 | 544.32 | 6965.50 | 188.33 | 2951.00 | 201.91 | 599.60 | 122.00 | 22.71 | 28202.40 |
| 5号溝状遺構 | 7 | 6 | 1 | 6 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 24 |
| | 33.52 | 1131.20 | 27.97 | 400.81 | 11.70 | 0 | 206.54 | 0 | 0 | 0 | 1811.74 |
| 6号溝状遺構 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 427.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 427.00 |
| 7号溝状遺構 | 73 | 42 | 8 | 7 | 0 | 82 | 5 | 0 | 0 | 0 | 217 |
| | 1228.08 | 237.91 | 365.82 | 540.12 | 0 | 8143.00 | 74.26 | 0 | 0 | 0 | 10589.19 |
| 8号溝状遺構 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | 3.39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 31.41 | 0 | 0 | 0 | 34.80 |
| 1号土坑 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 0 | 22.47 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22.47 |
| 2号土坑 | 2 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| | 4.51 | 6.93 | 0 | 6.12 | 0 | 0 | 11.00 | 0 | 0 | 0 | 28.56 |
| 3号土坑 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 4.35 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.35 |
| 4号土坑 | 5 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | 43.71 | 0 | 0 | 19.73 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 63.44 |
| 5号土坑 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17.7 | 0 | 0 | 0 | 17.70 |
| 6号土坑 | 8 | 11 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 23 |
| | 26.86 | 26.97 | 0 | 11.20 | 0 | 0 | 2.85 | 0 | 0 | 0 | 67.88 |
| 1号暗渠 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 12.49 | 3.14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15.63 |
| 2号暗渠 | 6 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| | 18.83 | 47.78 | 0 | 0 | 0 | 199.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 265.61 |
| 遺構外 | 36 | 24 | 2 | 57 | 0 | 1 | 11 | 1 | 0 | 0 | 132 |
| | 287.64 | 397.83 | 18.60 | 1478.61 | 0 | 65.13 | 122.65 | 479.00 | 0 | 0 | 2849.46 |
| 表採 | 71 | 53 | 3 | 19 | 0 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 152 |
| | 685.83 | 1297.00 | 12.56 | 297.00 | 0 | 67.56 | 20.94 | 9.09 | 0 | 0 | 2389.98 |
| 表土剥ぎ | 21 | 20 | 0 | 5 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 49 |
| | 606.50 | 380.90 | 0 | 45.07 | 0 | 0 | 47.21 | 0 | 0 | 0 | 1079.68 |
| 合計 | 752 | 656 | 32 | 349 | 15 | 148 | 84 | 11 | 5 | 2 | 2054 |
| | 12959.21 | 13990.44 | 984.67 | 13288.88 | 205.64 | 16559.69 | 899.09 | 1107.30 | 130.98 | 23.32 | 60149.22 |

## Ⅲ－11　遺物一覧表（磁器）①

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 器種 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値](推定値) 口径 | 器高 | 底径 | 重量(g) | 成形 | 装飾技法 絵付・釉薬 | 装飾 | 文様 | 胎土色 | 刻印・銘 | 製作 産地 | 年代 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4溝200 | 4号溝状遺構 | 薄手酒坏 | Ⅱ 丸形鉤高台 | (4.0) | 2.7 | (1.8) | 6.12 | 轆轤 削り高台 極薄手 | 色絵 江戸絵付(青) 透明釉 | 上絵付 | 内:<br>外: | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 2 | 4溝321 | 4号溝状遺構 | 薄手酒坏 | Ⅲ 端反形 | (5.7) | 2.8 | (2.5) | 7.87 | 轆轤 削り高台 卵殻手 | 色絵 江戸絵付(青) 透明釉 | 上絵付 | 内:<br>外: | 白 | | 平戸(三川内)系 | 1780～1860 | |
| 3 | 4溝444 | 4号溝状遺構 | 薄手酒坏 | Ⅲ 端反形 | 6.2 | 3.1 | 2.9 | 20.55 | 轆轤 削り高台 極薄手 | 染付 呉須・透明釉 | 吹墨 | 内:瓢箪<br>外: | 白 | | 肥前系 | 1820～1860 | |
| 4 | 4溝292 | 4号溝状遺構 | 紅猪口 | Ⅵ-A 変形、菊花形 | 4.8 | 1.5 | 1.1 | 11.36 | 型打 | 白磁釉 | | 内:<br>外:菊花文 | 灰白 | | 肥前系 | 1810～1820 | |
| 5 | 4溝285 | 4号溝状遺構 | 紅猪口 | Ⅱ 浅丸形小高台 | 6.3 | 2.6 | 2.5 | 37.44 | 轆轤 削り高台 | 鉄絵 白泥 透明釉 | 筆描 | 内:丸が一つ<br>外:口縁三角又は菱形文様三つ | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 6 | 2井戸一括 | 2号井戸2段目 | 紅猪口 | Ⅱ 浅丸形小高台 | (5.5) | 2.7 | (2.4) | 10.13 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:草花文 | 白 | | 肥前系 | 1810～1820 | 貫入 |
| 7 | 4溝266 | 4号溝状遺構 | 紅猪口 | Ⅱ 浅丸形小高台 | 5.2 | 2.7 | 2.4 | 29.01 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:帯線文 | 白 | | 肥前系? | 1710～1750 | |
| 8 | 4溝291 | 4号溝状遺構 | 小坏 | Ⅺ 端反形 | 6.0 | 3.1 | 2.6 | 26.04 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:菊花文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 9 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 小坏 | Ⅺ 端反形 | (6.5) | 5.0 | (3.5) | 15.18 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:草花文 | 白 | | 肥前系 | 1700～1780 | |
| 10 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 小坏 | Ⅺ 端反形 | 7.6 | [4.2] | | 55.76 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 コンニャク印判 | 内:<br>外:竹文、若松文 | 白 | | 肥前系 | 1710～1740 | |
| 11 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 小坏 | Ⅺ 端反形 | 6.5 | 3.8 | 2.8 | 51.28 | 轆轤 削り高台 | 白磁釉 | | 内:<br>外: | 灰白 | | 肥前系 | 1680～1740 | |
| 12 | 表採 | 表採 | 小坏 | Ⅺ 端反形 | 6.4 | 3.0 | 2.5 | 47.79 | 轆轤 削り高台 | 透明釉 | | 内:<br>外: | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 13 | 7溝19 | 7号溝状遺構 | 小碗 | Ⅰ-D 丸形、やや平形 | (8.5) | 4.6 | 3.0 | 64.44 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:見込火焔宝珠文<br>外:鳥文、花文、柳文? | 白 | | 肥前系 | 1780～1820 | |
| 14 | 4溝263 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅳ 呉器形 | (7.0) | 5.7 | (2.9) | 39.90 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁列点文<br>外:人物,遊船図,高台脇〇※繋ぎ | 白 | | 瀬戸・美濃系? | 1808～ | |
| 15 | 4溝96 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅳ 呉器形 | (7.0) | 4.9 | (3.3) | 35.98 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:草花文 | 白 | | 肥前系 | 19C中葉～? | |
| 16 | 4溝32 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅳ 呉器形 | (7.1) | 5.0 | (3.3) | 42.44 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:山水文 | 白 | | 肥前系 | 18C後葉～19C中葉 | |
| 17 | 4溝228・431 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅳ 呉器形 | (7.6) | 5.2 | (3.6) | 29.40 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁二重圏線,見込一重圏線内文様?<br>外:並草葉文 | 白 | | 肥前系 | 19C中葉～ | |
| 18 | 4溝286 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅱ-A2 腰張形、底径小 | (7.8) | 5.1 | 3.4 | 112.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:見込文字<br>外:井桁文内椿文? | 白 | 見込「妙」 | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 19 | 4溝168 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅱ-A2 腰張形、底径小 | (8.2) | 5.2 | 3.1 | 99.10 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:見込文字<br>外:井桁文内椿文? | 白 | 見込「妙」 | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 20 | 4溝398 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅺ 端反形 | 9.3 | 4.8 | 3.7 | 98.46 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁帯線文,見込二重圏線内抽象文<br>外:口縁一重圏線、花弁文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 21 | 4溝一括 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅺ 端反形 | (8.9) | 4.8 | (3.7) | 73.59 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁帯線文,見込二重圏線内抽象文<br>外:口縁一重圏線、花弁文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 22 | 4溝北壁 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅺ 端反形 | 9.4 | 5.0 | (3.9) | 83.61 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁帯線文、見込二重圏線内抽象文<br>外:口縁一重圏線、花弁文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 23 | 4溝317 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅺ 端反形 | (9.3) | 5.0 | (3.9) | 83.61 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁帯線文、見込一重圏線内抽象文<br>外:口縁一重圏線、宝珠文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 24 | 4溝354・429 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅺ 端反形 | (9.0) | 4.9 | (3.7) | 35.31 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁帯線文,見込二重圏線<br>外:梅花文、文字文「寿」 | 白 | | 瀬戸・美濃系? | 1808～ | |
| 25 | 4溝246 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅺ 端反形 | (9.0) | [4.1] | | 28.86 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁帯線文,見込二重圏線<br>外:梅花文、文字文「寿」 | 白 | | 瀬戸・美濃系? | 1808～ | |
| 26 | 4溝133 | 4号溝状遺構 | 小碗 | Ⅺ 端反形 | (8.3) | 4.2 | (3.2) | 62.90 | 轆轤 削り高台 | 色絵 透明釉 | 上絵付 | 内:口縁一重圏線、見込〇文<br>外:口縁一重圏線、草花文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 27 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 小碗 | Ⅺ 端反形 | 7.1 | 4.4 | 3.6 | 62.39 | 轆轤 削り高台 | 色絵 透明釉 | 上絵付 | 内:<br>外:竹文、花弁文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 28 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 小碗 | Ⅺ 端反形 | 7.1 | 4.4 | 3.6 | 26.87 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:口縁一重圏線、文字文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 19C中葉～? | |
| 29 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 小碗 | ⅩⅩⅠ 半筒形 | (7.3) | [4.9] | | 28.21 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁四方襷文,見込一重圏線<br>外:半菊花文、幾何学文 | 白 | | 肥前系? | 18C後半～19C初頭 | |
| 30 | 4溝328・395 | 4号溝状遺構 | 小碗 | ⅩⅩⅢ 筒丸形 | 6.8 | 6.2 | 3.4 | 110.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:草花文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 31 | 4溝395 | 4号溝状遺構 | 小碗 | ⅩⅩⅢ 筒丸形 | (7.6) | 6.4 | (3.7) | 43.29 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:草花文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 32 | 2井戸一括 | 2号井戸2段目 | 小碗 | ⅩⅩⅣ 桶形 | 6.3 | 3.9 | (3.2) | 26.24 | 轆轤 | 透明釉 | | 内:<br>外: | 白 | | 肥前系 | 1780～1820 | |
| 33 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 中碗 | Ⅰ-C 丸形、腰部丸形 | 11.1 | 6.1 | 4.2 | 172.00 | 轆轤 削り高台 高台砂目 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:草花文 | 灰白 | 底一重圏線内「崩れ大秀年製」 | 肥前系 | 1750～1770 | くらわんか手 |
| 34 | 4溝455 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅰ-C 丸形、腰部丸形 | | [4.3] | 4.1 | 112.00 | 轆轤 削り高台 高台砂目 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:花唐草文 | 灰白 | | 肥前系 | 1750～1770 | 底部抽象文 くらわんか手 |
| 35 | 4溝242 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅱ-A2 腰張形、底径小 | (10.0) | 5.4 | (4.3) | 61.21 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁三重圏線、見込一重圏線内文字又は文様?<br>外:口縁一重圏線、草花文、文字文(「花」・「?」)井桁文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1750～ | |
| 36 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 中碗 | Ⅵ-A 浅半球形、薄手高台小 | (9.6) | 4.8 | 3.7 | 54.66 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:若松文 | 白 | | 肥前系 | 1750～ | |
| 37 | 4溝274 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅵ-A 浅半球形、薄手高台小 | (10.2) | 5.3 | (3.6) | 74.81 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:竹梅文 | 白 | 底「二重角に四福」 | 肥前系 | 1750～ | |
| 38 | 6井戸一括・7溝10 | 6号井戸・7号溝状遺構 | 中碗 | Ⅷ-A 広東形、高高台 | (11.3) | 6.4 | 4.9 | 121.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁二重圏線、見込一重圏線内火焔宝珠文<br>外:樹木文 | 白 | | 肥前系 | 1780～1810 | |
| 39 | 4溝103 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅺ 端反形? | | [6.8] | 4.8 | 98.05 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁二重圏線?、見込二重圏線内花唐草文?<br>外:雲文 | 白 | 底「富貴長春」 | 肥前系 | 1780～1830 | 竹節高台 |
| 40 | 4溝249 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅺ 端反形 | (10.9) | 6.3 | (4.8) | 163.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 コンニャク印判 | 内:口縁二重圏線、見込一重圏線内草花文<br>外:丸文、?文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～1830 | |
| 41 | 4溝188・一括 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅺ 端反形 | (10.8) | [5.4] | (4.4) | 149.00 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁三重圏線<br>外:草花文、文字文(詩句?) | 白 | 見込一重圏線内「大秀年製」 | 肥前系 | 1820～1860 | |
| 42 | 4溝403 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅺ 端反形 | 10.1 | 5.7 | 4.1 | 119.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁波文,見込一重圏線内寿文<br>外:雲文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 43 | 4溝67 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅺ 端反形 | (10.6) | 5.8 | 4.4 | 142.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁樽文,見込一重圏線内寿文<br>外:扇散し文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |
| 44 | 4溝25 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅺ 端反形 | 11.0 | 6.0 | 4.1 | 186.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁波文,見込一重圏線内記号文?<br>外:扇散し文 | 白 | | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | |

## Ⅲ－12　遺物一覧表（磁器）②

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 器種 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値](推定値) |  |  | 重量(g) | 成形 | 装飾技法 |  |  | 胎土色 | 刻印・銘 | 製作 |  | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  | 口径 | 器高 | 底径 |  |  | 絵付・釉薬 | 装飾 | 文様 |  |  | 産地 | 年代 |  |
| 45 | 4溝234・247 | 4号溝状遺構 | 中碗 | XⅠ 端反形 | (11.3) | 6.0 | 4.5 | 187.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁帯線文、見込一重圏線内草花文 外:葉文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ |  |
| 46 | 4溝28 | 4号溝状遺構 | 中碗 | XⅠ 端反形 | (10.3) | 5.5 | 4.0 | 139.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁帯線文、見込一重圏線内文様? 外:山水文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 焼継痕 畳付打ち欠いている |
| 47 | 4溝146・337 | 4号溝状遺構 | 中碗 | XⅠ 端反形 | (10.8) | 9.0 | (4.7) | 42.97 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁?文、見込一重圏線内文様? 外:草花文、丸文(籠目文・点文) | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 焼継痕 |
| 48 | 4溝259 | 4号溝状遺構 | 中碗 | XⅠ 端反形 | (10.6) | 6.0 | (4.2) | 33.60 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁波文、見込一重圏線内文字文? 外:区画間青海波文、花卉文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ |  |
| 49 | 表土剥ぎ | 表土剥ぎ | 中碗 | XⅠ 端反形 | (10.6) | 5.9 | (4.3) | 71.88 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁四方襷文、見込一重圏線内文様? 外:並草葉文? | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 焼継痕 |
| 50 | 4溝343 | 4号溝状遺構 | 中碗 | XⅠ 端反形 | (9.6) | 5.3 | (3.6) | 78.99 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁瓔珞文 外: | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ |  |
| 51 | 4溝305 | 4号溝状遺構 | 中碗 | XⅠ 端反形 | (9.8) | 5.0 | (3.3) | 53.70 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁点文、蜘蛛の巣文、見込一重圏線内花文 外:蜘蛛の巣文、幾何学文 | 白 |  | 肥前系 | 1780～1810 |  |
| 52 | 4溝29 | 4号溝状遺構 | 中碗 | XⅠ 端反形 | (11.3) | (6.4) | (7.0) | 53.79 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁雷文、見込一重圏線内松竹梅繋ぎ文 外:草花文 | 白 |  | 肥前系 | 1820～1860 |  |
| 53 | 4溝248・387 | 4号溝状遺構 | 中碗 | XⅠ 端反形 | (9.9) | [4.4] |  | 18.74 | 轆轤 | 色絵 透明釉 | 上絵付 | 内:口唇部・口縁二重圏線、見込一重圏線 外:宝文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1818～ |  |
| 54 | 4溝359 | 4号溝状遺構 | 中碗 | X-E 平形、撥高台? |  | [3.6] | 3.6 | 61.14 | 轆轤 削り高台 高台砂目 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:見込一重圏線内竹文 外:花文? | 白灰 |  | 肥前系 | 1810～1820 |  |
| 55 | 4溝279 | 4号溝状遺構 | 中碗 | X-E 平形、撥高台 | (12.6) | 5.6 | (5.1) | 63.34 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須(コバルト)・透明釉 | 筆描 | 内:口縁瓔珞文 外:雲龍文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 19C中葉～ |  |
| 56 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 中碗 | X-E 平形、撥高台 | 11.9 | 5.0 | 4.4 | 155.00 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須(コバルト)・透明釉 | 摺絵(型紙) | 内:口縁瓔珞文 外:花文、青海波文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 明治以降 |  |
| 57 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 大碗 | Ⅰ-C 丸形、腰部丸形 |  | [5.4] | 6.3 | 244.00 | 轆轤 削り高台 高台砂目 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:見込二重圏線内五弁花文 外:草花文? | 灰白 | 底一重圏線内「崩れ大明年製」 | 肥前系 | 1750～1770 | くらわんか手 |
| 58 | 1溝一括 | 1号溝状遺構 | 中碗 |  |  |  |  | 13.72 |  | 青磁釉 |  | 内: 外:蓮弁文 | 灰白 |  | 中国(龍泉系) | 14C～ |  |
| 59 | 7溝12 | 7号溝状遺構 | 仏飯器 | Ⅰ 台底 輪高台 |  | [5.9] | 4.2 | 46.85 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内: 外:半菊花文 | 白 |  | 肥前系 | 1780～1860 |  |
| 60 | 4溝193 | 4号溝状遺構 | 極小皿 | Ⅰ-A 丸形、底狭 | 5.7 | 1.5 | 2.5 | 30.31 | 轆轤 削り高台 | 透明釉 |  | 内: 外: | 灰白 |  | 肥前系 |  |  |
| 61 | D-2G一括 | D-2G | 極小皿 | Ⅰ-A 丸形、底狭 | (5.8) | 2.4 | 2.0 | 11.69 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 底部無釉 | 内: 外:竹文? | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ |  |
| 62 | 4溝365・481 | 4号溝状遺構 | 小皿 | Ⅰ-B 丸形、底中 | (13.8) | 2.9 | (7.1) | 121.00 | 轆轤 削り高台 高台砂目 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 見込蛇の目釉剥ぎ | 内:花唐草文、見込二重圏線内五弁花文 外: | 灰白 |  | 肥前系 | 1750～1810 | くらわんか手 |
| 63 | 4溝356・426 | 4号溝状遺構 | 小皿 | Ⅰ-C 丸形、底広 | 13.5 | 3.9 | 8.9 | 257.00 | 轆轤 蛇の目凹形高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:見込三方割銀杏文、雪輪文 外:唐草文 | 白 |  | 肥前系 | 1810～1820 |  |
| 64 | 4溝223・340 | 4号溝状遺構 | 小皿 | Ⅰ-C 丸形、底広 | 11.6 | 2.9 | 8.0 | 193.00 | 轆轤 蛇の目凹形高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:井桁文、幾何学文、見込二重圏線内五弁花文 外:唐草文 | 白 |  | 肥前系 | 1780～1810 | 焼継痕 底焼継印 |
| 65 | 4溝355 | 4号溝状遺構 | 小皿 | Ⅰ-B 丸形、底中 | 8.9 | 2.3 | 5.1 | 77.14 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 鉄釉 | 筆描 口紅 | 内:山水文 外:花卉文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1810～1820 |  |
| 66 | 4溝474 | 4号溝状遺構 | 小皿 | Ⅰ-B 丸形、底中 | 9.1 | 2.2 | 5.4 | 59.05 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 鉄釉 | 筆描 口紅 | 内:山水文 外:花卉文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1810～1820 |  |
| 67 | 4溝483 | 4号溝状遺構 | 小皿 | Ⅰ-B 丸形、底中 輪花 | (10.1) | 2.6 | 6.2 | 96.23 | 轆轤 型打 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 鉄釉 | 筆描 口紅 | 内:山水文 外: | 白 |  | 肥前系 | 1810～1820 |  |
| 68 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 小皿 | Ⅱ 木盃形 | (9.0) | (2.4) | (3.7) | 10.67 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 鉄釉 青磁釉 | 筆描 | 内: 外:文字文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 明治以降 |  |
| 69 | 4溝299 | 4号溝状遺構 | 小皿 | XV-A 変形形、方形 | (8.9) | 2.6 | 4.4 | 62.74 | 型打 | 透明釉 | 型押文 | 内:蝶文、花文 外: | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1850～ | 焼継痕 底焼継印 |
| 70 | 4溝296・433 | 4号溝状遺構 | 小皿 | XV-A 変形形、方形 | (8.2) | 2.5 | 4.3 | 59.33 | 型打 | 色絵 透明釉 | 上絵付 型押文 | 内:花文、唐草文、卍文、四菱文 外:唐草文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1850～ |  |
| 71 | 表採 | 表採 | 小皿 | XV-A 変形形、方形 | (9.0) | 2.6 | (3.9) | 37.40 | 型打 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 型押文 口紅 | 内:梅文、紗綾形文 外: | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1850～ |  |
| 72 | 4溝一括 | 4号溝状遺構 | 五寸皿 | Ⅰ-B 丸形、底中 | (15.1) | [2.7] |  | 41.24 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:鳳凰文 外:口縁一重圏線 | 灰白 |  | 肥前系 |  |  |
| 73 | 4溝415 | 4号溝状遺構 | 小鉢 | Ⅲ 腰張形 底広 玉縁 | (12.7) | 4.0 | (7.1) | 142.00 | 轆轤 蛇の目高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁花卉文、見込二重圏線内火焔宝珠文 外:帆 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 焼継痕 底焼継印 |
| 74 | F-12G一括 | F-12G | 小鉢 | Ⅰ 丸形底狭? |  | [3.8] | (6.4) | 90.51 | 轆轤 削り高台 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内: 外:竹文 | 白 |  | 肥前系 |  |  |
| 75 | 表土剥ぎ | 表土剥ぎ | 小鉢 | XX 台付鉢 | (12.1) | 8.8 | 5.6 | 225.00 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁雲文、見込人物文、風景文 外:山水文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ |  |
| 76 | 2井戸一括 | 2号井戸3段目 | 小鉢 | Ⅰ-D 丸形底狭、折縁 輪花 | (7.5) | [3.5] |  | 11.60 | 轆轤 型打 | 染付 呉須・透明釉 鉄釉 | 筆描 口紅 | 内: 外:青海波文、桜花文、渦巻文 | 白 |  | 肥前系 |  |  |
| 77 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 小鉢 | 正方形 | (10.3) | 6.5 | (7.3) | 142.00 | 型起こし | 青磁釉 | 陰刻 | 内: 外:雲文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 不明 |  |
| 78 | 4溝北壁 | 4号溝状遺構 | 中鉢 | Ⅳ 旬干形 八角 | (15.5) | [5.9] |  | 94.69 | 轆轤 型打 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内:風景文 外:三つ星文、四菱文 | 白 |  | 肥前系 | 1780～1860 | 焼継痕 |
| 79 | 4溝402・405 | 4号溝状遺構 | 火入 | X 変形 |  | [4.8] | (7.6) | 101.48 | 轆轤 蛇の目凹形高台 高台砂目 | 青磁釉 |  | 内: 外: | 灰白 |  | 肥前系 | 1780～ |  |
| 80 | 5井戸175 | 5号井戸 | 中壺 | Ⅲ 沈香壺形? | (9.8) | [5.1] |  | 37.28 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内: 外:蛸唐草文 | 白 |  | 肥前系 | 1789～ |  |
| 81 | 5井戸一括・6井戸一括・4溝一括 | 5号井戸・6号井戸・4号溝状遺構 | 小瓶 | Ⅱ 辣韮形 口縁無装飾 | 2.1 | [13.2] |  | 79.42 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内: 外:唐草文 | 灰白 |  | 肥前系 | 1750～ |  |
| 82 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 小瓶 | Ⅲ 端反辣韮形 | 2.1 | [8.8] |  | 44.32 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内: 外:唐草文 | 灰白 |  | 肥前系 | 1800～1860 |  |
| 83 | 4溝28・212 | 4号溝状遺構 | 小瓶 | Ⅱ-C 辣韮形口縁無装飾、輪高台 |  | [6.6] | 4.0 | 62.25 | 轆轤 削り高台 高台砂目 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内: 外:縞文、蛸唐草文、剣先崩し | 灰白 |  | 肥前系 | 1800～1860 | 神酒徳利 |
| 84 | 7溝7 | 7号溝状遺構 | 小瓶 | Ⅱ-C 辣韮形口縁無装飾、輪高台 |  | [2.9] | (4.4) | 17.88 | 轆轤 削り高台 高台砂目 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内: 外: | 灰白 |  | 肥前系 | 1800～1860 |  |
| 85 | 4溝136 | 4号溝状遺構 | 燗徳利 | Ⅲ 鳶口形? | (3.9) | [4.5] |  | 6.63 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内: 外:頸部雷文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系? | 19C前葉～ |  |
| 86 | 4溝185 | 4号溝状遺構 | 燗徳利 | Ⅲ-B 鳶口形、鳶口大 | 3.9 | [15.5] |  | 121.00 | 轆轤 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 | 内: 外:山水文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 焼継痕 |
| 87 | 4溝416 | 4号溝状遺構 | 燗徳利 | — |  | [14.4] | (5.2) | 128.00 | 轆轤 砂目 | 染付 呉須・透明釉 | 筆描 底部無釉 | 内: 外:山水文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ |  |

## Ⅲ－13　遺物一覧表（磁器）③

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 器種 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値](推定値) 口径 | 器高 | 底径 | 重量(g) | 成形 | 装飾技法 絵付・釉薬 | 装飾 | 文様 | 胎土色 | 刻印・銘 | 製作 産地 | 年代 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 88 | 4溝345・389 | 4号溝状遺構 | 燗徳利 | － |  | [7.3] | 6.3 | 60.46 | 轆轤 | 染付<br>呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:丸文(四方襷文)、丸文(よろけ横縞文) | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ |  |
| 89 | 4溝344・345・358・417 | 4号溝状遺構 | 燗徳利 | Ⅰ 口縁無装飾 | (3.2) | 12.9 | (6.0) | 81.98 | 轆轤 把手貼付 | 色絵<br>透明釉 | 上絵付<br>底部無釉 | 内:<br>外:唐人文、草花文 | 白 |  | 肥前系? | 明治以降 |  |
| 90 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 急須 | Ⅰ 横手形 | (7.2) | 5.9 |  | 39.13 | 轆轤 貼付 | 染付<br>呉須・透明釉 | 筆描 | 内:<br>外:鳳凰文、宝文、花文 | 白 |  | 肥前系 | 明治以降 |  |
| 91 | 4溝一括 | 4号溝状遺構 | 中碗蓋 | 丸形 | (9.0) | 2.2 |  | 38.83 | 轆轤 | 染付<br>呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁四方襷文、見込一重圏線内草花文<br>外:蛸唐草文 | 白 |  | 肥前系 | 1820～ | 中碗Ⅰ丸形の蓋 |
| 92 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 中碗蓋 | 端反形 | (8.9) | 2.9 |  | 47.76 | 轆轤 | 染付<br>呉須・透明釉 |  | 内:口縁波文、見込一重圏線内寿文<br>外:花卉文 | 白 | 底「一重角に寿」 | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 中碗XⅠ端反形の蓋 |
| 93 | 4溝388 | 4号溝状遺構 | 中碗蓋 | 端反形 | (9.0) | 2.6 |  | 35.97 | 轆轤 | 染付<br>呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁丸文、見込二重圏線内寿文<br>外:口縁一重圏線、草花文 | 白 | 底「一重角に寿」 | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 中碗XⅠ端反形の蓋 |
| 94 | 4溝37 | 4号溝状遺構 | 中碗蓋 | 端反形 | 9.2 | 3.0 |  | 71.33 | 轆轤 | 染付<br>呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁矩形文?、見込一重圏線内梵字文<br>外:菊花重ね文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 中碗XⅠ端反形の蓋 |
| 95 | 表採 | 表採 | 中碗蓋 | 端反形 | (8.8) | 2.6 |  | 46.64 | 轆轤 | 染付<br>呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁連続文、見込一重圏線内丸文(鳥文)<br>外:丸文(鳥文) | 白 | 底「一重角に寿?」 | 肥前系 | 1820～ | 焼継痕 中碗XⅠ端反形の蓋 |
| 96 | 4溝北壁 | 4号溝状遺構 | 中碗蓋 | 腰張形 | (10.1) | 2.5 |  | 16.15 | 轆轤 | 染付<br>呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁矩形文?、見込一重圏線<br>外:椿文? | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 中碗Ⅲ飯碗形の蓋 |
| 97 | 4溝473 | 4号溝状遺構 | 中碗蓋 | 腰張形 | (9.9) | [2.1] |  | 20.13 | 轆轤 | 染付 色絵<br>呉須・透明釉 | 筆描<br>上絵付 | 内:口縁四方襷文、見込二重圏線<br>外:唐草文、草花文 | 白 |  | 肥前系 | 1740～1800 | 中碗Ⅲ飯碗形の蓋 |
| 98 | 4溝39 | 4号溝状遺構 | 中碗蓋 | 腰張形 | (10.6) | [1.9] |  | 15.30 | 轆轤 | 染付<br>呉須・透明釉 | 筆描 | 内:口縁雷文、見込一重圏線<br>外:花文、鳥文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1808～ | 中碗Ⅲ飯碗形の蓋 |
| 99 | 表土剥ぎ | 表土剥ぎ | 急須蓋 | 丸形 | 7.2 | 2.0 |  | 32.62 | 轆轤 貼付 |  |  | 内:<br>外:草文、鳥文 | 白 |  | 瀬戸・美濃系 | 明治以降 |  |

## Ⅲ－14　遺物一覧表（陶器）①

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 器種 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値](推定値) 口径 | 器高 | 底径 | 重量(g) | 成形 | 装飾技法 絵付・釉薬 | 装飾 | 文様 | 胎土色 | 刻印・銘 | 製作 産地 | 年代 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100 | 3溝一括 | 3号溝状遺構 | 小碗 | Ⅴ-A 半球形、薄手 | (6.8) | [3.4] |  | 8.98 | 轆轤 | 色絵<br>灰釉 | 上絵付<br>京焼風 | 内:<br>外:菖蒲文 | 黄白 |  | 肥前系 | 17C後半～ |  |
| 101 | 表土剥ぎ | 表土剥ぎ | 小碗 | Ⅴ-C 半球形、腰部やや平形 | (6.5) | 3.9 | (2.8) | 16.41 | 轆轤 削り高台 | 灰釉 | 高台無釉 | 内:<br>外: | 黄白 |  | 肥前系 | 1750～1760 |  |
| 102 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 小碗 | Ⅰ-F 丸形、腰部厚め | (7.3) | 3.3 | (3.6) | 24.73 | 轆轤 削り高台 | 鉄釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1680～ |  |
| 103 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 小碗 | Ⅰ-A 丸形、深め | (7.8) | 4.8 | (4.0) | 56.82 | 轆轤 削り高台 | 灰釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1670～1750 |  |
| 104 | 5井戸一括 | 5号井戸 | 小碗 | Ⅴ-D 半球形、厚手 | (8.8) | 5.1 | 3.7 | 98.01 | 轆轤 削り高台 | 鉄絵<br>灰釉 | 高台無釉 | 内:<br>外:草文 | 灰 |  | 京・信楽系 | 18C中葉～後葉 |  |
| 105 | 4溝204 | 4号溝状遺構 | 小碗 | XⅠ 端反形 | (8.5) | 4.9 | (2.9) | 31.65 | 轆轤 削り高台 | 灰釉 | 高台無釉 | 内:<br>外: | 灰白 |  | 京・信楽系 | 18C後葉～ | 底部墨書「京?」貫入 |
| 106 | 4溝290 | 4号溝状遺構 | 小碗 | XXⅠ 半筒形 | (7.2) | 5.4 | (3.1) | 52.36 | 轆轤 削り高台 | 呉須<br>透明釉 | 陶胎染付 | 内:口縁一重圏線、見込一重圏線内五弁花文<br>外:菊花繋ぎ | 灰 |  | 瀬戸・美濃系 | 18C後葉～19C初頭 |  |
| 107 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 中碗 | Ⅰ-F 丸形、腰部厚め | (10.7) | 7.1 | 4.9 | 155.00 | 轆轤 削り高台<br>高台砂目 | 白泥　透明釉 | 刷毛目 | 内:雑巾手?<br>外:波状の刷毛目 | 濃灰 |  | 肥前系<br>現川 | 1691～1749 |  |
| 108 | 5井戸一括 | 5号井戸 | 中碗 | Ⅰ-C 丸形、腰部丸形 |  | [4.8] | (4.4) | 21.08 | 轆轤 削り高台 | 灰釉 | 高台無釉 | 内:<br>外: | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1690～ |  |
| 109 | 4溝6 | 4号溝状遺構 | 中碗 | Ⅱ-A1 腰張形、底径大 |  | [4.2] | (5.0) | 49.43 | 轆轤 削り高台 | 灰釉 | 高台無釉 | 内:<br>外: | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1730～1740 |  |
| 110 | 表土剥ぎ | 表土剥ぎ | 中碗 | Ⅴ-A 半球形、薄手 | (10.0) | [5.0] |  | 46.18 | 轆轤 | 鉄絵 呉須<br>灰釉 |  | 内:<br>外:桐文 | 灰白 |  | 肥前系 | 1750～1760 |  |
| 111 | 表土剥ぎ | 表土剥ぎ | 中碗 | Ⅴ-A 半球形、薄手 | (9.6) | [5.1] |  | 24.31 | 轆轤 | 灰釉 |  | 内:<br>外: | 黄白 |  | 肥前系 | 1730～1740 |  |
| 112 | 5井戸一括 | 5号井戸 | 中碗 | X-C 平形、腰部やや丸形畳付広? |  | [2.3] | 4.2 | 48.13 | 轆轤 削り高台 | 灰釉 | 高台無釉 | 内:<br>外: | 灰白 |  | 瀬戸・美濃系 |  |  |
| 113 | 4溝一括 | 4号溝状遺構 | 中碗 | X-C 平形、腰部やや丸形畳付広 |  | [4.0] | 4.1 | 80.93 | 轆轤 削り高台 | 白泥　灰釉 | 刷毛目<br>高台無釉 | 内:刷毛目<br>外:刷毛目 | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1800～ |  |
| 114 | F-12G一括 | F-12G | 中碗 | XXⅨ 轆轤形 |  |  |  | 11.73 | 轆轤 | 灰釉 |  | 内:<br>外: | 灰白 |  | 京・信楽系 | 1820～1830 |  |
| 115 | 4溝287・6土一括 | 4号溝状遺構・6号土坑 | 中碗 | XXX 拳骨形 |  |  |  | 6.10 |  | 鉄釉 灰釉 |  | 内:<br>外: | 暗灰 |  | 瀬戸・美濃系 | 1725～1800 |  |
| 116 | 4溝334 | 4号溝状遺構 | 中碗 | XXX 拳骨形 |  |  |  | 5.45 |  | 鉄釉 灰釉 |  | 内:<br>外: | 暗灰 |  | 瀬戸・美濃系 | 1725～1800 |  |
| 117 | 5井戸一括 | 5号井戸 | 小皿 | Ⅰ-B 丸形、底中 | (12.8) | [2.6] |  | 31.56 | 轆轤 | 灰釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 灰 |  | 瀬戸・美濃系 |  |  |
| 118 | 4溝57 | 4号溝状遺構 | 小皿 | Ⅴ 端反形 | (13.6) | 3.8 | (6.8) | 88.32 | 轆轤 削り高台 | 白泥 灰釉 | 刷毛目 | 内:渦巻状の刷毛目<br>外:刷毛目 | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 | 19C中葉～ |  |
| 119 | 4溝38・99・159 | 4号溝状遺構 | 大皿 | Ⅰ-B 丸形、底中 |  |  | (12.6) | 40.36 | 轆轤 削り高台 | 鉄絵<br>白泥 透明釉 | 腰下無釉 | 内:馬の目<br>外: | 灰白 |  | 瀬戸・美濃系 | 1790～1860 | 馬の目皿 |
| 120 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 大皿 | Ⅰ-B 丸形、底中 |  | [2.3] | (14.1) | 61.14 | 轆轤 削り高台 | 鉄絵 呉須<br>灰釉 | 高台無釉 | 内:草文、宝文<br>外: | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 | 19C～ |  |
| 121 | F-12G一括 | F-12G | 大皿 | Ⅰ-B 丸形、底中 |  | [2.0] | (12.6) | 65.38 | 轆轤 削り高台<br>見込目跡1～ | 鉄絵 呉須<br>灰釉 |  | 内:竹文<br>外: | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 | 19C～ |  |
| 122 | 4溝26 | 4号溝状遺構 | 大皿 | Ⅵ 玉縁形 |  | [5.5] |  | 130.00 | 轆轤 | 灰釉 |  | 内:<br>外: | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 |  |  |
| 123 | 4溝327・397 | 4号溝状遺構 | 灯明皿 | Ⅴ-B 平形器壁薄め、三足ハマ跡 | (8.5) | 1.7 | (4.0) | 27.99 | 轆轤 | 灰釉 | 外面無釉 | 内:<br>外: | 黄白 |  | 京・信楽系 | 1800～ |  |
| 124 | 4溝143 | 4号溝状遺構 | 灯明皿 | Ⅲ-B 平形器壁厚め、見込環状目跡 | 7.1 | 1.8 | 2.6 | 43.91 | 轆轤　見込環状目跡 | 鉄釉 | 底部無釉 | 内:<br>外: | 灰 |  | － | 1800～ |  |
| 125 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 灯明皿 | Ⅲ-A 平形器壁厚め、目跡無し | 8.1 | 1.7 | 4.0 | 52.53 | 轆轤　底回転糸切り | 鉄釉 |  | 内:<br>外: | 茶 |  | － | 1800～ | 内面・外面煤付着 |
| 126 | 4溝150・一括 | 4号溝状遺構 | 灯明皿 | Ⅲ-B 平形器壁厚め、見込環状目跡 | (19.4) | 1.8 | 4.0 | 61.95 | 轆轤　見込環状目跡 | 鉄釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 灰 |  | － | 1800～ |  |
| 127 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 灯明皿 | Ⅲ-B 平形器壁厚め、見込環状目跡 | (9.6) | 1.9 | (4.0) | 40.92 | 轆轤　見込環状目跡 | 鉄釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 灰 |  | － | 1800～ | 見込煤付着 |
| 128 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 灯明皿 | Ⅳ-A 平形腰部陵、目跡無し | (10.6) | 2.2 | (4.0) | 32.67 | 轆轤 | 鉄釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 茶 |  | － | 1800～ | 口縁煤付着 |
| 129 | 1溝一括 | 1号溝状遺構 | 灯明皿 | Ⅳ-A 平形腰部陵、目跡無し | (9.0) | 2.1 | (5.0) | 47.80 | 轆轤 | 鉄釉 |  | 内:<br>外: | 茶 |  | 志戸呂系 | 16C後半～ |  |
| 130 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 小鉢 | Ⅰ-C 丸形底狭?、玉縁 | (6.9) | [2.7] |  | 12.87 | 轆轤 | 灰釉 |  | 内:<br>外: | 黄白 |  | 瀬戸・美濃系 |  |  |

## Ⅲ－15　遺物一覧表（陶器）②

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 器種 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値](推定値) 口径 | 器高 | 底径 | 重量(g) | 成形 | 装飾技法 絵付・釉薬 | 装飾 | 文様 | 胎土色 | 刻印・銘 | 製作 産地 | 年代 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 131 | 5溝2 | 5号溝状遺構 | 小鉢 | Ⅵ 腰折形 | | [4.9] | (5.4) | 73.89 | 轆轤 削り 高台 | 鉄釉 | | 内:<br>外: | 灰 | | 瀬戸・美濃系 | | |
| 132 | 5溝3 | 5号溝状遺構 | 大鉢 | Ⅱ-E 浅丸形 底狭、蹲縁 | (39.6) | 11.7 | (13.0) | 1044.00 | 轆轤 削り高台 見込目跡4～ | 白泥 鉄釉 | | 内:三島手<br>外:腰部刷毛目 | 褐 | | 肥前系 唐津 | 1650～1700 | 象嵌 |
| 133 | 4溝132 | 4号溝状遺構 | 餌鉢 | Ⅳ 口縁外帯三段 | (10.0) | [7.6] | | 149.00 | 轆轤 | 鉄釉 | 内面櫛目 | 内:<br>外: | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 18C中葉～ | |
| 134 | 4溝408 | 4号溝状遺構 | 擂鉢 | Ⅶ 折縁形 口縁外帯広 | | | | 115.00 | 轆轤 | 鉄釉 | 内面櫛目 | 内:<br>外: | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 18C中葉～ | |
| 135 | 4井戸一括 | 4号井戸 | 練鉢 | Ⅰ 玉縁系? | | [4.3] | (9.1) | 144.00 | 轆轤 削り高台 見込目跡2～ | 灰釉 | 底部無釉 | 内:<br>外: | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 1750～1860 | |
| 136 | 4溝北壁 | 4号溝状遺構 | 揺鉢 | Ⅱ 把手無し | (27.8) | 12.5 | 12.2 | 985.00 | 轆轤 削り高台 見込目跡5～ | 灰釉 | 高台無釉 | 内:<br>外: | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 1800～ | |
| 137 | 4溝一括・2石組2 | 4号溝状遺構・2号暗渠 | 手水鉢 | Ⅰ 口縁捻返し形 | (24.0) | [6.1] | | 100.27 | 轆轤 | 白泥 緑釉 灰釉 | | 内:<br>外: | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 1800～ | |
| 138 | 4井戸一括 | 4号井戸 | 火入 | Ⅰ-C 桶形、切込腰輪高台 | | [4.8] | (18.0) | 161.00 | 轆轤 | 灰釉 | | 内:<br>外: | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 18C後半～ | |
| 139 | G-3G一括 | G-3G | 香炉 | Ⅰ 有三足 半筒形 | | [3.3] | (8.0) | 110.00 | 轆轤 貼付 | 鉄釉 | 底部内面無釉 | 内:<br>外:半菊状の鏑文 | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 1720～1780 | |
| 140 | 4溝463 | 4号溝状遺構 | 香炉 | Ⅷ 有三足 甕形 | (16.3) | [6.2] | | 49.03 | 轆轤 | 緑釉 | 陽刻文様 | 内:<br>外:草文 | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 19C初頭～ | |
| 141 | 4溝73・111・264 | 4号溝状遺構 | 火鉢? | Ⅲ 円筒形? | | [5.5] | | 35.93 | 轆轤 | | 陽刻文様 | 内:<br>外:松文、樹木文 | 黄土 | | － | | 瓦質 |
| 142 | 4溝258 | 4号溝状遺構 | 餌皿 | Ⅰ 半筒形 環摘み | (4.2) | 2.5 | (5.1) | 17.32 | 轆轤 環摘み付 | 灰釉 | 底部無釉 | 内:<br>外: | 灰白 | | 瀬戸・美濃系 | 1750～1860 | |
| 143 | 4溝120・164・172 | 4号溝状遺構 | 小甕 | Ⅰ 胴丸形 輪高台 | (16.0) | [7.6] | | 133.00 | 紐造り | 鉄釉 黒釉 | 流し掛け | 内:<br>外:黒釉流し | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 19C初頭～中葉 | |
| 144 | 4溝133 | 4号溝状遺構 | 中甕 | Ⅳ 甕形無高台 | (22.8) | [15.2] | | 182.00 | 紐造り | 鉄釉 灰釉 | 口縁部鉄釉灰釉流し掛け | 内:<br>外:灰釉流し | 淡褐 | | 瀬戸・美濃系 | 明治以降 | |
| 145 | 4溝122 | 4号溝状遺構 | 中甕 | Ⅳ 甕形無高台 | (26.9) | [4.3] | | 51.51 | 紐造り | 黒釉 鉄釉 灰釉 | 墨流し | 内:<br>外:黒釉流し | 灰 | | 瀬戸・美濃系 | | |
| 146 | 2石組1 | 2号暗渠 | 水甕(鉢) | Ⅰ 深め | | [5.7] | | 38.13 | 轆轤 | 緑釉 鉄釉 | 陽刻文様 | 内:<br>外:雲竜文 | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 19C初頭～中葉 | |
| 147 | 4溝56 | 4号溝状遺構 | 小瓶 | Ⅳ 撫肩形口縁 断面T字形? | | [8.5] | | 62.06 | 轆轤 | 灰釉 | | 内:<br>外: | 灰 | | 瀬戸・美濃系 | 18C中葉～19C初頭 | |
| 148 | 4溝148 | 4号溝状遺構 | 小瓶 | Ⅱ-B 筒形口縁 無袋脚?、刀底 | | [9.1] | (5.4) | 77.05 | 轆轤 削り 高台 | 灰釉 | | 内:<br>外: | 灰 | | 肥前系? | | |
| 149 | 4溝35・107・139 | 4号溝状遺構 | 小瓶 | | (3.2) | [6.8] | | 24.15 | 把手貼付 | 黒釉 鉄釉 | 墨流し | 内:黒釉流し<br>外:黒釉流し | 暗褐 | | － | | |
| 150 | 4溝382・385・460 | 4号溝状遺構 | 中瓶 | Ⅸ-B べこかん形、鶴首 | (2.4) | [12.2] | | 235.00 | 轆轤 胴部押圧 | 鉄釉 | | 内:<br>外: | 灰 | | 瀬戸・美濃系 | 1780～ | |
| 151 | 4溝93 | 4号溝状遺構 | 中瓶 | Ⅸ-B べこかん形、鶴首 | | [8.3] | (5.1) | 93.48 | 轆轤 胴部押圧 | 鉄釉 | 底部無釉 | 内:<br>外: | 灰 | | 瀬戸・美濃系 | 1780～ | |
| 152 | 4溝420・460 | 4号溝状遺構 | 中瓶 | Ⅸ-B べこかん形、鶴首 | | [6.7] | 6.5 | 148.00 | 轆轤 胴部押圧 | 鉄釉 | | 内:<br>外: | 褐 | | 瀬戸・美濃系 | 1780～ | |
| 153 | 4溝217・267 | 4号溝状遺構 | 燭徳利 | Ⅲ-A 蔦口形、蔦口小 | | [13.0] | | 43.27 | 轆轤 | 灰釉 | | 内:<br>外: | 黄白 | | 京・信楽系 | 1800～ | |
| 154 | 4溝15・230・256・287・335 | 4号溝状遺構 | 燭徳利 | Ⅲ-A 蔦口形、蔦口小? | | [12.5] | 6.3 | 92.97 | 轆轤 | 鉄絵 灰釉 | 底部無釉 | 内:<br>外: | 灰 | | 京・信楽系 | 1800～ | |
| 155 | B区一括 | B区 | 仏花瓶 | Ⅷ 立鼓形 | | [5.1] | 4.4 | 78.35 | 轆轤 削り 高台 | 鉄釉 | 底部無釉 | 内:<br>外: | 灰 | | 瀬戸・美濃系 | 18C中葉～ | |
| 156 | 4溝183 | 4号溝状遺構 | 土瓶 | Ⅴ 胴折形 | (7.0) | [7.2] | | 48.33 | 轆轤 貼付 | 鉄絵 緑釉 白泥 透明釉 | 底部無釉 | 内:<br>外:草花文 | 茶 | | － | 19C中葉～ | |
| 157 | 4溝76 | 4号溝状遺構 | 土瓶 | Ⅰ 丸形 | (6.1) | [4.1] | | 12.71 | 轆轤 | 鉄絵 白泥 灰釉 | 飛鉋 | 内:<br>外:花文? | 灰 | | － | 明治以降 | 158と同一個体? |
| 158 | A区一括 | A区 | 土瓶 | Ⅰ 丸形 | (6.1) | [4.2] | | 15.06 | 轆轤 | 鉄絵 白泥 灰釉 | 飛鉋 | 内:<br>外:花文? | 灰 | | － | 明治以降 | 157と同一個体? |
| 159 | 4溝65・93・244 | 4号溝状遺構 | 土瓶 | Ⅰ 丸形 | (10.0) | [8.7] | | 69.15 | 轆轤 貼付 | 鉄絵 白泥 透明釉 | | 内:<br>外:雪持花弁文 | 黄白 | | － | 明治以降 | |
| 160 | 4溝309・457 | 4号溝状遺構 | 土瓶 | Ⅶ 三足イキ丸形 | 4.9 | 9.0 | 5.2 | 134.00 | 轆轤 貼付 | 灰釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 灰 | | － | 19C中葉～ | |
| 161 | 4溝44・103・368・369 | 4号溝状遺構 | 土瓶 | Ⅰ 丸形 | (8.0) | [11.6] | | 264.00 | 轆轤 貼付 | うのふ釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 黄白 | | － | 19C中葉～ | |
| 162 | 4溝47・158 | 4号溝状遺構 | 土瓶 | Ⅰ 丸形 | (6.5) | 10.2 | (6.7) | 300.00 | 轆轤 貼付 | 緑釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 灰 | | － | 19C中葉～ | 腰下煤付着 |
| 163 | 4溝33・91 | 4号溝状遺構 | 土瓶 | Ⅰ 丸形 | (7.7) | [12.4] | (8.2) | 290.00 | 轆轤 貼付 | 鉄釉 | イッチン | 内:<br>外: | 灰白 | | － | 19C中葉～ | |
| 164 | 4溝313・452 | 4号溝状遺構 | 土鍋 | Ⅰ-A 丸形三足、紐状双耳 | 15.2 | [5.6] | | 27.50 | 轆轤 貼付 | 鉄釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 黄白 | | － | 19C中葉～ | 内面・外面煤付着 |
| 165 | 4溝17・124 | 4号溝状遺構 | 土鍋 | Ⅰ-A 丸形三足、紐状双耳 | (14.0) | [5.6] | | 53.11 | 轆轤 貼付 | 鉄釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 灰白 | | － | 19C中葉～ | |
| 166 | 4溝131・132・220 | 4号溝状遺構 | 土鍋 | Ⅰ-A 丸形三足、紐状双耳? | (16.0) | [5.7] | | 93.34 | 轆轤 | 鉄釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 黄白 | | － | 19C中葉～ | 外面煤付着 |
| 167 | 4溝85 | 4号溝状遺構 | 土鍋 | Ⅰ-A 丸形三足、紐状双耳? | (19.0) | [7.1] | | 90.93 | 轆轤 | 鉄釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 黄白 | | － | 19C中葉～ | 外面煤付着 |
| 168 | 4溝21・44・85・107・191・192・393 | 4号溝状遺構 | 土鍋 | Ⅰ-C 丸形三足、環状双耳 | (19.2) | [6.4] | | 72.29 | 轆轤 貼付 | 白泥 鉄釉 | | 内:<br>外: | 灰 | | － | 明治以降 | 外面煤付着 |
| 169 | 4溝24・41・147・262 | 4号溝状遺構 | 行平 | Ⅰ 丸形三足 | (14.6) | 7.4 | (5.7) | 227.00 | 轆轤 貼付 | 灰釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 灰 | | 京・信楽系 | 1780～ | |
| 170 | 4溝30 | 4号溝状遺構 | 行平 | Ⅰ 丸形三足 | (12.0) | [5.1] | | 54.20 | 轆轤 | 鉄釉 | 飛鉋 腰下無釉 | 内:<br>外: | 褐 | | － | 明治以降 | 外面煤付着 |
| 171 | 4溝128 | 4号溝状遺構 | 乗燭 | Ⅱ-B 台付たんころ形、底部糸切有 | 5.6 | 6.1 | 4.8 | 97.10 | 轆轤 回転糸切り 貼付 | 鉄釉 | 底部無釉 | 内:<br>外: | 褐 | | 瀬戸・美濃系 | 18C後半～ | |
| 172 | 7溝7 | 7号溝状遺構 | 乗燭 | Ⅱ-B 台付たんころ形、底部糸切有 | | [3.4] | 3.6 | 22.47 | 轆轤 回転糸切り? | 鉄釉 | 底部無釉 | 内:<br>外: | 灰 | | 瀬戸・美濃系 | 18C後半～ | |
| 173 | 4溝144 | 4号溝状遺構 | カンテラ | Ⅱ 片口後手形 | 4.7 | 3.6 | 4.4 | 77.80 | 轆轤 削り 高台 貼付 | 灰釉 | 腰下無釉 | 内:<br>外: | 灰白 | | 京・信楽系 | 1800～ | |
| 174 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 灯明受皿 | | (8.1) | 1.6 | (3.6) | 15.33 | 轆轤 貼付 | 鉄釉 | | 内:<br>外: | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 18C後半～ | |
| 175 | 表採・4溝241 | 表採・4号溝状遺構 | 灯明受皿 | | (10.4) | [2.2] | | 28.90 | 轆轤 | 鉄釉 | | 内:<br>外: | 灰 | | － | 18C後半～ | |
| 176 | 4溝89 | 4号溝状遺構 | 灯明受皿 | Ⅳ-B 容器付き、立鼓形台内貼り込み | | [4.2] | 4.9 | 69.36 | 轆轤 貼付 | 灰釉 | 底部無釉 | 内:<br>外: | 灰白 | | 京・信楽系 | 1800～ | |
| 177 | 4溝145 | 4号溝状遺構 | 蓋 | 平蓋 | 4.9 | 1.3 | | 16.27 | 轆轤 貼付 | 灰釉 | 丸平摘み | 内:<br>外: | 灰白 | | 京・信楽系 | 1800～ | |
| 178 | 4溝355 | 4号溝状遺構 | 土瓶蓋 | 山蓋 | 6.1 | 1.6 | | 30.83 | 轆轤 貼付 | 白泥 灰釉 | | 内:<br>外: | 灰 | | － | 19C中葉～ | |

## Ⅲ－16　遺物一覧表（陶器）③

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 器種 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値](推定値) | | | 重量（g） | 成形 | 装飾技法 | | | 胎土色 | 刻印・銘 | 製作 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | 絵付・釉薬 | 装飾 | 文様 | | | 産地 | 年代 | |
| 179 | 4溝196・332 | 4号溝状遺構 | 土瓶蓋 | 山蓋 | 8.1 | 3.1 | | 48.25 | 轆轤　貼付 | 白泥？緑釉 | 菊花摘み | 内：<br>外： | 黄白 | | − | 19C中葉～ | |
| 180 | 4溝226 | 4号溝状遺構 | 土瓶蓋 | 山蓋 | 8.3 | 2.5 | | 48.71 | 轆轤　貼付 | 鉄絵 緑釉<br>白泥 透明釉 | 丸摘み | 内：<br>外：五弁花状文 | 褐 | | − | 19C中葉～ | |
| 181 | 4溝2・3・141 | 4号溝状遺構 | 土瓶蓋 | 山蓋 | 12.0 | (2.9) | | 145.00 | 轆轤　貼付 | 呉須<br>白泥 透明釉 | 丸平摘み<br>陶胎染付 | 内：<br>外：青海波文、笹文、?文 | 黄白 | | 瀬戸・美濃系 | 18C後葉～ | |
| 182 | 4溝27 | 4号溝状遺構 | 行平蓋 | 端反形 | (16.0) | [4.0] | | 15.02 | 轆轤 | 鉄釉 | 飛鉋輪摘み | 内：<br>外： | 褐 | | − | 19C中葉～ | |

## Ⅲ－17　遺物一覧表（炻器）

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 器種 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値](推定値) | | | 重量（g） | 成形 | 装飾技法 | | | 胎土色 | 刻印・銘 | 製作 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | 絵付・釉薬 | 装飾 | 文様 | | | 産地 | 年代 | |
| 183 | 4溝265 | 4号溝状遺構 | 小皿 | Ⅳ 平形無高台 輪花 | (8.6) | 1.3 | (4.4) | 3.90 | 型作り | 鉄泥 | 型打ち陽刻文 | 内：<br>外：海老文 | 灰 | | 備前系 | 1800～ | 184と同一? |
| 184 | 4溝315 | 4号溝状遺構 | 小皿 | Ⅳ 平形無高台 輪花 | | [0.9] | | 6.43 | 型作り | 鉄泥 | 型打ち陽刻文 | 内：<br>外：海老文 | 灰 | | 備前系 | 1800～ | 183と同一? |
| 185 | 7溝2 | 7号溝状遺構 | 擂鉢 | Ⅺ 口縁外帯三段深め縁内凸帯大 | (32.6) | [8.3] | | 188.00 | 轆轤 | | 内面櫛目 | 内：見込櫛目<br>外： | 赤褐 | | 堺系 | 1800～ | |
| 186 | 4溝464・5溝1 | 4号溝状遺構 | 擂鉢 | | | [5.3] | (14.0) | 146.00 | 轆轤 | | 内面櫛目 | 内：見込櫛目三角状?<br>外： | 赤褐 | | 堺系 | 1800～ | |

## Ⅲ－18　遺物一覧表（土器）①

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 器種 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値](推定値) | | | 重量（g） | 成形 | 胎質 | 胎土色 | 製作 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | | | 産地 | 年代 | |
| 187 | 4溝190 | 4号溝状遺構 | かわらけ極小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | 4.4 | 1.1 | 3.4 | 15.53 | 轆轤　底左回転糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 18C～ | |
| 188 | 5溝7 | 5号溝状遺構 | かわらけ極小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | 4.8 | 0.9 | 3.3 | 15.63 | 轆轤　底静止糸切り | 土師質 | 赤褐 | 在地系 | 17C後半～18C初頭 | |
| 189 | 5溝8 | 5号溝状遺構 | かわらけ極小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | 5.5 | 1.2 | 3.8 | 25.55 | 轆轤　底静止糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 17C後半～18C初頭 | |
| 190 | 3井戸一括 | 3号井戸 | かわらけ極小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | (5.8) | 1.0 | (4.0) | 15.86 | 轆轤　底静止糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 18C～ | |
| 191 | 3井戸一括 | 3号井戸 | かわらけ極小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | (6.6) | 1.4 | (4.0) | 23.79 | 轆轤　底静止糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 18C～ | |
| 192 | 3井戸一括 | 3号井戸 | かわらけ極小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | 7.0 | 0.9 | 4.9 | 41.49 | 轆轤　底右回転糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 18C～ | |
| 193 | 2井戸一括 | 2号井戸 | かわらけ小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | (9.0) | 2.2 | 6.0 | 61.55 | 轆轤　底左回転糸切り | 土師質 | 暗茶褐 | 在地系 | 18C～ | |
| 194 | 3井戸一括 | 3号井戸 | かわらけ小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | 10.5 | 2.2 | 8.0 | 149.00 | 轆轤　底右回転糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 18C～ | |
| 195 | 3井戸一括 | 3号井戸 | かわらけ小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | (9.8) | 2.1 | (7.0) | 48.60 | 轆轤　底右回転糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 18C～ | 口縁煤付着 |
| 196 | 4溝422 | 4号溝状遺構 | かわらけ小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | 9.3 | 1.7 | 7.0 | 83.71 | 轆轤　底左回転糸切り | 土師質 | 赤褐 | 在地系 | 18C～ | |
| 197 | 3井戸一括 | 3号井戸 | かわらけ小皿 | Ⅳ-B2 轆轤成形、内壁立上がりに溝 浅め | (10.0) | 1.9 | (6.2) | 42.85 | 轆轤　底右回転糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 18C～ | |
| 198 | 3井戸一括 | 3号井戸 | かわらけ小皿 | Ⅳ-B1 轆轤成形、内壁立上がりに溝 深め | (10.4) | 1.6 | (5.7) | 14.58 | 轆轤　底右回転糸切り? | 土師質 | 淡褐 | 江戸? | 18C～幕末 | |
| 199 | G-6G一括 | G-6G | かわらけ小皿 | 腰部に稜あり | (10.0) | 2.2 | | 38.89 | 轆轤　底静止糸切り | 土師質 | 赤褐 | 在地系 | 17C後半～18C初頭 | |
| 200 | F-8G一括 | F-8G | かわらけ小皿 | | 12.6 | 2.8 | 6.8 | 144.00 | 轆轤　底右回転糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 16C中葉～後葉 | |
| 201 | 3井戸一括・F-8G一括 | 3号井戸・F-8G | かわらけ小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | (13.2) | 2.4 | 7.4 | 83.67 | 轆轤　底右回転糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 16C中葉～後葉 | |
| 202 | 7溝一括・G-6G一括 | 7号溝状遺構・G-6G | かわらけ小皿 | Ⅳ-B1 轆轤成形、内壁立上がりに溝 深め | (12.4) | 3.2 | 6.8 | 51.73 | 轆轤　底部渦巻状沈線 | 土師質 | 赤褐 | 江戸? | 1700～ | |
| 203 | 3井戸一括 | 3号井戸 | かわらけ小皿 | Ⅳ-A 轆轤成形、見込平坦・底広 | | [1.5] | (8.0) | 60.05 | 轆轤　底右回転糸切り | 土師質 | 赤褐 | 在地系 | 18C～ | |
| 204 | H-7G一括 | H-7G | 灯明皿 | Ⅲ-A 平形器壁厚め、目跡無し | 9.2 | 2.4 | 5.6 | 124.00 | 轆轤　底静止糸切り | 土師質 | 赤褐 | 在地系 | 17C後半～18C初頭 | 口縁煤付着 |
| 205 | 5溝6 | 5号溝状遺構 | 灯明皿 | Ⅲ-A 平形器壁厚め、目跡無し | 9.7 | 2.1 | 5.0 | 81.68 | 轆轤　底静止糸切り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 17C後半～18C初頭 | 口縁・切込部煤付着 |
| 206 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 灯明皿 | Ⅲ-A 平形器壁厚め、目跡無し | (10.0) | 2.1 | (6.8) | 12.85 | 轆轤 底右回転糸切り? | 土師質 | 淡茶褐 | 在地系 | 18C～ | 口縁煤付着 |
| 207 | 4溝351 | 4号溝状遺構 | 焼塩壺 | Ⅱ-A 深桶形板作り成形、蓋受け大 | 7.6 | 9.7 | (4.8) | 320.00 | 板作り | 土師質 | 淡橙 | 泉州 | 1716～1733 | 大枠「泉州麻生」銘 |
| 208 | G-6G一括 | G-6G | 焼塩壺 | Ⅱ-A 深桶形板作り成形、蓋受け大 | (7.8) | 9.3 | 6.2 | 236.00 | 板作り | 土師質 | 橙 | 泉州 | 1716～1733 | 大枠「泉州麻生」銘 |
| 209 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 焼塩壺 | Ⅱ-B 深桶形板作り成形、蓋受け小 | (8.0) | [5.6] | | 67.00 | 板作り | 土師質 | 橙 | 泉州? | 1716～1733 | |
| 210 | 4溝451 | 4号溝状遺構 | 焼塩壺 | Ⅳ 浅桶形・小型 轆轤成形 | 6.0 | 5.5 | 3.8 | 88.00 | 轆轤 底左回転糸切り | 土師質 | 橙 | − | 1800～ | |
| 211 | 4溝218 | 4号溝状遺構 | 焼塩壺 | Ⅳ 浅桶形・小型 轆轤成形 | 6.5 | 5.0 | 4.6 | 87.00 | 轆轤 | 土師質 | 橙 | − | 1800～ | |
| 212 | 4溝45・331・339 | 4号溝状遺構 | 焼塩壺 | Ⅳ 浅桶形・小型 轆轤成形 | 6.1 | 4.5 | (4.1) | 35.00 | 轆轤 | 土師質 | 橙 | − | 1800～ | |
| 213 | 4溝281・459 | 4号溝状遺構 | 焼塩壺 | Ⅲ 浅桶形 轆轤成形 | | [6.2] | (4.8) | 38.00 | 轆轤 | 土師質 | 橙 | − | 1800～ | |
| 214 | 4溝167 | 4号溝状遺構 | 火鉢 | Ⅰ 口縁内肥厚形 | | [7.2] | | 165.00 | 轆轤 | 土師質 | 褐 | 在地系 | 1780～ | |
| 215 | 4溝115・119・347 | 4号溝状遺構 | 火鉢 | Ⅱ 胴丸形 | 17.0 | 9.3 | 15.6 | 992.00 | 轆轤　三足貼付 | 土師質 | 褐 | 在地系 | 1780～ | 口唇部敲打痕 口縁内部煤付着 |
| 216 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 火鉢 | Ⅱ 胴丸形? | | [2.3] | (9.2) | 47.76 | 轆轤　三足貼付 | 土師質 | 赤褐 | 在地系 | 1780～ | |
| 217 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 火鉢 | Ⅶ 長方形? | | | | 312.00 | 板作り　四足貼付 | 瓦質 | 灰 | 在地系 | 18C後葉～ | |
| 218 | 4溝60・106・229 | 4号溝状遺構 | 火鉢 | Ⅹ 変形? | | [2.0] | (7.0) | 97.45 | 紐作り? | 瓦質 | 灰 | 在地系 | 18C後葉～ | 底部円形 胴部四角形 |
| 219 | 4溝179・一括 | 4号溝状遺構 | 七厘 | Ⅲ-B 胴部窓引戸五徳・風口合体、方形 | | 20.4 | | 512.00 | 外タタラ　ミガキ | 土師質 | 褐 | − | 18C後半～ | 内面・外面煤付着 |
| 220 | 4溝277 | 4号溝状遺構 | 焜炉 | | | [10.0] | | 188.00 | 外タタラ　ミガキ | 瓦質 | 暗灰 | − | 18C後半～ | |
| 221 | Ⅰ-9G一括 | 4号溝状遺構 | 七厘? | | | [12.2] | | 339.00 | 外タタラ　ミガキ | 瓦質 | 暗灰 | − | | |
| 222 | 4溝76・137 | 4号溝状遺構 | 七厘 | Ⅱ-A 胴部窓内面さな受け、筒形 | | [13.2] | | 247.00 | 轆轤 | 土師質 | 褐 | − | 18C後半～ | 外面押型文(扇・花・菱形) |
| 223 | 4溝201 | 4号溝状遺構 | さな | Ⅰ 円盤形 | | 1.4 | | 60.99 | | 土師質 | 褐 | 在地系 | 近世 | |
| 224 | 7溝100 | 4号溝状遺構 | 中甕 | Ⅵ 口縁断面γ字形 | (39.8) | [2.3] | | 128.00 | 紐作り | 土師質 | 黒褐 | 在地系 | 近世 | |
| 225 | 4溝370 | 4号溝状遺構 | 中甕 | Ⅵ 口縁断面γ字形? | | | | 78.86 | 紐作り | 土師質 | 褐 | 在地系 | 近世 | |
| 226 | 4溝225 | 4号溝状遺構 | 中甕 | | (22.5) | [4.0] | | 33.14 | 轆轤　ミガキ | 瓦質 | 灰 | 在地系 | 近世 | |
| 227 | 4溝58 | 4号溝状遺構 | 中甕 | | | | | 102.70 | | 土師質 | 褐 | 在地系 | 近世 | 外面鋸歯状刷毛目 |

## Ⅲ－19　遺物一覧表（土器）②

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 器種 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値](推定値) 口径 | 器高 | 底径 | 重量(g) | 成形 | 胎質 | 胎土色 | 製作 産地 | 製作 年代 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 228 | 4溝63 | 4号溝状遺構 | 中甕 | | | | | 111.00 | | 土師質 | 褐 | 在地系 | 近世 | 外面鋸歯状刷毛目 |
| 229 | 4溝231 | 4号溝状遺構 | 土釜 | Ⅰ 羽釜形? | | | | 17.27 | | 瓦質 | 灰 | 在地系 | 近世 | 外面型押文(亀甲繋ぎ) |
| 230 | 4溝130 | 4号溝状遺構 | 土釜 | Ⅰ 羽釜形? | | | | 16.59 | | 瓦質 | 灰 | 在地系 | 近世 | 外面型押文(亀甲繋ぎ) |
| 231 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 焙烙 | Ⅰ-A 有耳・底平坦・深め、耳が内壁 | (30.4) | 6.0 | (26.7) | 220.00 | 轆轤 | 土師質 | 褐 | 在地系 | 16C中葉～後葉 | |
| 232 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 焙烙 | Ⅰ-A 有耳・底平坦・深め、耳が内壁 | (32.0) | 7.0 | (27.8) | 130.00 | 轆轤 | 土師質 | 黒褐 | 在地系 | 16C中葉～後葉 | 底部煤付着 |
| 233 | 5井戸1 | 5号井戸 | 焙烙 | Ⅰ-A 有耳・底平坦・深め、耳が内壁 | (32.4) | 5.5 | (26.0) | 90.22 | 轆轤 | 土師質 | 褐 | 在地系 | 16C中葉～後葉 | |
| 234 | 5溝5 | 5号溝状遺構 | 焙烙 | Ⅰ-A 有耳・底平坦・深め、耳が内壁 | (28.4) | 6.4 | (24.4) | 248.00 | 轆轤 | 土師質 | 褐 | 在地系 | 16C中葉～後葉 | |
| 235 | 4溝55・154・225・353 | 4号溝状遺構 | 焙烙 | Ⅱ 有耳・底平坦・浅め | (29.3) | 4.2 | (26.8) | 242.00 | 轆轤 | 土師質 | 褐 | 在地系 | 18C中葉～ | |
| 236 | 4溝370 | 4号溝状遺構 | 鍋 | | | | | 48.55 | 穿孔2ヶ所あり | 土師質 | 褐 | 在地系 | 近世 | |
| 237 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 焼塩壺蓋 | 口受有 | (8.7) | 2.3 | 8.2 | 116.00 | 板作り　内布目 | 土師質 | 褐 | 泉州 | 1700～1780 | |
| 238 | 4溝261・6土一括 | 4号溝状遺構・6号土坑 | 焼塩壺蓋 | 口受無 | | | [0.7] | 11.64 | 板作り | 土師質 | 褐 | － | 1800～ | 押印? |
| 239 | A区一括 | A区 | 擂鉢 | | | | | 186.00 | 轆轤 | 土師質 | 褐 | 在地系 | | 見込櫛目クロス |

## Ⅲ－20　遺物一覧表（土製品）

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別 | 形状・モチーフ | 法量(cm)[現存値](推定値) 口径 | 器高 | 底径 | 重量(g) | 成形 | 装飾技法 絵付・釉薬 | 装飾 | 文様 | 胎質 | 胎土色 | 製作 製作地 | 製作 製作年代 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 240 | 4溝322 | 4号溝状遺構 | 笛 | 鳩笛 | 長[3.1] | 幅[1.7] | 厚[2.1] | 6.00 | 上下型合せ | 透明釉 | | | 土師質 | 褐 | － | 19C | |
| 241 | 4溝82 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 卸皿？ | 5.7 | 4.5 | 0.7 | 11.25 | | 透明釉 | | 内：見込櫛目 | 土師質 | 赤褐 | 在地系 | 19C | 内面・外面黒色付着物 |
| 242 | 4溝394 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 碗？ | | [1.6] | | 1.21 | 型押 | | | 外：鋸歯状文青海波文 | 土師質 | 褐 | － | | |
| 243 | 4溝304 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 水注？ | | [1.8] | | 1.32 | 型押 | | | 外：亀甲繋ぎ | 土師質 | 淡黄褐 | 京都系? | | |
| 244 | 4溝232 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 水注？ | | [0.8] | 2.5 | 5.16 | | 透明釉 | | | 土師質 | 黄白 | － | | |
| 245 | 4溝105・312・441 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 土瓶 Ⅱ 算盤玉形 | (2.7) | 3.6 | (2.8) | 36.65 | 轆轤 貼付 | 緑釉 灰釉 | 腰下無釉 | | 陶質 | 灰 | － | 19C | |
| 246 | 4溝382 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 土瓶 | | | | 5.27 | 上下型合せ 貼付 | 透明釉 | | | 土師質 | 褐 | － | 19C | |
| 247 | 4溝253 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 土鍋 Ⅰ-A 丸形三足、紐状双耳 | 7.0 | 2.6 | 2.6 | 29.88 | 轆轤 貼付 | 鉄釉 | 腰下無釉 | | 陶質 | 灰 | － | 19C | |
| 248 | 4溝52 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 土鍋 Ⅰ-A 丸形三足、紐状双耳 | (7.0) | 2.9 | (2.6) | 20.82 | 轆轤 貼付 | 鉄釉 | 腰下無釉 | | 陶質 | 灰 | － | 19C | |
| 249 | 4溝82・3溝一括 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 行平 | (8.0) | 4.1 | 3.8 | 55.40 | 轆轤 貼付 | | | 外：把手部菊花状文 | 土師質 | 褐 | 在地系 | 19C | 内面・外面黒色付着物 |
| 250 | 4溝145 | 4号溝状遺構 | ミニチュア | 山蓋 | 3.2 | 0.9 | | 7.14 | 手捏ね | 灰釉 | | | 陶質 | 灰白 | － | 19C | |
| 251 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 模造銭貨 | 南鐐二朱銀の模造 | 長2.1 | 幅1.2 | 厚0.2 | 1.10 | | | | | 土師質 | 褐 | － | 19C後半 | |

## Ⅲ－21　遺物一覧表（瓦）

軒丸瓦

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別 | 分類 | 法量(cm)[現存値](推定値) 体部高 | 瓦当径 | 文様径 | 瓦当厚さ | 重量(g) | 文様 | 胎土 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 252 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 丸瓦 | 軒丸瓦 | [2.0] | [7.4] | [5.3] | 2.6 | 270 | 左巻三巴 | | |
| 253 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 丸瓦 | 軒丸瓦 | [1.4] | [5.0] | [2.9] | 2.3 | 142 | 右巻三巴 | | |

軒桟瓦

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別 | 分類 | 法量(cm)[現存値](推定値) 全長 | 小巴 全幅 | 小巴 文様径 | 小巴 文様区径 | 小巴 文様外幅 | 小巴 文様厚 | 垂れ区 垂れ区長さ | 垂れ区 垂れ区幅 | 重量(g) | 文様 | 胎土 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 254 | 7溝30 | 7号溝状遺構 | 桟瓦 | 軒桟瓦 | [3.2] | [11.4] | 7.6 | 5.5 | 0.9 | 1.7 | [1.9] | [4.3] | 242 | 左巻三巴 連珠12 | | |
| 255 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 桟瓦 | 軒桟瓦 | [2.2] | [7.7] | [5.4] | [4.2] | 1.2 | | | | 98 | 左巻三巴 | 金雲母少 赤色粒子多 | |
| 256 | 7溝33 | 7号溝状遺構 | 桟瓦 | 軒桟瓦 | [2.4] | [8.1] | 8.1 | | | 2.0 | | | 181 | なし | | |
| 257 | 7溝29 | 7号溝状遺構 | 桟瓦 | 軒桟瓦 | [92.5] | [7.8] | 7.4 | 5.7 | 1.0 | 1.5 | | | 282 | 右巻三巴 連珠13 | | |

丸瓦

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別 | 分類 | 法量(cm)[現存値](推定値) 全長 | 全幅 | 厚さ | 玉縁長さ | 高さ | 重量(g) | 文様 | 胎土 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 258 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 丸瓦 | 丸瓦 | [10.0] | [6.2] | (2.1) | | [7.3] | 210 | | 金雲母少 | 裏面布目痕 |
| 259 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 丸瓦 | 丸瓦 | [21.8] | 15.2 | 1.9 | 4.3 | 7.4 | 990 | | | 裏面布目痕 |
| 260 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 丸瓦 | 丸瓦 | [15.3] | [11.2] | 2.0 | | 8.0 | 490 | | | 裏面布目痕 後部面取有 |

平瓦

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別 | 分類 | 法量(cm)[現存値](推定値) 全長 | 全幅 | 厚さ | 重量(g) | 文様 | 胎土 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 261 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 平瓦 | 平瓦 | [8.0] | [9.1] | 1.9 | 140 | | | |
| 262 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 平瓦 | 平瓦 | [8.5] | [12.3] | 1.9 | 225 | | | |
| 263 | 4溝171 | 4号溝状遺構 | 平瓦 | 平瓦 | [15.2] | [18.8] | 1.4 | 530 | | | |

棟瓦

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別 | 分類 | 法量(cm)[現存値](推定値) 全長 | 瓦当径 | 重量(g) | 文様 | 胎土 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 264 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 棟瓦 | あご付棟瓦 | [7.5] | 11.4 | 605 | 左巻三巴 | | |

## Ⅲ－22　遺物一覧表（石製品）

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別 | 形状特徴 | 法量(cm)[現存値] 長 | 幅 | 厚 | 重量(g) | 石質 | 胎土色 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 265 | 4溝436 | 4号溝状遺構 | 硯 | 長方形 | 14.0 | 6.0 | 2.0 | 158.00 | 粘板岩 | 灰 | 丘著しく摩耗 |
| 266 | 4溝273・361 | 4号溝状遺構 | 硯の蓋 ？ | | [7.5] | [7.6] | [2.9] | 47.31 | 砂岩 | 灰 | 「庄」銘 |
| 267 | 4溝326 | 4号溝状遺構 | 凹石 | 1カ所凹みあり | 8.7 | 7.6 | 4.5 | 388.00 | 安山岩 | | |

## Ⅲ－23　遺物一覧表（木製品）①

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別（大分類） | 器形（小分類） | 細分類 | 法量(cm)[現存値](推定値) | | | 樹種同定分析番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 長さ | 最大幅 | 最大厚 | | |
| 268 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | 椀 | | | 器高[5.9] | | 33-A・33-B | |
| 269 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | 椀 | | | 器高[2.4] | | 34 | |
| 270 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | 椀 | | 口径(10.8) | 器高5.4 | 底径3.7 | 36 | |
| 271 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 衣・容飾 | 傘 | | 4.9 | 5.7 | 4.9 | 35 | |
| 272 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | 曲物 | | | | | | |
| 273 | 2井戸3段目一括 | 2号井戸3段目 | 漆器 | 蓋 | | 17.0 | 16.9 | 1.3 | 38 | |
| 274 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | 箱物 | | 18.0 | 4.9 | 0.7 | 40 | 274～278同じ製品か？ |
| 275 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | 箱物 | | [20.9] | [4.1] | 0.6 | | |
| 276 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | 箱物 | | [20.7] | 5.5 | 0.6 | | |
| 277 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | 蓋 | | 10.9 | 4.1 | 1.0 | 41 | |
| 278 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | ？ | | 10.7 | 3.4 | 1.9 | | |
| 279 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 漆器 | ？ | | [24.3] | 1.5 | 1.5 | | |
| 280 | 2井戸3段目一括 | 2号井戸3段目 | 漆器 | 桶 | | 16.5 | 2.9 | 0.8 | | |
| 281 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 丸 | 24.4 | 0.6 | 0.7 | 31-A | |
| 282 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 丸 | 24.9 | 0.7 | 0.7 | | |
| 283 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 丸 | 23.2 | 0.6 | 0.6 | | |
| 284 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 丸 | 22.1 | 0.7 | 0.6 | | |
| 285 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 丸 | 20.6 | 0.7 | 0.6 | | |
| 286 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 丸 | [17.4] | 0.6 | 0.7 | | |
| 287 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 丸 | 24.1 | 0.7 | 0.7 | | |
| 288 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 丸 | 23.8 | 0.7 | 0.7 | | |
| 289 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.2 | 0.7 | 0.5 | 31-B | |
| 290 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.0 | 0.6 | 0.5 | | |
| 291 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.0 | 0.5 | 0.5 | | |
| 292 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.0 | 0.6 | 0.5 | | |
| 293 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 21.9 | 0.6 | 0.4 | | |
| 294 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.0 | 0.6 | 0.5 | | |
| 295 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.0 | 0.6 | 0.4 | | |
| 296 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.0 | 0.5 | 0.5 | | |
| 297 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.0 | 0.5 | 0.5 | | |
| 298 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.1 | 0.6 | 0.6 | | |
| 299 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 22.0 | 0.6 | 0.6 | | |
| 300 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 21.8 | 0.5 | 0.5 | | |
| 301 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 四角 | 21.9 | 0.6 | 0.6 | | |
| 302 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.8 | 0.6 | 0.6 | 31-D | |
| 303 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.6 | 0.7 | 0.6 | | |
| 304 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.8 | 0.6 | 0.6 | | |
| 305 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.7 | 0.6 | 0.6 | | |
| 306 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.9 | 0.6 | 0.6 | | |
| 307 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.9 | 0.6 | 0.6 | | |
| 308 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.6 | 0.6 | 0.6 | | |
| 309 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.4 | 0.7 | 0.6 | | |
| 310 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.7 | 0.5 | 0.7 | | |
| 311 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.8 | 0.6 | 0.6 | | |
| 312 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.2 | 0.7 | 0.6 | | |
| 313 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 16.1 | 0.6 | 0.5 | | |
| 314 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.2 | 0.7 | 0.5 | | 先端加工 |
| 315 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 18.9 | 0.6 | 0.5 | | 先端加工 |
| 316 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.6 | 0.7 | 0.6 | | |
| 317 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.6 | 0.6 | 0.6 | | |
| 318 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.9 | 0.6 | 0.5 | 31-C | |
| 319 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.8 | 0.7 | 0.5 | | |
| 320 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.9 | 0.6 | 0.6 | | |
| 321 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.7 | 0.6 | 0.6 | | |
| 322 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.7 | 0.7 | 0.6 | | |
| 323 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.9 | 0.6 | 0.5 | | |
| 324 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 21.0 | 0.6 | 0.6 | | |
| 325 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.7 | 0.6 | 0.5 | | |
| 326 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.2 | 0.6 | 0.5 | | |
| 327 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.7 | 0.6 | 0.6 | | |
| 328 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.9 | 0.7 | 0.6 | | |
| 329 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.7 | 0.7 | 0.5 | | |
| 330 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.7 | 0.7 | 0.6 | | |
| 331 | 2井戸3段目一括 | 2号井戸3段目 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | [12.5] | 0.6 | 0.6 | | 焼成痕 |
| 332 | 2井戸4段目一括 | 2号井戸4段目 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | [14.9] | 0.5 | 0.7 | | 焼成痕 |
| 333 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | [9.7] | 0.6 | 0.5 | | 焼成痕 |
| 334 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.4 | 0.7 | 0.6 | | 焼成痕 |
| 335 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.6 | 0.6 | 0.6 | | 焼成痕 |
| 336 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(平) | 20.7 | 0.7 | 0.4 | | 焼成痕 |
| 337 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.5 | 0.4 | 0.5 | | 焼成痕 |
| 338 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | 20.8 | 0.6 | 0.6 | | 焼成痕 |
| 339 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 多角(丸) | [13.5] | 0.6 | 0.5 | | 焼成痕 |
| 340 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 箸 | 丸 | [10.6] | 0.8 | 0.7 | | 焼成痕 |
| 341 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 膳 | | 26.1 | 12.3 | 1.0 | 44 | 脚部 |
| 342 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 食関係 | 膳 | | 33.5 | 4.6 | 1.7 | 85 | 脚部 |
| 343 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係 | 膳 | | 33.4 | 4.7 | 2.0 | 42 | 脚部 |
| 344 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 食関係? | 膳? | | [38.0] | 3.4 | 1.9 | 48 | 膳の部品か？ |
| 345 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 食関係? | 膳? | | 29.1 | 4.1 | 2.0 | 80 | |
| 346 | 2井戸3段目一括 | 2号井戸3段目 | 衣・容飾 | 櫛 | | 4.3 | [4.0] | 0.7 | 103 | |
| 347 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 衣・容飾 | 下駄 | | [24.5] | 7.7 | 3.3 | | |
| 347-1 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 衣・容飾 | 下駄 | | 13.3 | 7.7 | 3.3 | 19-B | |

## Ⅲ－24　遺物一覧表（木製品）②

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別（大分類） | 器形（小分類） | 細分類 | 法量(cm)[現存値](推定値) | | | 樹種同定分析番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 長さ | 最大幅 | 最大厚 | | |
| 347-2 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 衣・容飾 | 下駄 | | [13.6] | 7.5 | 3.1 | 19-A | |
| 348 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 衣・容飾 | 下駄 | | [23.8] | 6.7 | 3.6 | | |
| 348-1 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 衣・容飾 | 下駄 | | 12.7 | 6.7 | 3.6 | 19-D | |
| | 3井戸一括 | 3号井戸 | 衣・容飾 | 下駄 | | | | | | |
| 348-2 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 衣・容飾 | 下駄 | | [13.3] | [5.3] | [2.7] | 19-C | |
| 349 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 柄杓 | | 曲物径6.6 | 曲物深5.8 | 全長39.0 | 37 | 曲物 |
| 350 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 容器 | 柄？ | | [14.7] | 3.2 | 3.4 | | |
| 351 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 柄？ | | 28.5 | 3.8 | 3.3 | 30 | |
| 352 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 箱 | | 37.6 | [18.3] | 1.6 | 56 | 組板に転用 |
| 353 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 栓 | | 8.2 | 4.4 | 4.3 | 22-B | |
| 354 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 栓 | | 7.2 | 4.5 | 5.1 | | |
| 355 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 鉤瓶 | | [27.6] | [21.1] | 側[1.8]　底2.4 | 29・27 | 側板・底板 |
| 356 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 桶 | | 28.9 | [23.1] | 側 2.7　底2.4 | 28・26 | 側板・底板 |
| 357 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 樽蓋 | | 45.0 | (45.3) | 2.2 | 23 | |
| 358 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 樽蓋 | | 32.0 | [25.2] | 2.0 | 22-A | |
| 359 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶底板 | | 27.6 | 28.2 | 1.7 | 24 | |
| 360 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶底板 | | 14.6 | [11.7] | 1.0 | 21 | |
| 361 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶蓋 | | [18.5] | 5.4 | 1.1 | | |
| 362 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶蓋 | | [30.5] | [6.4] | 1.1 | | |
| 363 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶蓋 | | 30.4 | [6.1] | 1.1 | | |
| 364 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶底板 | | 29.1 | 9.1 | 3.1 | 22-C | |
| 365 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 容器 | 桶底板 | | [31.4] | [5.5] | 1.1 | 86 | |
| 366 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶底板 | | 22.8 | 5.6 | 1.5 | | |
| 367 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶底板 | | [27.0] | 6.3 | 1.1 | | |
| 368 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶底板 | | 31.3 | 11.9 | 1.5 | 25-A | |
| 369 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 桶底板 | | 28.7 | [4.5] | 1.4 | | |
| 370 | 1井戸一括 | 1号井戸 | 容器 | 曲物 | | [12.4] | [12.4] | 0.8 | | |
| 371 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 曲物 | | 14.8 | [4.5] | 0.3 | 89 | |
| 372 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 曲物 | | 13.4 | [8.6] | 0.5 | | |
| 373 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | 28.3 | 8.0 | 0.3 | | |
| 374 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | 31.7 | 4.9 | 0.3 | | |
| 375 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | 28.2 | 3.3 | 0.3 | | |
| 376 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | [29.6] | 2.4 | 0.4 | | |
| 377 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 曲物 | | 40.0 | 3.0 | 0.5 | | |
| 378 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 曲物 | | [15.4] | [4.8] | 0.3 | 43 | |
| 379 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 容器 | 曲物 | | [47.0] | 7.4 | 0.5 | | |
| 380 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | [14.8] | [4.7] | 0.2 | | |
| 381 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | 23.0 | 4.4 | 0.3 | | |
| 382 | 6井戸4段目一括 | 6号井戸4段目 | 容器 | 曲物 | | 26.7 | 4.5 | 0.3 | | |
| 383 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | 29.8 | [5.0] | 0.5 | | |
| 384 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | [27.9] | [6.3] | 0.3 | | |
| 385 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | [26.7] | 7.5 | 0.4 | | |
| 386 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | [31.6] | 4.0 | 0.3 | | |
| 387 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 容器 | 曲物 | | [27.3] | [6.7] | 0.2 | | |
| 388 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 容器 | 曲物 | | [27.0] | 0.8 | 0.2 | | |
| 389 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 農耕・生業 | 篦 | | 19.9 | 2.8 | 0.7 | | |
| 390 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 農耕・生業 | 篦 | | 21.5 | 3.4 | 0.3 | 51 | |
| 391 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 遊玩具 | 将棋の駒 | | 2.8 | 2.4 | 1.0 | | |
| 392 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 遊玩具 | 人形 | | 5.6 | 1.4 | 1.9 | | 猿？ |
| 393 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 遊玩具 | 人形 | | 21.7 | 1.5 | 1.7 | 55 | |
| 394 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 喫煙具 | 羅宇？ | | 6.0 | 1.7 | 1.4 | | 焼成痕 |
| 395 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 武器・武具 | 刀鞘 | | 27.5 | 2.8 | 1.6 | 20 | |
| 396 | 6井戸一括 | 6号井戸 | | 楔 | | 23.7 | 3.8 | 1.9 | | |
| 397 | 6井戸一括 | 6号井戸 | | 楔 | | 20.2 | 3.4 | 3.0 | 95 | |
| 398 | 2井戸一括 | 2号井戸 | | 楔 | | 14.7 | 2.6 | 2.2 | | |
| 399 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 14.2 | 3.1 | 2.4 | | |
| 400 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 14.8 | 2.6 | 2.5 | 52 | |
| 401 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 13.7 | 2.7 | 2.1 | 62 | |
| 402 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 14.5 | 2.8 | 2.5 | 81 | |
| 403 | 4井戸一括 | 4号井戸 | | 楔 | | 14.6 | 3.0 | 2.0 | | |
| 404 | 6井戸一括 | 6号井戸 | | 楔 | | [11.9] | 2.0 | 2.1 | | |
| 405 | 6井戸一括 | 6号井戸 | | 楔 | | [10.0] | 3.1 | 2.0 | 96 | |
| 406 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 7.9 | 1.6 | 1.5 | | |
| 407 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 15.1 | 3.0 | 2.0 | 57 | |
| 408 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 12.9 | 2.0 | 1.2 | | |
| 409 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 11.3 | 2.6 | 2.5 | | |
| 410 | 2井戸一括 | 2号井戸 | | 楔 | | 10.0 | 2.2 | 1.6 | | |
| 411 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 7.0 | 2.7 | 1.7 | | |
| 412 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 11.6 | 0.8 | 1.5 | | |
| 413 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | [8.9] | 1.2 | 0.5 | | |
| 414 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 8.4 | 3.5 | 2.1 | | |
| 415 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 6.1 | 2.2 | 1.2 | | |
| 416 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 7.4 | [2.1] | 1.3 | | |
| 417 | 3井戸一括 | 3号井戸 | | 楔 | | 6.9 | 1.8 | 0.9 | | |
| 418 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | 木札 | | [8.6] | [2.7] | 0.8 | | 文字あり |
| 419 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | 4.7 | 4.7 | 1.1 | | |
| 420 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | 5.9 | [3.3] | 0.6 | | |
| 421 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | 10.8 | 1.5 | 0.5 | | |
| 422 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | [10.0] | 1.2 | 0.4 | | 焼成痕 |
| 423 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | [5.1] | 1.7 | 0.3 | | 焼成痕 |
| 424 | 2井戸4段目一括 | 2号井戸4段目 | 不明製品 | | | [12.4] | 1.0 | 0.9 | | |

## Ⅲ－25　遺物一覧表（木製品）③

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別（大分類） | 器形（小分類） | 細分類 | 法量(cm)[現存値](推定値) | | | 樹種同定分析番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 長さ | 最大幅 | 最大厚 | | |
| 425 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 不明製品 | | | [15.6] | 1.5 | 0.9 | | |
| 426 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | 18.1 | 1.0 | 0.9 | | |
| 427 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | 16.0 | 2.0 | 1.3 | | |
| 428 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | [13.5] | 1.2 | 0.8 | | |
| 429 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | [11.5] | 7.5 | 0.5 | | |
| 430 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 不明製品 | | | 33.8 | 5.2 | 1.0 | | |
| 431 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | 18.6 | 9.4 | 1.4 | 46 | |
| 432 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | 18.0 | 5.0 | [0.9] | 92 | |
| 433 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 不明製品 | | | 17.8 | 5.4 | 1.2 | 50 | |
| 434 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 不明製品 | | | 11.8 | 2.5 | 1.4 | | |
| 435 | 4井戸一括 | 4号井戸 | 加工木 | | | 8.8 | [1.5] | 0.3 | | |
| 436 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 5.9 | 2.8 | 1.8 | | |
| 437 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [6.8] | [2.5] | 0.9 | | |
| 438 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [5.9] | [2.5] | 0.9 | 54 | |
| 439 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 4.4 | [2.7] | 0.2 | | |
| 440 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [2.0] | 5.0 | 2.2 | | |
| 441 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [15.7] | 3.5 | 0.9 | | |
| 442 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 14.1 | 3.3 | 1.1 | 53 | |
| 443 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [21.7] | 1.4 | 0.9 | | |
| 444 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [18.6] | 5.0 | 2.9 | 75 | |
| 445 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [24.7] | 4.1 | 2.6 | 76 | |
| 446 | 2井戸3段目一括 | 2号井戸3段目 | 加工木 | | | [14.4] | 3.5 | 1.3 | | 焼成痕 |
| 447 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [13.8] | 3.0 | 1.5 | | 焼成痕 |
| 448 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 50.5 | 2.6 | 2.1 | | |
| 449 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 49.4 | 3.4 | 1.9 | 74 | |
| 450 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | 43.0 | 6.1 | 5.8 | | |
| 451 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | 35.5 | 6.0 | 5.7 | 88 | |
| 452 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 70.4 | 3.5 | 4.3 | | |
| 453 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 60.0 | 3.5 | 2.8 | | |
| 454 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | [23.5] | 3.6 | 1.2 | | |
| 455 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [24.1] | 1.7 | 0.6 | | |
| 456 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 16.8 | 1.9 | 1.7 | | |
| 457 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 14.6 | 3.5 | 0.9 | | |
| 458 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 13.3 | 1.7 | 1.2 | 78 | |
| 459 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 11.6 | 1.6 | 1.1 | | |
| 460 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 18.5 | 1.9 | 0.8 | 60 | |
| 461 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [18.9] | 1.8 | 0.9 | | |
| 462 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | [41.8] | 3.4 | 2.8 | | |
| 463 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [31.4] | 2.0 | 1.9 | | 焼成痕 |
| 464 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 26.3 | 3.5 | 2.7 | 47 | |
| 465 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 22.6 | 3.9 | 3.7 | | |
| 466 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [22.2] | 3.4 | 2.3 | 77 | |
| 467 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 20.7 | 2.8 | 2.6 | | |
| 468 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | [15.6] | 3.3 | 3.4 | | |
| 469 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 加工木 | | | [6.5] | 3.7 | 0.8 | | |
| 470 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [33.9] | 14.9 | 4.8 | 65・66 | |
| 471 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 9.5 | 7.6 | 0.2 | | |
| 472 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | [9.8] | [4.3] | 0.9 | | |
| 473 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | 9.8 | 3.0 | 0.8 | | |
| 474 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 18.3 | 6.0 | 0.5 | 90 | |
| 475 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [26.5] | [8.6] | 0.5 | | |
| 476 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 13.8 | [2.9] | 0.8 | | |
| 477 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 11.8 | 5.3 | 1.2 | 84 | |
| 478 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | 14.6 | 8.8 | 1.5 | | |
| 479 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | [11.9] | 8.8 | 2.2 | 94 | |
| 480 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 12.2 | [10.3] | 1,25 | | |
| 481 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 22.3 | 14.8 | 1.1 | 45 | |
| 482 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 19.6 | [11.2] | 3.2 | | |
| 483 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 加工木 | | | 28.8 | [13.0] | 2.4 | | |
| 484 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 33.5 | [7.1] | 0.8 | 68 | |
| 485 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | 37.6 | 6.7 | 0.9 | | |
| 486 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 42.5 | [9.1] | 1.1 | | |
| 487 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | [41.9] | [6.0] | 0.8 | | |
| 488 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | | | 56.0 | 12.0 | 0.8 | | |
| 489 | 9溝一括 | 9号溝状遺構 | 加工木 | | | 49.3 | 12.6 | 1.8 | | |
| 490 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | 33.9 | [6.0] | 1.8 | | |
| 491 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | 40.5 | [8.5] | 1.8 | 87 | |
| 492 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 加工木 | | | [27.2] | [9.1] | 2.1 | | |
| 493 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | [74.4] | 30.2 | 2.1 | 98 | |
| 494 | 6井戸桶内一括 | 6号井戸桶内 | 加工木 | | | 65.6 | 28.5 | 1.8 | 99 | |
| 495 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 加工木 | | | 55.4 | [21.7] | 1.8 | 93 | |
| 496 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 加工木 | | | 57.6 | [12.0] | 2.5 | | |
| 497 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | [26.2] | 7.4 | 2.5 | | |
| 498 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | | | [21.6] | 7.6 | 2.3 | | |
| 499 | 5井戸一括 | 5号井戸 | 加工木 | | | [59.8] | 8.7 | 4.8 | | 焼成痕 |
| 500 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 4.8 | 5.6 | 10.1 | | |
| 501 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 9.0 | 4.1 | 2.4 | | |
| 502 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 5.1 | 4.9 | 3.2 | | |
| 503 | 2井戸1段目一括 | 2号井戸1段目 | 加工木 | 木っ端 | | 4.5 | 4.4 | 1.9 | | |
| 504 | 2井戸1段目一括 | 2号井戸1段目 | 加工木 | 木っ端 | | 3.2 | 3.3 | 3.9 | | |
| 505 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 5.3 | 4.4 | 0.7 | | |
| 506 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 5.0 | 3.8 | 0.8 | | |
| 507 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 6.0 | 13.9 | 1.4 | | |
| 508 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 9.0 | [12.0] | 1.3 | | |

## Ⅲ－26　遺物一覧表（木製品）④

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別（大分類） | 器形（小分類） | 細分類 | 法量(cm)[現存値](推定値) 長さ | 最大幅 | 最大厚 | 樹種同定分析番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 509 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 5.1 | [10.6] | 1.2 | | 焼成痕 |
| 510 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 2.7 | 11.5 | 1.2 | | |
| 511 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 5.5 | 10.3 | 1.5 | 83 | |
| 512 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 5.5 | 9.1 | 0.9 | | 焼成痕 |
| 513 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 6.6 | [8.8] | 1.1 | | |
| 514 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 8.7 | 8.3 | 0.9 | | |
| 515 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 1.6 | [6.8] | 1.3 | | |
| 516 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 3.5 | 7.7 | 0.6 | | |
| 517 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 3.9 | [6.6] | 1.2 | | |
| 518 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 4.4 | 5.7 | 1.1 | | |
| 519 | 6井戸一括 | 6号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 1.8 | 5.2 | 1.0 | | |
| 520 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 10.2 | 4.8 | 1.0 | | 焼成痕 |
| 521 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 13.9 | 3.9 | 4.5 | | |
| 522 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 6.2 | 3.3 | 2.0 | | |
| 523 | 2井戸2段目一括 | 2号井戸2段目 | 加工木 | 木っ端 | | 4.1 | 3.6 | 1.1 | | |
| 524 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 3.2 | 3.2 | 0.7 | | |
| 525 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 4.7 | 2.9 | 2.1 | | |
| 526 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 11.9 | 2.6 | 2.0 | | |
| 527 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | [3.9] | 2.5 | 0.4 | | |
| 528 | 4井戸一括 | 4号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 3.2 | 1.5 | 1.0 | | |
| 529 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 加工木 | 木っ端 | | 7.8 | 1.7 | 0.8 | | |
| 530 | 4井戸一括 | 4号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 5.4 | 2.3 | 0.7 | | |
| 531 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 9.3 | 1.2 | 1.0 | | |
| 532 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 5.8 | 4.8 | 3.8 | | |
| 533 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 7.0 | 4.2 | 3.0 | | |
| 534 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 木っ端 | | 5.7 | 10.8 | 0.8 | | |
| 535 | 2井戸3段目一括 | 2号井戸3段目 | 加工木 | 木っ端 | | [5.3] | [4.4] | 1.0 | | |
| 536 | 2井戸3段目一括 | 2号井戸3段目 | 加工木 | 木っ端 | | 13.1 | 4.9 | 1.0 | | |
| 537 | 2井戸3段目一括 | 2号井戸3段目 | 加工木 | 木っ端 | | 4.6 | 5.8 | 1.4 | | |
| 538 | 3溝杭16 | 3号溝状遺構 | 加工木 | 杭 | | [28.9] | 2.0 | 2.5 | | |
| 539 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 杭 | | [23.9] | 2.9 | 1.7 | | 焼成痕 |
| 540 | 3溝杭10 | 3号溝状遺構 | 加工木 | 杭 | | 43.5 | 3.4 | 3.5 | 101 | |
| 541 | 3溝杭32 | 3号溝状遺構 | 加工木 | 杭 | | 35.7 | 4.0 | 4.1 | | |
| 542 | 3溝杭29 | 3号溝状遺構 | 加工木 | 杭 | | 28.2 | 3.7 | 3.6 | 102 | |
| 543 | 3溝杭21 | 3号溝状遺構 | 加工木 | 杭 | | 38.1 | 4.5 | 4.5 | 100 | |
| 544 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 加工木 | 杭 | | 40.8 | 3.8 | 3.9 | | |
| 545 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 加工木 | 杭 | | 30.2 | 4.0 | 3.8 | | |
| 546 | 7溝一括 | 7号溝状遺構 | 加工木 | 杭 | | 41.8 | 5.1 | 4.6 | | |
| 547 | 9溝一括 | 9号溝状遺構 | 加工木 | 杭 | | 51.3 | 4.2 | 4.3 | | |
| 548 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 筒 | | 17.7 | 3.9 | 0.5 | | 竹製 |
| 549 | 3井戸一括 | 3号井戸 | 加工木 | 筒 | | 20.8 | 4.5 | 0.6 | | 竹製 |
| 550 | 4井戸一括 | 4号井戸 | 加工木 | 胴木 | | 110.0 | 6.5 | 6.3 | 97 | 転用材 |
| 551 | 4井戸一括 | 4号井戸 | 加工木 | 胴木 | | 109.5 | 7.8 | 7.6 | | 転用材 |
| 552 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 住関係 | 箒 | | [30.6] | [20.9] | [2.4] | | |
| 553 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 住関係 | 箒 | | [19.7] | [12.5] | [2.3] | | |
| 554 | 2井戸4段目一括 | 2号井戸4段目 | 住関係 | 縄 | | | [1.1] | [1.0] | | |

## Ⅲ－27　遺物一覧表（金属製品〈煙管〉）

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別 | 法量(cm) | | | | 重量(g) | 材質 | 製作年代 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 555 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 煙管雁首 | 長6.7 | 火皿径1.6 | 接合部径0.9 | 高2.2 | 10.68 | 真鍮 | 1800～ | |
| 556 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 煙管雁首 | 長5.9 | 火皿径1.6 | 接合部径0.9 | 高2.2 | 9.05 | 真鍮 | 1800～ | |
| 557 | 2井戸5段目一括 | 2号井戸5段目 | 煙管雁首 | 長6.0 | 火皿径1.5 | 接合部径1.0 | 高1.8 | 6.63 | 真鍮 | 1800～ | |
| 558 | 2土1 | 2号土坑 | 煙管雁首 | 長5.0 | 火皿径1.4 | 接合部径0.9 | 高2.1 | 7.39 | 銅 | 1800～ | |
| 559 | 4溝456 | 4号溝状遺構 | 煙管雁首 | 長6.9 | 火皿径1.4 | 接合部径1.0 | 高1.5 | 12.79 | 銅 | 1800～ | |
| 560 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 煙管吸口 | 長6.3 | 吸口径0.3 | 接合部径0.9 | | 6.12 | 真鍮 | 1800～ | |
| 561 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 煙管吸口 | 長7.7 | 吸口径0.4 | 接合部径1.0 | | 6.26 | 真鍮 | 1800～ | |
| 562 | 4溝一括 | 4号溝状遺構 | 煙管吸口 | 長7.5 | 吸口径0.5 | 接合部径1.0 | | 6.27 | 銅 | 1800～ | 沈線文様 |

## Ⅲ－28　遺物一覧表（金属製品〈銅・鉄製品〉）

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 種別 | 法量(cm) | | | 重量(g) | 材質 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 563 | 8溝1 | 8号溝状遺構 | 小柄 | 長8.6 | 幅1.3 | 厚0.5 | 14.51 | 銅 | |
| 564 | 4溝443 | 4号溝状遺構 | 鉄釘 | 長15.7 | 頭部幅1.1 | 厚0.7 | 21.90 | 鉄 | 掻折釘 |
| 565 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 鉄釘 | 長10.1 | 頭部幅1.2 | 厚0.6 | 10.61 | 鉄 | 平頭釘 |
| 566 | 5土一括 | 5号土坑 | 鉄釘 | 長[8.2] | 頭部幅1.6 | 厚1.4 | 10.96 | 鉄 | 掻折釘 |
| 567 | 5土一括 | 5号土坑 | 鉄釘 | 長[5.6] | 頭部幅1.4 | 厚1.2 | 6.74 | 鉄 | 掻折釘 |
| 568 | 6土一括 | 6号土坑 | 鉄釘 | 長[3.6] | 頭部幅1.1 | 厚0.6 | 2.85 | 鉄 | 平頭釘 |
| 569 | 5溝9 | 5号溝状遺構 | 鏃 | 長[13.9] | 幅[4.7] | 厚[0.9] | 200.00 | 鉄 | |
| 570 | 4溝436 | 4号溝状遺構 | 不明 | 長1.9 | 幅0.8 | 厚0.5 | 1.64 | 銅 | |
| 571 | 2土2 | 2号土坑 | 不明 | 長[8.5] | 幅0.8 | 厚0.1 | 3.61 | 銅 | |
| 572 | 4溝478 | 4号溝状遺構 | 不明 | 長[10.0] | 幅0.9 | 厚0.1 | 3.17 | 銅 | |
| 573 | 7溝6 | 7号溝状遺構 | 不明 | 長[6.7] | 幅[3.3] | 厚[0.1] | 5.96 | 銅 | |

## Ⅲ－29　遺物一覧表（金属製品〈銭貨〉）

| 図版番号 | 登録番号 | 出土地点 | 名称 | 種別 | 背文 | 初鋳年代 | 西暦 | 鋳造地 | 法量(mm)[現存値] 外径 | 穴径 | 重量(g) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 574 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 天聖元宝 | 渡来銭 | なし | 天聖元年 | 1023 | 北宋 | 24 | 7 | 2.35 | 篆書 |
| 575 | 2井戸一括 | 2号井戸 | 寛永通宝3期 | 新寛永 | なし | 元禄10年 | 1697 | | 24 | 7 | 2.97 | 享保11年(1726) 京都七条？ |
| 576 | 4溝466 | 4号溝状遺構 | 寛永通宝3期 | 新寛永 | なし | 元禄10年 | 1697 | | 24 | 6 | 2.66 | 元文4年(1739)白目中字？ |
| 577 | 4溝329 | 4号溝状遺構 | 寛永通宝四文銭 | 新寛永 | 21波 | 明和5年 | 1768 | | 26 | 6 | 4.77 | |
| 578 | 5井戸一括 | 5号井戸 | 寛永通宝四文銭 | 新寛永 | 11波 | 明和6年 | 1769 | | 28 | 7 | 4.46 | |
| 579 | 4溝329 | 4号溝状遺構 | 寛永通宝四文銭 | 新寛永 | 11波 | 明和6年 | 1769 | | 27 | 7 | 4.53 | |
| 580 | 4溝329 | 4号溝状遺構 | 寛永通宝四文銭 | 新寛永 | 11波 | 明和6年 | 1769 | | 27 | 7 | 4.67 | |
| 581 | 4溝329 | 4号溝状遺構 | 寛永通宝四文銭 | 新寛永 | 11波 | 明和6年 | 1769 | | 27 | 7 | 3.29 | |
| 582 | 4溝329 | 4号溝状遺構 | 寛永通宝四文銭 | 新寛永 | 11波 | 明和6年 | 1769 | | [23] | 7 | 3.22 | 欠損 |
| 583 | 表採 | 表採 | 一銭 | | | 大正7年 | 1918 | | 23 | | 3.61 | |
| 584 | 表採 | 表採 | 一銭 | | | 大正10年 | 1921 | | 23 | | 3.29 | |

# 第Ⅳ章　自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

## はじめに

甲府城下町遺跡は、山梨県甲府市に所在し、相川左岸の扇状地上に位置している。甲府城下町は、甲府城跡がある一条小山を境に、武田氏が築いた上府中（古府中）と近世に築かれた下府中（新府中）に分けられる。甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）で実施された発掘調査では、主に18世紀中葉から幕末までと考えられる井戸跡や溝などが検出されている。また、これら遺構からは、陶磁器やかわらけ、廃棄されたと考えられる部材や木製品、動植物遺体などの生活残滓が多量に出土している。

本報告では、上記した井戸跡や溝から出土した建築部材や木製品、動植物遺体を対象に自然科学分析を実施し、当時の動植物利用に関する資料を作成する。

## 第１節　木材利用

### 第１項　試料

試料は、井戸部材22点や溝跡に伴う杭材３点、さらに、井戸跡内から出土した木製品を主体とする木材78点の計103点（試料番号1～103）である。

これら試料の中には、２点以上の部材で構成されている製品が含まれる。これらについては、各部材を対象として試料採取を実施した。また、発掘調査時に一括で採取された試料については、無作為に複数試料を採取した。したがって、最終的な採取試料数は、計116点である。なお、試料を複数点数採取した場合には、アルファベットを付し、枝番号で表記している。分析試料は、上記した課題目的を考慮して81点を選択し、樹種同定を実施する。各試料の詳細は、樹種同定結果と共に表Ⅳ－１に記する。

### 第２項　方法

剃刀の刃を用いて木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の徒手切片を作製し、ガム・クロラール（抱水クロラール，アラビアゴム粉末，グリセリン，蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートを作製する。作製したプレパラートは、生物顕微鏡で観察・同定する。

### 第３項　結果

結果を表Ⅳ－１に示す。井戸部材や溝跡に伴う杭材、井戸跡内から出土した木製品は、針葉樹６種類（カラマツ・マツ属複維管束亜属・モミ属・ツガ属・スギ・ヒノキ）と広葉樹６種類（ブナ属・コナラ属コナラ亜属コナラ節・カツラ・イスノキ・サクラ属・トネリコ属）に同定された。以下に、各種類の主な解剖学的特徴を記す。

・カラマツ（Larix kaempferi（Lamb.）Carriere）　　マツ科カラマツ属

仮道管の早材部から晩材部への移行は急で、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道および水平樹脂道が認められる。傷害樹脂道が認められる試料がある。放射柔組織の細胞壁は滑らかで、じゅず状末端壁が認められる。分野壁孔はトウヒ型～ヒノキ型で、１分野に３～５個。放射組織は単列、１～20細胞高。

・マツ属複維管束亜属（Pinus subgen. Diploxylon）　　マツ科

仮道管の早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道及び水平樹脂道が認められる。分野壁孔は窓状となり、放射仮道管内壁には顕著な鋸歯状の突出が認められる。放射組織は単列、１～15細胞高。

・モミ属（Abies）　　マツ科

仮道管の早材部から晩材部への移行は比較的緩やかで、晩材部の幅は狭い。樹脂道および樹脂細胞は認められない。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞壁は粗く、じゅず状末端壁が認められる。分野壁孔はスギ型で１分野に１～４個。放射組織は単列、１～20細胞高。

・ツガ属（Tsuga）　　マツ科

仮道管の早材部から晩材部への移行は急で、晩材部の幅は広い。樹脂細胞が認められるが樹脂道は認められない。放射組織は仮道管と柔細胞で構成され、柔細胞壁は滑らかで、じゅず状末端壁が認められる。分野壁孔はヒノキ型で、１分野に１～４個。放射組織は単列、１～20細胞高。

## Ⅳ－１　樹種同定結果

| 試料番号 | 図版番号 | 遺構名 | 採取地点名 | 枝番 | 器種 | 樹種 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | ２号井戸 | １段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 2 | | ２号井戸 | １段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 4 | | ２号井戸 | ２段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 5 | | ２号井戸 | ２段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 7 | | ２号井戸 | ３段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 8 | | ２号井戸 | ３段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 10 | | ２号井戸 | ４段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 11 | | ２号井戸 | ４段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 13 | | ２号井戸 | ５段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 14 | | ２号井戸 | ５段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 16 | | ２号井戸 | ６段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 17 | | ２号井戸 | ６段 | | 井戸枠（板状） | ヒノキ |
| 19 | 347－2 | ３号井戸 | | A | 下駄 | サクラ属 |
| | 347－1 | | | B | 下駄 | サクラ属 |
| | 348－2 | | | C | 下駄 | サクラ属 |
| | 347－1 | | | D | 下駄 | サクラ属 |
| 20 | 395 | ３号井戸 | | | 刃鞘 | ヒノキ |
| 21 | 360 | ３号井戸 | | | 桶底板 | ヒノキ |
| 22 | 358 | ３号井戸 | | A | 樽蓋 | スギ |
| | 353 | | | B | 栓 | ヒノキ |
| | 364 | | | C | 桶底板 | ヒノキ |
| 23 | 357 | ３号井戸 | | | 樽蓋 | スギ |
| 24 | 359 | ３号井戸 | | | 桶底板 | ヒノキ |
| 25 | 368 | ３号井戸 | | A | 桶底板 | ヒノキ |
| 26 | 356 | ３号井戸 | | | 井戸桶（底板） | ヒノキ |
| 27 | 355 | ２号井戸 | | A | 井戸桶（底板） | ツガ属 |
| | | | | B | 井戸桶（側） | ヒノキ |
| 28 | 356 | ２号井戸 | ５段目 | | 井戸桶（側） | ヒノキ |
| 29 | 355 | ２号井戸 | ５段目 | | 井戸桶（側） | スギ |
| 30 | 351 | ２号井戸 | | | 柄？ | ヒノキ |
| 31 | 281 | ３号井戸 | | A | 箸 | ヒノキ |
| | 289 | | | B | 箸 | ヒノキ |
| | 318 | | | C | 箸 | ヒノキ |
| | 302 | | | D | 箸 | ヒノキ |
| 32 | | ２号井戸 | 一括 | A | 箸 | ヒノキ |
| | | | | B | 箸 | ヒノキ |
| 42 | 343 | ３号井戸 | | | 膳？ | ツガ属 |
| 43 | 378 | ３号井戸 | | | 曲物 | モミ属 |
| 44 | 341 | ３号井戸 | | | 膳 | カツラ |
| 45 | 481 | ３号井戸 | | | 加工木 | ツガ属 |
| 46 | 431 | ３号井戸 | | | 不明製品 | モミ属 |
| 47 | 464 | ３号井戸 | | | 加工木 | モミ属 |
| 48 | 344 | ３号井戸 | | | 膳？ | カラマツ |
| 50 | 433 | ３号井戸 | | | 不明製品 | ヒノキ |
| 51 | 390 | ３号井戸 | | | 箆 | ヒノキ |
| 52 | 400 | ３号井戸 | | | 楔状 | ツガ属 |
| 53 | 442 | ３号井戸 | | | 加工木 | モミ属 |
| 54 | 438 | ３号井戸 | | | 加工木 | ヒノキ |
| 55 | 393 | ３号井戸 | | | 人形 | ヒノキ |
| 56 | 352 | ３号井戸 | | | 箱 | スギ |
| 57 | 407 | ３号井戸 | | | 楔状 | ツガ属 |
| 60 | 460 | ３号井戸 | | | 加工木 | スギ |
| 62 | 401 | ３号井戸 | | | 楔状 | ツガ属 |
| 65 | 470 | ３号井戸 | | | 加工木 | モミ属 |
| 66 | | ３号井戸 | | | 加工木 | ツガ属 |
| 68 | 484 | ３号井戸 | | | 加工木 | モミ属 |
| 74 | 449 | ３号井戸 | | | 加工木 | コナラ属コナラ亜属コナラ節 |
| 75 | 444 | ３号井戸 | | | 加工木 | ブナ属 |
| 76 | 445 | ３号井戸 | | | 加工木 | ブナ属 |
| 77 | 466 | ３号井戸 | | | 加工木 | モミ属 |
| 78 | 458 | ３号井戸 | | | 加工木 | ヒノキ |
| 80 | 345 | ６号井戸 | | | 膳？ | ツガ属 |
| 81 | 402 | ３号井戸 | | | 楔状 | コナラ属コナラ亜属コナラ節 |
| 83 | 511 | ３号井戸 | | | 木っ端 | カラマツ |
| 84 | 477 | ３号井戸 | | | 加工木 | ツガ属 |
| 85 | 342 | ６号井戸 | | | 膳？ | ツガ属 |
| 88 | 451 | ６号井戸 | | | 加工木 | カラマツ |
| 89 | 371 | ３号井戸 | | | 曲物 | スギ |
| 90 | 474 | ３号井戸 | | | 加工木 | モミ属 |
| 92 | 432 | ３号井戸 | | | 不明製品 | ツガ属 |
| 93 | 495 | ２号井戸 | 桶内５段目 | | 加工木 | モミ属 |
| 94 | 479 | ６号井戸 | | | 加工木 | マツ属複維管束亜属 |
| 95 | 397 | ６号井戸 | | | 楔状 | モミ属 |
| 96 | 405 | ６号井戸 | | | 楔状 | トネリコ属 |
| 97 | 550 | ４号井戸 | | | 胴木 | ヒノキ |
| 98 | 493 | ６号井戸 | | | 加工木 | ツガ属 |
| 99 | 494 | ６号井戸 | 桶内 | | 加工木 | ツガ属 |
| 100 | 543 | ３号溝 | No. 21 | | 杭 | マツ属複維管束亜属 |
| 101 | 540 | ３号溝 | No. 10 | | 杭 | マツ属複維管束亜属 |
| 102 | 542 | ３号溝 | No. 29 | | 杭 | マツ属複維管束亜属 |
| 103 | 346 | ２号井戸 | ３段目 | | 櫛 | イスノキ |

・スギ（Cryptomeria japonica（L. f.）D. Don）　　スギ科スギ属

仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞がほぼ晩材部に限って認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞の壁は滑らか。分野壁孔はスギ型で、１分野に２～４個。放射組織は単列、１～15細胞高。

・ヒノキ（Chamaecyparis obtusa（Sieb. et Zucc.）Endlcher）　　ヒノキ科ヒノキ属

仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか～やや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞壁は滑らか。分野壁孔はヒノキ型～トウヒ型で、１分野に１～３個。放射組織は単列、１～15細胞高。

・ブナ属（Fagus）　　ブナ科

散孔材で、管孔は単独または放射方向に２～３個が複合して散在し、年輪界付近で径を減ずる。道管の分布密度は高い。道管は単穿孔および階段穿孔を有し、壁孔は対列状～階段状に配列する。放射組織は同性～異性Ⅲ型、単列、数細胞高のものから複合放射組織までである。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節（Quercus subgen. Lepidobalanus sect. Prinus）　　ブナ科

環孔材で、孔圏部は１～２列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１～20細胞高のものと複合放射組織とがある。

・カツラ（Cercidiphyllum japonicum Sieb. et Zucc.）　　カツラ科

散孔材で、管孔はほぼ単独で、まれに２～３個が複合して散在し、晩材部へ向かって管径を漸減させる。道管の分布密度は高い。道管は階段穿孔を有する。放射組織は異性Ⅱ型、１～２細胞幅、１～30細胞高。

・イスノキ（Distylium racemosum Sieb. et Zucc.）　　マンサク科イスノキ属

散孔材で、道管は横断面で多角形、ほとんど単独で散在する。道管の分布密度は比較的高い。道管は階段穿孔を有する。放射組織は異性Ⅱ型、１～３細胞幅、１～20細胞高。柔細胞は接線状または帯状で、放射方向にほぼ等間隔で配列する。

・サクラ属（Prunus）　　バラ科

散孔材で、管壁厚は中庸、横断面では角張った楕円形、単独または２～８個が複合、晩材部へ向かって管径を漸減させながら散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型、１～３細胞幅、１～30細胞高。

・トネリコ属（Fraxinus）　　モクセイ科

環孔材で、孔圏部は２～３列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減する。道管壁は厚く、横断面では円形～楕円形、単独または２個が複合、複合部はさらに厚くなる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、１～３細胞幅、１～40細胞高。

第４項　考察

樹種同定を行った木材は、井戸枠や井戸桶などの部材や溝跡に伴う杭材、さらに、箸、漆器、櫛、下駄、等の調度品と考えられる木製品、この他に、加工木、木っ端等に分類される。これら木材の樹種同定の結果、針葉樹・広葉樹各６種類の計12種類が認められた。全体を見ると、針葉樹の利用が70点と約９割を占め、とくにヒノキの利用が目立つ。

ヒノキの利用は、井戸枠や井戸桶、桶底板、曲物、箸、箆、人形、刃鞘、不明製品などに認められ、スギ、ツガ属、モミ属の利用は僅かに認められるのみである。とくに井戸枠は、分析を実施した全点がヒノキであった。ヒノキは、木理が通直で加工が容易であり、耐水性や防虫性に優れた材質を有する種類であり、使用部位や木材の材質を考慮した結果を反映している可能性がある。

一方、楔状、杭も、針葉樹の利用が優占する傾向が認められる。ただし、これらにはヒノキの利用が認められない。これら木製品の樹種構成をみると、楔状ではツガ属が多く、杭材では複維管束亜属が多い。ツガ属は比較的強度の高い材質を有する種類であり、この他に楔状に認められた広葉樹のコナラ節やトネリコ属も重硬で強度が高い種類である。なお、ここで楔状としている木製品は、形態的な特徴から楔と想定されるものである。これらが楔であった場合、使用時の打撃に耐える木材として強度の高い木材を意図した選択が行われている可能性がある。また、マツ属複維管束亜属は、松脂を多く含み、耐水性が高いことから、杭材として利用された可能性がある。

下駄は、中央部で分割された２個の部材で構成されており、19A・19Bと19C・19Dの２個体ある。樹種は全て

サクラ属であり、これらはセットの可能性がある。

下駄に関する分析調査は、これまでにも各地で実施されており、様々な樹種が確認されている（島地・伊東，1988；伊東，1990；伊東・久保，2002）。サクラ属の使用例は見られるが、下駄に使用される樹種の中では確認例は少ない。また、分析対象となった下駄は、そのほとんどが一木の連歯下駄や台と歯を別材とする差歯下駄であり、今回のような組合せ式の下駄の分析調査例は少ない。そのため、現時点では組合せ式の下駄の木材利用について、サクラ属の利用が一般的であったかは、さらに資料を蓄積し評価する必要がある。

**Ⅳ－２　用途別種類構成**

| 器種＼樹種 | カラマツ | 複維管束亜属 | モミ属 | ツガ属 | スギ | ヒノキ | ブナ属 | コナラ節 | カツラ | イスノキ | サクラ属 | トネリコ属 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 井戸枠 | | | | | | 12 | | | | | | | 12 |
| 井戸桶（側） | | | | | 1 | 2 | | | | | | | 3 |
| 井戸桶（底） | | | | 1 | | 1 | | | | | | | 2 |
| 桶柄？ | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 桶底板 | | | | | | 4 | | | | | | | 4 |
| 樽蓋 | | | | | 2 | | | | | | | | 2 |
| 栓 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 曲物 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 2 |
| 箸 | | | | | | 6 | | | | | | | 6 |
| 箱 | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 膳？ | 1 | | | 3 | | | | | 1 | | | | 5 |
| 篦 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 下駄 | | | | | | | | | | | 4 | | 4 |
| 櫛 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 人形 | | | | | | 1 | | | | | | | |
| 刃鞘 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 胴木 | | | | | | 1 | | | | | | | |
| 楔状 | | | 1 | 3 | | | | 1 | | | | 1 | 6 |
| 杭 | | 3 | | | | | | | | | | | 3 |
| 不明製品 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | 3 |
| 加工木 | 1 | 1 | 7 | 5 | 1 | 2 | 2 | 1 | | | | | 20 |
| 木っ端 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合　計 | 3 | 4 | 10 | 13 | 6 | 34 | 2 | 2 | 1 | 1 | 4 | 1 | 81 |

櫛は、常緑広葉樹のイスノキであった。イスノキは、暖温帯常緑広葉樹林の構成種であり、現在の山梨県には自生していない。このことから、他地域で製作された櫛が本地域にもたらされた可能性がある。イスノキは、重硬で緻密な材質を有しており、櫛材としてはツゲに次ぐ良材とされる。遺跡からの出土例も多く、これまでの統計資料（島地・伊東，1988；伊東，1990；伊東・久保，2002）によれば、ツゲよりも出土点数が多い。また、明治45年に編纂された「木材ノ工藝的利用」（農商務省山林局，1912）によれば、櫛としてはツゲを第一とするが、昔（江戸時代後期頃か）はツゲが島の産物ということで屋敷向けにはツゲが嫌われ、イスノキの櫛のみを使用したとされる。このことは、遺跡からイスノキの櫛が多く出土する要因となっている可能性がある。

加工木、木っ端には、多くの樹種が認められる。これらは、遺跡内で木材加工が行われた際の未製品や残滓と考えられ、遺跡内における木材利用を推定するうえで重要である。また、これらの試料からは、今回分析を行った木製品に認められなかったカラマツ・ブナ属などの樹種も認められている。これらの種類が、どのように利用されていたかは、今後の課題である。

本遺跡では、今回分析対象とした試料を含め大量の木製品が出土している。山梨県内では、当該期の木材利用に関しては、鰍沢町の鰍沢河岸跡で実施した分析例等があるが、分析調査例は少ない。そのため、今後も同様な分析調査を継続的に実施し、資料を蓄積してゆく必要がある。

## 第２節　漆器製作技術の検証

### 第１項　試料

試料は、樹種同定試料とした漆器５点（試料番号33A、33B、34、36、39）である。このうち、試料番号33A、33B、34、36の４点は椀、試料番号39は箱などの板状の部材である。

なお、椀４点のうち、試料番号33Bを除く３点は、椀内外面で漆の色が異なることから各面から漆片を採取している。したがって、漆薄片作製・鑑定を行う漆片は、計８点である。

### 第２項　方法

各漆片を合成樹脂で包埋し、樹脂を固化させる。漆片の断面が出るようにダイヤモンドカッターで切断し、表面を研磨する。スライドガラスに接着後、反対側も切断し、厚さが0.03～0.05㎜程度になるまで研磨し、仕上げの表面研磨を施してプレパラートとする。

プレパラートは、生物顕微鏡、落射蛍光顕微鏡、反射顕微鏡、偏光顕微鏡を用いて観察する。

第３項　結果

結果を表Ⅳ－３に示す。漆は、肉眼観察の結果、黒色漆と赤色漆の２種類に大別される。試料番号33A、33B、36の黒色漆は、いずれも黒色粒子を含む下地層の上に透明漆が１層塗布されたものである。下地層の黒色粒子は非常に微粒であり、炭粉に見られるような繊維組織は見られない。偏光顕微鏡および反射顕微鏡による観察では、金属反応は認められない。このことから、黒色微粒子は油煙と考えられる。また、下地層の表面にはクラックが多く認められる。この特徴は、柿渋を用いた時によくみられることから、下地層は柿渋に油煙を混ぜたものと考えられる。一方、赤色漆は、いずれも黒色の下地層の上に赤色粒子を含む漆層が１層塗布されている。赤色粒子は、いずれも赤鉄鉱であり、いわゆるベンガラを混和した赤漆と考えられる。試料番号39は、木地の上に黒色不透明の層が１層塗布されている。状況から、漆に油煙を混ぜた可能性があるが、下地層であるか漆層であるかは不明である。

**Ⅳ－３　漆断面観察結果**

| 試料番号 | 図版番号 | 器種 | 樹種 | 面 | 色 | 下地 | 漆層 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33A | 268 | 漆器椀 | トチノキ | 外 | 黒 | 柿渋＋油煙 | 透明漆 |
| | | | | 内 | 赤 | 柿渋＋油煙 | ベンガラ＋漆 |
| 33B | | 漆器椀 | トチノキ | 外 | 黒 | 柿渋＋油煙？ | 透明漆 |
| 34 | 269 | 漆器椀 | トチノキ | 外 | 赤 | 柿渋＋油煙 | ベンガラ＋漆 |
| | | | | 内 | 赤 | 柿渋＋油煙 | ベンガラ＋漆 |
| 36 | 270 | 漆器椀 | トチノキ | 外 | 黒 | 柿渋＋油煙 | 透明漆 |
| | | | | 内 | 赤 | 柿渋＋油煙 | ベンガラ＋漆 |
| 39 | | 漆器・黒 | ヒノキ | 内 | 黒 | | 油煙＋漆？ |

第４項　考察

漆器椀は、試料番号34は椀内外面とも肉眼観察では赤色を呈するが、試料番号33、36、39の漆器椀は外面が黒色、内面が赤色となる。黒色および赤色の漆塗布工程は、いずれの漆器椀でも同様であった。

黒色漆は、柿渋に油煙を混ぜた上に透明漆を１層塗布し、透明漆を通して下地を見せることにより表面が黒色を呈する。炭粉下地を施した漆器では、同様の技法がしばしば見られる。岡田（1995）は、この技法について、炭粉だけで十分に黒く、あえて黒色顔料を混和した漆層を塗布する必要がないこと、工程を簡略化し、さらに外見的に同様の効果が期待できること等を指摘している。今回の漆器についても、炭粉か油煙かの違いはあるものの、技法は同様と考えられる。

赤色漆は、いずれもベンガラを混ぜたものである。日本で利用される主な赤色顔料としては、ベンガラと水銀朱がある。水銀朱は水銀鉱床に伴って産出するために産地が限られる（市毛，1998）。一方、ベンガラは赤鉄鉱の他にも様々な鉄鉱物が利用され、鉄バクテリアによって生成される赤色沈殿物等も利用されていたことが明らかとなっている（本田，1997；織幡・沢田，1997）。そのため、水銀朱と比較すると、ベンガラの方が容易に利用できる状況であったと考えられる。また、近世では、江戸幕府により水銀朱の流通が厳しく管理されており、そうしたこともベンガラが多く利用されていた背景と考えられる。

## 第３節　繊維の材質

第１項　試料

試料は、２号井戸跡内から出土した縄１点（554）および筬２点（552・553）、３号井戸跡内から出土した布１片、４号井戸跡内から出土した縄１点の合計５点である。縄と布片については端部を切断し、筬については毛を数本抜き取り試料とし、薄片・作製鑑定を実施する。

第２項　方法

試料を合成樹脂で包埋し、樹脂を固化させる。試料断面が出るようにダイヤモンドカッターで切断し、表面を研磨する。スライドガラスに接着後、反対側も切断し、厚さが0.03～0.05mm程度になるまで研磨し、仕上げの表面研磨を施してプレパラートとする。

プレパラートは、生物顕微鏡および落射蛍光顕微鏡を用いて観察する。

第３項　結果

以下に、試料別の観察結果を記載する。

・縄

縄は、２号井戸跡内４段目および４号井戸跡内から出土した２試料ある。顕微鏡観察の結果、２試料とも同様の特徴を示す。これらは、少なくとも20本以上の細い繊維の束から成り、繊維を構成する細胞の特徴から植物由来であることが判断できる。ただし、今回の観察ではこれら植物の種類の同定には至らず、また、

繊維そのものの単位が明瞭でないことから断面形態および径も不明である。

・布片

布片は、３号井戸跡内から１点である。糸を格子状に編んだ布であり、糸は100本以上を撚っていると考えられる。これら繊維の径は非常に細くいずれも10μm以下であり、繊維の正確な本数は計測できない。布目（1992）を参考にすると、絹に似るが、保存状態が良好でないため断定はできない。

・箒

大・小の毛２点がある。径は、大が長径約280μm、短径約120μm、小が長径約180μm、短径約100μmとなる。いずれも横断面で多数の繊維細胞が集まっている様子が見られるが、外周の組織に破損した組織が見られないことから、大きなものから裂いて作ったものではないことがわかる。繊維の特徴から植物であり、軸方向組織は繊維細胞のみで構成され、通導組織（道管など）は認められない。径が異なるが、組織の特徴から同一種の可能性があるが、種類の同定には至らなかった。

第４項　考察

縄は植物由来であり、いずれも同じ種類を用いたことが推定された。このような縄に用いる植物としては、イネ、ヨシ、タケ類等のイネ科植物や、木本類ではヒノキ、マツ、シナノキ等が利用される。ただし、今回の試料は上記のいずれとも組織が一致しなかったことから、種類は不明である。

布片は、細い糸を格子状に編んだものであり、糸を構成する繊維は径10μm以下であり、少なくとも100本以上が束ねられている。組織断面の特徴から絹の可能性が高いが、断定には至らなかった。

箒の毛は、微細な植物繊維を用いている。農商務省山林局（1912）によれば、箒の毛に利用される植物としてはシダやシュロが挙げられている。今回の繊維は、シュロの繊維に似るが、繊維細胞のみで特徴に乏しく、種類の同定には至らなかった。

## 第４節　種実遺体からみた植物利用

第１項　試料

試料は、２号井戸跡および４号井戸跡内から出土した種実遺体７試料（試料番号１～６、14）である。なお、各試料中には複数個体の種実遺体が認められており、各試料に認められる種類や数量は、結果と共に表Ⅳ－４に記す。

第２項　方法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、種実遺体の形態的特徴と当社所有の現生標本との比較から種類を同定する。同定後の種実遺体等は種類毎にビン詰めをおこない、乾燥した試料は乾燥剤を共に入れて保存する。水湿を帯びた試料は、50%程度のエタノール溶液による液浸保存処理を施す。

第３項　結果

結果を表Ⅳ－４に示す。種実遺体の状態は比較的良好である。木本９種類（針葉樹のカヤ、スギ、広葉樹のオニグルミ、ヒメグルミ、アンズ、ウメ、モモ、サクラ属、センダン）、草本４種類（メロン類、トウガン、ヒョウタン類、ニホンカボチャ近似種）の種実が同定される。この他に、広葉樹の葉片、炭化材、魚の鱗、二枚貝、土器片なども検出される。以下に、同定された種実遺体の形態的特徴などを、木本、草本の順に記す。

＜木本＞

・カヤ（Torreya nucifera Sieb. et Zucc.）　イチイ科カヤ属

種子破片が同定された。灰褐色、倒卵体で両端は尖る。完形ならば長さ20-25mm、径13-15mm程度か。種皮は硬く骨質で、表面には10数本の浅い縦溝が走る。

・スギ（Cryptomeria japonica（L. f.）D.）　スギ科スギ属

球果が同定された。かなり磨耗しており状態が悪い。茶褐色、木質で球形。径20mm程度。状態が良ければ、上縁に４～６個の歯牙をもつ楔形の種鱗が螺旋状に配列する。

・オニグルミ（Juglans mandshurica Maxim. subsp. Sieboldiana（Maxim.）Kitamura）　クルミ科クルミ属

核破片が同定された。茶褐色、完形ならば広卵形で、先端部分がやや尖る。長さ31mm、幅22.5mm程度。明瞭な縦の縫合線があり、縫合線に沿って半分に割れている。表面は溝状の浅い彫紋が縦方向に走り、ごつご

つしている。内部には隔壁と子葉が入る２つの大きな窪みがあり、表面は平滑。

・ヒメグルミ（Juglans mandshurica Maxim. subsp. Sieboldiana (Maxim.) Kitamura var. cordiformis (Makino) Kitamura））　クルミ科クルミ属

核破片が同定された。灰褐色、心形でやや偏平。先端は尖る。明瞭な縦の縫合線があり、縫合線に沿って半分に割れている。長さ30mm、幅26mm程度。核表面はオニグルミに比べ平滑で、正中線上に浅い凹部がある。なお、細片のため上述のオニグルミとの区別が困難である個体は、クルミ属（Juglans）にとどめた。

・クリ（Castanea crenata Sieb. et Zucc.）　ブナ科クリ属

果実破片が同定された。灰褐色。完形ならば三角状広卵形、一側面は偏平で反対面はわずかに丸みがある。大きな破片で19mm程度。果皮表面は平滑で、ごく浅く微細な縦筋がある。内面には内果皮（いわゆる渋皮）がある。着点は灰褐色で基部の全面を占め、ざらつく。基部に着点の一部が残る点を同定根拠とした。

## Ⅳ－４　種実遺体同定結果

| | | | | 木本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 草本 | | | | 魚の鱗 | 二枚貝 | 土器 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 種類名 | カヤ | スギ | オニグルミ | ヒメグルミ | クルミ属 | クリ | ブナ科 | アンズ | | ウメ | | モモ | | サクラ属 | センダン | | 広葉樹 | 炭化材 | メロン類 | トウガン | ヒョウタン類 | ニホンカボチャ近似種 | | | | | | |
| | | | 部位 | 種子 | 球果 | 核 | 核 | 核 | 果実 | 果実 | 核 | | 核 | | 核 | | 核 | 核 | | 葉 | | 種子 | 種子 | 種子 | 種子 | | | | | | |
| 試料名 | 遺構名 | 採取地点名 | 状態 | 破片 | 完形 | 破片 | 破片 | 破片 | 破片 | 破片 | 完形 | 破片 | 完形 | 破片 | 完形 | 破片 | 破片 | 完形 | 破片 | 破片 | 破片 | | | | | | | | 破片 | 破片 | 破片 |
| No.1(60) | 2号井戸内 | １段目 | | － | － | － | － | － | 1 | － | 2 | 1 | － | － | 4 | 6 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| No.2(60) | 2号井戸内 | ２段目 | | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 2 | 1 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| No.3(60) | 2号井戸内 | ３段目 | 樋内遺物 | － | － | － | 1 | － | － | － | 6 | 1 | 7 | 2 | 39 | 22 | － | 2 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | | | | － | － | － | － | 1 | － | － | 1 | － | － | 2 | 3 | 1 | － | － | － | － | 1 | 7 | － | 1 | － | － | － | 1 | | | |
| | | | カヤの実 | 10+ | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | | | ？種 | － | 1 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| No.4(60) | 2号井戸内 | ４段目 | | 5 | － | － | － | － | － | 1 | － | － | 4 | 2 | 14 | 3 | － | 1 | － | － | － | 5 | － | 1 | － | 1 | 2 | － | | | |
| No.5(60) | 2号井戸内 | ５段目 | | 24 | － | 1 | － | － | 1 | 3 | 8 | 4 | 50 | 20 | 34 | 20 | － | 2 | 2 | + | － | 1 | 2 | － | 1 | 2 | － | － | | | |
| No.6(61) | 2号井戸 | ３段目 | 井戸樋遺物 | － | － | － | － | － | － | － | 1 | － | － | － | 1 | 2 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | | | |
| No.14 | 4号井戸 | | 桃の種 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 2 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | | | |

注）＋は細片のため個体推定が困難であることを示す

注）数字＋は数字以上の個体推定が推定されることを示す

・ブナ科（Fagaceae）

果実破片が同定された。表面は平滑で、ごく浅く微細な縦筋がある。上述のクリの他に、コナラ属やシイ属も同様の果実表面形態を持つため、ブナ科にとどめた。

・アンズ（Prunus Armeniaca L.）　バラ科サクラ属

核（内果皮）の完形、破片が同定された。茶褐色、レンズ状の広楕円形。長さ20-25mm、幅18-22mm、厚さ15mm程度。先端は鈍端、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。一方の側面に縫合線が発達し、縫合線に沿って半分に割れた個体や、縫合線上に齧歯類（ネズミなど）によると考えられる食害痕がみられる。内果皮は厚く硬く、表面には浅く微細な凹点が網目模様をなし、ざらつく。

・ウメ（Prunus Mume (Sieb.) Sieb. et Zucc.）　バラ科サクラ属

核（内果皮）の完形、破片が同定された。茶褐色、レンズ状の広楕円形。長さ18-22mm、幅13-16mm、厚さ13mm程度。先端はやや尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。一方の側面に縫合線が発達し、縫合線に沿って半分に割れた個体や、縫合線上に齧歯類（ネズミなど）によると考えられる食害痕がみられる。内果皮は厚く硬く、表面には円形の小凹点が分布する。

・モモ（Prunus parsica Batsch）　バラ科サクラ属

核（内果皮）の完形、破片が同定された。茶褐色、広楕円形でやや偏平。先端部はやや尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。長さ25～30mm、幅19～24mm、厚さ14～18.5mm程度。一方の側面に縫合線が発達し、縫合線に沿って半分に割れた個体や、縫合線上に齧歯類（ネズミなど）によると考えられる食害痕が

みられる。内果皮は厚く硬く、表面は縦に流れる不規則な線状の窪みがあり、全体として粗いしわ状に見える。状態が悪いため前述のアンズ、ウメとの区別が不可能であった個体をサクラ属（Prunus）にとどめた。

・センダン（Melia Azedarach L. var. subtripinnata Miquel）　センダン科センダン属

核が同定された。灰褐色、楕円体で上面観星形。長さ10mm、径8mm程度。浅く広い５～６個の縦溝と縦隆条が交互に配列する。内部は５室程度あり、長楕円形で偏平の種子が入る痕跡がみられる。

＜草本＞

・メロン類（Cucumis melo L.）　ウリ科キュウリ属

種子が同定された。淡灰褐色、狭倒皮針形で偏平。長さ6.5mm、幅3mm程度。基部に「ハ」の字形の凹みがある。表面は比較的平滑で、縦長の細胞が密に配列する。藤下（1984）の基準によると、本遺跡出土のメロン類はマクワ・シロウリ型の中粒種子（長さ6.1～8.0mm）である。

・トウガン（Benincasa hispida（Thunb. ex Murray）Cogn.）　ウリ科トウガン属

種子が同定された。淡灰褐色、倒卵形でやや偏平。長さ11mm、幅7mm、厚さ2mm程度。基部は切形で楕円形の臍がある。種子の背腹両面の全周に縁がある。縁には段差があり、薄くなっている。種皮は厚くやや堅い。

・ヒョウタン類（Lagenaria siceraria Standl.）　ウリ科ヒョウタン属

種子が同定された。淡灰褐色、倒広皮針形でやや偏平。長さ11mm、幅8mm、厚さ2.5mm程度。基部は切形で楕円形の臍がある。両面外縁部に発達する２本の幅広く低い稜は明瞭であるので、完熟の種子である。

・ニホンカボチャ近似種（Cucurbita cf. moschata Duch.）　ウリ科カボチャ属

種子が同定された。淡灰褐色、倒卵形で偏平。長さ11mm、幅7mm、厚さ2mm程度。種皮は厚くやや堅く、表面は平滑である。基部には切形の大きな臍がある。背腹両面の全周にある縁は明瞭で、段差があり薄くなっていることから、トウガンとは区別され、カボチャの類に相当すると考えられる。

第４項　考察

井戸跡内から出土した種実遺体には合計13種類が認められた。この中には、種実が食用等に利用できる有用植物が多く含まれており、大陸などから持ち込まれた栽培植物と自生していたと考えられる種類と分類される。

アンズ、ウメ、モモ、メロン類、トウガン、ヒョウタン類、ニホンカボチャ（今回は近似種）は、渡来した栽培植物とされる。アンズ、ウメ、モモは、観賞用のほか、果実や核の中にある仁（種子）などが食用、薬用等に広く利用される。メロン類、トウガンは果実が食用に、ニホンカボチャは果実、種子が食用に、ヒョウタン類は果実が容器などに利用される。

一方、自生する有用植物としては、オニグルミ、ヒメグルミ、クリなどの堅果類が挙げられる。３種類ともアク抜きをせずに生食可能であり、長期保存も可能で、収量も多い。そのため、古くから栽培されたり、保護されている種類である。カヤは種子が食用や油採に、センダンは種子が薬用に利用可能である。

今回認められた種実遺体は、遺構からの出土状況から、井戸使用時、あるいは井戸を埋める際に廃棄された残滓と考えられる。したがって、食用等可能な有用植物などは、特に食物残滓として廃棄された可能性がある。また、栽培植物のアンズやモモなどは、長期保存や運搬には向かない種類であり、周辺地域で栽培・収穫されたものを利用した可能性がある。

## 第５節　動物遺存体からみた動物利用

第１項　試料

試料は、２号井戸跡および３号井戸跡内から出土した骨・貝などの動物遺存体６試料である。これら６試料は採取地点別に分けられており、１試料内に複数の骨や貝が認められるものもある。試料の詳細は、結果とともに表Ⅳ－５・６に示す。

第２項　方法

試料を肉眼およびルーペで観察し、その形態的特徴から、種類・部位の同定を行う。計測は、デジタルノギスを用いて測定する。なお、同定・解析は金子浩昌先生の協力を得ている。

第３項　結果

検出された分類群の一覧を表Ⅳ－５に、同定結果を表Ⅳ－６に示す。検出された骨貝類は、貝類１種類（マ

シジミ）、魚類５種類（タラ類・ボラ・ブリ・カツオ・メバル類）、鳥類１種類（ニワトリ）、哺乳類１種類（ニホンジカ）に同定される。この他に、鼈甲の加工品（簪？）も認められる。以下に、各試料の結果および所見を記す。

**Ⅳ－５　出土動物分類群一覧**

軟体動物門　Phylum　Mollusca
　二枚貝綱　Class　Bivalvia
　　異歯亜綱　Order　Heterodonta
　　マルスダレガイ目　Order Veneroida
　　シジミ科　Family　Corbiculidae
　　マシジミ　*Corbicula leana*
脊椎動物門　Phylum　Vertebrata
　硬骨魚綱　Class　Osteichthyse
　　条鰭亜綱　Subclass　Actinopterygii
　　タラ目　Order　Gadiformes
　　タラ科　Family　Gadidae
　　タラ類　Gadidae gen. et sp. indet.
　　スズキ目　Order　Perciformes
　　ボラ科　Family　Mugilidae
　　ボラ　*Mugil cephalus cephalus*
　　アジ科　Family　Carangidae
　　ブリ　*Seriola quinqueradiata*
　　サバ科　Family　Scombridae
　　カツオ　*Katsuwonus pelamis*
　　カサゴ目　Order　Scorpaeniformes
　　フサカサゴ科　Family　Scorpaenidae
　　メバル類　*Decapterus* sp.
　鳥綱　Class　Aves
　　キジ目　Order　Galliformes
　　キジ科　Family　Phasianidae
　　ニワトリ　*Gallus gallus* var. *domesticus*
　哺乳綱　Class　Mammalia
　　ウシ目（偶蹄目）　Order　Artiodactyla
　　シカ科　Family　Cervidae
　　ニホンジカ　*Cervus nippon*

・２号井戸跡（３段目）

a. 魚類

ボラの左前鰓蓋骨と鱗が検出される。前鰓蓋骨は近心部を失っている。鱗は、前記の前鰓蓋骨を持つ個体にほぼ一致するサイズである。この他に種類・部位不明の魚骨片が１点検出される。

b. 加工品

簪と思われる鼈甲破片である。丸みのある端部と、細長い中間部があり、斜めに切断される状況が認められるが、これらは一つものが剥離破損したものであるかは不明である。

・２号井戸跡（５段目）

a. 魚類

タラ類の右歯骨、ブリの左角骨、カツオの尾椎、メバル類の右主上顎骨が検出される。この内、メバル類の右主上顎骨は、遠心端をわずかに欠損する程度であり、ほぼ完形である。この他に、種類不明の腹椎・鱗や種類・部位不明の魚骨片などが検出される。

・２号井戸跡（桶付着しじみ貝）

検出された貝類は、マシジミである。土形のものと、殻皮だけが残存するもの、殻および殻皮も残らないが印象のみ残存する土形のもの、などが各１個体検出される。いずれも殻長20.0㎜前後と推定される。

・３号井戸跡

a. 貝類

マシジミである。殻皮と殻の一部がみられる。殻長22.0～25.0㎜前後と推定される。

b. 哺乳類

ニホンジカの左鹿角である。角座部分から第１枝までが残る自然落角と考えられる。全面はかなり風化し、自然の鹿角面は一部に残るのみで、土壌中に埋没している間の腐食の影響と考えられる。角座部分径は、60.59×52.37㎜を測る。

・３号井戸跡

a. 鳥類

ニワトリの胸骨片で、胸骨稜の前端部のみが残存する。前端部周縁は腐食のために消失したと考えられる。中型のサイズである。

第４項　考察

井戸跡内から出土したこれら骨・貝類は、出土状況から種実遺体と同様に、井戸使用時、あるいは井戸を埋める際に廃棄された残滓と考えられ、検出された種類を見ると食物残滓の可能性がある。

シジミ類については殻皮や印象のみが残存する程度であり、マシジミ／ヤマトシジミの区別が困難であった。ただし、本遺跡が内陸部であることを考慮すると淡水産マシジミとするのが適当と考えられることから、ここではマシジミと同定した。なお、計測値はヤマトシジミを参考としており、今回認められた殻長は約20～25㎜前後のものが主体であった。この大きさは、近世の遺跡から出土するシジミ類に多くみられ、また、採集される貝としては標準的と考えられる。

魚類は、検出された種類はいずれも海産魚であった。また、種類不明とした椎骨もコイやフナ類など淡水魚ではなく、海産魚に由来すると考えられる。同定されたタラ類・ボラ・ブリ・カツオ・メバル類は、近世遺跡

から出土例を多くみる。本遺跡は内陸部に位置することから、搬入の可能性があり、海魚に対する関心が高かったことが窺われる。タラは、検出された個体から推定すると体長35cm以上になると考えられる。一方、カツオ・ブリ・メバル類などは、いずれも小型で体長25cm前後と考えられる。

今回の分析結果、シジミ類や海産魚が認められたが、これらが当時の動物利用全体を反映しているか、今後、さらに資料を蓄積し評価する必要がある。

なお、３号井戸跡から出土したニホンジカの鹿角は、角幹部と枝部がほぼ同じ高さに切断されている。切断面が平らで、鋸で切断された切り傷が斜めに付いている。第１枝と幹部を別々に使う目的があったと考えられる。

**Ⅳ－６　骨貝類同定結果**

| 料名 | 種類 | 部位 | 左右 | 部分 | 数量 | 計測値(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ２号井戸内<br>３段目 | ボラ | 前鰓蓋骨 | 左 | 近心部欠 | 1 | 推定全長45.0 | 鱗は、前鰓蓋骨を持つ個体と<br>ほぼ一致するサイズ |
| | | 鱗 | | | 3 | | |
| | 魚類 | 不明 | | | 1+ | | |
| | 加工品 | 鼈甲 | | 簪? | 3 | | |
| ２号井戸内<br>五段目魚骨 | タラ類 | 歯骨 | 右 | | 1 | 近心部高6.26<br>推定全長57.0<br>近心端～遠心端47.0 | |
| | ブリ | 角骨 | 左 | | 1 | 全長15.33 | |
| | カツオ | 尾椎 | | | 1 | 椎体長7.74 | |
| | メバル類 | 主上顎骨 | 右 | ほぼ完形 | 1 | 現長26.17 | 遠心端をわずかに欠損 |
| | 魚類 | 腹椎 | | | 1 | 椎体長5.87 | |
| | | 鱗 | | 破片 | 1 | | |
| | | 不明 | | 破片 | 2 | | |
| ２号井戸内<br>桶付着しじみ貝 | マシジミ | 本体 | | 殻皮 | 1 | 殻長20± | |
| | | | | 土形 | 1 | 殻長20± | |
| ３号井戸　No.8 | マシジミ | 本体 | | 殻 | 1+ | | |
| | | | | 殻皮 | 11 | 殻長22.0～25.0± | 内、1点は土塊ごと採取 |
| | ニホンジカ | 鹿角 | 左 | 角座部分～<br>第1枝基部 | 1 | 角座部分径<br>60.59×52.37 | 自然落角,角幹部と枝部は、<br>ほぼ同じ高さに切断 |
| ３号井戸内 | ニワトリ | 胸骨 | | 胸骨稜前端部 | 1 | | 中型サイズ |

## 第６節　古植生復元

### 第１項　試料

試料は、２号井戸跡覆土から採取された土壌試料６点である。これら試料のうち、井戸機能時の情報を最も良好に保存されていると考えられる２号井戸底部５段目桶内底部土壌（試料番号６）を対象とし、花粉分析を実施する。

### 第２項　方法

試料約10ｇについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛：比重2.3）よる有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス（無水酢酸９：濃硫酸１の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作成し、光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。

結果は同定・計数結果の一覧表、および主要花粉化石群集の層位分布図として表示する。図中の木本花粉は木本花粉総数を、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数をそれぞれ基数として、百分率で出現率を算出し図示する。

### 第３項　結果

結果を表Ⅳ－７・図Ⅳ－８に示す。図表中で複数の種類をハイフォンで結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。

花粉化石は豊富に産出し、その保存状態も良好である。木本花粉はマツ属複維管束亜属が優占し、コナラ亜属・ツガ属などを伴う。草本花粉ではイネ科が多産し、アカザ科などが認められる。

第４項　考察

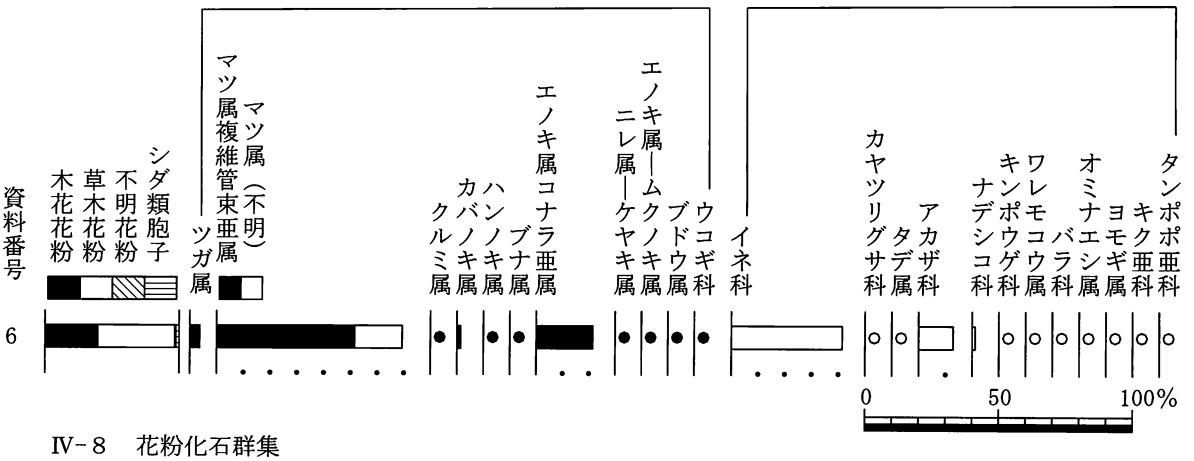
木本類の花粉では、マツ属複維管束亜属が多産する。日本に生育するマツ属複維管束亜属（いわゆるニヨウマツ類）には、アカマツ、クロマツ、リュウキュウマツの３種類がある。現在の分布や本遺跡の立地などを考慮すると、今回産出した複維管束亜属はアカマツに由来する可能性が高い。アカマツは陽樹であり、裸地などの陽地に先駆的に生育し、環境の適応性も広い種類である。中～近世では、森林伐採等による二次林の拡大や植林等により複維管束亜属の花粉が増加することが指摘されている（たとえば波田，1987など）。試料の堆積年代など検討課題が残るが、井戸跡機能時の堆積物であった場合、今回認められた花粉化石の組成は都市周辺部での伐採などによる陽地の拡大や山地・街道・庭園へのマツの植林等に由来する可能性がある。

マツ属以外の木本花粉では、コナラ亜属が比較的多く検出される。コナラ亜属には人里周辺の二次林（雑木林）を構成するクヌギやコナラが含まれる。クヌギやコナラは薪炭材として優良であり、クヌギやコナラが生育する二次林は、薪炭林として管理・維持されてきた（平井，1979）。本遺跡北側の山地南斜面等にクヌギーコナラ群集がみられる（宮脇，1985）ことから、コナラ亜属の花粉は都市周辺部の山林に見られた二次林に由来する可能性がある。

一方、草本類についてみると、イネ科・アカザ科が多く認められる。とくにイネ科は草本花粉全体の約７割を占め、アカザ科を含めると約９割となる。イネ科には栽培植物であるイネやムギ、さらに、タケ・ササ類や陽地に生育する雑草類も多く含まれる。アカザ科は、海岸の砂地等に生育する種類を多く含むが、山野、道ばた、畑地等に生育する種類も含まれる。イネ科については、本遺跡周辺での稲作に由来する可能性もあるが、他の種類と比較してイネ科やアカザ科の産出個数が多い。このことから、井戸跡周辺にこれらの雑草類が生育していた可能性もある。この他の草本類も、道ばた等に生育する雑草類を含む種類が多いことから、調査地点周辺に生育する雑草類に由来すると考えられる。

**Ⅳ－７　花粉分析結果**

| 種　類 | 試料番号 6 |
|---|---|
| 木本花粉 | |
| ツガ属 | 8 |
| マツ属複維管束亜属 | 113 |
| マツ属（不明） | 39 |
| クルミ属 | 1 |
| カバノキ属 | 3 |
| ハンノキ属 | 2 |
| ブナ属 | 1 |
| コナラ属コナラ亜属 | 47 |
| ニレ属－ケヤキ属 | 1 |
| エノキ属－ムクノキ属 | 2 |
| ブドウ属 | 1 |
| ウコギ科 | 1 |
| 草本花粉 | |
| イネ科 | 229 |
| カヤツリグサ科 | 1 |
| タデ属 | 1 |
| アカザ科 | 71 |
| ナデシコ科 | 6 |
| キンポウゲ科 | 1 |
| ワレモコウ属 | 1 |
| バラ科 | 1 |
| オミナエシ属 | 2 |
| ヨモギ属 | 1 |
| キク亜科 | 5 |
| タンポポ亜科 | 1 |
| 不明花粉 | 6 |
| シダ類胞子 | |
| シダ類胞子 | 13 |
| 合　計 | |
| 木本花粉 | 219 |
| 草本花粉 | 320 |
| 不明花粉 | 6 |
| シダ類胞子 | 13 |
| 総計（不明を除く） | 552 |




Ⅳ-８　花粉化石群集

出現率は、木本花粉は木本花粉化石総数、草本花粉・シダ類胞子は総数より不明花粉を除く数を基数として百分率で算出した。なお、●○は１％未満を示す。

**引用文献**

藤下典之（1984）出土遺体よりみたウリ科植物の種類と変遷とその利用法．「古文化財の自然科学的研究」，古文化財編集委員会編，p. 638-654，同朋舎．

平井信二（1979）木の事典　第２巻．かなえ書房．

本田光子（1997）出土ベンガラの多様性について．日本文化財科学会第14回大会研究発表要旨集，p. 78-79．

伊東隆夫（1990）日本の遺跡から出土した木材の樹種とその用途Ⅱ．木材研究・資料，26，p. 91-189，　京都大学木材研究所．

伊東隆夫・久保るり子（2002）日本の遺跡から出土した木材の樹種とその用途Ⅲ．木材研究・資料，38，　p. 39-217，京都大学木質科学研究所．

市毛　勲（1998）新版　朱の考古学．296p.，雄山閣．

波田善夫（1987）松くい虫被害対策として実施される特別防除が自然生態系に与える影響評価に関する研究　－松くい虫等被害に伴うマツ林生態系の攪乱とその動態について－，資料集，p. 41-49，日本自然保護協会．

宮脇　昭編著（1985）日本植生誌　中部，604p.，至文堂．

農商務省山林局編（1912）木材ノ工藝的利用．1308p.，大日本山林會．

布目順郎（1992）目で見る繊維の考古学　繊維遺物資料集成．314p.，染織と生活社．

岡田文男（1995）古代出土漆器の研究　顕微鏡で探る材質と技法．190p.，京都書院．

降幡順子・沢田正昭（1997）酸化鉄系赤色顔料の基礎的研究．日本文化財科学会第14回大会研究発表要　旨集，p. 76-77．

島地　謙・伊東隆夫編（1988）日本の遺跡出土木製品総覧．296p.，雄山閣．

# 第Ⅴ章　まとめ

## 第１節　遺構について

１．時期区分

今回の調査では、中世から近世に属する井戸６基、溝状遺構９条、土坑６基、暗渠３基、ピット59基の総数83基が確認された。本遺跡においては、層位的な遺構の時期区分はできないため、①出土資料による遺構廃絶年代の推定、②遺構の切合関係、③遺構の主軸方位の違い、④文献史料による土地利用上の改変などに基づき、時期区分を行った（表Ⅴ－２）。この結果、中世、近世に大別した。近世については、さらにⅠ期：17世紀後半、Ⅱ期：18世紀前半（宝永元年～享保９年の柳沢氏領有期）、Ⅲ期：18世紀中葉から19世紀初頭、Ⅳ期：19世紀中葉から幕末の４つに細分した。

２．調査区の位置

本発掘調査地は中世段階では戦国期城下町の南端部にあたり、近世段階においては、近世甲府城の「山手御門」北側に位置する内郭の武家屋敷地に位置し、「懐宝甲府絵図　第一版、第二版」（山梨県立図書館蔵）（図Ⅴ－１）では、「桜井」、「北条、久田」の姓を記した部分にあたる。

３．遺構変遷の概観

＜中世（図Ⅴ－３：中世）＞

中世の遺構としては、16世紀後半の遺物（志戸呂製品など）を少量出土した１号井戸、１号土坑、１号溝状遺構（１号土坑との切合関係より３号土坑、８号溝状遺構も本段階に属する可能性がある）がある。周辺遺跡（甲府城下町遺跡（日向町遺跡第1地点）、甲府城下町遺跡（桜シルク跡）Ａ・Ｂ区など）を含め遺構の分布は、散在的で積極的な土地利用が見られない状況である。

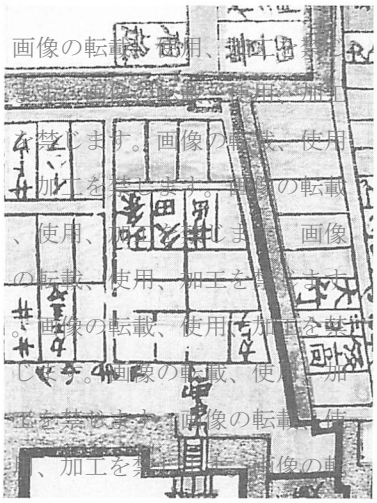
＜近世（図Ⅴ－３：近世Ⅰ～Ⅳ期）＞

Ⅰ期では５号溝状遺構が確認され、肥前系唐津の大鉢の伏せた状態及びかわらけや鎌などの出土遺物により墓坑と思われる。甲府城下町遺跡（桜シルク跡）Ａ区の調査成果と合わせ、柳沢氏入部以前の調査区周辺は空地であった可能性が考えられる。

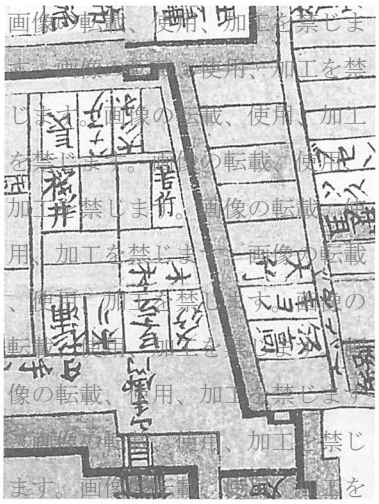
Ⅱ期では該期の遺物を少量出土した杭列を伴う３号溝状遺構があり、該期絵図の「甲府御城下絵図」（柳沢文庫蔵）に見られる「藪田五郎右衛門」の屋敷地裏手側（北端）を東西方向に延びる区画との関わりが示唆される。

Ⅲ期では６号土坑（木棺を伴う墓坑）及び５号～６号井戸が確認されている。該期絵図の「甲府城下町絵図」（坂田家蔵）における調査地点は空地であり、６号土坑はこの段階の埋葬の可能性がある。５号～６号井戸は該期の陶磁器、土器、木製品、銭貨などが出土し、また覆土からは炭化物が検出されたことから享和３年（1803年）年４月３日の大火によって廃絶された井戸の可能性がある。

Ⅳ期では２号～４号井戸、２号土坑、４号・７ａ・７ｂ号溝状遺構、１号～３号暗渠が確認されている。２号～４号井戸は該期の陶磁器、土器、土製品をはじめ多量の木製品が出土している。２号土坑は、金属製品（煙管、不明銅製品など）が出土し、墓坑と考えられ、該期絵図の「甲府郭内外邸第図」（山梨県立図書館蔵）及び「甲府城下絵図」（山梨県立図書館蔵）における調査地点が空地であり、この段階の埋葬の可能性が



懐宝甲府絵図　第一版（嘉永２年〈1849年〉）
山梨県立図書館蔵



懐宝甲府絵図　第二版（嘉永２年〈1849年〉以降）
山梨県立図書館蔵

Ⅴ－１　甲府城下町絵図（部分）

## Ⅴ－２　遺構変遷

| 時期区分 | | | | 年代 | 井戸 | 溝状遺構 | 土坑 | 暗渠 | 土地区画有無 | 拝領者 | 絵図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 時代 | | 甲府城支配者 | 地震・火災 | | | | | | | | |
| 中世 | | | | | | | | | | | |
| | | | 1498年明応地震 | 1500 | | | | | | | |
| | | | | 1550 | １？ | 1 | 1 | | | | |
| 近世 | Ⅰ期 | 徳川義直 | 1605年慶長地震 | 1600 | | | | | | | |
| | | 幕府直轄<br>甲府城番 | | 1650 | | 5 | | | 不明 | | 極秘諸国城図<br>寛永９(1632)年～寛文元(1661)年<br>城山講演管理事務所蔵 |
| | | 徳川綱豊 | | 1700 | | | | | 不明 | | 甲府城内屋敷図<br>元禄２(1689)年～宝永元(1704)年<br>柳沢文庫蔵 |
| | | | 1703年元禄地震 | | | | | | | | |
| | Ⅱ期 | 柳沢吉保・<br>吉里 | 1707年宝永地震 | | | | | | | | |
| | | | | | | 3 | | | 土地区画あり | 「藪田五郎右衛門重守」<br>：俵取3000享保4年(1719年)<br>御家老 | 甲府御城下絵図<br>宝永元年(1704)年～享保９<br>(1724)年<br>柳沢文庫蔵 |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 土地区画なし | 「柳沢市正」<br>＝藪田五郎右衛門重守 | 甲府城下絵図<br>宝永元年(1704)年～享保９<br>(1724)年<br>柳沢文庫蔵 |
| | | | 1727年火災 | | | | | | | | |
| | Ⅲ期 | 幕府直轄<br>甲府勤番支配 | | | | | | | | | |
| | | | | 1750 | | | 6 | | 土地区画なし<br>空地 | | 甲府城下町絵図<br>元文３(1738)年<br>坂田家蔵 |
| | | | 1782年関東地震 | | | | | | | | |
| | | | 1803年火災 | 1800 | 5･6 | | | | | | |
| | Ⅳ期 | | | | | | 2 | 1･2･3 | 土地区画なし<br>空地 | | 甲府郭内外邸第図<br>文政年中(1818～1830)<br>山梨県立図書館蔵 |
| | | | | | | | | | 土地区画なし<br>空地 | | 甲府城下絵図<br>弘化２(1845)<br>山梨県立図書館蔵 |
| | | | | 1850 | 2･3･4 | 4 | | | 土地区画あり | 「桜井」名あり | 懐宝甲府絵図　第一版<br>嘉永２(1849)年<br>山梨県立図書館蔵 |
| | | | | | | | | | 土地区画あり | 「北条」:北条新蔵(1400俵取)<br>文久元年(1861年)甲府勝手小普請<br>「久田」:久田右近(500俵取)<br>天保4年(1833年)甲府勝手小普請<br>天保9年(1838年)甲府勤番士 | 懐宝甲府絵図　第二版<br>嘉永２(1849)年以降<br>山梨県立図書館蔵 |
| | | | 1854年安政東海地震 | | | | | | | | |
| | | | | | | 7a・7b | | | 土地区画あり<br>空地 | | 甲府絵図<br>文久２(1862)年<br>狩野文庫(東北大学付属図書館)蔵 |
| 近代 | | | | | | | | | 土地区画なし<br>空地 | | 山梨県下甲府之図<br>明治９(1876)年<br>山梨県立図書館蔵 |
| | | | | 1900 | | | | | 土地区画なし<br>空地 | | 甲府市全図<br>明治37(1904)年改正<br>山梨県立図書館蔵 |
| | | | | | | | | | 土地区画なし<br>空地 | | 甲府市全図<br>大正10(1921)年<br>山梨県立図書館蔵 |
| | | | 1923年大正関東地震 | | | | | | | | |
| 現在<br>(昭和初期) | | | | | | | | | 土地区画なし<br>空地 | | 甲府市全図<br>昭和４(1929)年<br>山梨県立図書館蔵 |

ある。４号溝状遺構は、18世紀中葉～幕末段階の陶磁器をはじめ土器、土製品、石製品（硯）、金属製品（寛永通宝、煙管、釘など）などが多量に出土しており、Ｎ－20°－Ｅの軸線をとる。該期絵図の「懐宝甲府絵図第一版、第二版」（山梨県立図書館蔵）（図Ⅴ－１）には、「桜井」、「北条、久田」の居住者の氏名が見られ、この段階の屋敷を南北に区画する境界の塀か溝跡と考えられる。７ａ・７ｂ号溝状遺構は18世紀後半～明治初頭にかけての陶磁器、土器などの他、瓦がまとまって出土しているが、該期絵図に対応すると考えられる区画が見られないため、今後検討を要するものである。１号～３号暗渠は19世紀代の陶磁器が僅かに出土しているのみで時期決定は困難であるが、該期の屋敷内の居住に伴い配置された可能性がある。

以上のように、本調査区では戦国期の城下町形成を契機とする墓坑の構築及び近世期の武家屋敷の区割りと井戸などの構築が確認された。特に本調査区周辺地域は、Ⅳ期後半（幕末期）の甲府勤番士の頻繁な異動が行われる以前、すなわちⅡ期（柳沢市正の拝領）以降、Ⅳ期前半（19世紀前半）までは空閑地となり、他の武家屋敷地との土地利用の違いが確認され、幕末期の拝領者の経歴等から推測すると近世甲府城下町における「山流し地」としての土地利用を示唆する可能性がある。また、井戸の多さは甲府勤番士の屋敷地としてⅣ期以降の活発な土地利用と水の枯渇しやすい地理的影響によるものと考えられる。

## Ⅴ－３　４号溝状遺構 磁器・陶器・炻器・土器 器種組成表

| 材質 | | 磁器 | | | | | | 陶器 | | | | | | | | 炻器 | | | | | | 土器 | | | | | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 器類 | 産地 | 肥前系 | | 平戸系 | | 瀬戸・美濃系 | | 肥前系 | | 瀬戸・美濃系 | | 京・信楽系 | | 産地不明 | | 肥前系 | | 堺系 | | 産地不明 | | 在地系 | | 泉州系 | | 産地不明 | | | |
| | 器種 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 | 推定個体数 | 破片数 |
| 碗類 | 小坏 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 |
| | 小碗 | 3 | 3 | | | 12 | 12 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | 17 | 17 |
| | 中碗 | 7 | 8 | | | 12 | 12 | | | 3 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | 22 | 24 |
| | 小～大碗？ | 9 | 80 | | | 16 | 93 | 1 | 2 | 4 | 69 | 3 | 7 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 34 | 252 |
| | 紅猪口 | 2 | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 3 |
| | 薄手酒坏 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 6 |
| | 仏飯器 | | 3 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 4 |
| 皿類 | 極小皿 | 2 | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 4 | 4 |
| | 小皿 | 4 | 5 | | | 4 | 4 | | | 1 | 1 | | | | | 2 | 2 | | | | | 1 | 1 | | | 12 | 13 |
| | 五寸皿 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 大皿 | | | | | | | | | 2 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 4 |
| | 小～大皿？ | 2 | 29 | | | 2 | 10 | | | 1 | 13 | | | | | | 1 | | | | | 1 | 3 | | | 6 | 56 |
| | 灯明皿 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 5 | 18 | | | | | | | | | | | 6 | 19 |
| 鉢類 | 小鉢 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 中鉢 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 大鉢 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 |
| | 小～大鉢？ | 1 | 3 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 4 |
| | 蓋物 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| | 擂鉢 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 14 | | | 2 | 10 | | | | | | | 3 | 25 |
| | 餌擂鉢 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 練鉢 | | | | | | | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 7 |
| | 捏鉢 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 手水鉢 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 焼塩壺 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 4 | 4 | 5 | 5 |
| | 餌猪口 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 植木鉢 | | | | | | | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 7 |
| | 香炉 | 1 | 4 | | | | 1 | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 7 |
| | 火入 | 1 | 2 | | | 1 | 3 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 6 |
| | 火鉢 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 6 | 10 | | | 7 | 11 |
| | 焜炉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 |
| | 七厘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 11 | 4 | 11 |
| | さな | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 |
| 猪口類 | 小猪口 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 中猪口 | | | | | | | | | 2 | 2 | | | | | | | | | | | 3 | 8 | | | 5 | 10 |
| | 小～中猪口？ | | | | | | | | | | 11 | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | 2 | 13 |
| 壺類 | 中壺 | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 3 |
| 瓶類 | 小瓶 | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 4 | 4 |
| | 中瓶 | 1 | 1 | | | | | | | 3 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 4 |
| | 小～中瓶？ | 4 | 16 | | | | | | | 1 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 26 |
| | 燗徳利 | 1 | 1 | | | 6 | 17 | | | | | 3 | 10 | | | | | | | | | | | | | 10 | 28 |
| 水注類 | 土瓶 | | | | | | | | | | | | | 12 | 86 | | | | | | | | | | | 12 | 86 |
| 鍋類 | 塙焙 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 22 | | | 2 | 22 |
| | 土鍋 | | | | | | | | | | | | | 7 | 27 | | | | | | | | | | | 7 | 27 |
| | 行平 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 2 | 3 |
| | 鍋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 |
| 釜類 | 釜 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | 2 | 2 |
| 燭類 | 燭 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | カンテラ | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 器台類 | 灯明受皿 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 4 | | | | | | | | | | | 3 | 5 |
| 蓋類 | 中碗蓋 | 3 | 3 | | | 4 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 7 |
| | 蓋物蓋 | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 |
| | 段重蓋 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 焼塩壺蓋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 水注蓋 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 土瓶蓋 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 4 | 6 | | | | | | | | | | | 5 | 7 |
| | 土鍋蓋 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | カンテラ蓋 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 行平蓋 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 不明蓋 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 器種不明 | | | 18 | | | | 3 | | | | 9 | | 12 | | 11 | | | | | 4 | | | | | 49 | 0 | 106 |
| 推定個体数合計 | | 51 | | 1 | | 63 | | 2 | | 28 | | 12 | | 37 | | 2 | | 2 | | 0 | | 21 | | 1 | | 9 | | 229 | |
| 破片数合計 | | | 193 | | 1 | | 168 | | 4 | | 156 | | 35 | | 174 | | 3 | | 10 | | 4 | | 52 | | 1 | | 65 | | 866 |

## 第２節　遺物について

### １．廃棄のあり方について

今回の調査で検出された遺物は、16世紀後半、17世紀後半、18世紀前半、18世紀中葉から幕末の遺物群に大別され、総破片数2,054点、総重量60,149.22ｇ（木製品、自然遺物を除く）である。特に18世紀中葉以降の遺物が多く、これは享和３年（1803年）の火災後の片づけ（第５・６号井戸）や幕末期の甲府勤番士の屋敷引払い（第２～４号井戸、第４号溝状遺構）に伴う廃棄と思われる遺構が存在するためである。本項では廃棄に関するデータを比較的良好に得られた第４号溝状遺構を対象として本遺跡における廃棄活動の一端を捉えてみたい。

＜遺構の性格＞　既述したように本遺構は、甲府勤番支配時代の武家屋敷地を区画する境界の塀か溝跡として掘削された可能性が高く、幕末期の甲府勤番士の屋敷引払いの際にごみ捨て場として利用されたと考えられる。

＜遺構の規模＞　平面形は南北方向に長い長方形を呈し、北端及び南端は調査区外へ延びており未検出であるが、調査区内では南北約26.7ｍ、東西約２ｍ、確認面からの深さは最大で1ｍを測り、その容量は53.4㎥である。

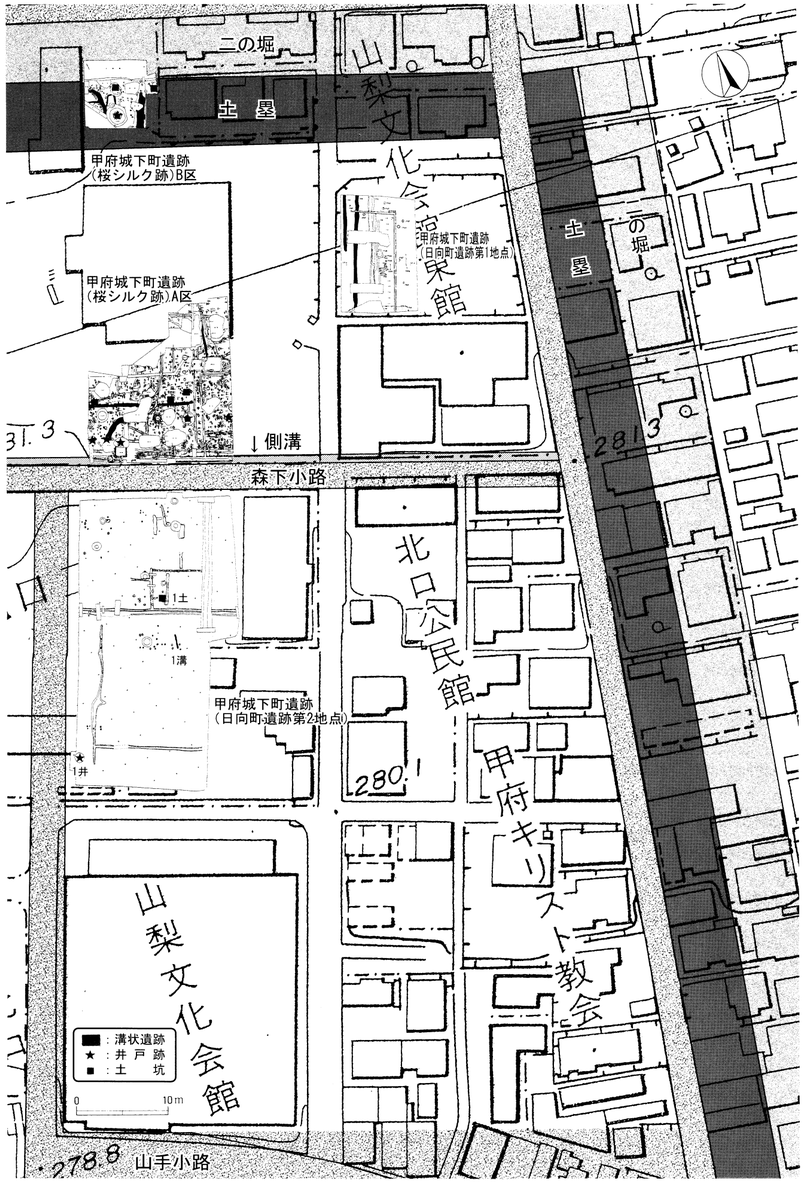
＜遺物の総量・密度＞　遺物の材質は、陶磁器類をはじめ土器、土製品、石製品、金属製品などがあり、総破片数940点、総重量28202.40ｇ（表Ⅲ－10）で、本遺跡における総破片数の46％、総重量の47％の遺物が出土している。遺物包含密度（遺物総重量を遺構の容量で除する）は528(g/㎥）である。

＜遺物の検出状況＞　本遺構の北端及び南端は未検出であるが遺物の平面分布からは、調査地点に遺物が集中する傾向が捉えられた。また垂直分布からは、遺構が半分程度（第５層以下）埋没した後の覆土上層から一括して各時期のすべての材質の遺物が出土し（PL－７～10）、炭化材の集中出土地点（PL－６）も確認された。

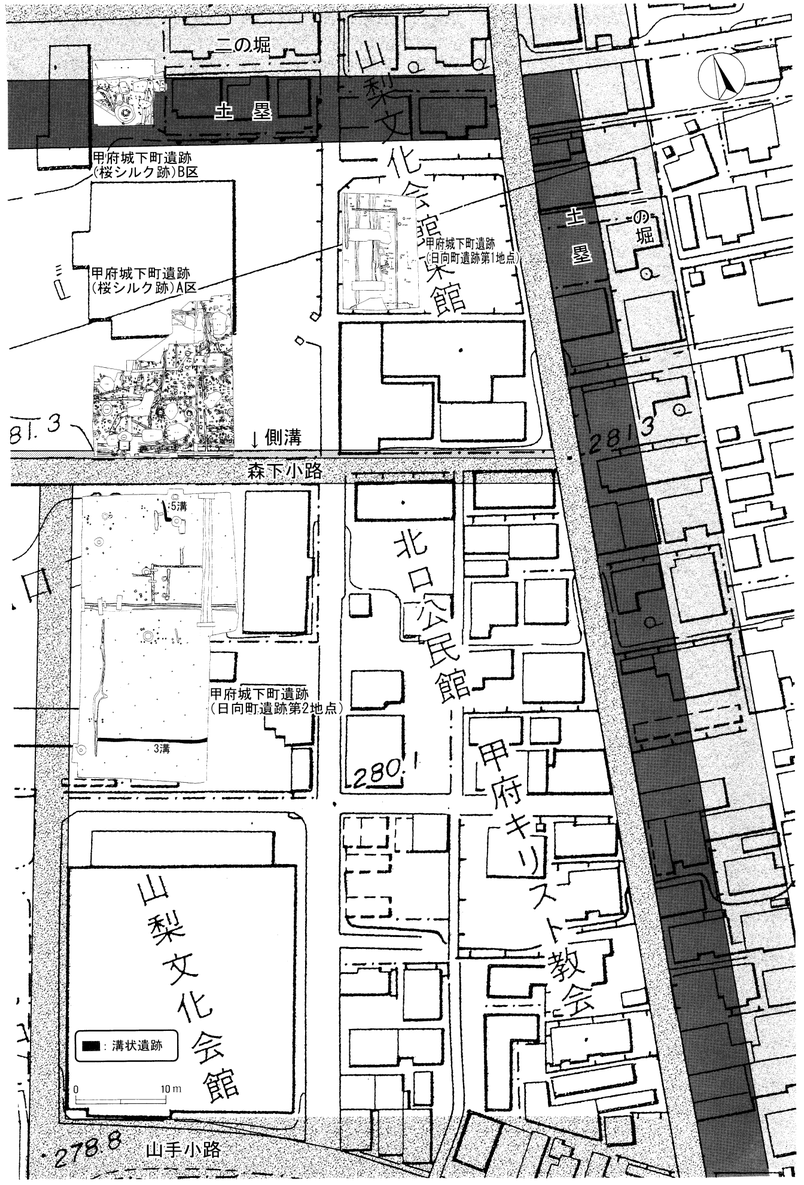
＜遺物の製作年代＞　各材質の中で数量的に最も多く確認された磁器・陶器・土器の製作年代は18世紀中葉～幕末期であり、屋敷引き払い時期の幕末期に比較的近い時代に製作された製品が多い状況である。また、18世紀中葉以降では波佐見系磁器の「くらわんか手」の中碗、小皿、瀬戸・美濃系陶器の小碗、仏花瓶、灯明具、在地系の火鉢などが確認され、19世紀以降では燗徳利などの新たな酒器の出現、小碗、土瓶などの煎茶道具の増大、土鍋、行平など陶器の鍋類の出現など、時期差による器種組成の違いが見られ、時期ごとの生活の変化に伴い器種組成が組み替えられていく状況が理解される。

以上のように本遺構では、本遺跡の他の遺構に比べ大規模で（遺物総量が多い）積極的な（遺物包含密度が高い）廃棄が確認された。また磁器・陶器・土器の個体別資料が多く含まれ、これらの器種組成（小・中碗、小皿・中皿、灯明皿、焼塩壺、火鉢、七厘、燗徳利、土瓶、土鍋、中碗・土瓶蓋、中甕など）が生活用具をほぼ網羅しており、少なくとも一世帯以上の生活用具がセットで廃棄されている状況が捉えられた（表Ⅳ－３）。

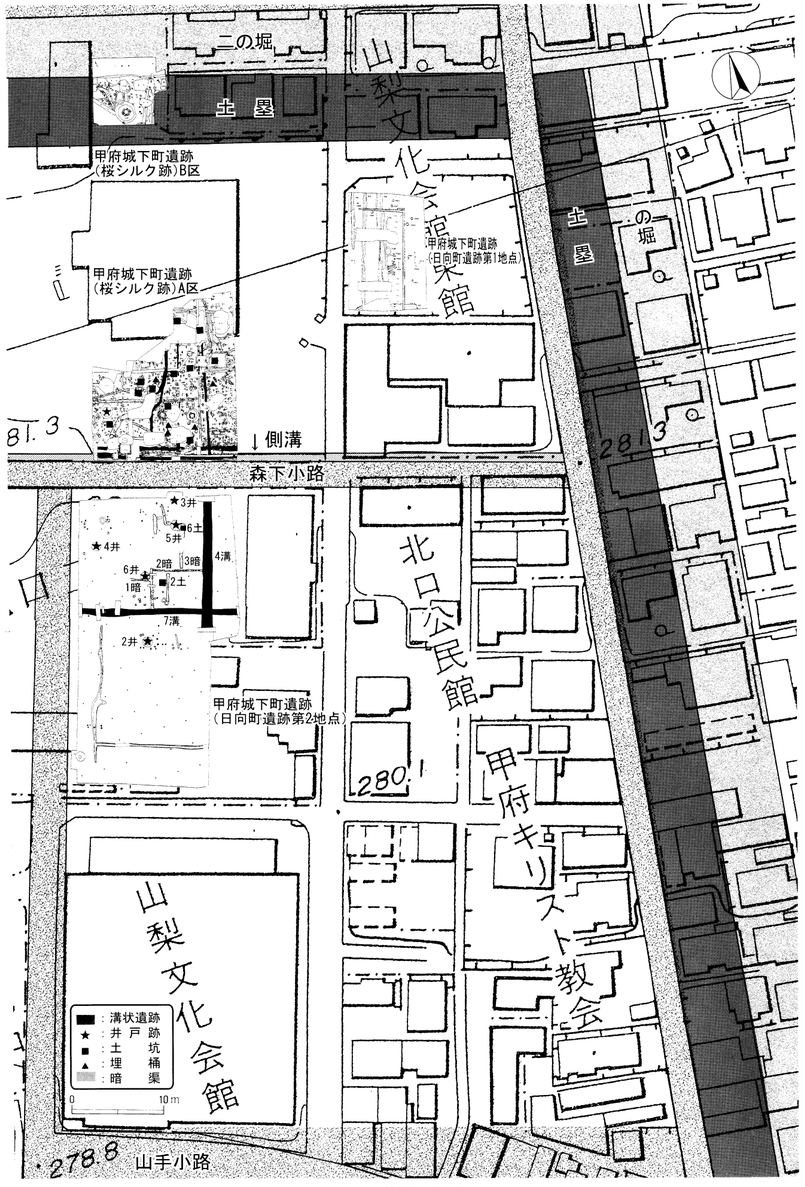
今後、他の遺構（井戸に関わる祭祀の問題など）や周辺の近世遺跡における廃棄のあり方を含めて検討し、考古学的方法による江戸時代の人々の生活復元に結びつける分析を行っていきたい。




〈中　世〉




〈近世Ⅰ・Ⅱ期〉




〈近世Ⅲ・Ⅳ期〉

Ⅴ－4　土地利用の変化

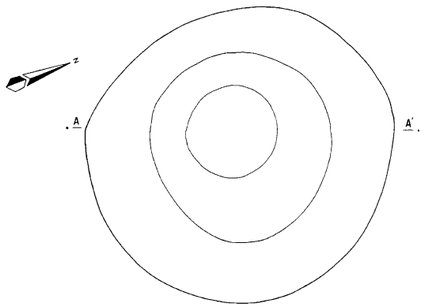
V－5　検出遺物の様相（1）〈第４号溝状遺構〉

| 材質 | 磁器 | | 陶器 | | | 炻器 | | 土器 | | | 金属製品 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 産地 | 肥前 | 瀬戸・美濃 | 瀬戸・美濃 | 京都・信楽 | 不明 | 備前 | 堺・明石 | 在地系 | 泉州 | 不明 | |
| Ⅰ期 1650 | | | | | | | | | | | |
| Ⅱ期 1700 | | | | | | | | | | | |
| Ⅲ期 1750 | | | | | | | | | | | |
| Ⅳ期 1800 | | | | | | | | | | | |
| 1850 | | | | | | | | | | | |
| 明治以降～ 1868 | | | | | | | | | | | |

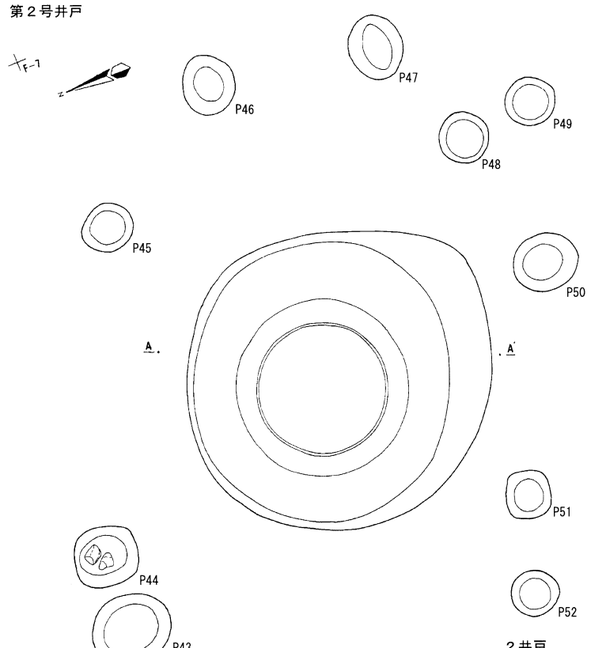
V－6 検出遺物の様相（2）〈その他〉

| 遺構名 | | 2号井戸 | | | 3号井戸 | | | | | | | 4号井戸 | 5号井戸 | | | | 6号井戸 | | 1号溝 | | 3号溝 | 5号溝 | | 7号溝 | | | | 2号土坑 | 6号土坑 | 遺構外 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 材質 | | 磁器 | 土器 | 金属製品 | 磁器 | 陶器 | | | 土器 | | 木製品 | 陶器 | 磁器 | 陶器 | 土器 | 金属製品 | 磁器 | 陶器 | 磁器 | 陶器 | 陶器 | 陶器 | 土器 | 磁器 | | 陶器 | 炻器 | 土器 | 金属製品 | 陶器 | 磁器 | |
| 産地 | | 肥前 | 在地系 | | 肥前 | 肥前(現川) | 瀬戸・美濃 | 不明 | 在地系 | 泉州 | | 瀬戸・美濃 | 肥前 | 肥前 | 在地系 | | 肥前 | 瀬戸・美濃 | 中国系 | 志戸呂 | 肥前 | 肥前(唐津) | 在地系 | 肥前 | 瀬戸・美濃 | 瀬戸美濃 | 堺・明石 | 在地系 | | 瀬戸・美濃 | 肥前 | 瀬戸・美濃 |
| 中世～ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1600 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Ⅰ期 | 1650 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1700 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Ⅱ期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Ⅲ期 | 1750 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1800 | | | | | 瀬戸・美濃磁器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Ⅲ期 | 1850 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1868 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 明治以降～ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

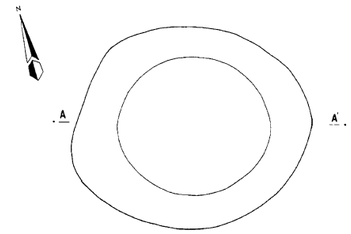
第１号井戸

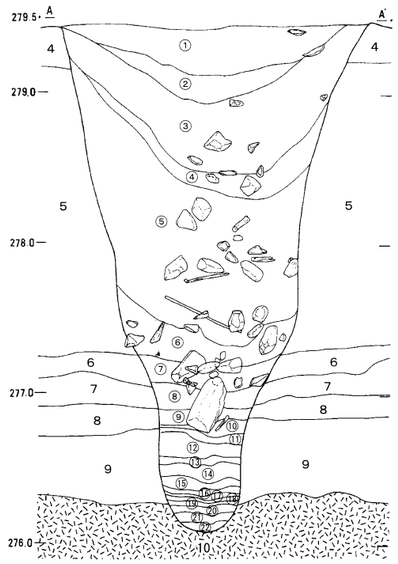


第２号井戸



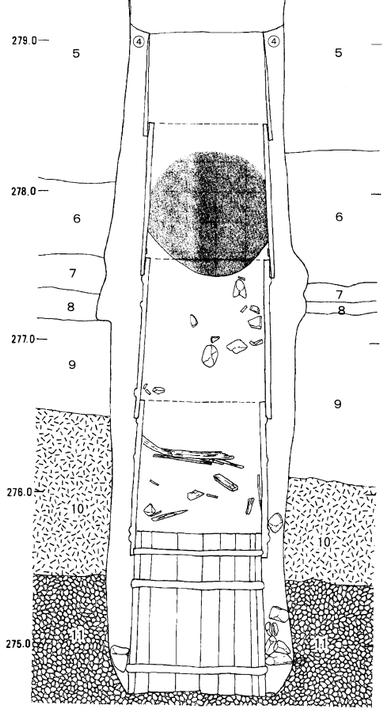

第３号井戸





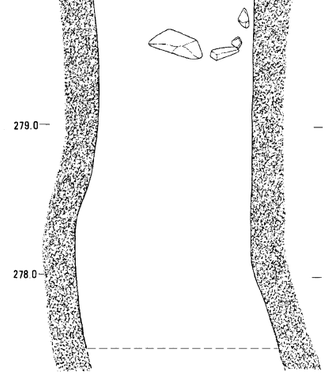

１井戸

| | | |
|---|---|---|
| ① | 暗褐色土 | 炭化物、焼土を多量に含む。 |
| ② | 暗褐色土 | 炭化物、焼土を多量に含む。 |
| ③ | 暗褐色土 | 下部に1.5cm大の焼土ブロック多量に含む。 |
| ④ | 暗褐色土 | やや砂質。 |
| ⑤ | 明褐色土 | やや砂質、こぶし大から人頭大の礫を含む。 |
| ⑥ | 明褐色土 | やや砂質。 |
| ⑦ | 暗褐色土 | やや粘性あり。 |
| ⑧ | 暗褐色土 | |
| ⑨ | 暗褐色土 | 砂含む。 |
| ⑩ | 暗黄褐色土 | ローム、砂少量含む。 |
| ⑪ | 暗褐色土 | |
| ⑫ | 青灰色砂 | |
| ⑬ | 青灰色砂 | |
| ⑭ | 青灰色砂 | |
| ⑮ | 暗褐色土 | 砂少量含む。 |
| ⑯ | 青灰色砂 | |
| ⑰ | 青灰色砂 | |
| ⑱ | 青灰色砂 | |
| ⑲ | 暗褐色土 | 砂を多量に含む。 |
| ⑳ | 青灰色砂 | やや砂が粗くなる。 |
| ㉑ | 青灰色砂 | |
| ㉒ | 青灰色砂 | やや砂が粗くなる。 |




２井戸

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 暗褐色土 | こぶし大から人頭大の礫を多量に含む。 |
| 2 | 灰褐色粘土 | |
| 3 | 暗茶褐色土 | ロームブロックを多量に含む。 |
| 4 | 暗灰褐色土 | |

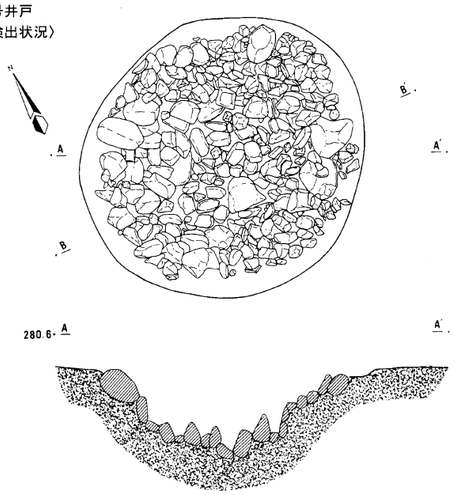



基本層序（１・２・３～６号井戸検出地点）

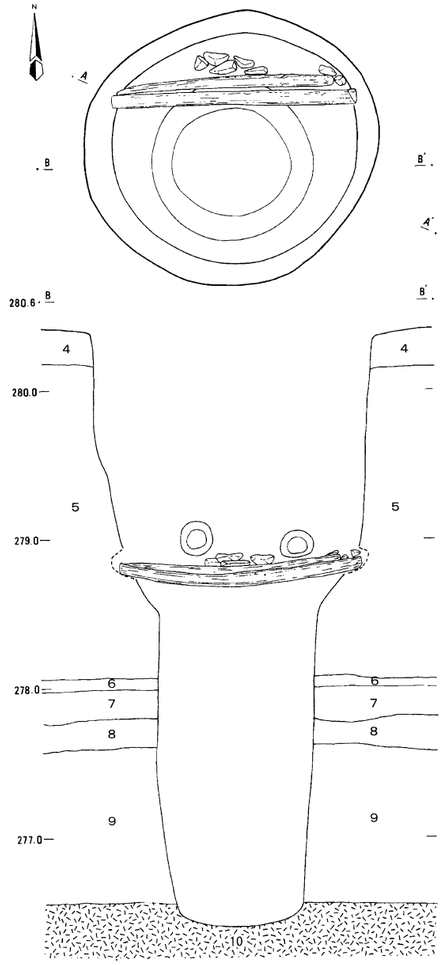
| | |
|---|---|
| 4 | 暗褐色土（地山層）　粘性、しまり強い。 |
| 5 | 黄褐色土　水分により褐色又は緑色に変色。 |
| 6 | 緑色砂質粘土　１～10cm大の小礫石を含む。 |
| 7 | 黒色粘土（水性堆積土）　混入物なし。 |
| 8 | 暗青灰色砂 |
| 9 | 緑色砂質粘土 |
| 10 | 暗緑灰色砂（透水層） |
| 11 | 暗青灰色砂礫 |

箸状木製品集中出土範囲
砂層（透水層）
砂礫層
0　1m

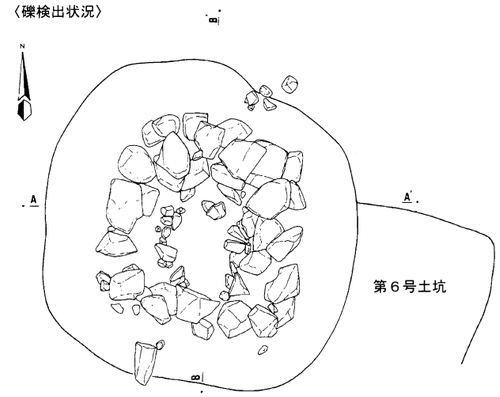
第４号井戸
〈礫検出状況〉

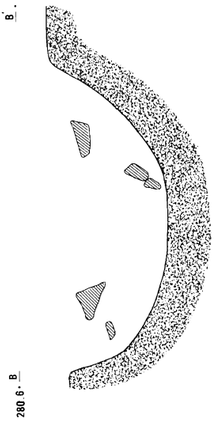


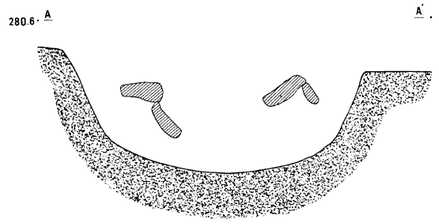
〈完掘状況〉



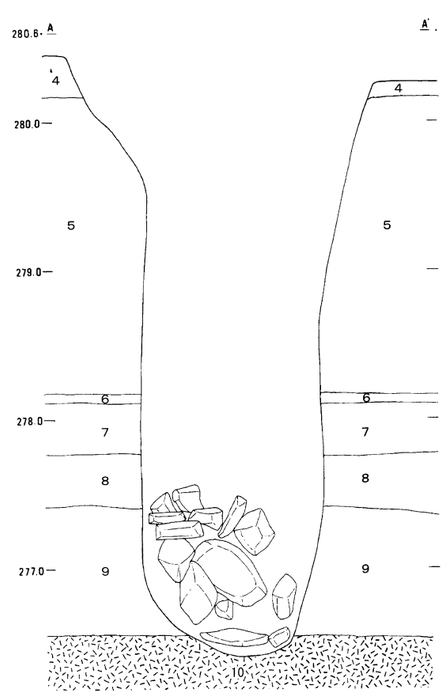

第５号井戸
〈礫検出状況〉



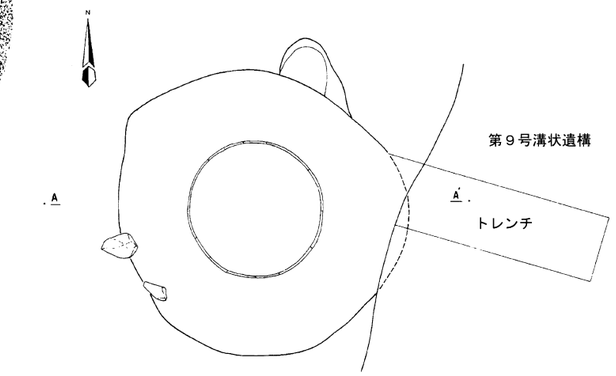



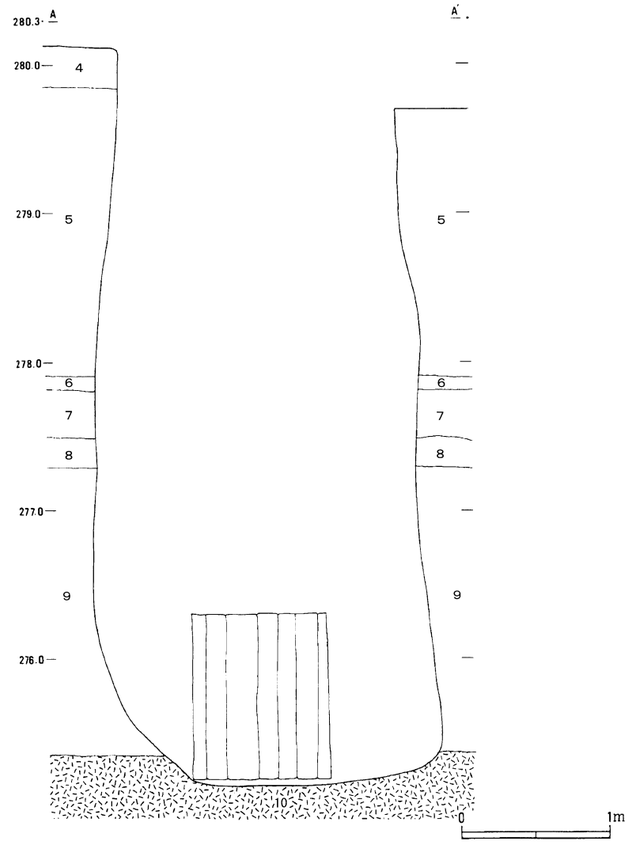




〈完掘状況〉

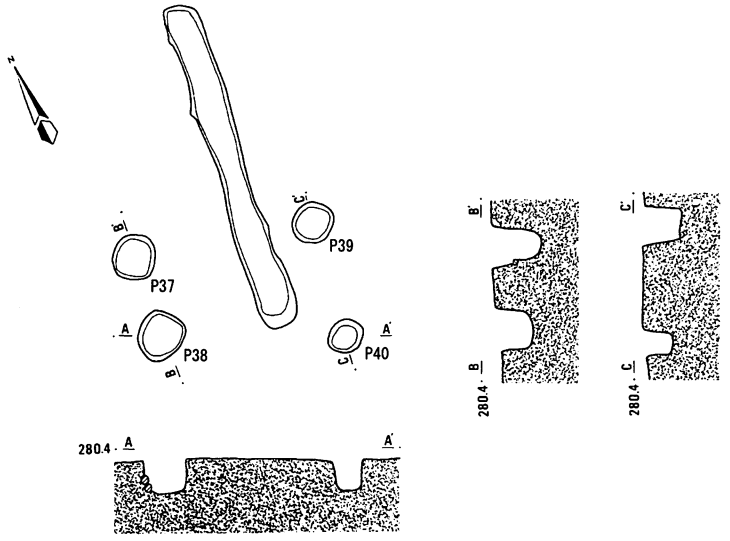



第６号井戸

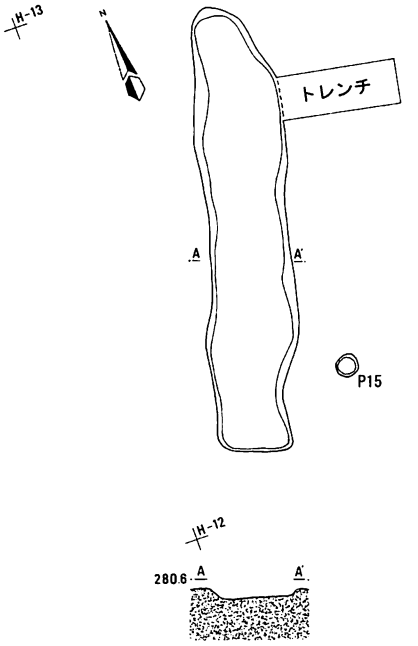


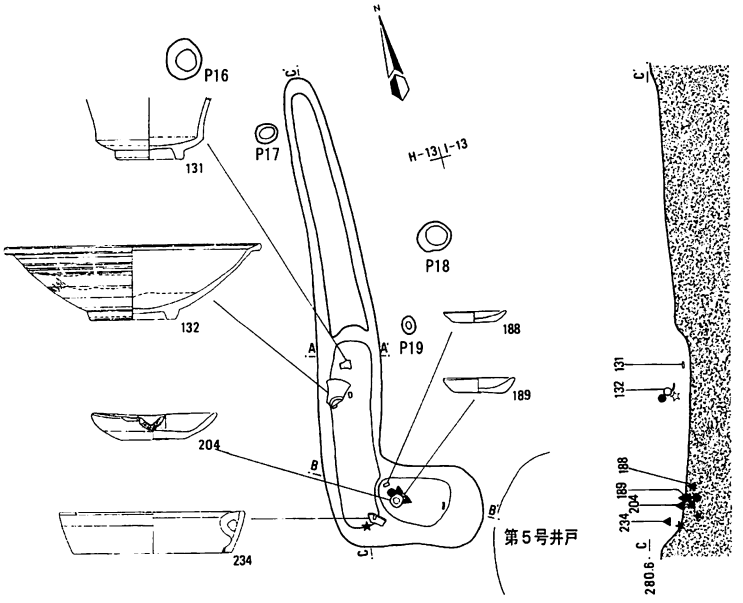
第１号溝状遺構



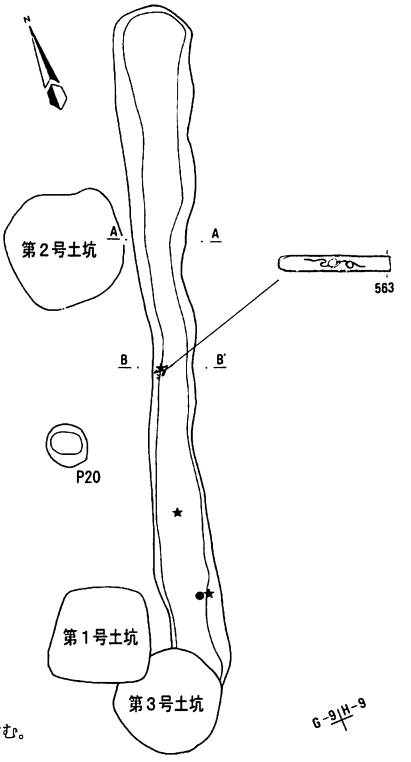

第６号溝状遺構

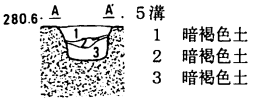



第５号溝状遺構

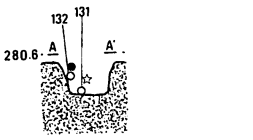


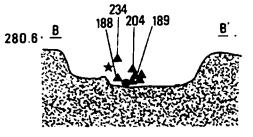

第８号溝状遺構



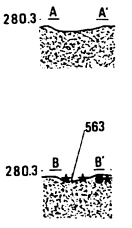




５溝
1　暗褐色土　２㎜～１cm大のロームブロック、炭化物多量に含む。
2　暗褐色土　砂、小礫多量に含む。
3　暗褐色土　２㎜～１cm大のロームブロック、炭化物多量に含む。

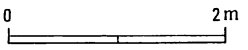


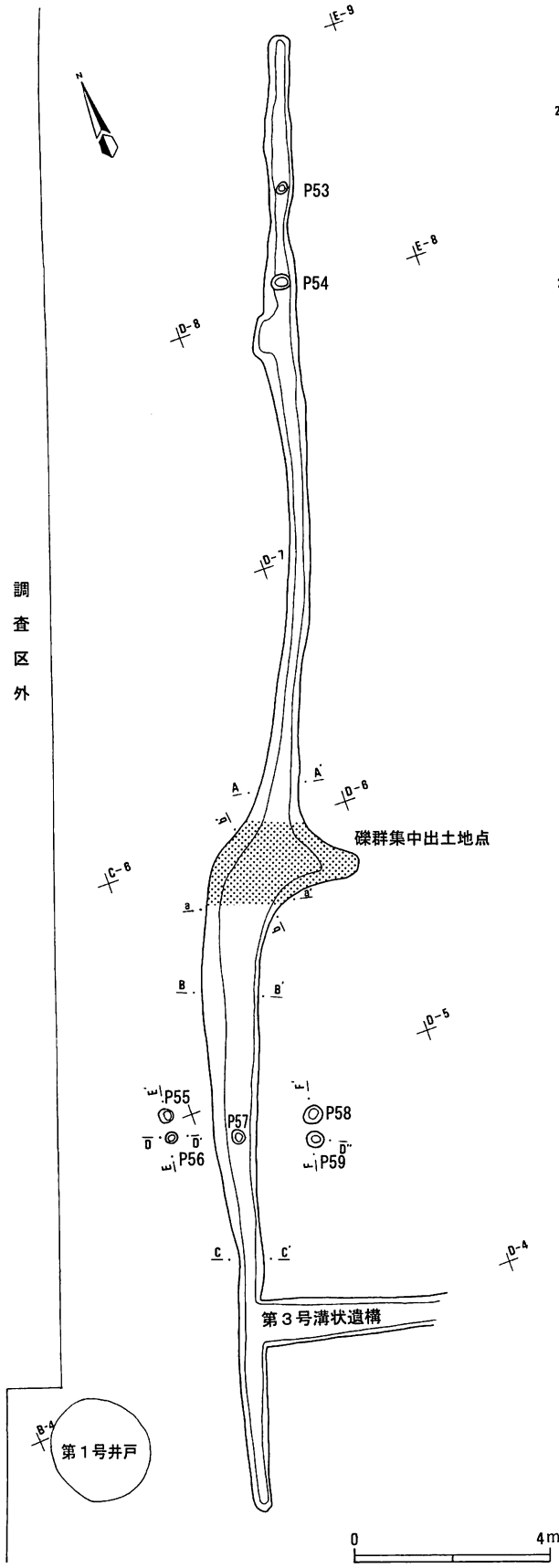

● 磁器
○ 陶器
▲ 土器
★ 金属製品
☆ 炉器



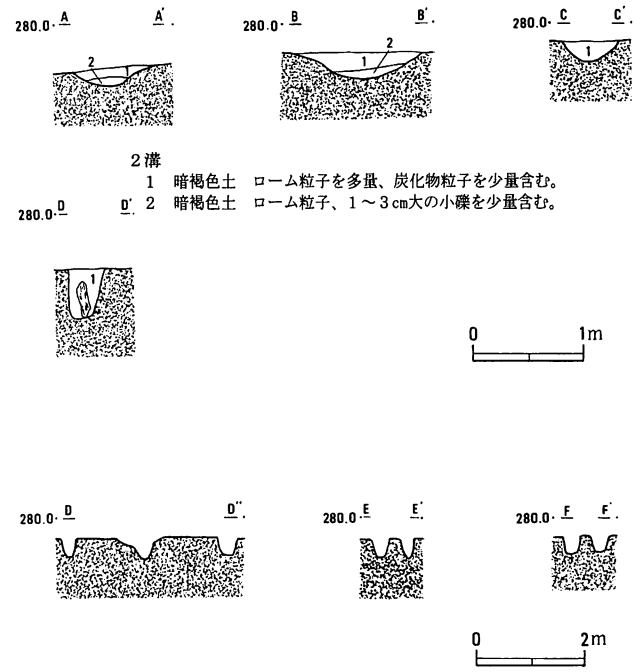

● 磁器
★ 金属製品



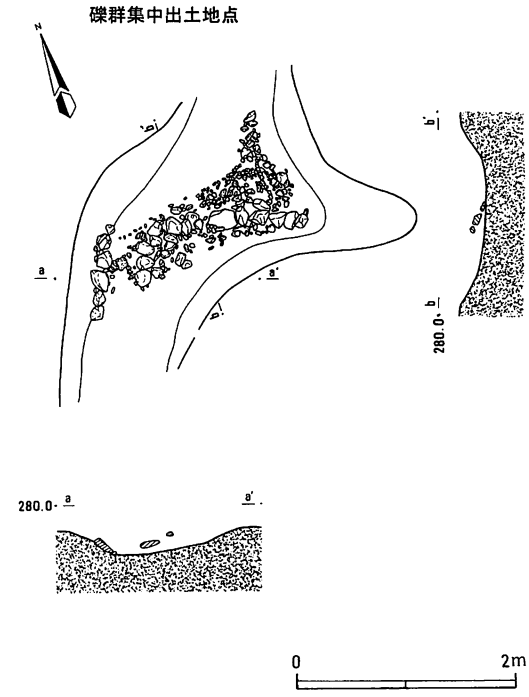
PL-4 第2号溝状遺構



調査区外
P53
P54
P55
P56
P57
P58
P59
礫群集中出土地点
第３号溝状遺構
第１号井戸
0
4m

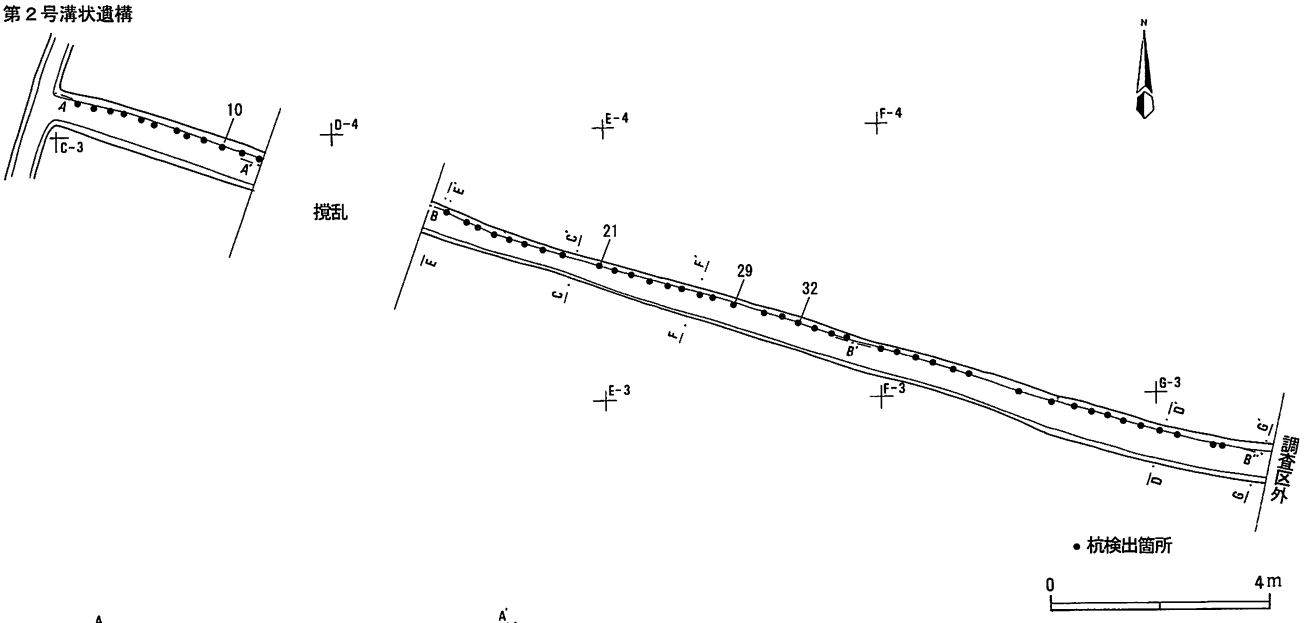



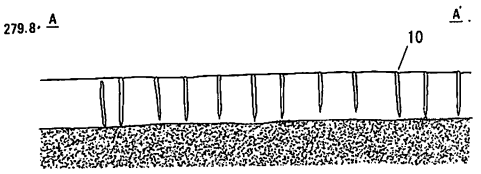
280.0
2溝
1　暗褐色土　ローム粒子を多量、炭化物粒子を少量含む。
2　暗褐色土　ローム粒子、1～3cm大の小礫を少量含む。
0
1m
0
2m

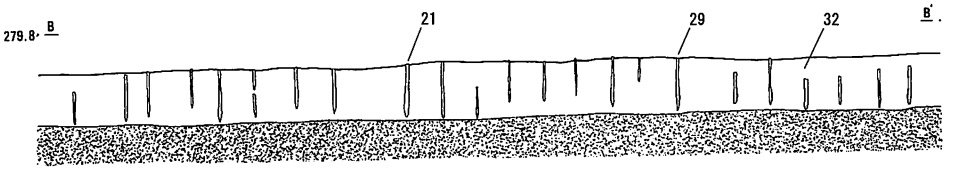



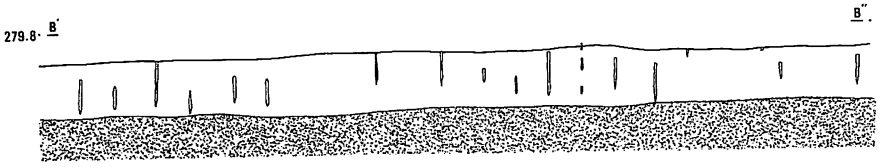
礫群集中出土地点
280.0
0
2m

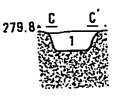
第２号溝状遺構

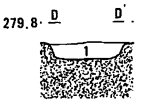


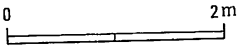



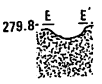



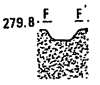



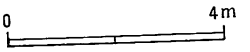




3溝
1　暗褐色土　ローム粒子、炭化物粒子を多量に含む。

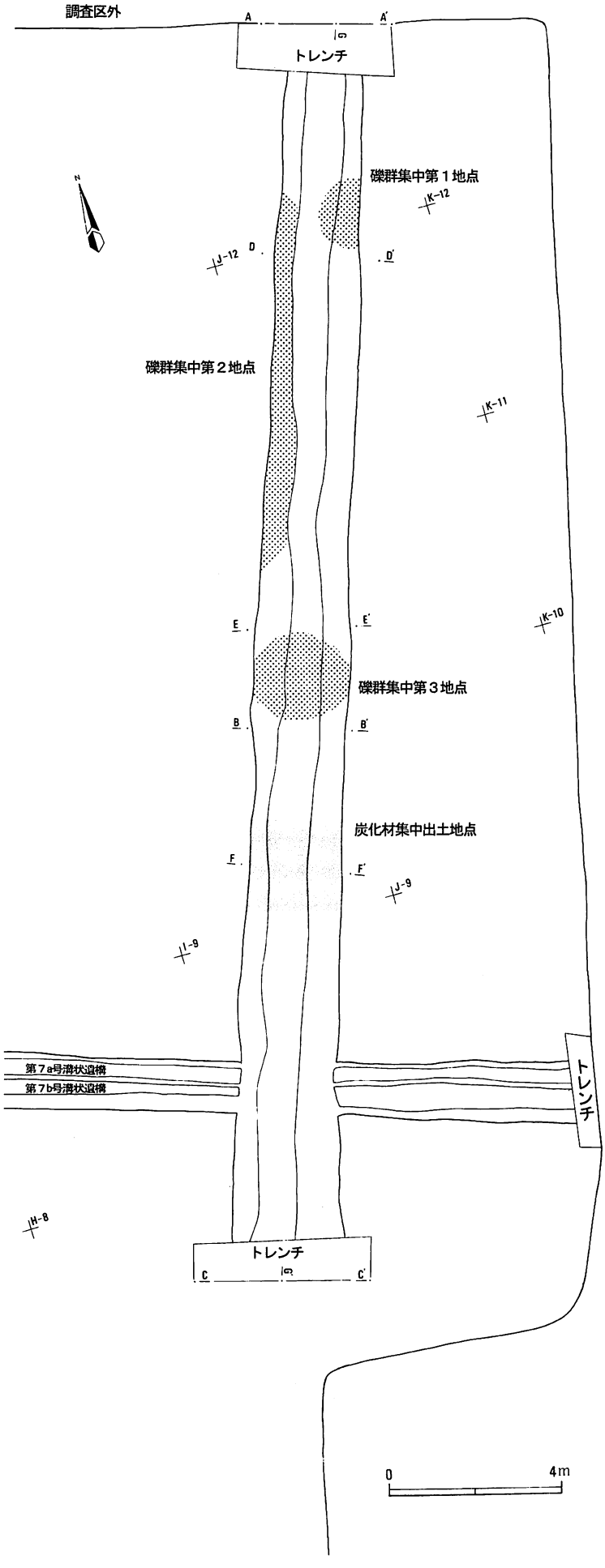


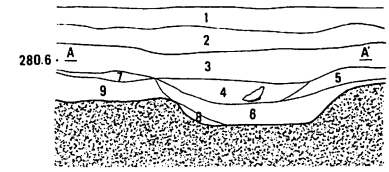



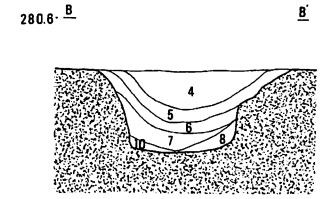



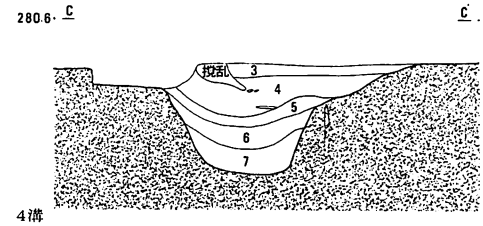


## PL-6 第4号溝状遺構



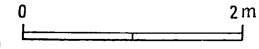



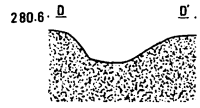



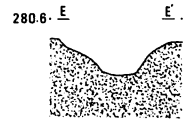



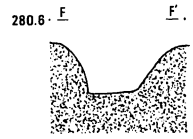

4溝

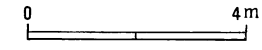
| | | |
|---|---|---|
| 1 | 表土層 | 小礫を多量に含む。 |
| 2 | 灰暗褐色土 | |
| 3 | 黒褐色土 | ローム粒子、炭化物、砂を多量に含む。 |
| 4 | 暗褐色土 | ローム粒子、５cm大の小礫を少量、炭化物を多量に含む。 |
| 5 | 暗茶褐色土 | 鉄分を少量含む。 |
| 6 | 暗褐色土 | １cm大のロームブロック、小礫を多量に含む。 |
| 7 | 暗褐色土 | ２cm～４cm大のロームブロック多量に含む。 |
| 8 | 暗灰褐色土 | |
| 9 | 暗褐色土 | 遺物包含層 |
| 10 | 明褐色土 | (地山層の崩落) |



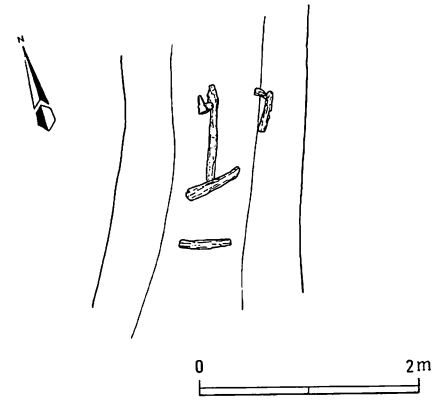



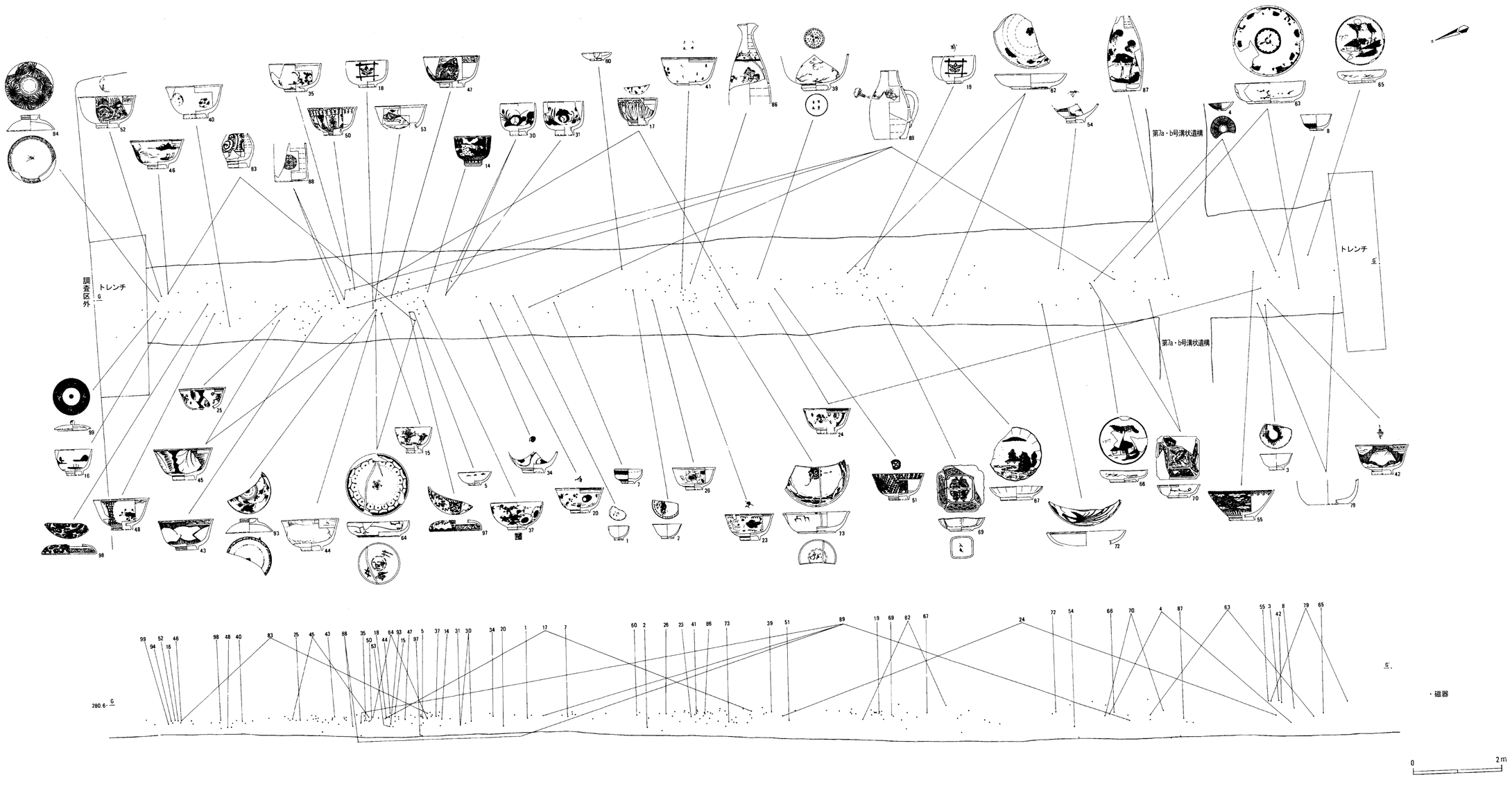



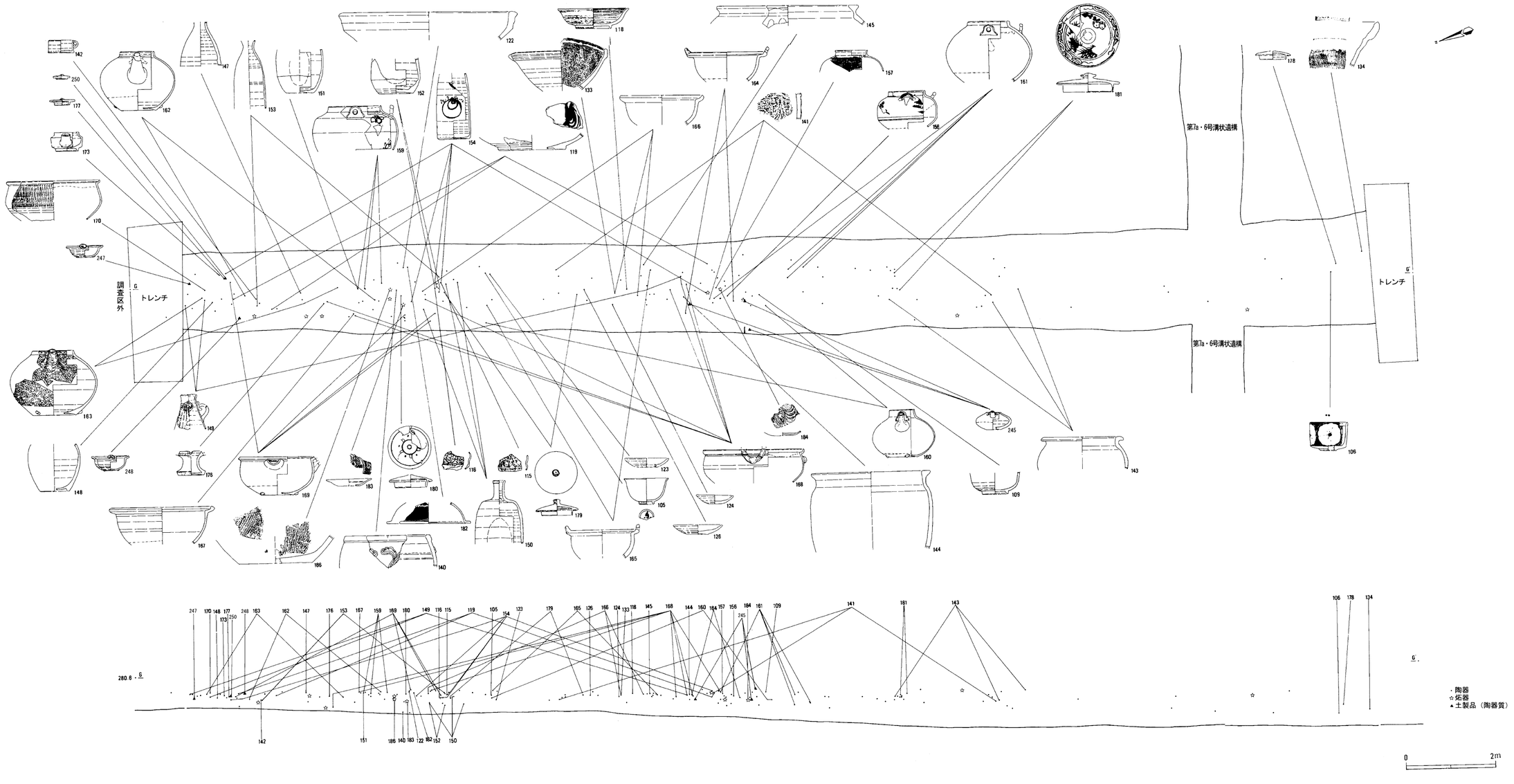



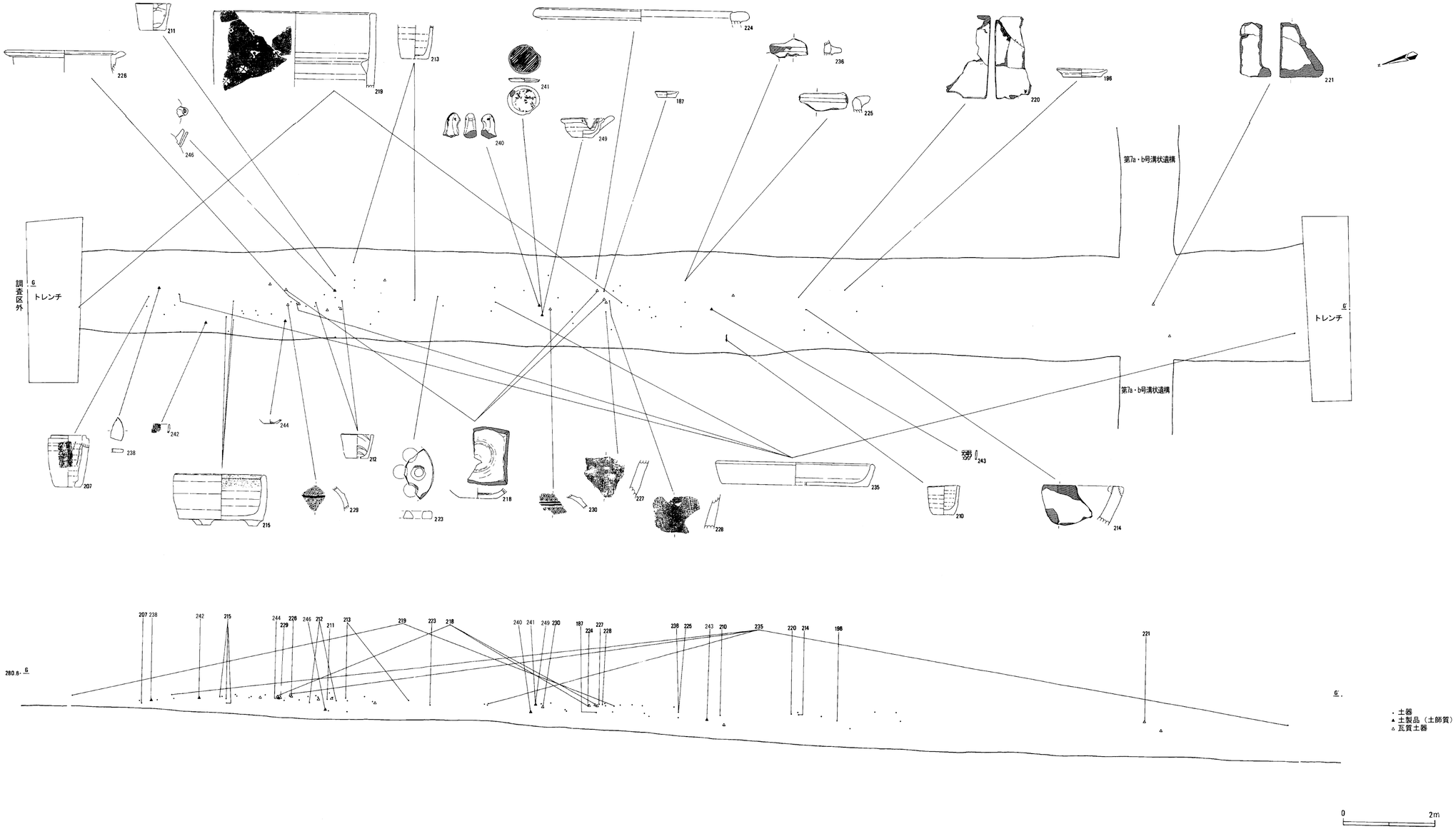

炭化材集中出土地点

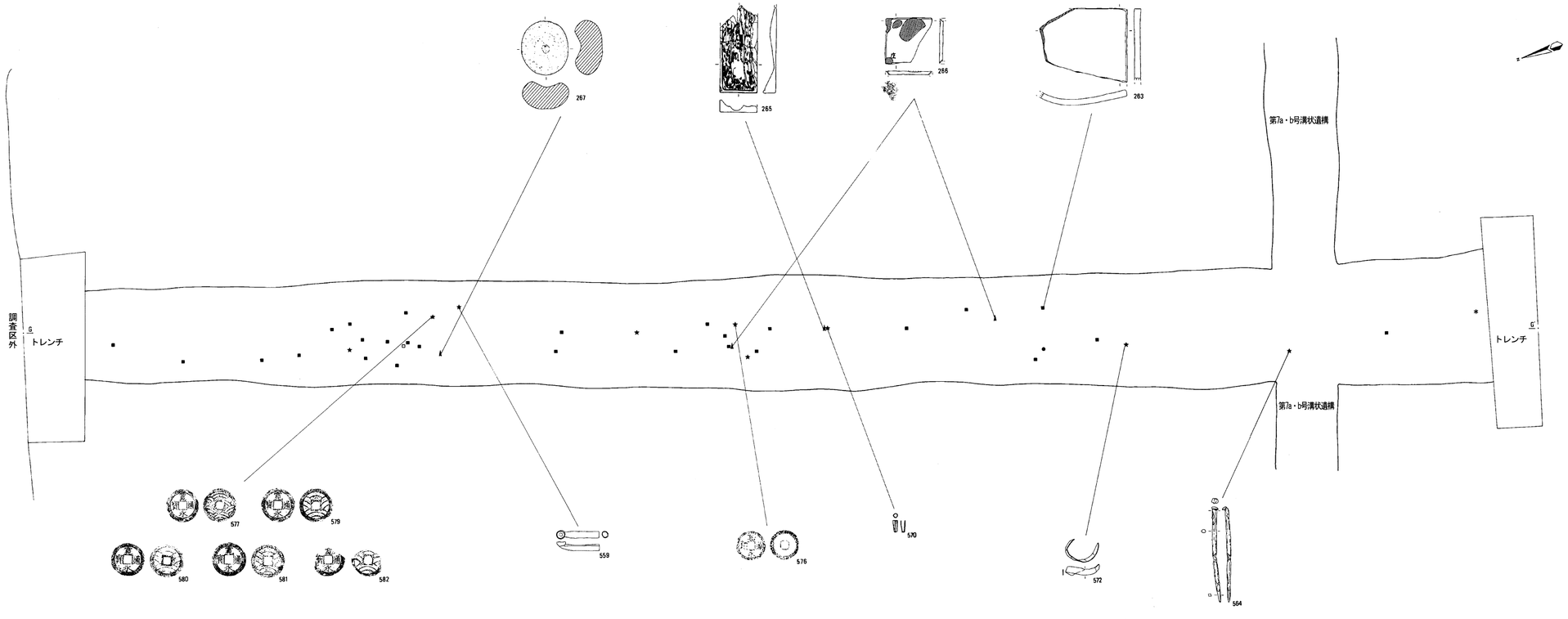



調査区外
トレンチ
G
第7a・b号溝状遺構
トレンチ
G
第7a・b号溝状遺構
G
280.6
G'
・磁器
0
2m

LP-8　第4号溝状遺構遺物分布図（2）

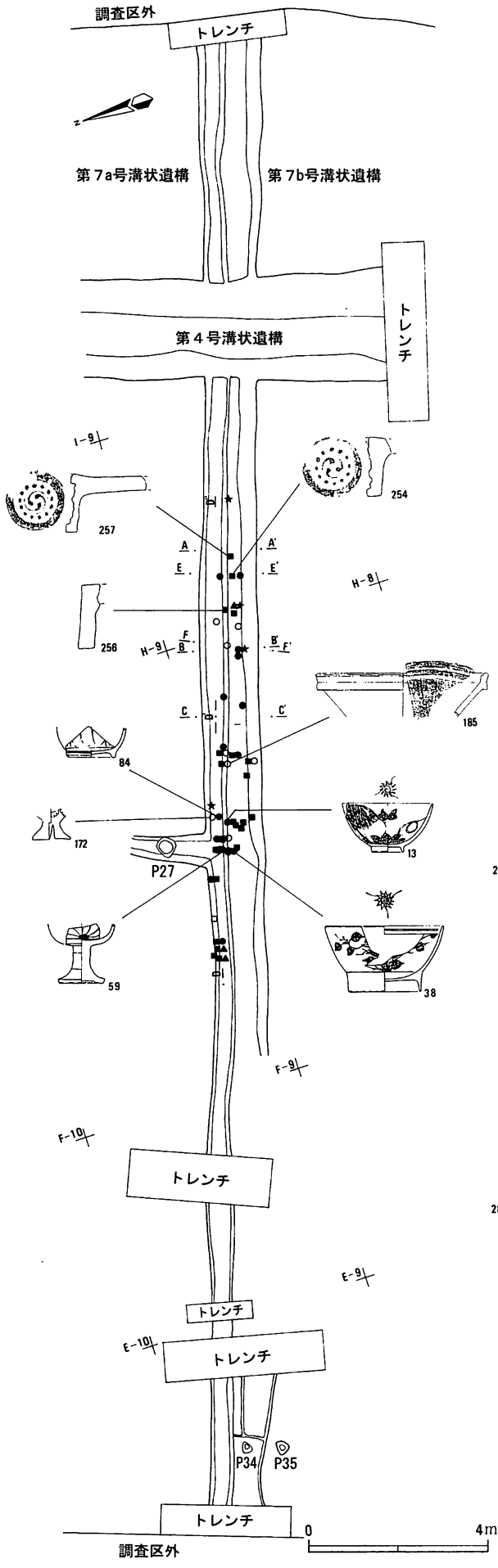


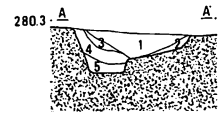

調査区外
G
トレンチ
第7a・b号溝状遺構
280.6m
・土器
▲土製品（土師質）
△瓦質土器
0
2m



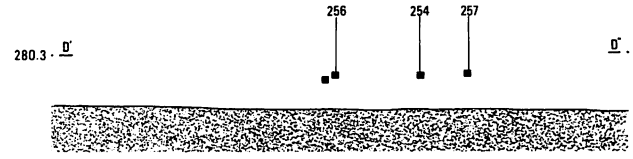

■ 瓦
★ 金属製品
▮ 石製品
✳ ガラス
● 自然遺物
□ 炭化材

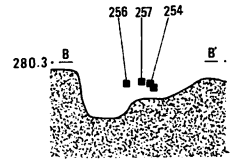
0　2 m

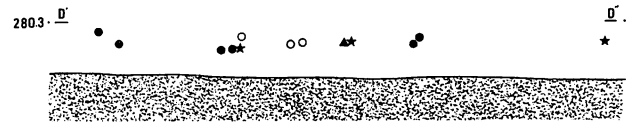


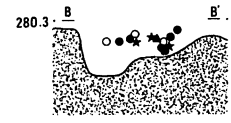



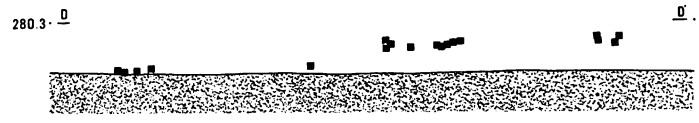

7溝
1 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子、小礫を多量に含む。
2 暗褐色土
3 暗褐色土 1cm大のロームブロックを少量含む。
4 暗褐色土
5 暗褐色土

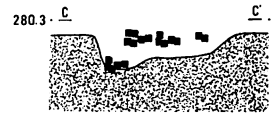


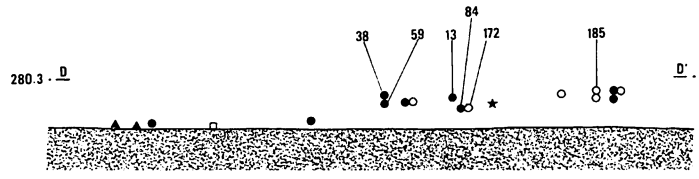



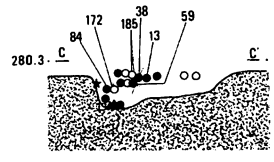



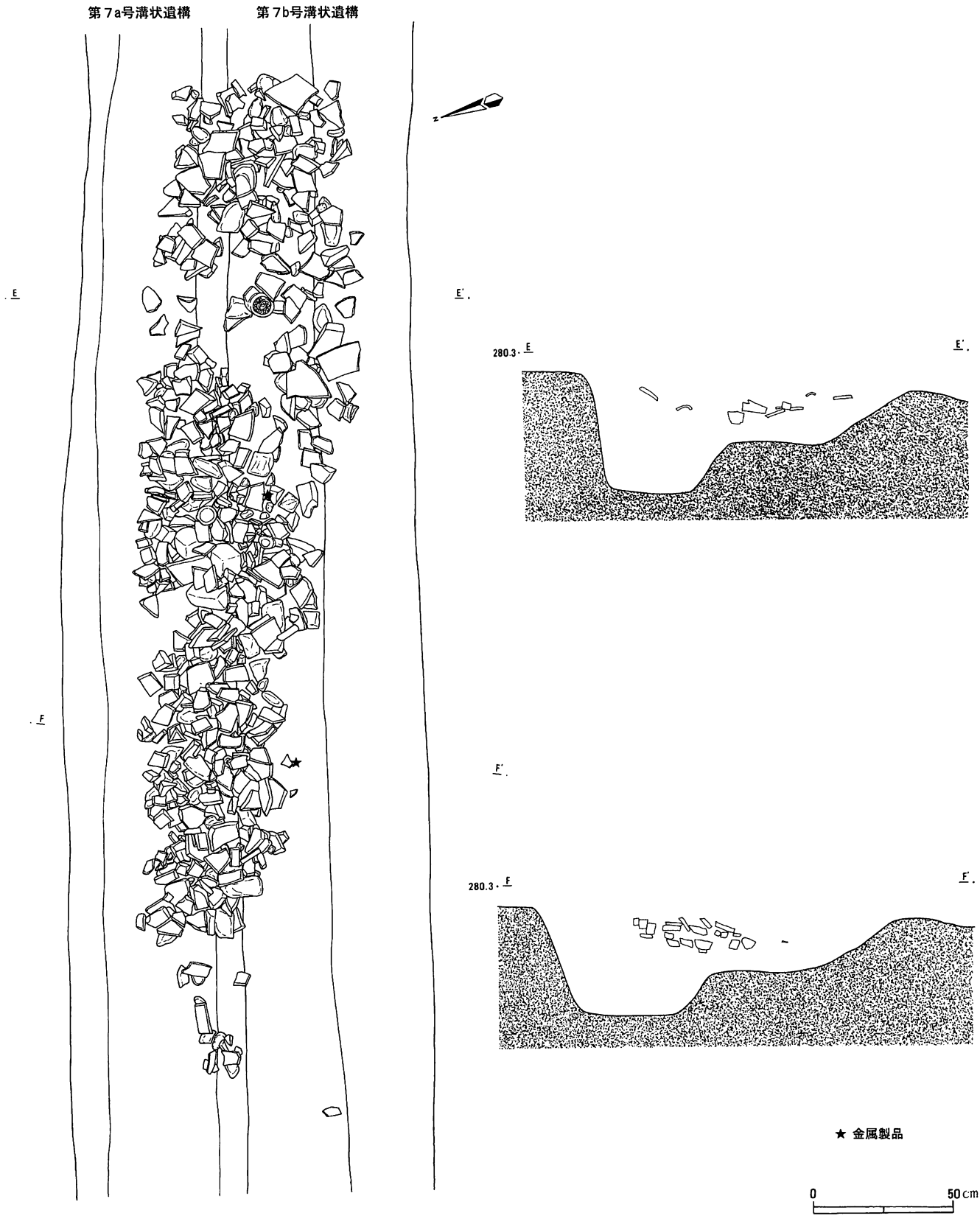



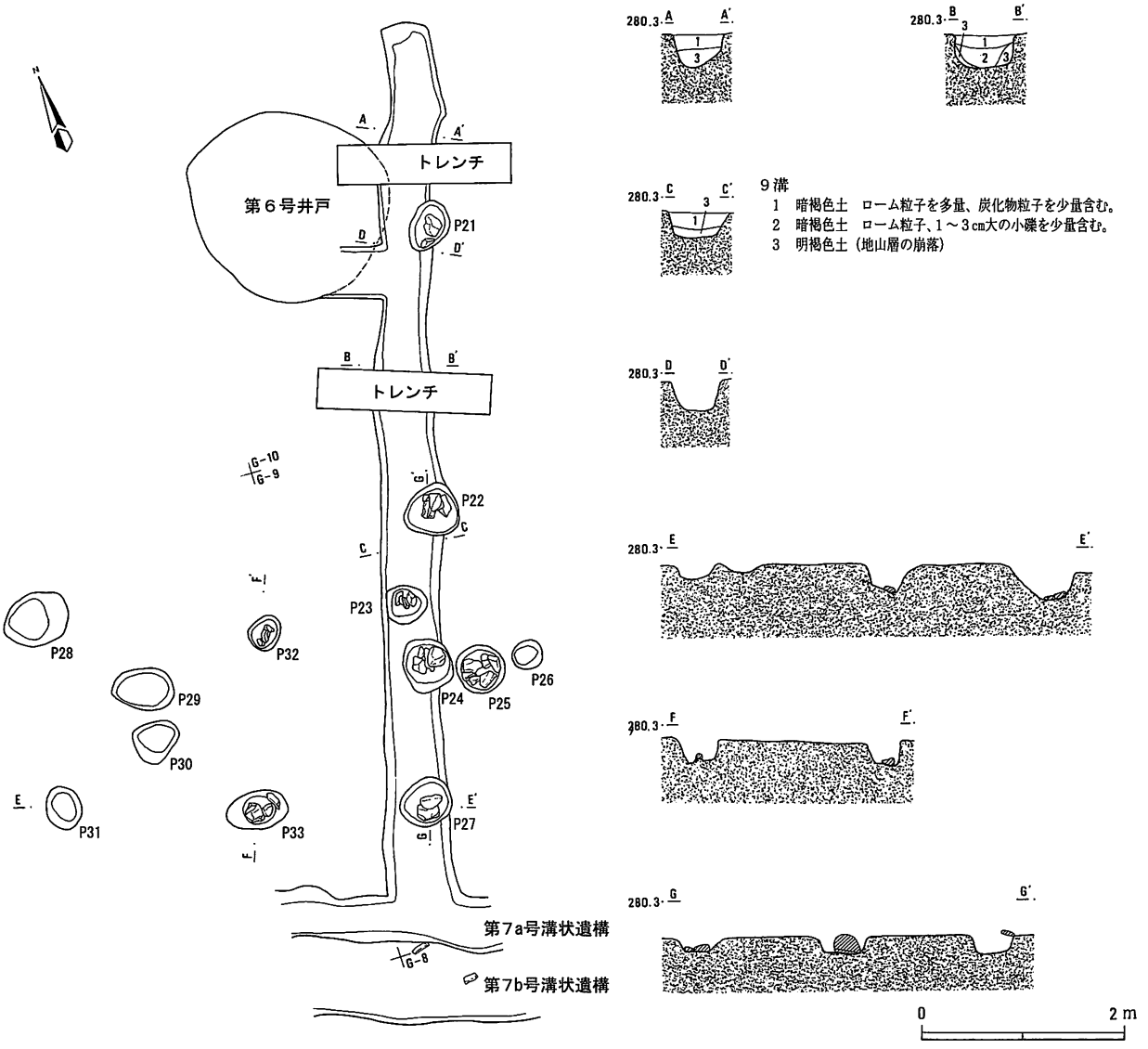




● 磁器
○ 陶器
▲ 土器
■ 瓦
★ 金属製品
□ 炭化材

0 2m

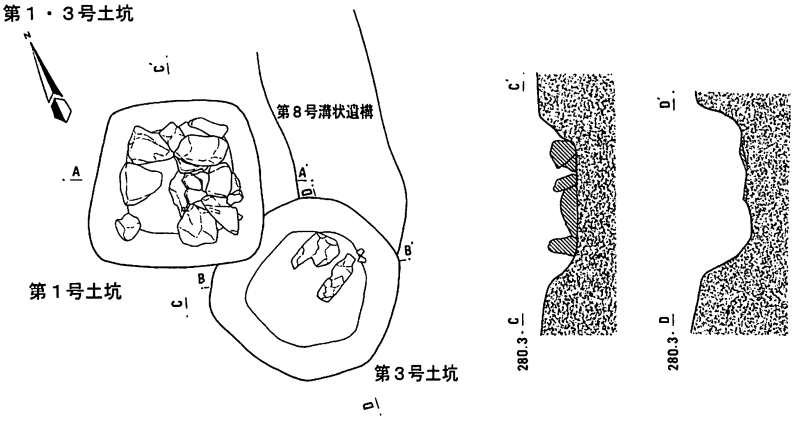
PL-12 第7a・b号溝状遺構瓦集中出土地点

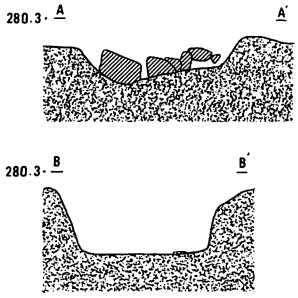



トレンチ
第６号井戸
トレンチ
P21
P22
P23
P24
P25
P26
P27
P28
P29
P30
P31
P32
P33
G-10
G-9
G-8
第7a号溝状遺構
第7b号溝状遺構
280.3
9溝
1 暗褐色土 ローム粒子を多量、炭化物粒子を少量含む。
2 暗褐色土 ローム粒子、1～3cm大の小礫を少量含む。
3 明褐色土 (地山層の崩落)
0
2 m

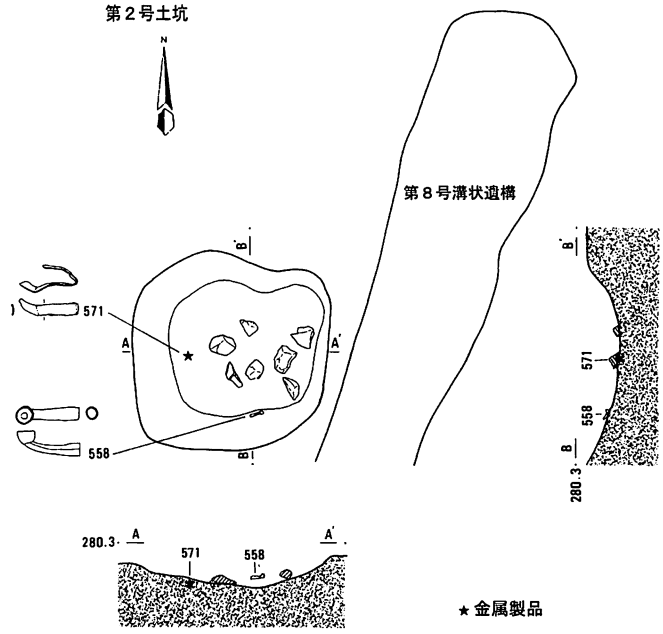
PL-14 第1～5号土坑

第１・３号土坑



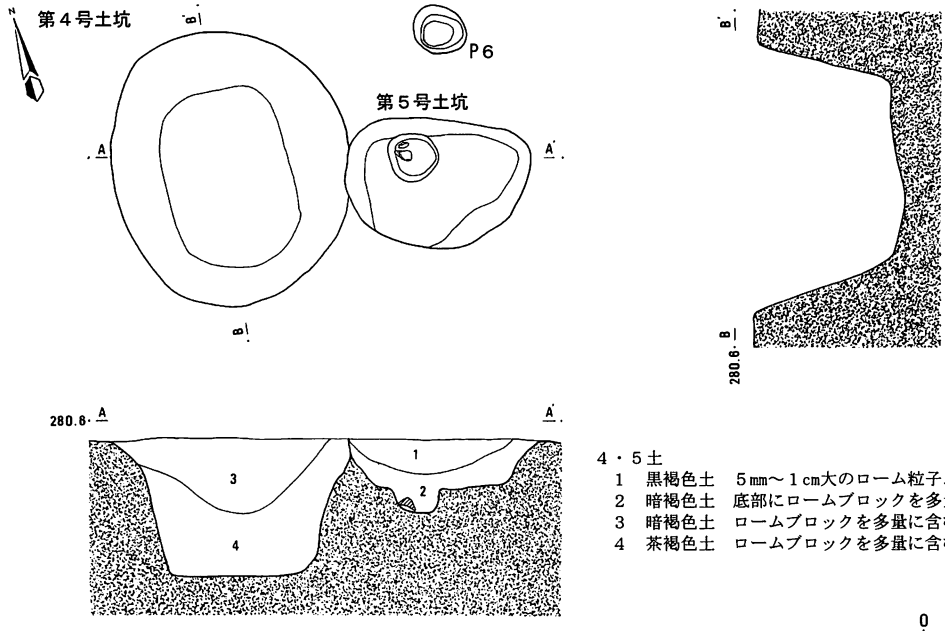




第２号土坑




★金属製品

第４・５号土坑

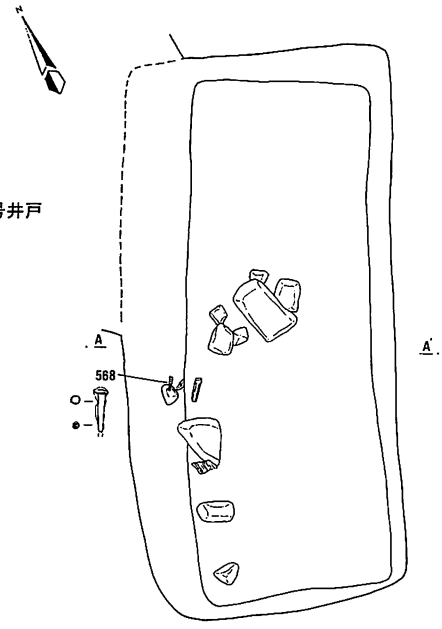



４・５土
1　黒褐色土　５㎜～１cm大のローム粒子、炭化物を多量に含む。
2　暗褐色土　底部にロームブロックを多量に含む。
3　暗褐色土　ロームブロックを多量に含む。
4　茶褐色土　ロームブロックを多量に含む。

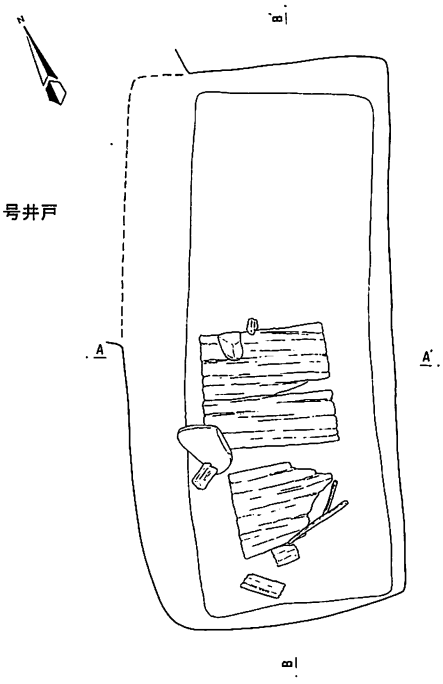
0　1m

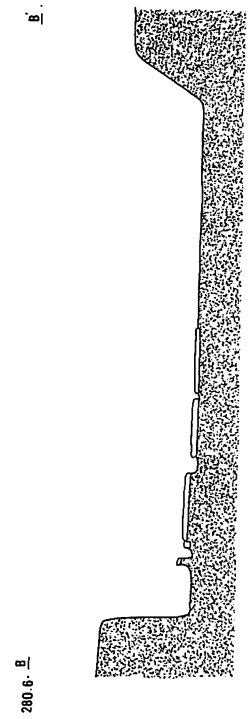
第６号土坑

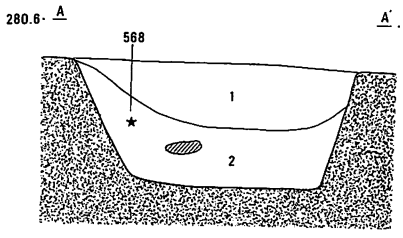
〈礫検出状況〉

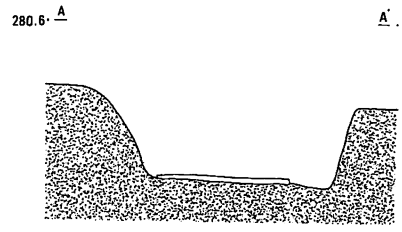



〈木棺検出状況〉



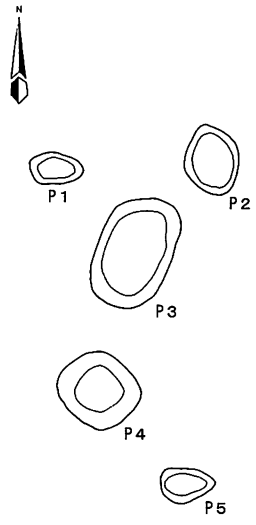




★ 金属製品

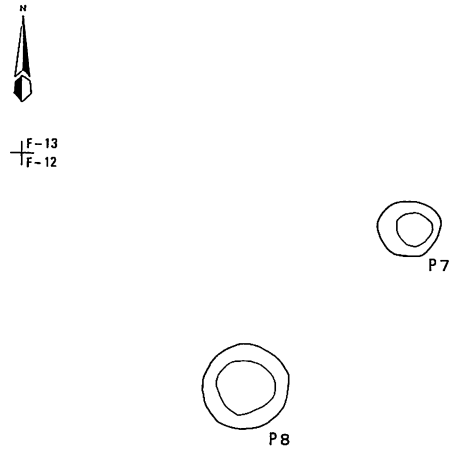
0 1m

6土
1　暗褐色土　ローム粒子、炭化物粒子、小礫を少量含む。
2　暗褐色土　1cm大のロームブロック、小礫を多量に含む。

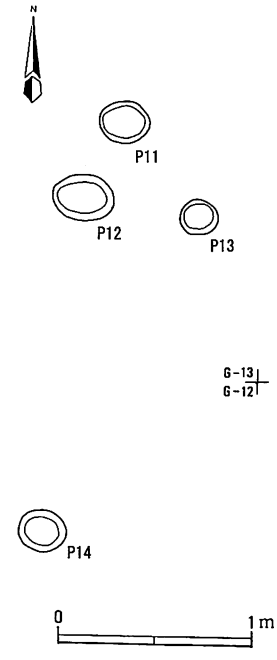
E-13グリッド周辺ピット群



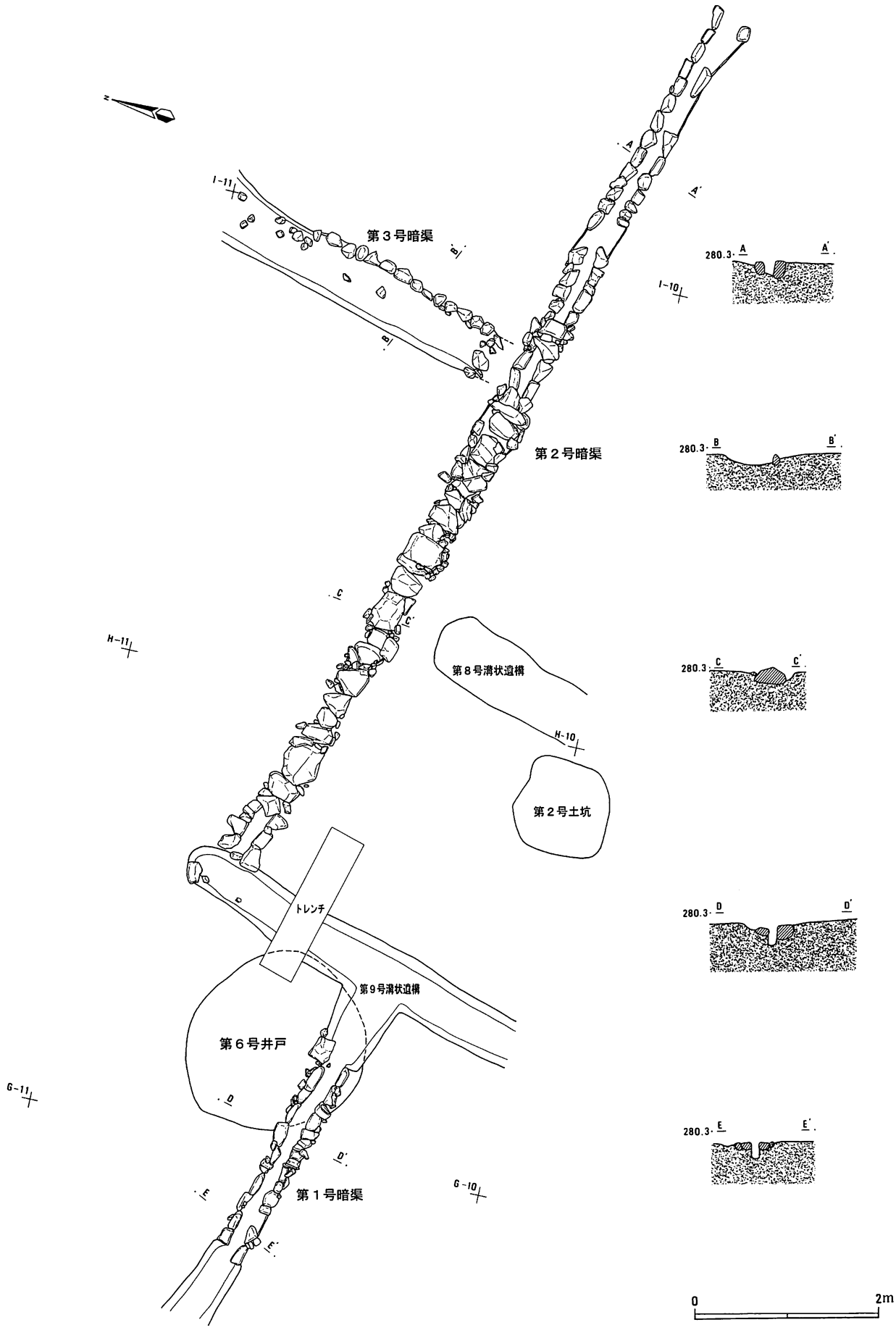

F-12グリッド周辺ピット群

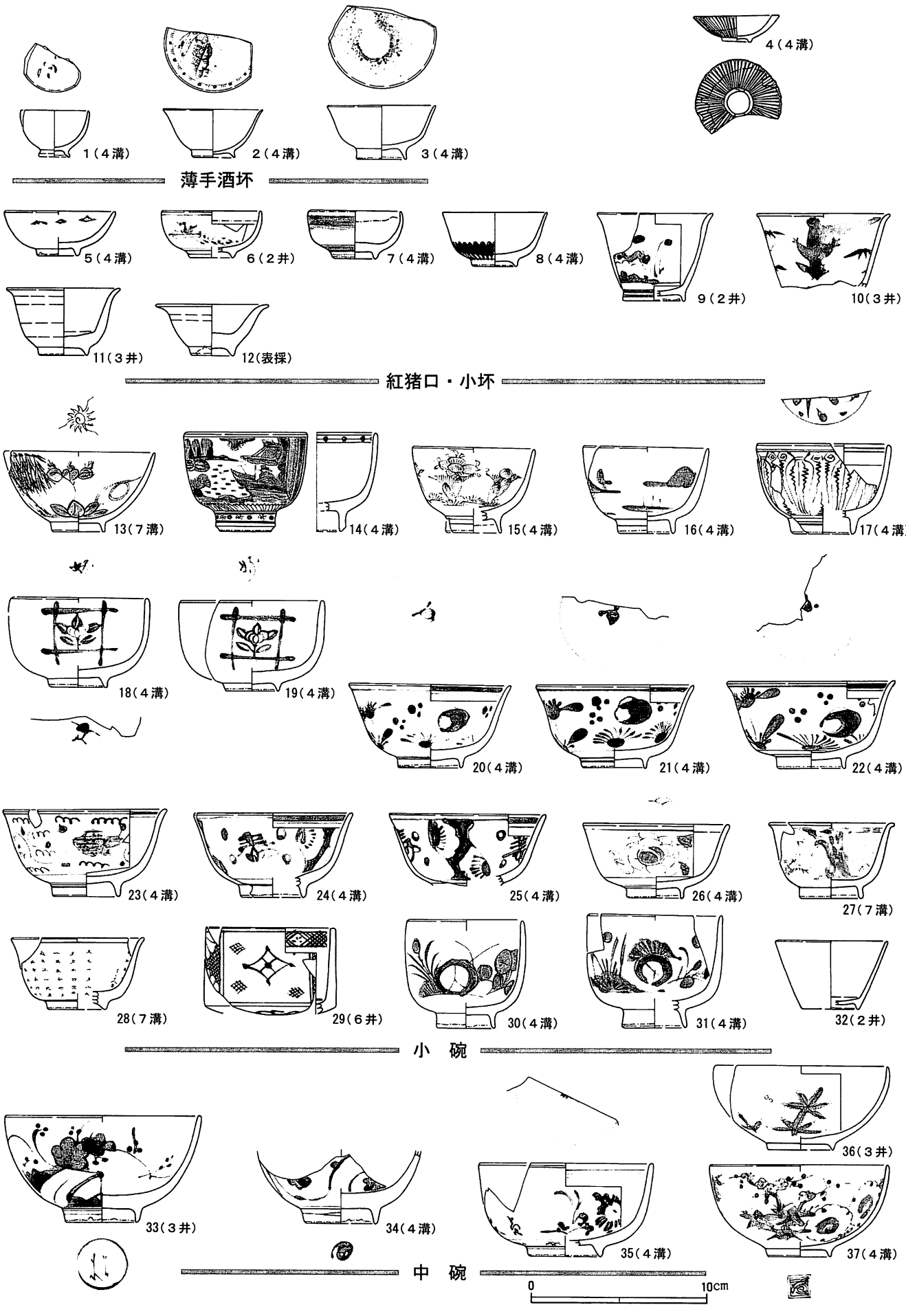


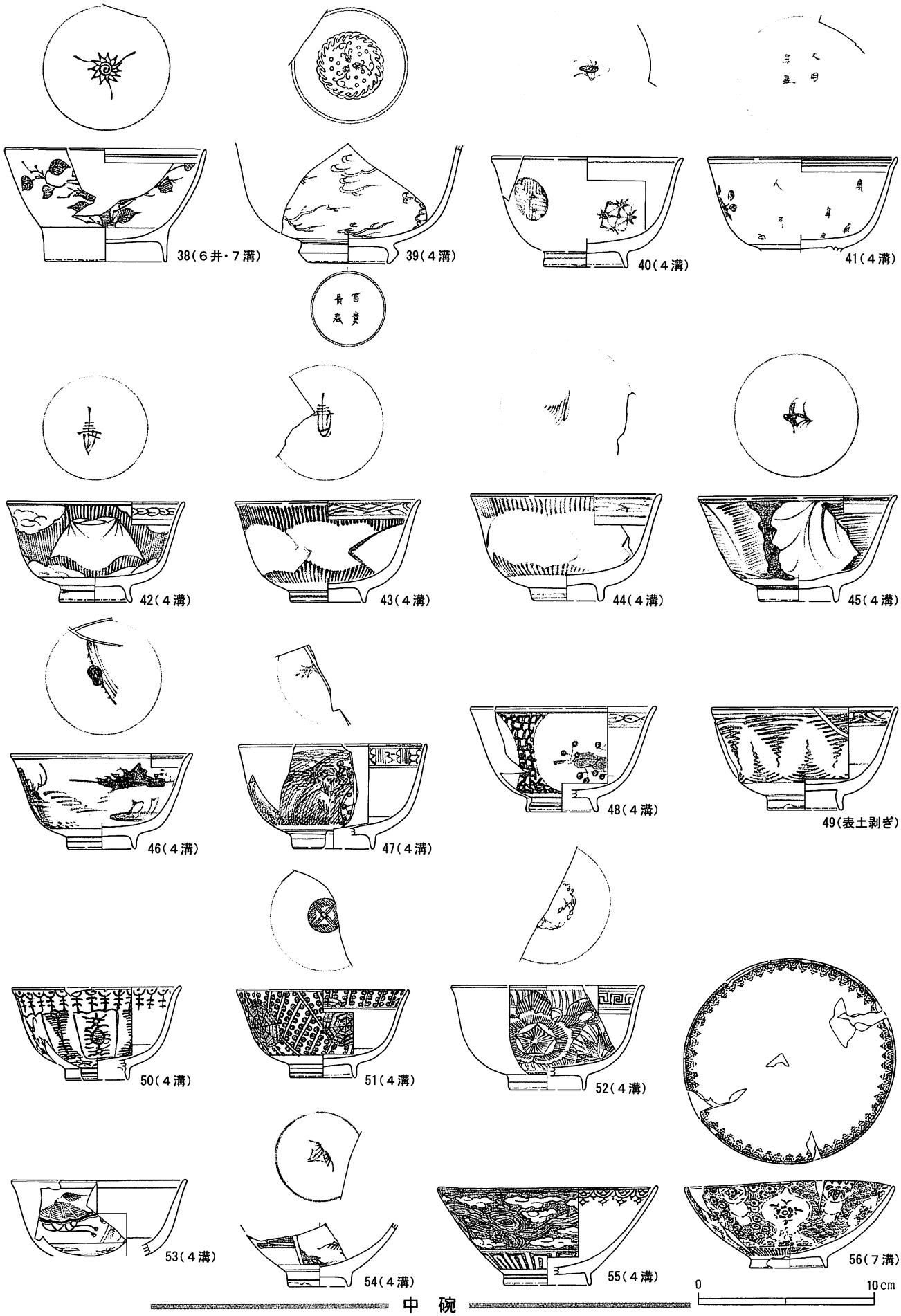

G-12・13グリッド周辺ピット群



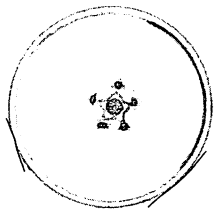
PL-16 第1～3号暗渠

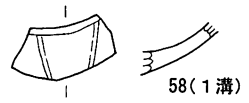

N
I-11
第３号暗渠
B
B'
A
A'
I-10
280.3
A
A'
第２号暗渠
280.3
B
B'
C
C'
H-11
第８号溝状遺構
H-10
280.3
C
C'
第２号土坑
トレンチ
D
D'
280.3
D
D'
第９号溝状遺構
第６号井戸
G-11
E
E'
280.3
E
E'
第１号暗渠
G-10
0
2m


1(4溝)
2(4溝)
3(4溝)
4(4溝)
薄手酒坏
5(4溝)
6(2井)
7(4溝)
8(4溝)
9(2井)
10(3井)
11(3井)
12(表採)
紅猪口・小坏
13(7溝)
14(4溝)
15(4溝)
16(4溝)
17(4溝)
18(4溝)
19(4溝)
20(4溝)
21(4溝)
22(4溝)
23(4溝)
24(4溝)
25(4溝)
26(4溝)
27(7溝)
28(7溝)
29(6井)
30(4溝)
31(4溝)
32(2井)
小 碗
33(3井)
34(4溝)
35(4溝)
36(3井)
37(4溝)
中 碗
0
10cm

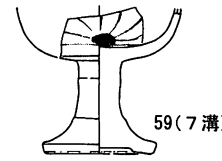

38(6井・7溝)
39(4溝)
40(4溝)
41(4溝)
42(4溝)
43(4溝)
44(4溝)
45(4溝)
46(4溝)
47(4溝)
48(4溝)
49(表土剥ぎ)
50(4溝)
51(4溝)
52(4溝)
53(4溝)
54(4溝)
55(4溝)
56(7溝)
0
10cm

中 碗

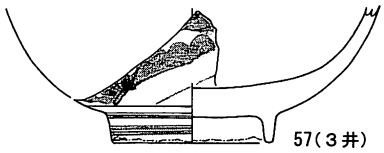





中碗(青磁)

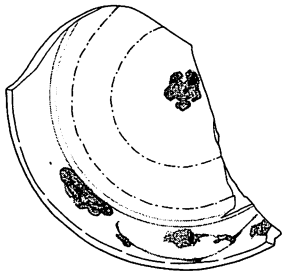


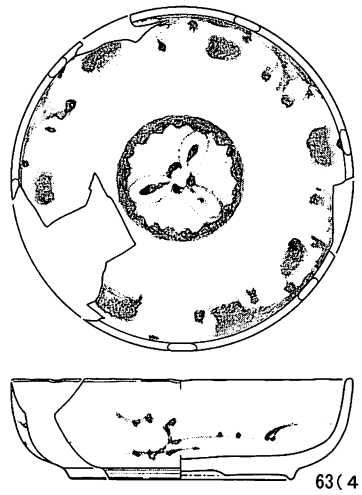

仏飯器

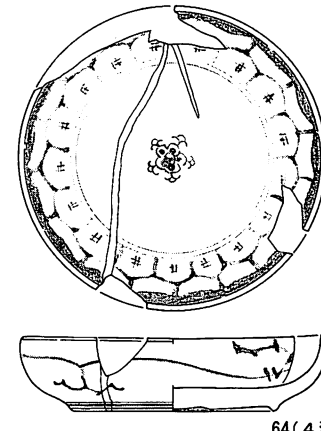


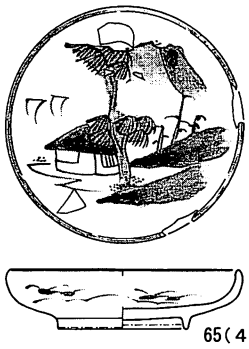
極小皿

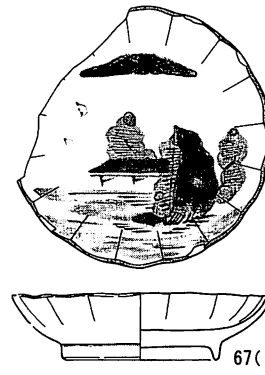
大 碗

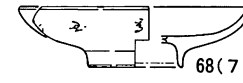


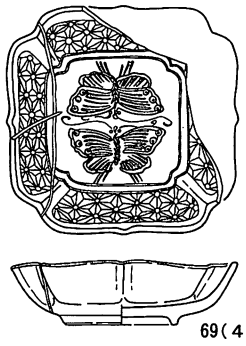



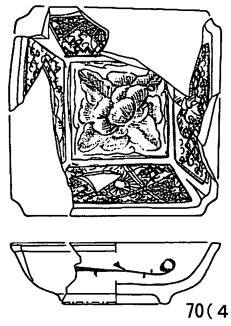



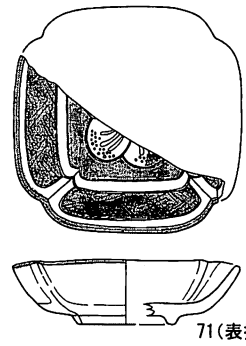




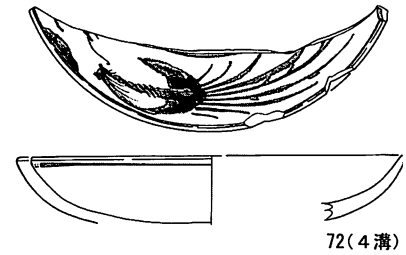



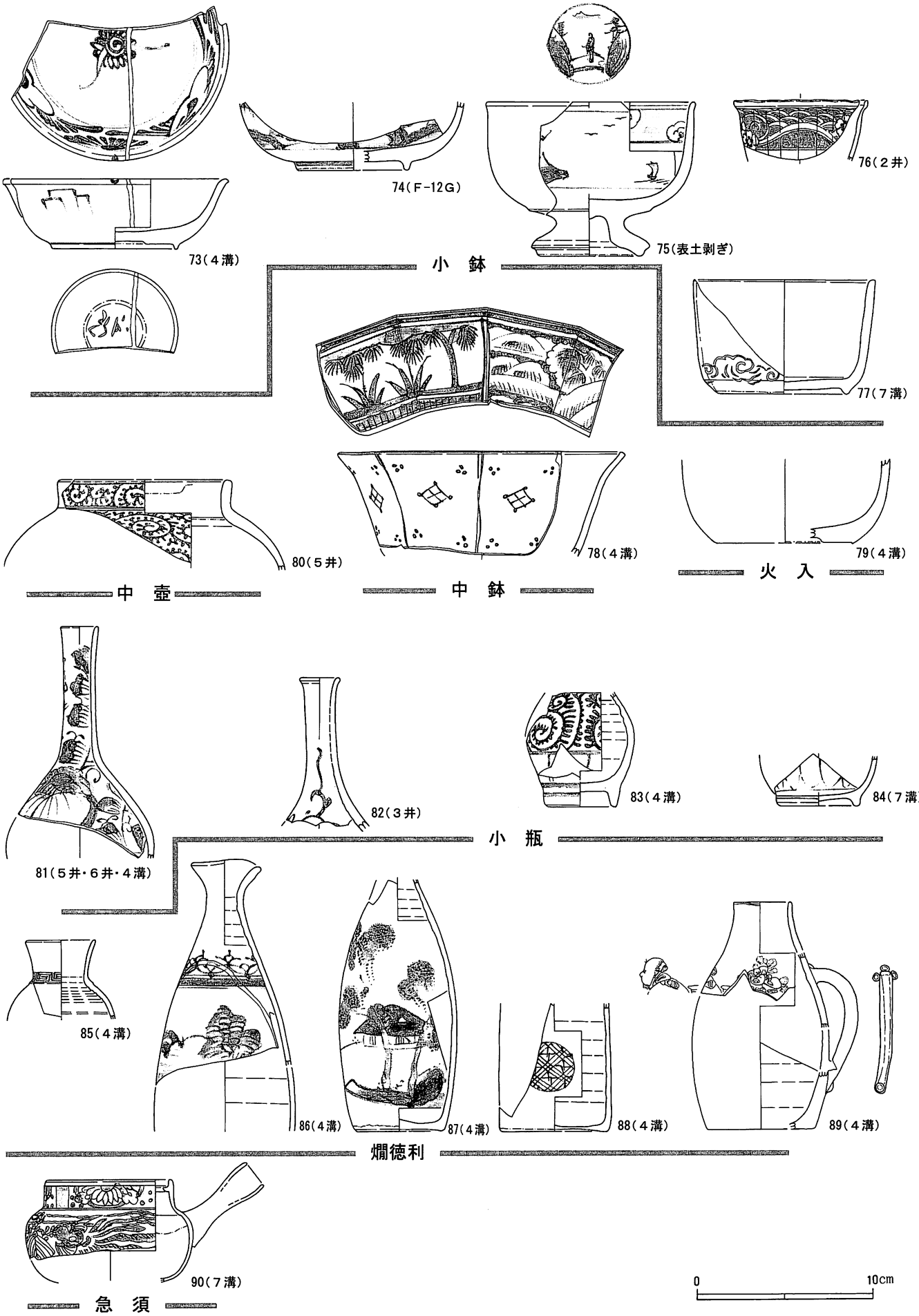



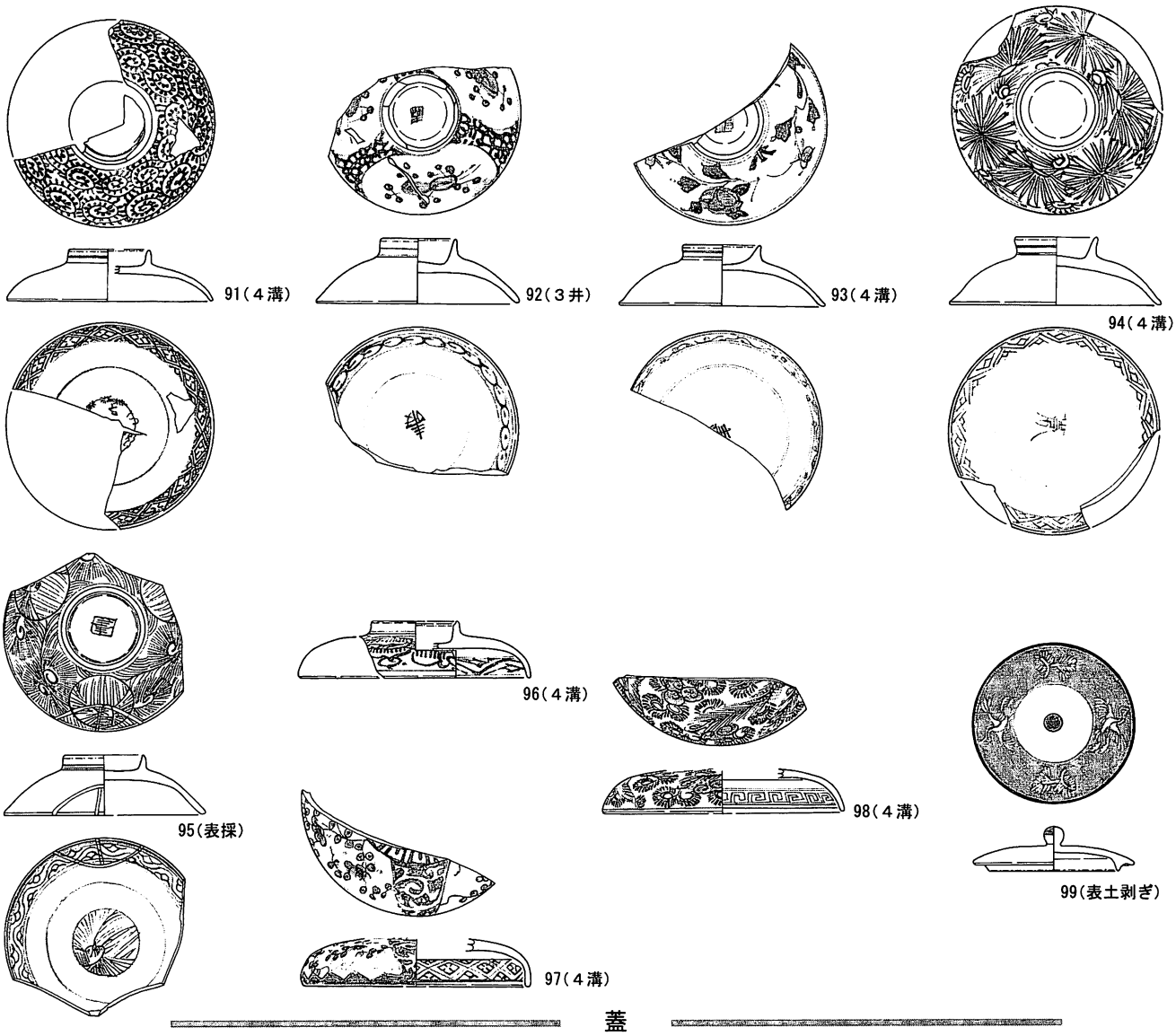
小 皿



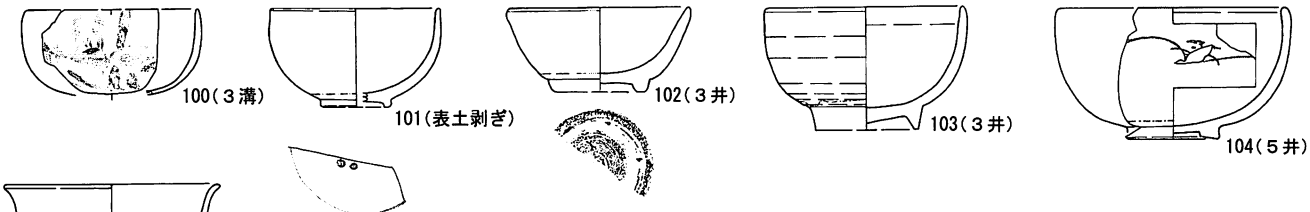

五寸皿

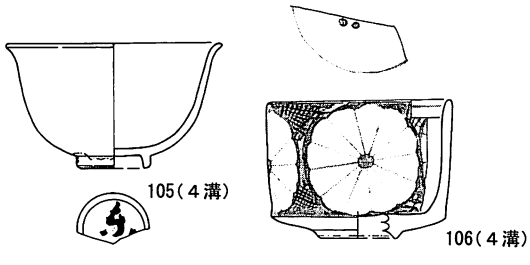
0 10cm


74(F-12G)
76(2井)
73(4溝)
75(表土剥ぎ)
小 鉢
77(7溝)
78(4溝)
79(4溝)
80(5井)
火 入
中 壺
中 鉢
81(5井・6井・4溝)
82(3井)
83(4溝)
84(7溝)
小 瓶
85(4溝)
86(4溝)
87(4溝)
88(4溝)
89(4溝)
燗徳利
90(7溝)
急 須
0
10cm

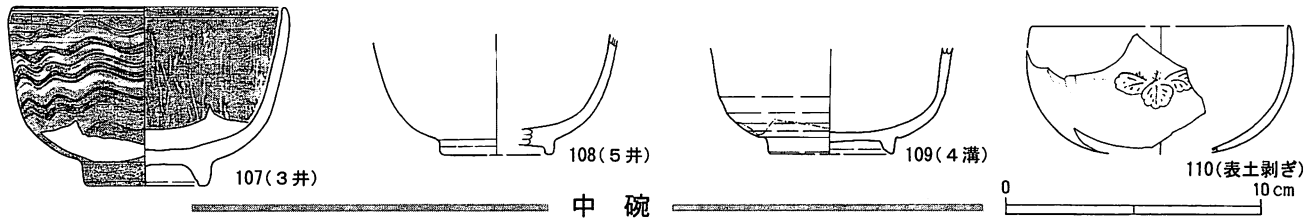

91(４溝)
92(３井)
93(４溝)
94(４溝)
96(４溝)
95(表採)
98(４溝)
99(表土剥ぎ)
97(４溝)

## 蓋

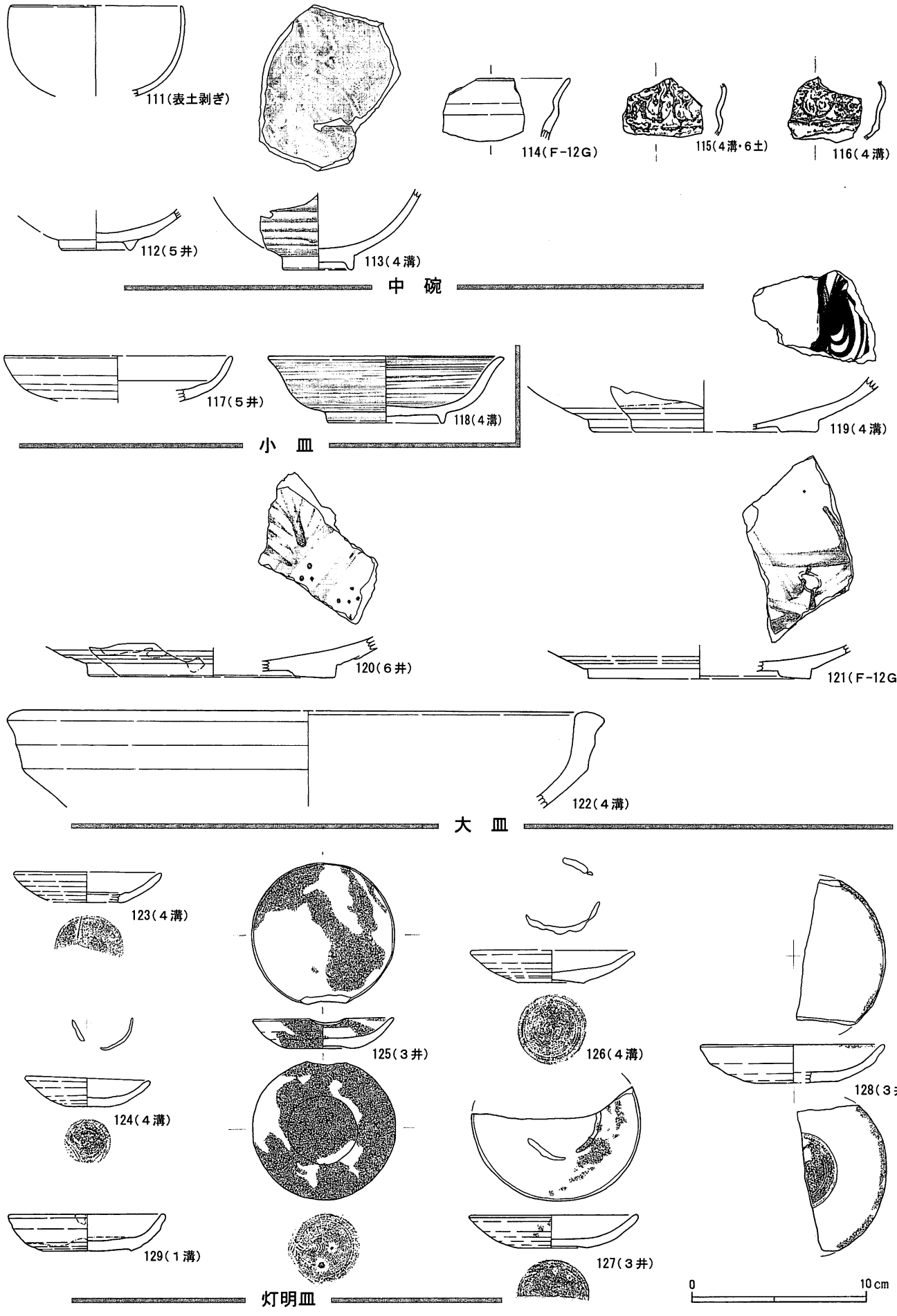

100(３溝)
101(表土剥ぎ)
102(３井)
103(３井)
104(５井)

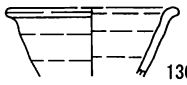

105(４溝)
106(４溝)

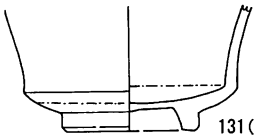
## 小　碗


107(３井)
108(５井)
109(４溝)
110(表土剥ぎ)
0
10cm

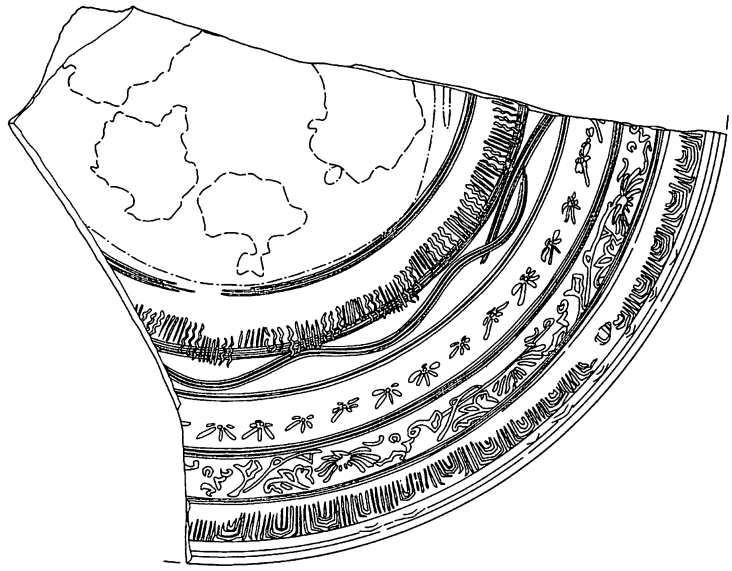
## 中　碗

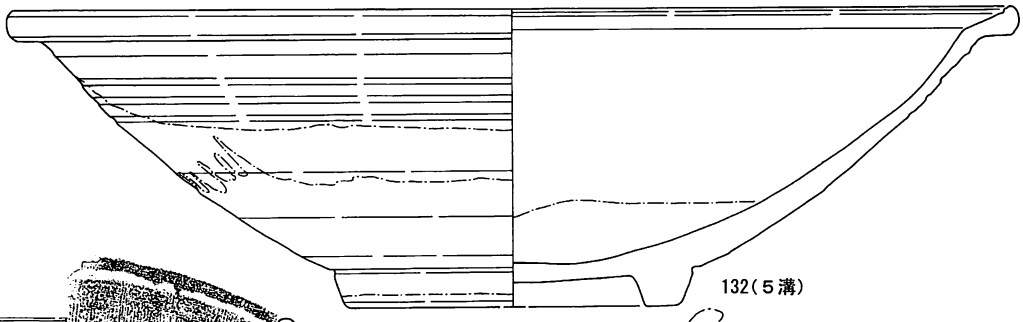

111(表土剥ぎ)
114(F-12G)
115(4溝・6土)
116(4溝)
112(5井)
113(4溝)
中 碗
117(5井)
118(4溝)
119(4溝)
小 皿
120(6井)
121(F-12G)
122(4溝)
大 皿
123(4溝)
125(3井)
126(4溝)
128(3井)
124(4溝)
129(1溝)
127(3井)
灯明皿
0
10cm


130(3井)

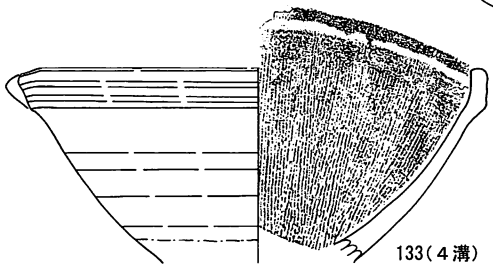

131(5溝)

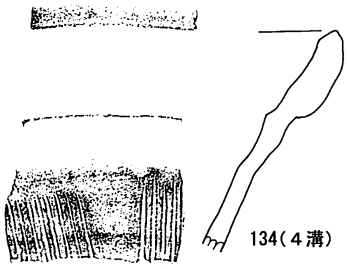
小 鉢



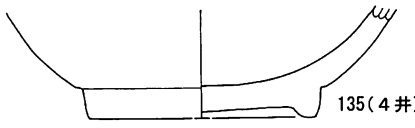

132(5溝)

大 鉢

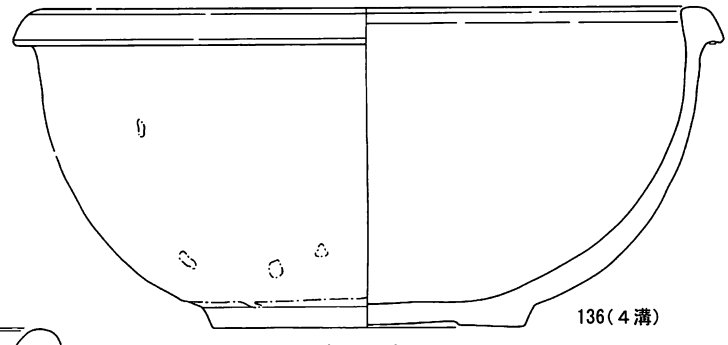

133(4溝)


134(4溝)

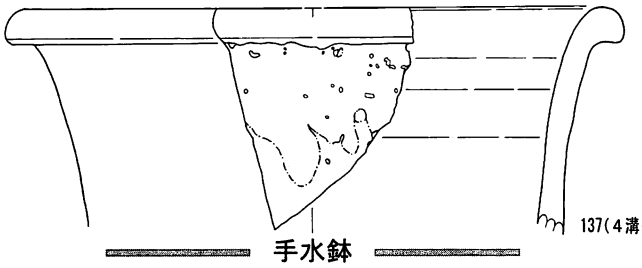
餌擂鉢・擂鉢


135(4井)

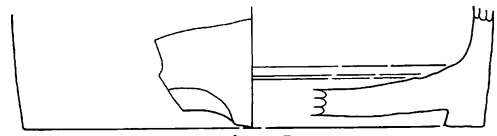
練 鉢


136(4溝)

捏 鉢


137(4溝・2暗)

手水鉢

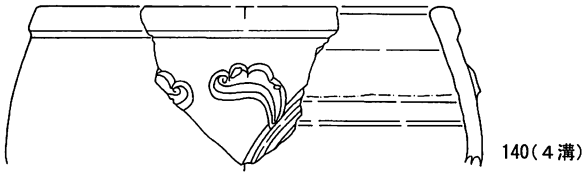

138(4井)

火 入

139(G-3G)

香 炉

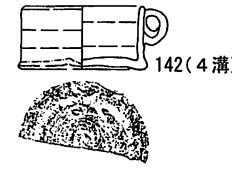
0 10cm


140(4溝)

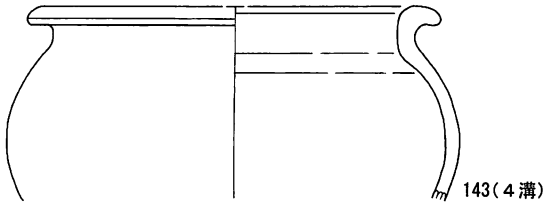
香 炉

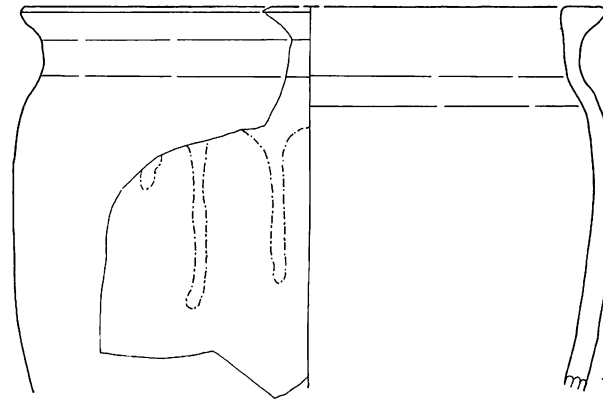
141(4溝)

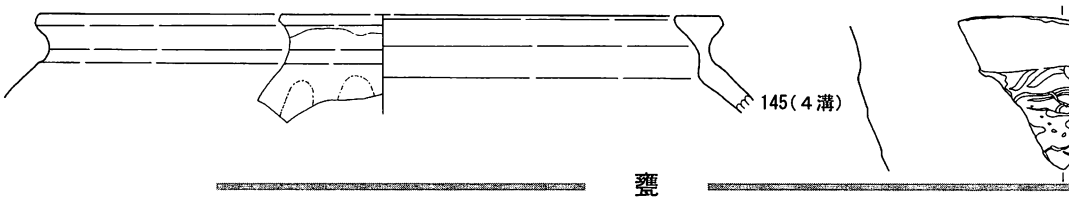
火 鉢


142(4溝)

餌猪口

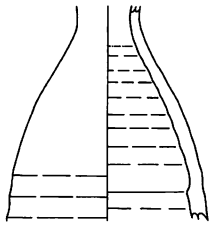

143(4溝)

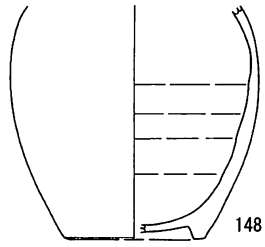

144(4溝)


145(4溝)

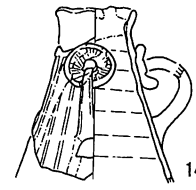
甕

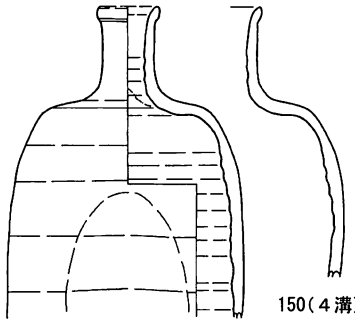
146(2暗)

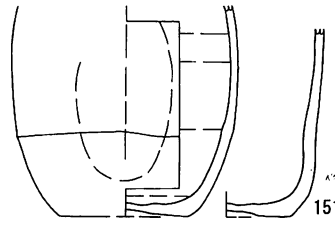

147(4溝)

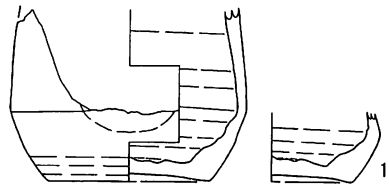

148(4溝)

小 瓶

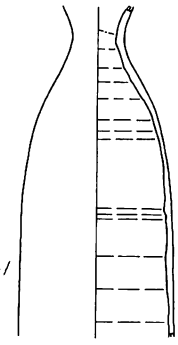

149(4溝)


150(4溝)


151(4溝)

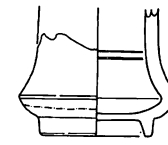

152(4溝)

中 瓶

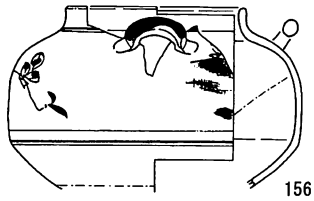

153(4溝)

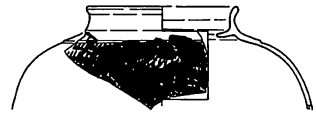
154(4溝)

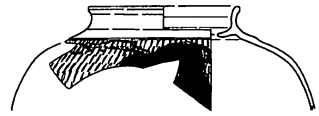
燗徳利

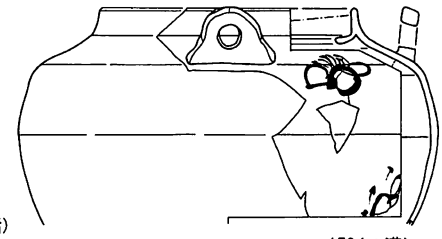

155(B区一括)

仏花瓶


156(4溝)

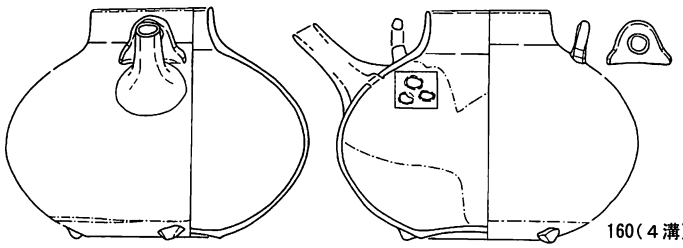

157(4溝)

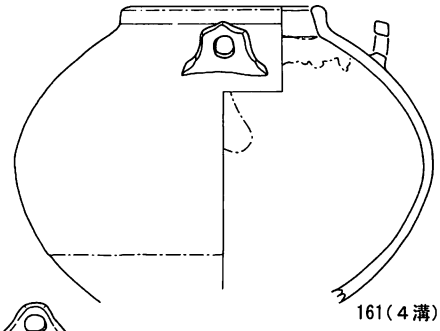

158(A区一括)

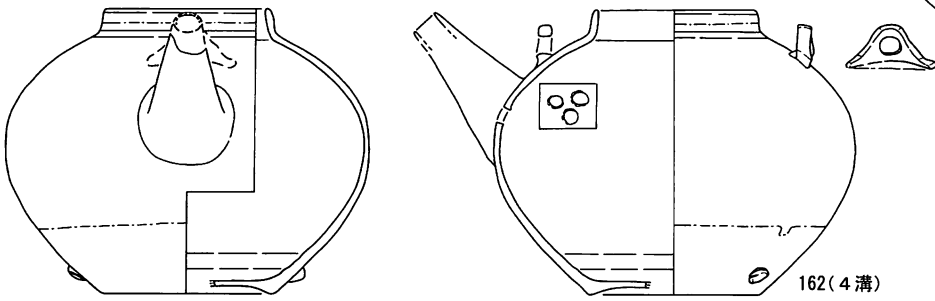

159(4溝)

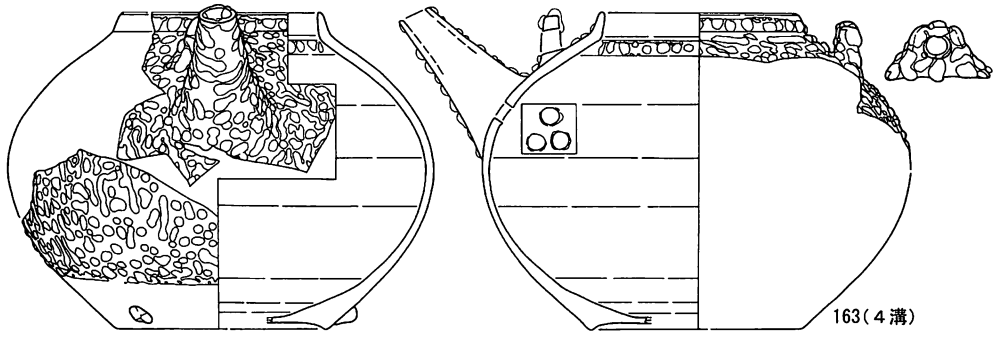
0 10cm

土 瓶

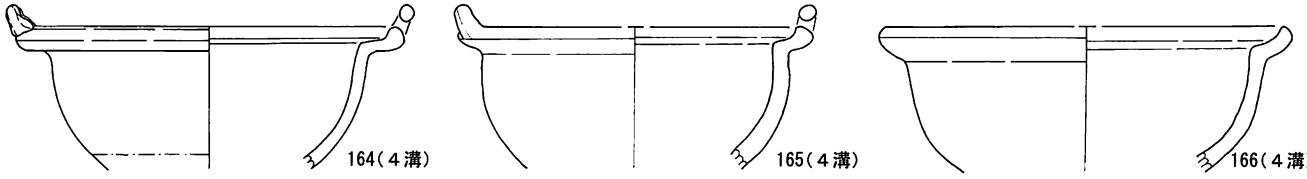

160(４溝)


161(４溝)


162(４溝)

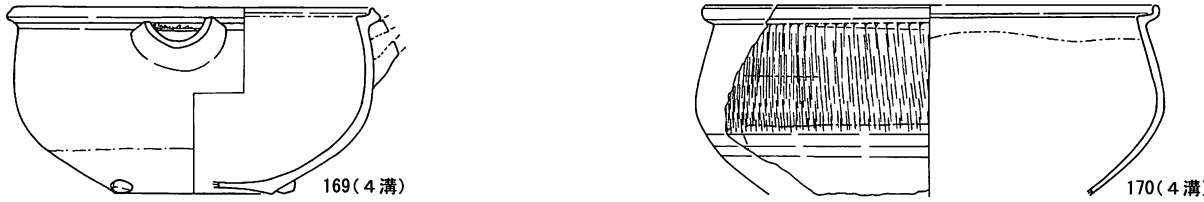

163(４溝)

土　瓶

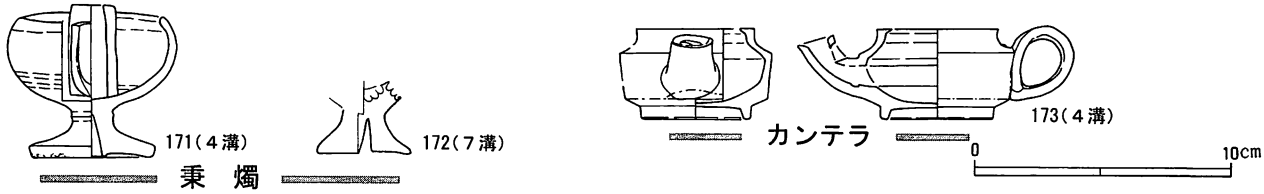

164(４溝)
165(４溝)
166(４溝)

167(４溝)
168(４溝)

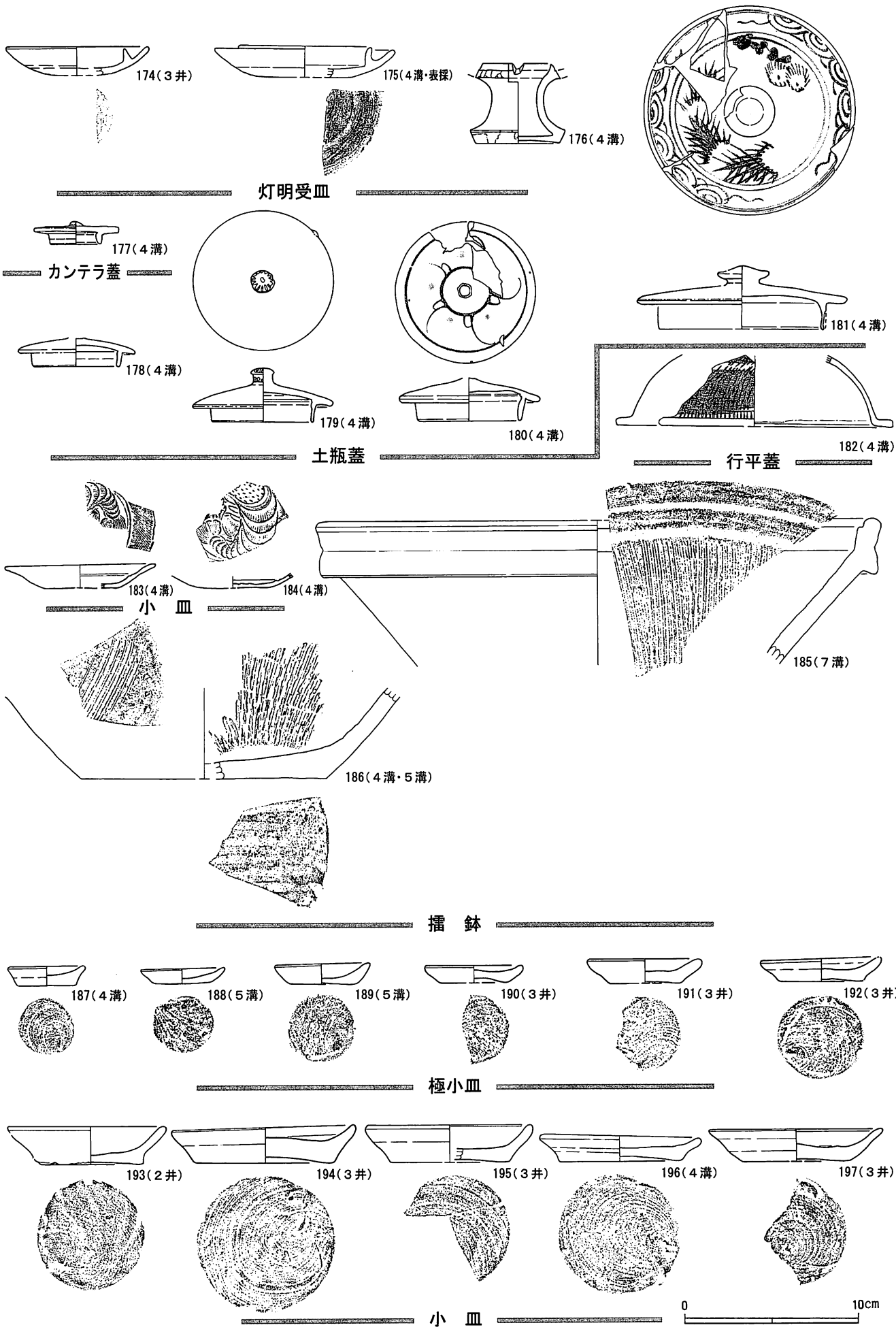
土　鍋

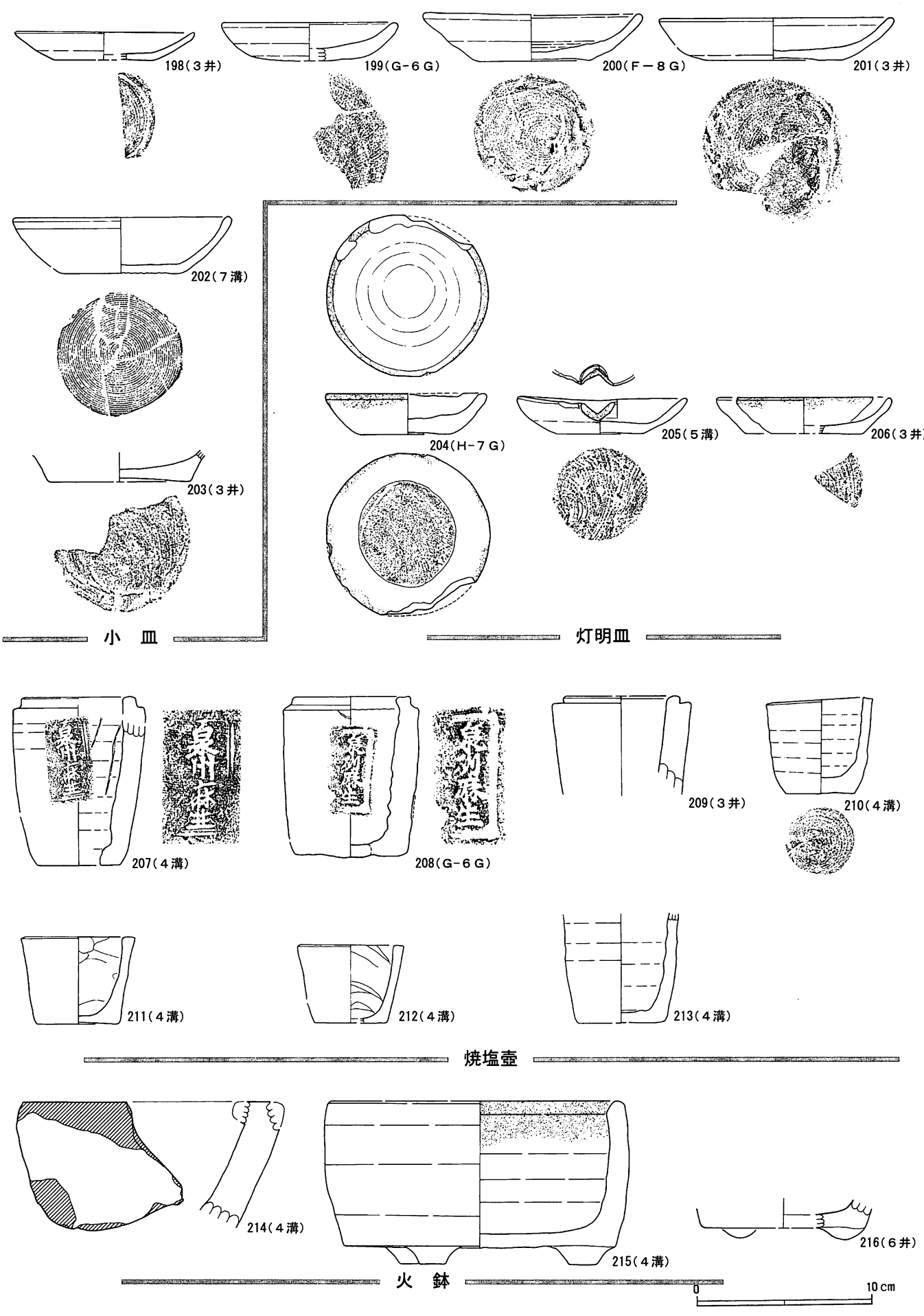

169(４溝)
170(４溝)

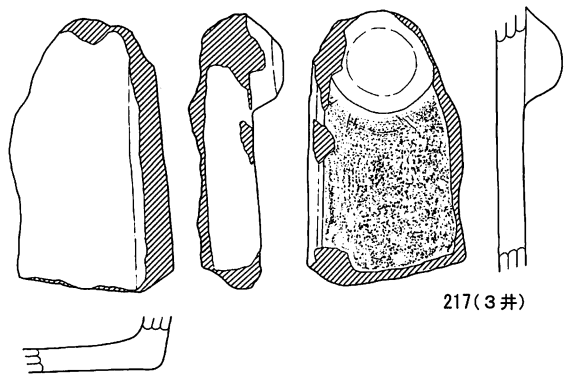
行　平


171(４溝)
172(７溝)
173(４溝)
0
10cm

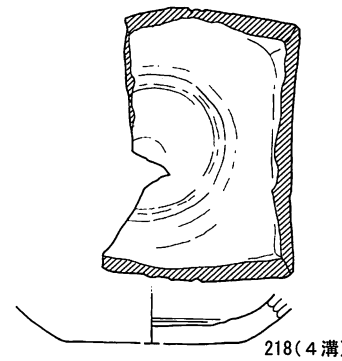
秉　燭
カンテラ


174(3井)
175(4溝・表採)
176(4溝)
灯明受皿
177(4溝)
カンテラ蓋
178(4溝)
179(4溝)
180(4溝)
土瓶蓋
181(4溝)
182(4溝)
行平蓋
183(4溝)
184(4溝)
小　皿
185(7溝)
186(4溝・5溝)
擂　鉢
187(4溝)
188(5溝)
189(5溝)
190(3井)
191(3井)
192(3井)
極小皿
193(2井)
194(3井)
195(3井)
196(4溝)
197(3井)
小　皿
0
10cm


198(3井)
199(G-6G)
200(F－8G)
201(3井)
202(7溝)
203(3井)
204(H-7G)
205(5溝)
206(3井)
小 皿
灯明皿
207(4溝)
208(G-6G)
209(3井)
210(4溝)
211(4溝)
212(4溝)
213(4溝)
焼塩壺
214(4溝)
215(4溝)
216(6井)
火 鉢
0
10cm

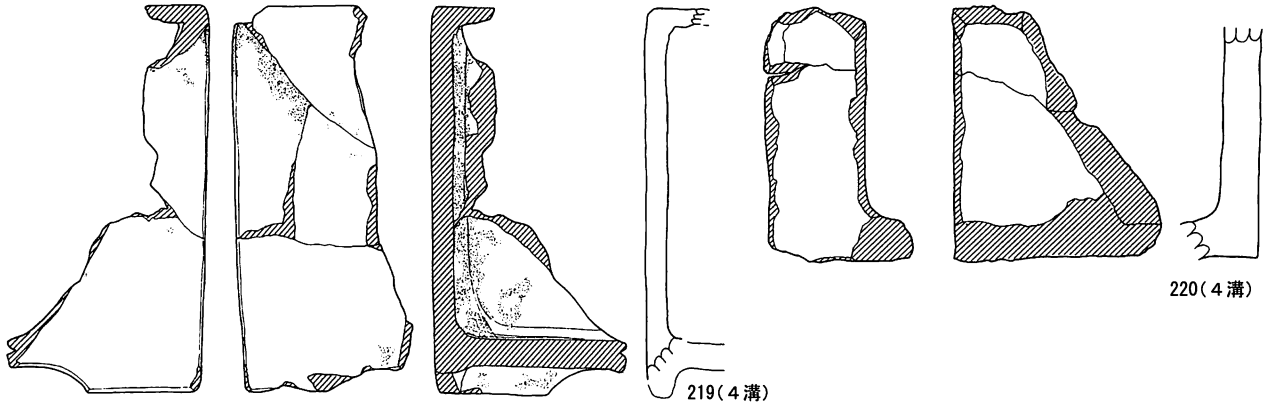


217(3井)



218(4溝)

## 火 鉢

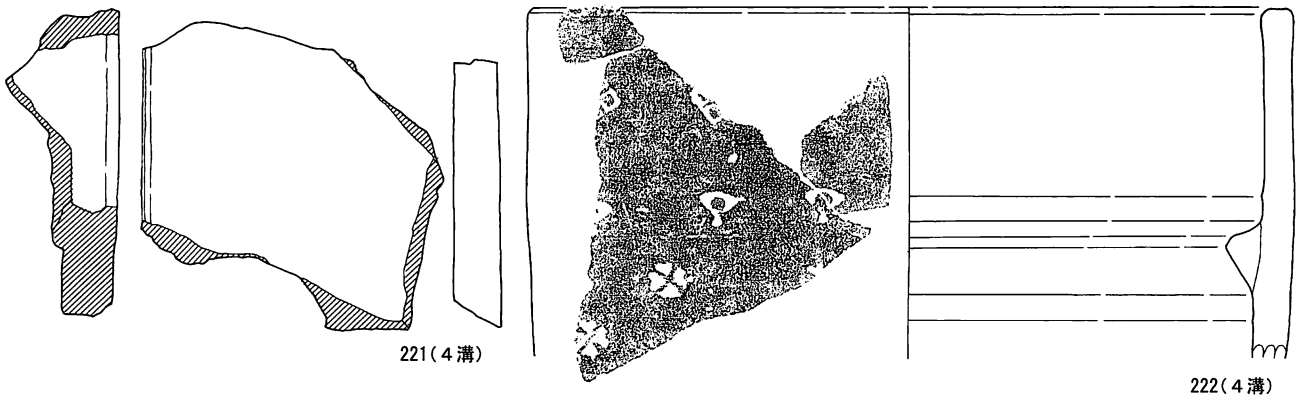


219(4溝)

220(4溝)

0 10cm

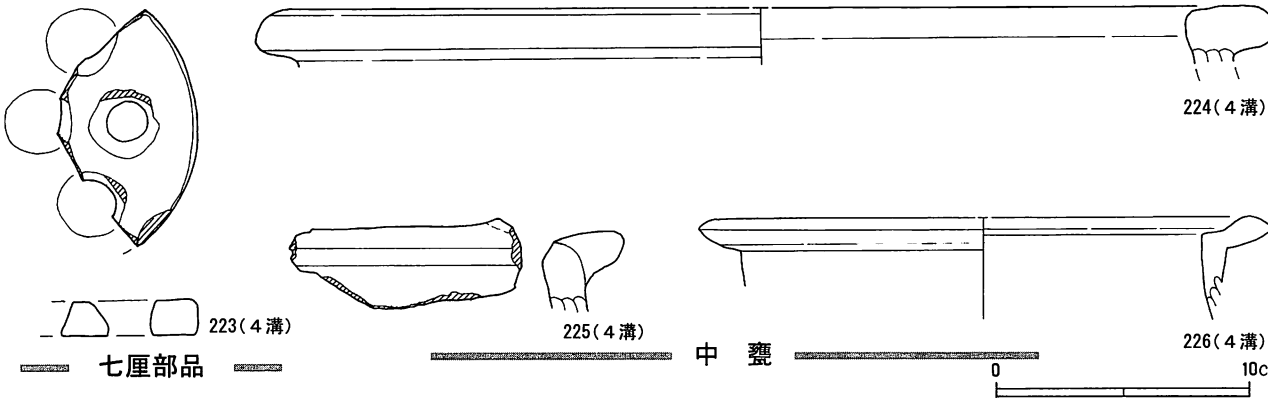
(217・219)



221(4溝)

222(4溝)

## 七厘・焜炉



224(4溝)

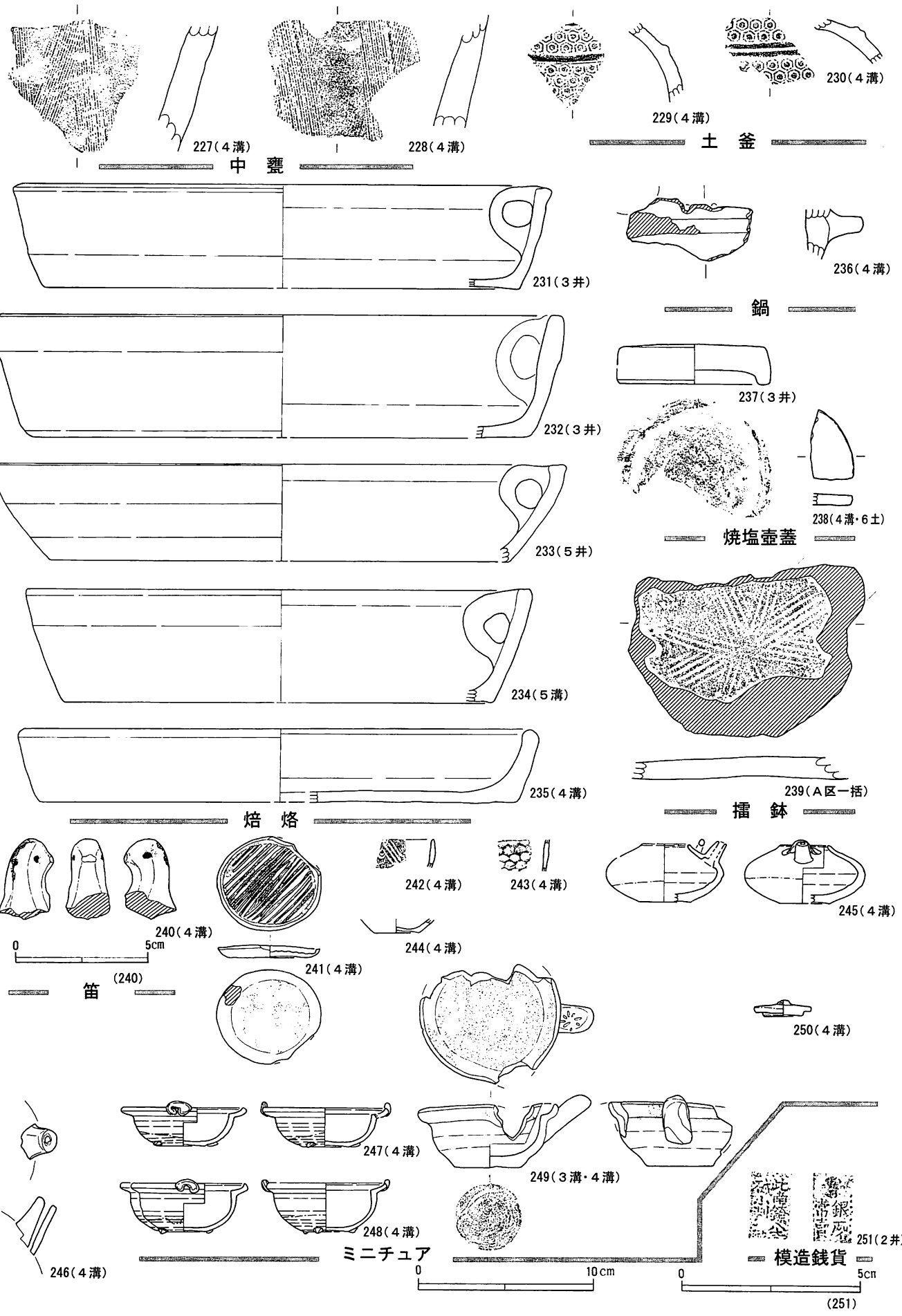
223(4溝)

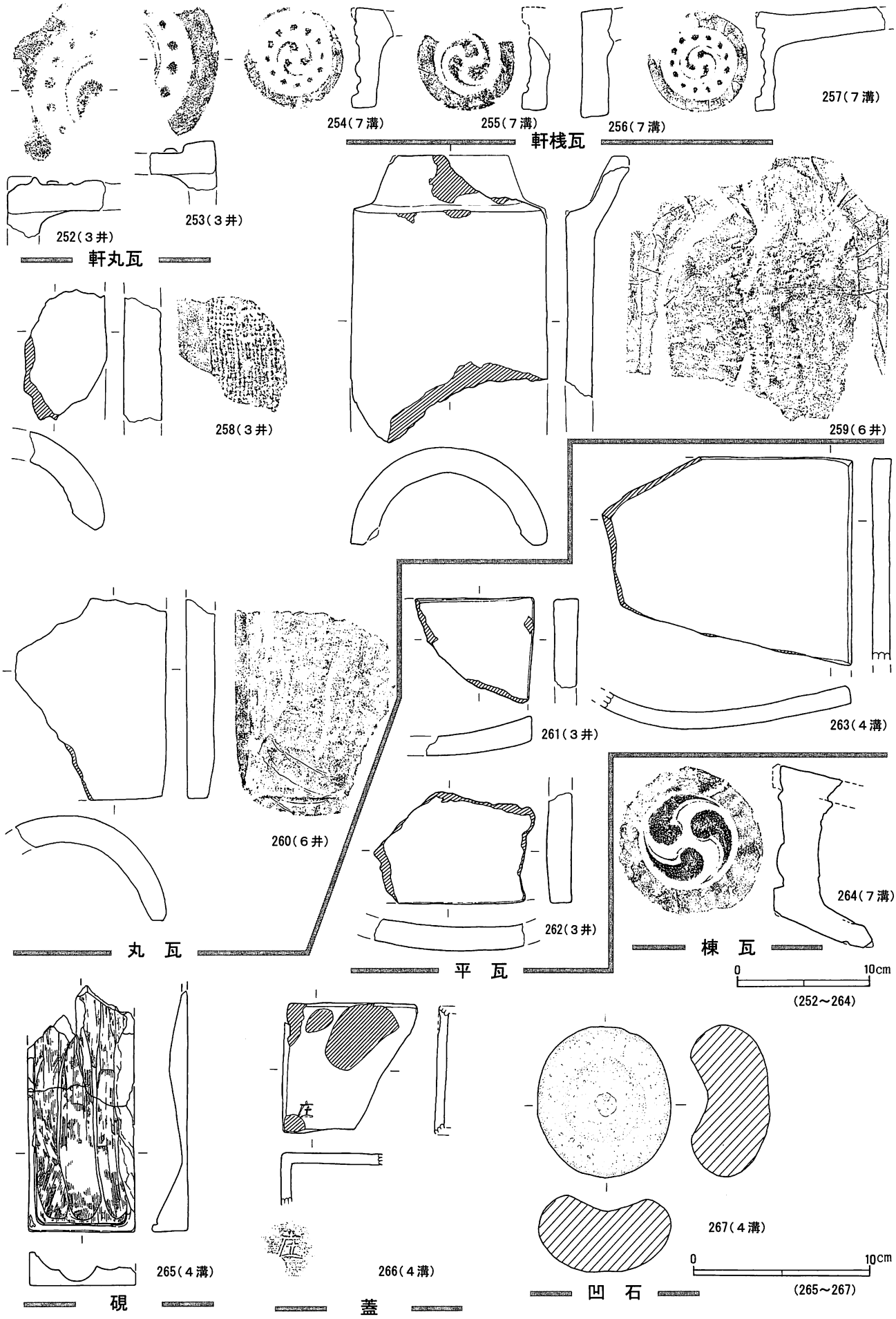
225(4溝)

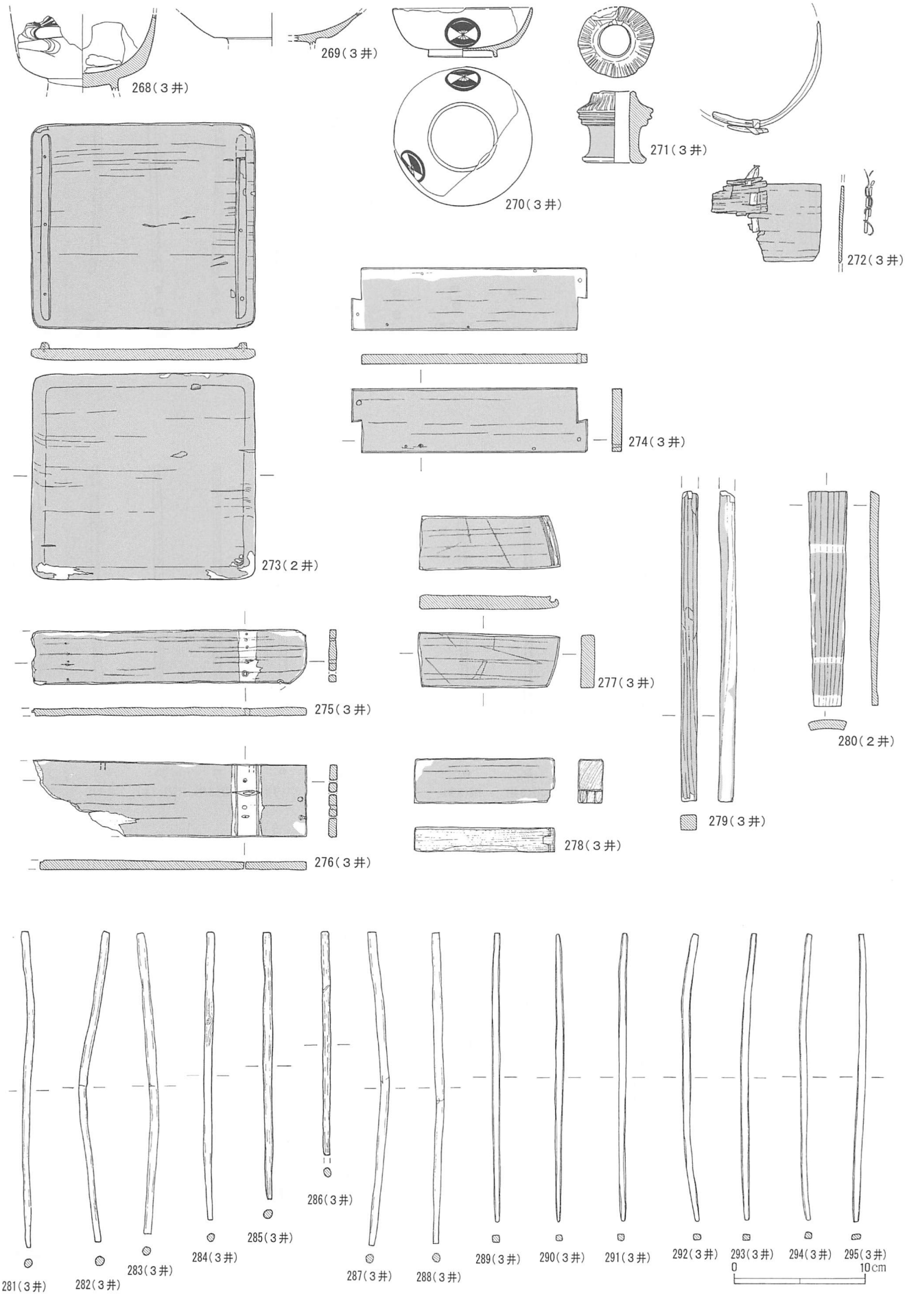
226(4溝)

0 10cm

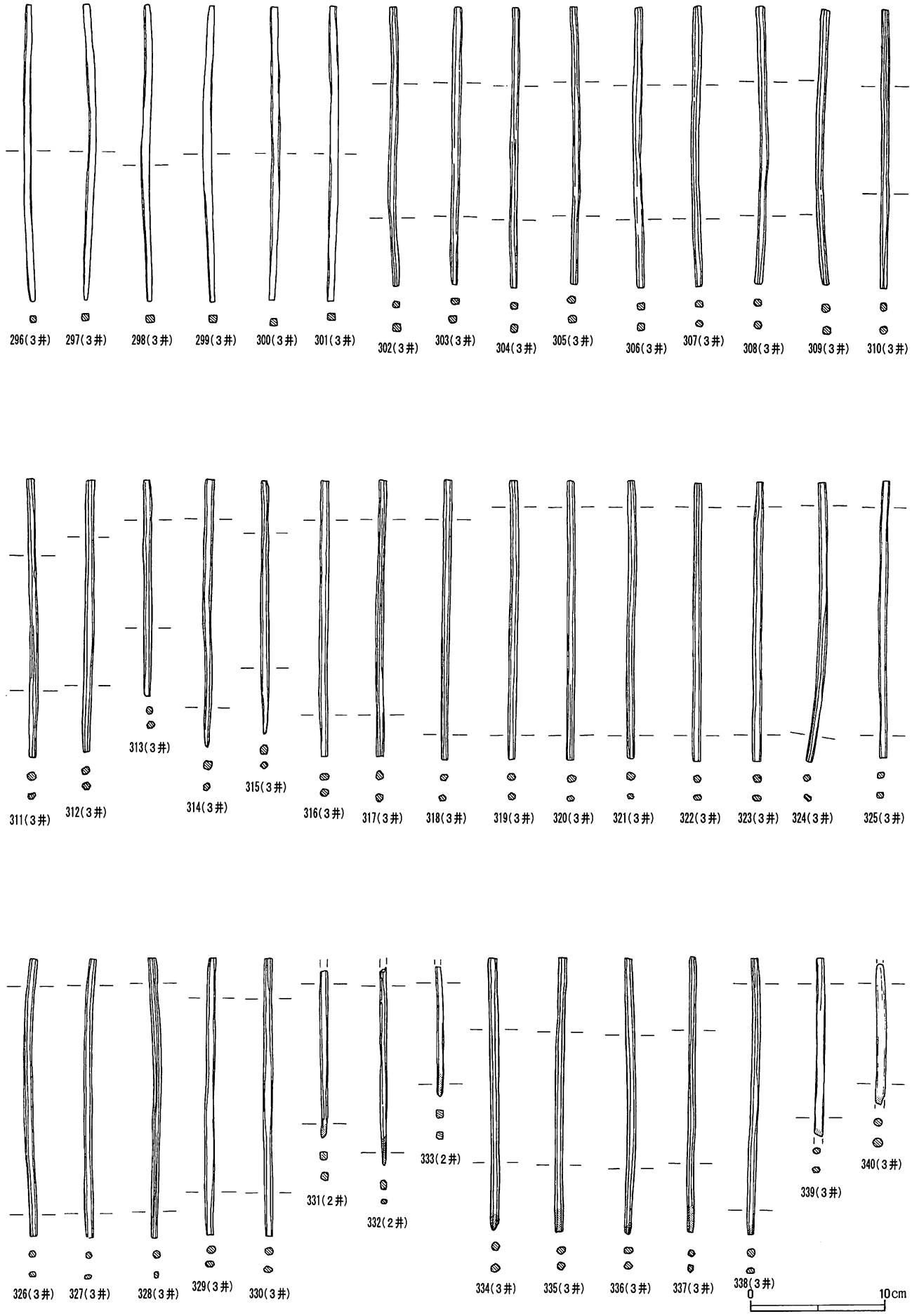
七厘部品　中 甕

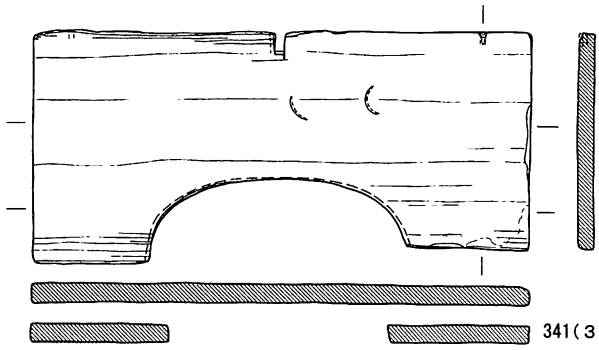

227(4溝)
228(4溝)
中 甕
229(4溝)
230(4溝)
土 釜
231(3井)
232(3井)
233(5井)
234(5溝)
235(4溝)
焙 烙
236(4溝)
鍋
237(3井)
238(4溝・6土)
焼塩壺蓋
239(A区一括)
擂 鉢
240(4溝)
0
5cm
(240)
笛
241(4溝)
242(4溝)
243(4溝)
244(4溝)
245(4溝)
250(4溝)
246(4溝)
247(4溝)
248(4溝)
249(3溝・4溝)
ミニチュア
0
10cm
251(2井)
模造銭貨
0
5cm
(251)

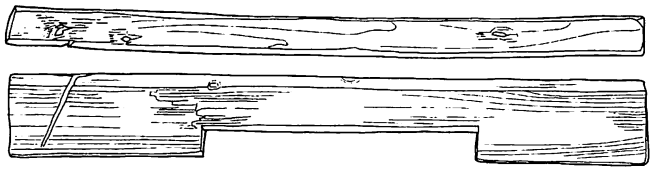

254(7溝)
255(7溝)
256(7溝)
257(7溝)
軒桟瓦
252(3井)
253(3井)
軒丸瓦
258(3井)
259(6井)
260(6井)
261(3井)
263(4溝)
丸 瓦
262(3井)
平 瓦
264(7溝)
棟 瓦
0
10cm
(252～264)
265(4溝)
硯
266(4溝)
蓋
267(4溝)
凹 石
0
10cm
(265～267)

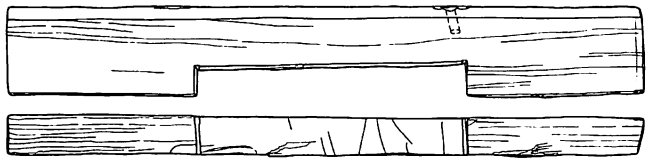

268(3井)
269(3井)
270(3井)
271(3井)
272(3井)
273(2井)
274(3井)
275(3井)
276(3井)
277(3井)
278(3井)
279(3井)
280(2井)
281(3井)
282(3井)
283(3井)
284(3井)
285(3井)
286(3井)
287(3井)
288(3井)
289(3井)
290(3井)
291(3井)
292(3井)
293(3井)
294(3井)
295(3井)
0
10cm

PL-32 木製品 食関係(2)

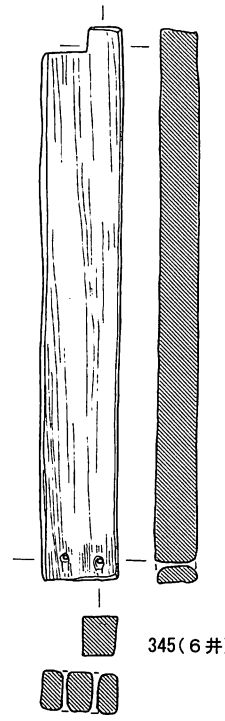


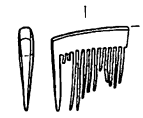

341(3井)

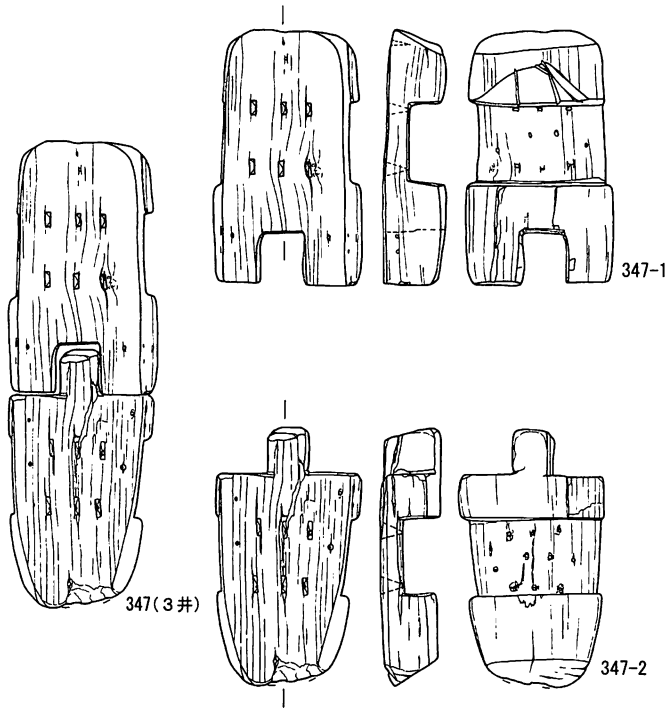

342(6井)


343(3井)

344(3井)

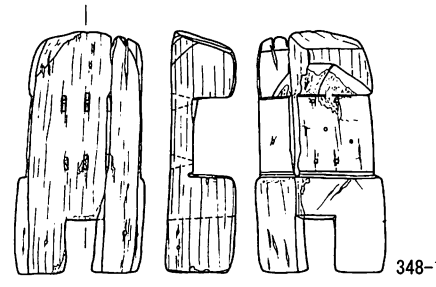

345(6井)

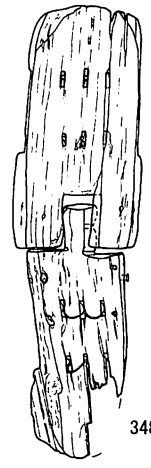

346(2井)

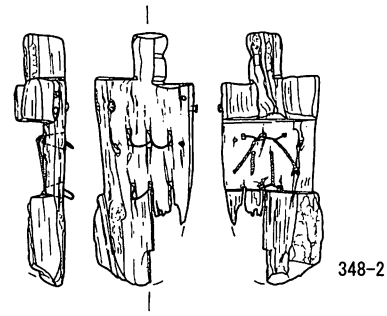

347-1


347(3井)


347-2

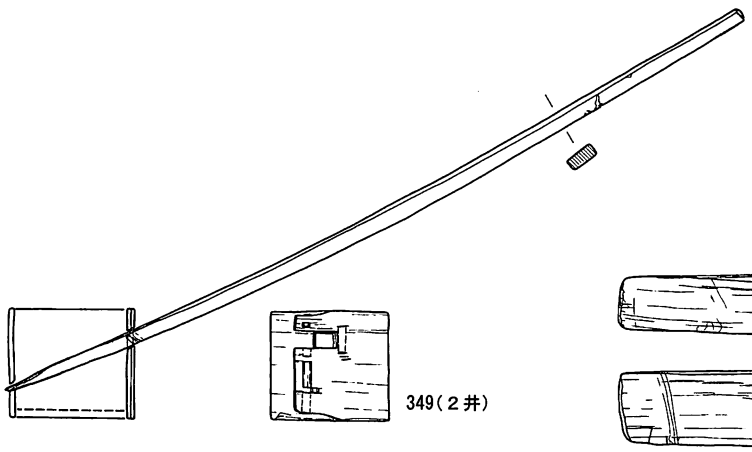

348-1

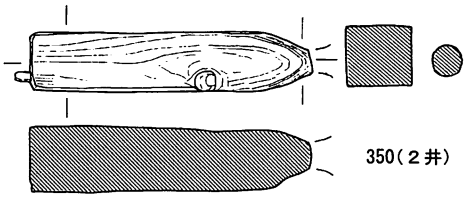

348(3井)

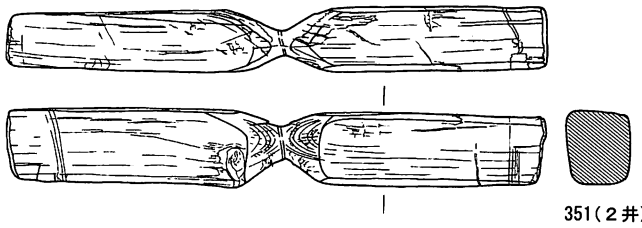

348-2

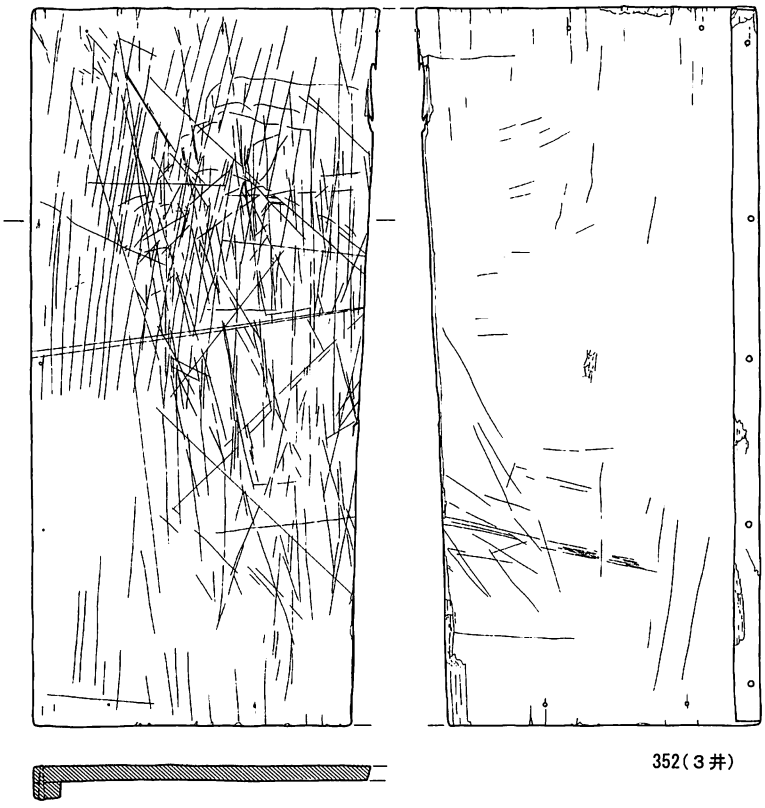
0 10cm

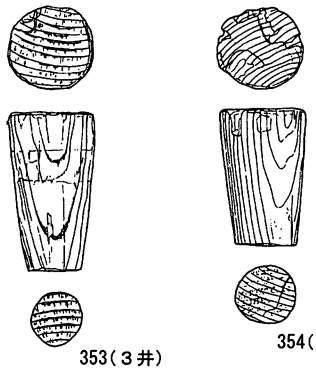
PL-34 木製品 容器(1)


349(2井)

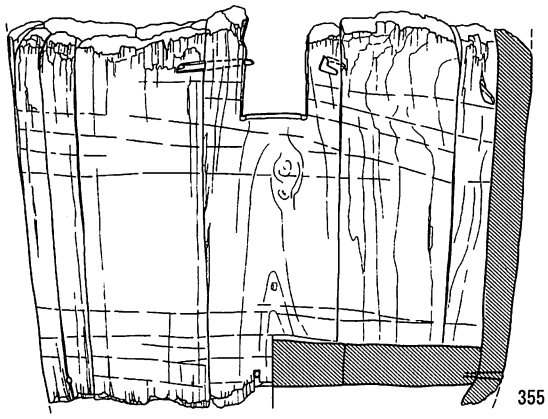

350(2井)

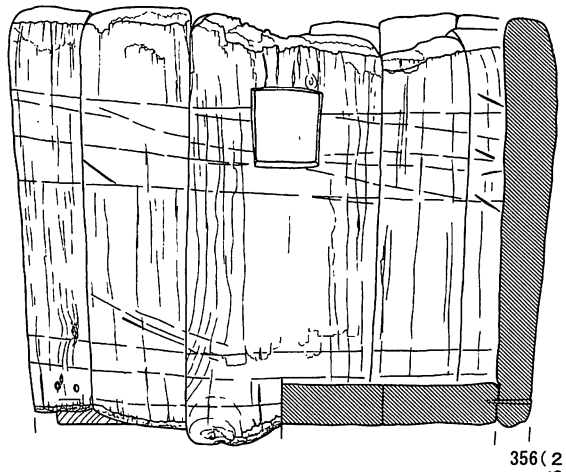

351(2井)


352(3井)

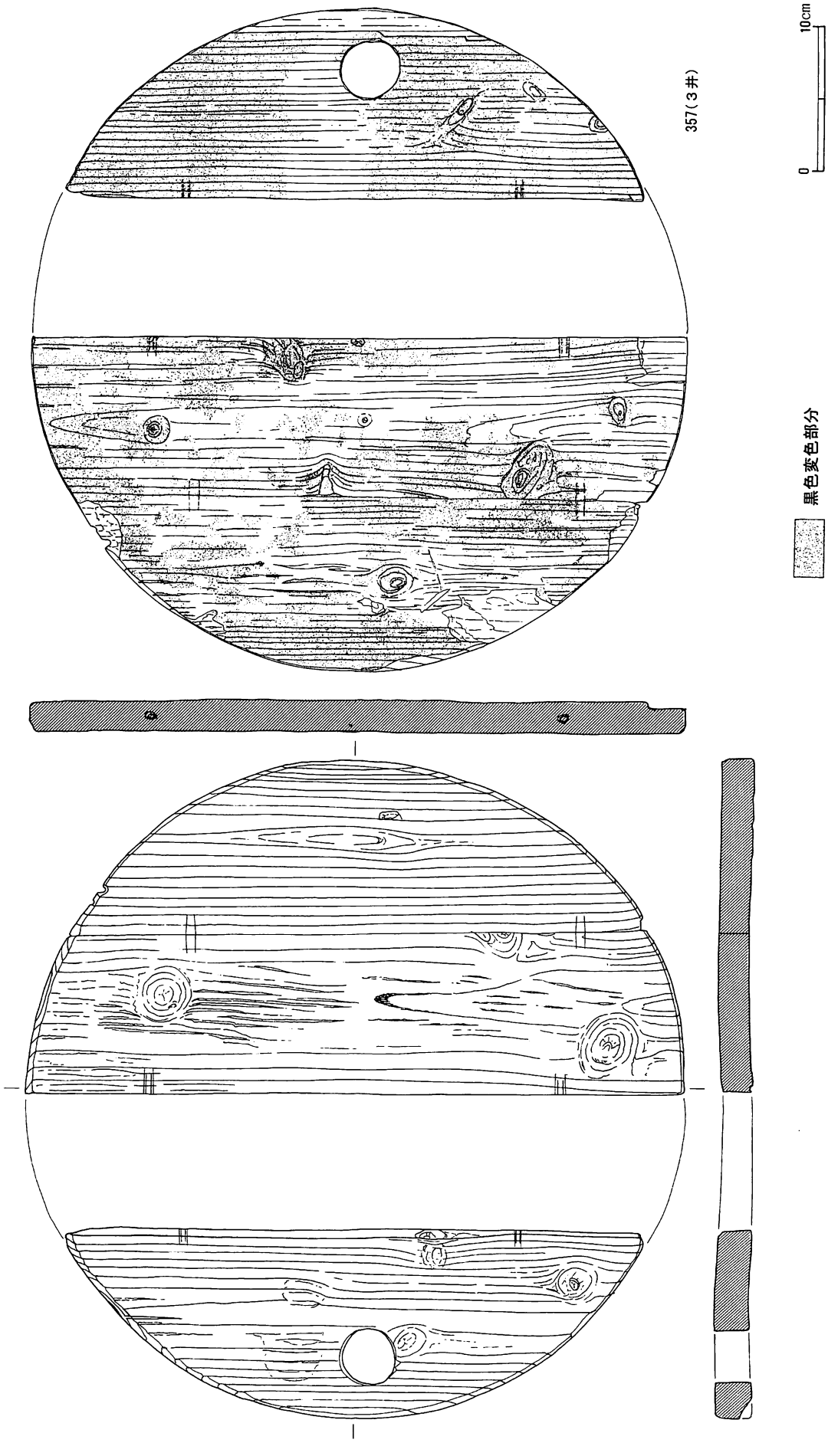

353(3井)

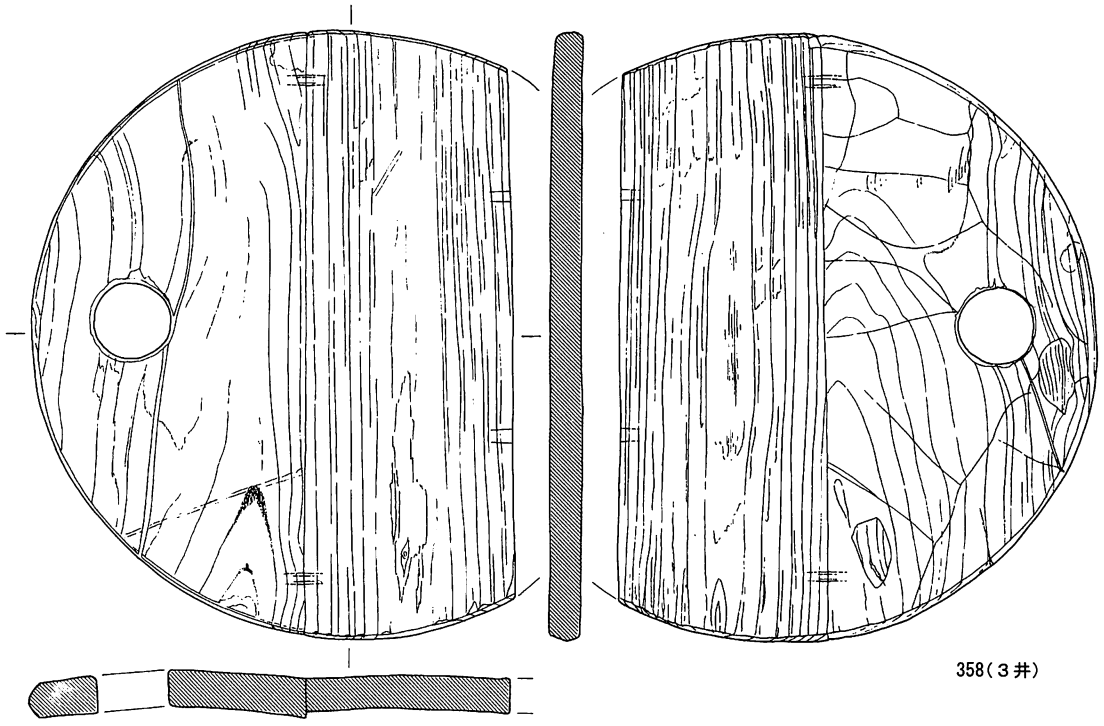
354(3井)


355(2井)

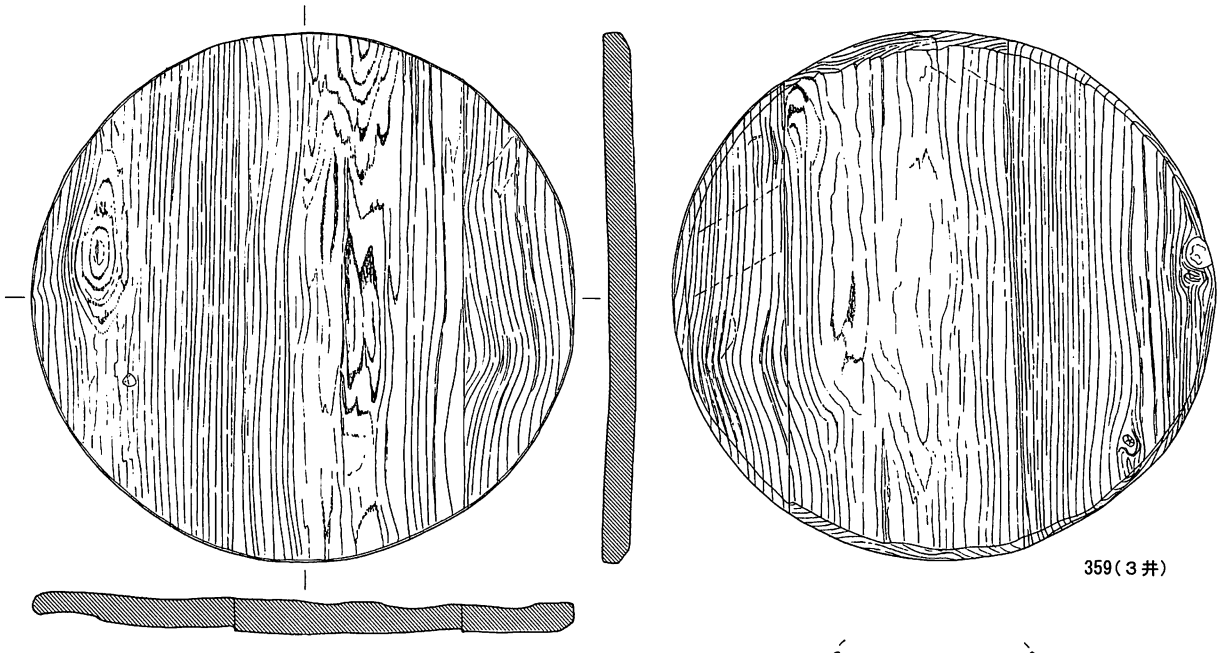

356(2井)

0 10cm

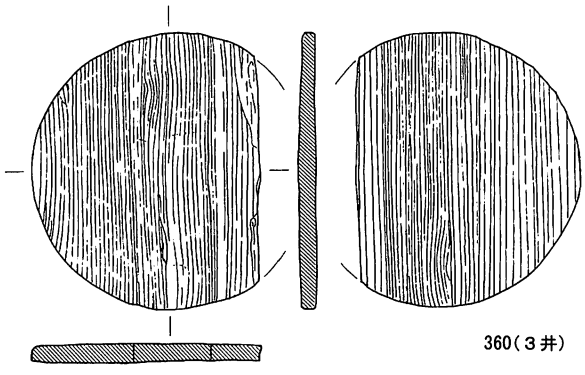

357(3井)
10cm
0
黒色変色部分



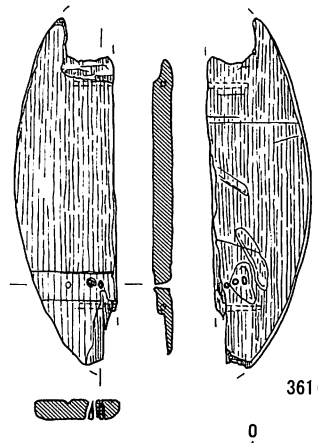
358(３井)



359(３井)

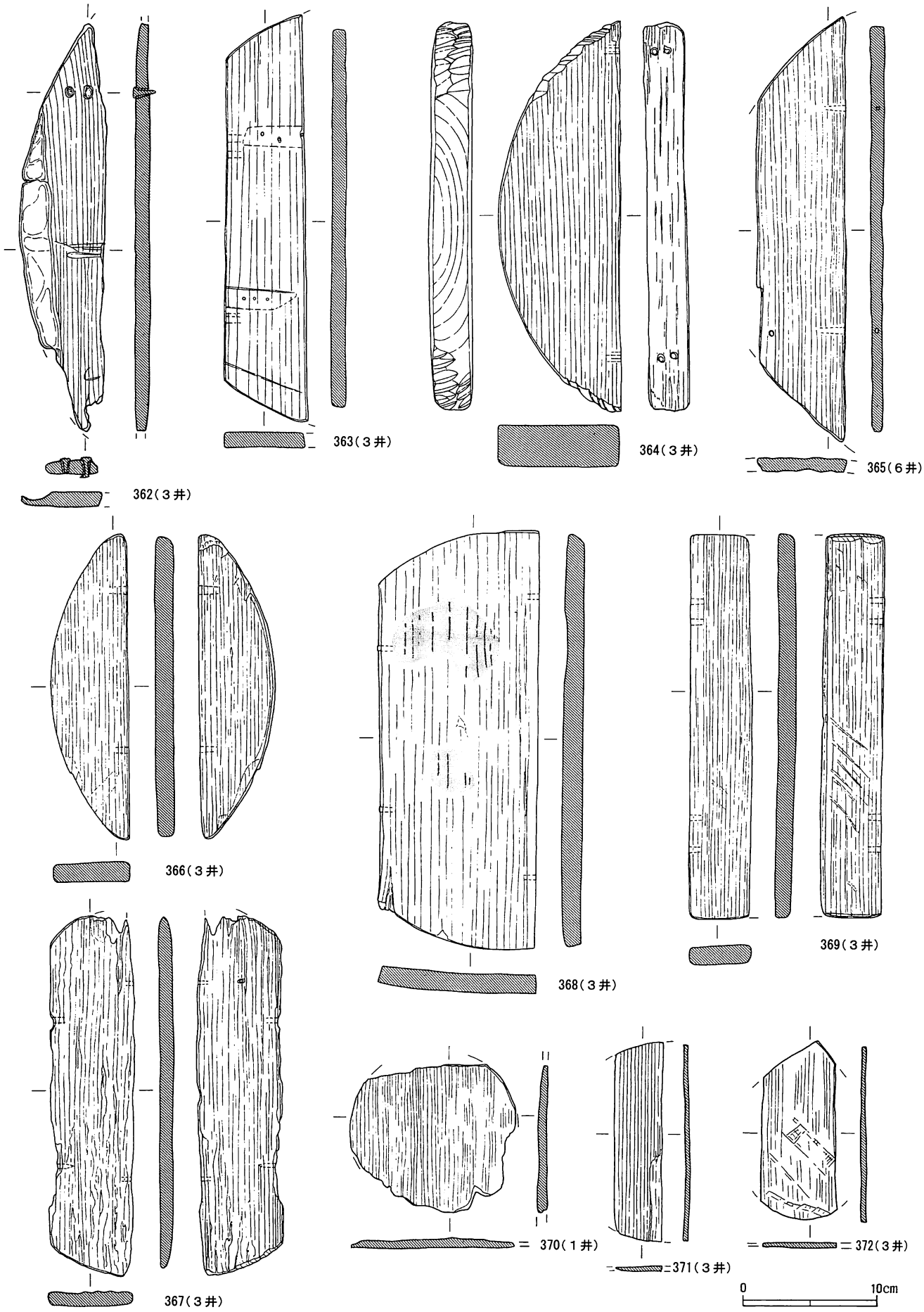


360(３井)

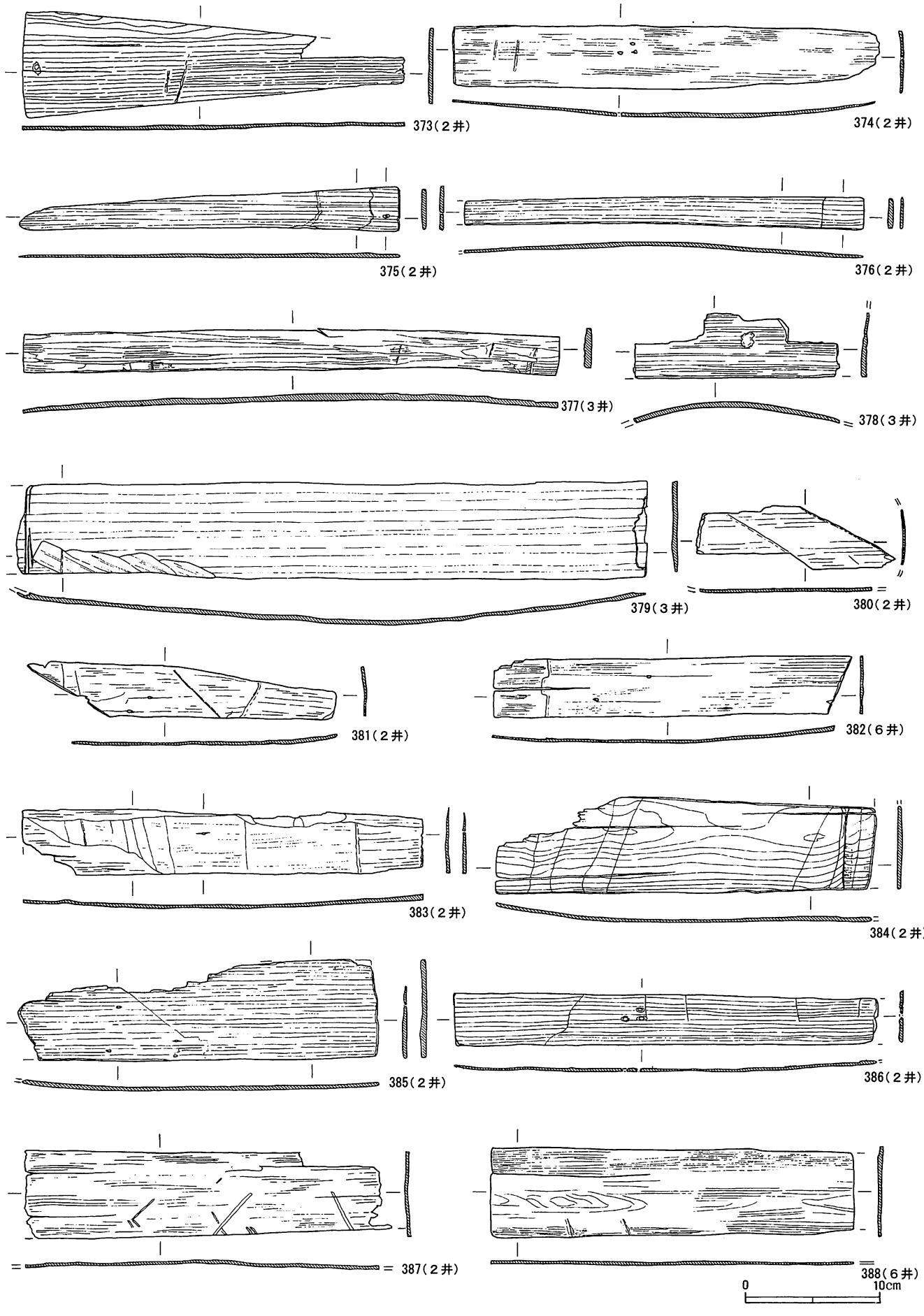


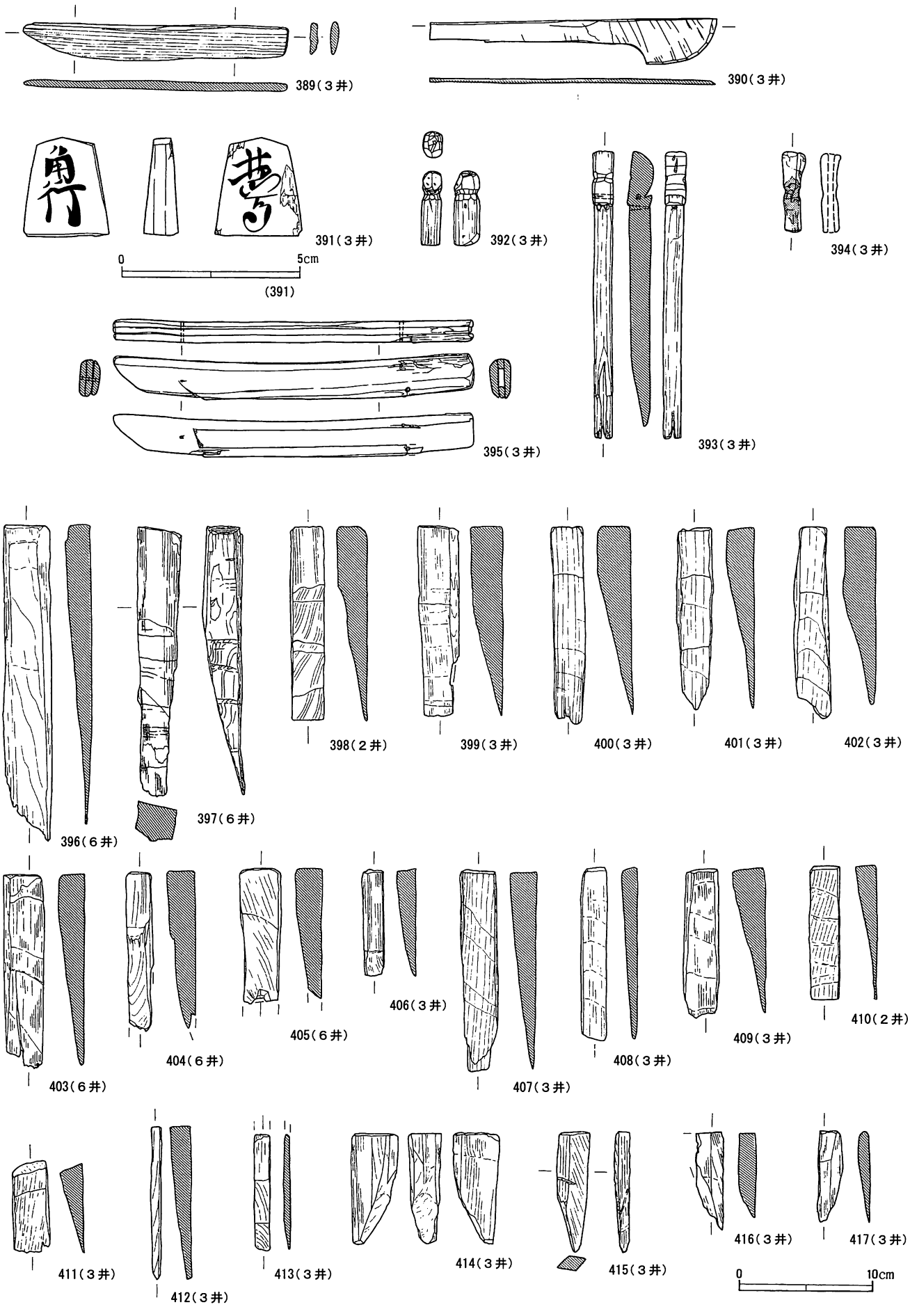
361(３井)

0 10cm

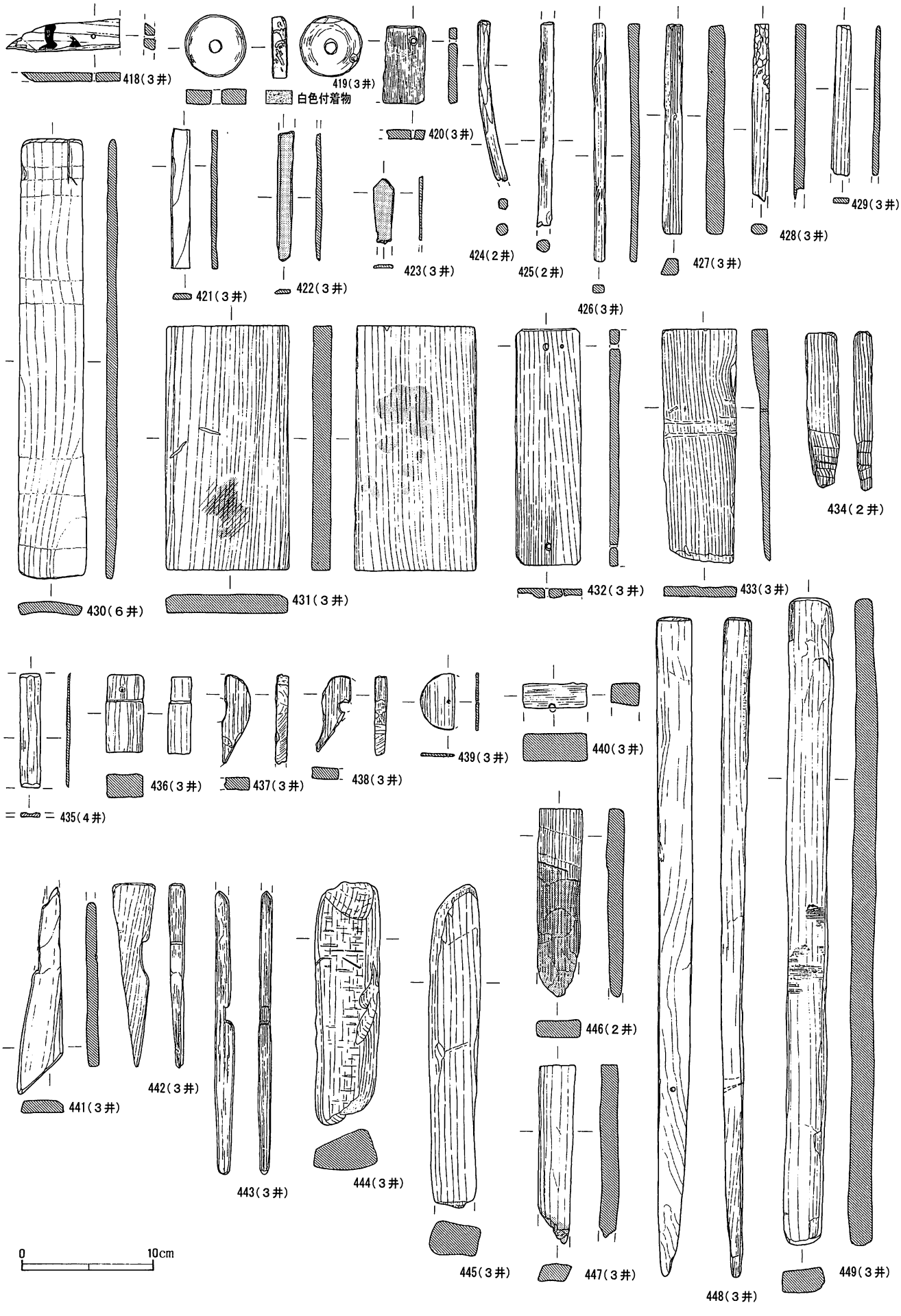

362(3井)
363(3井)
364(3井)
365(6井)
366(3井)
367(3井)
368(3井)
369(3井)
370(1井)
371(3井)
372(3井)
0
10cm

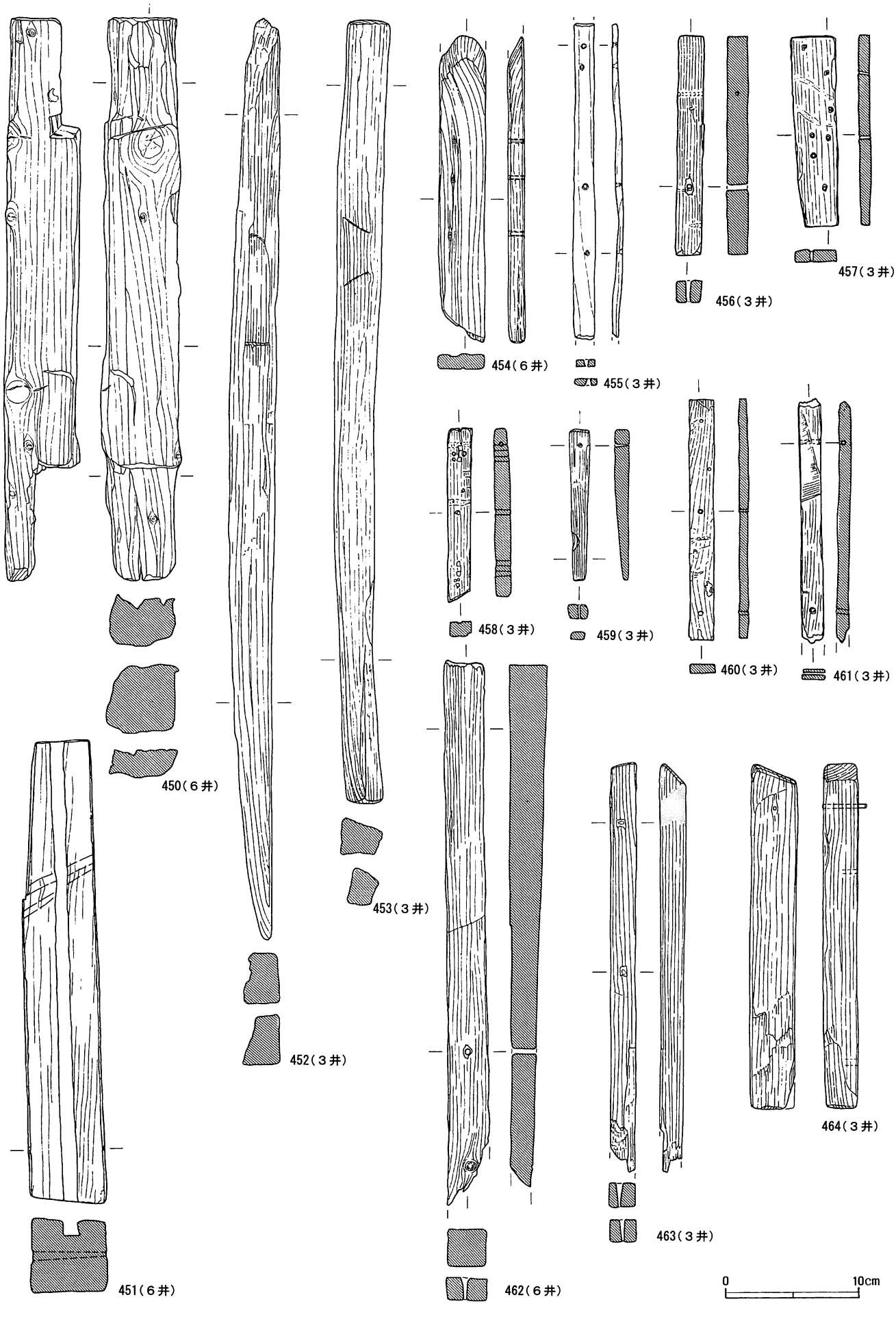
PL-38 木製品 容器(5)

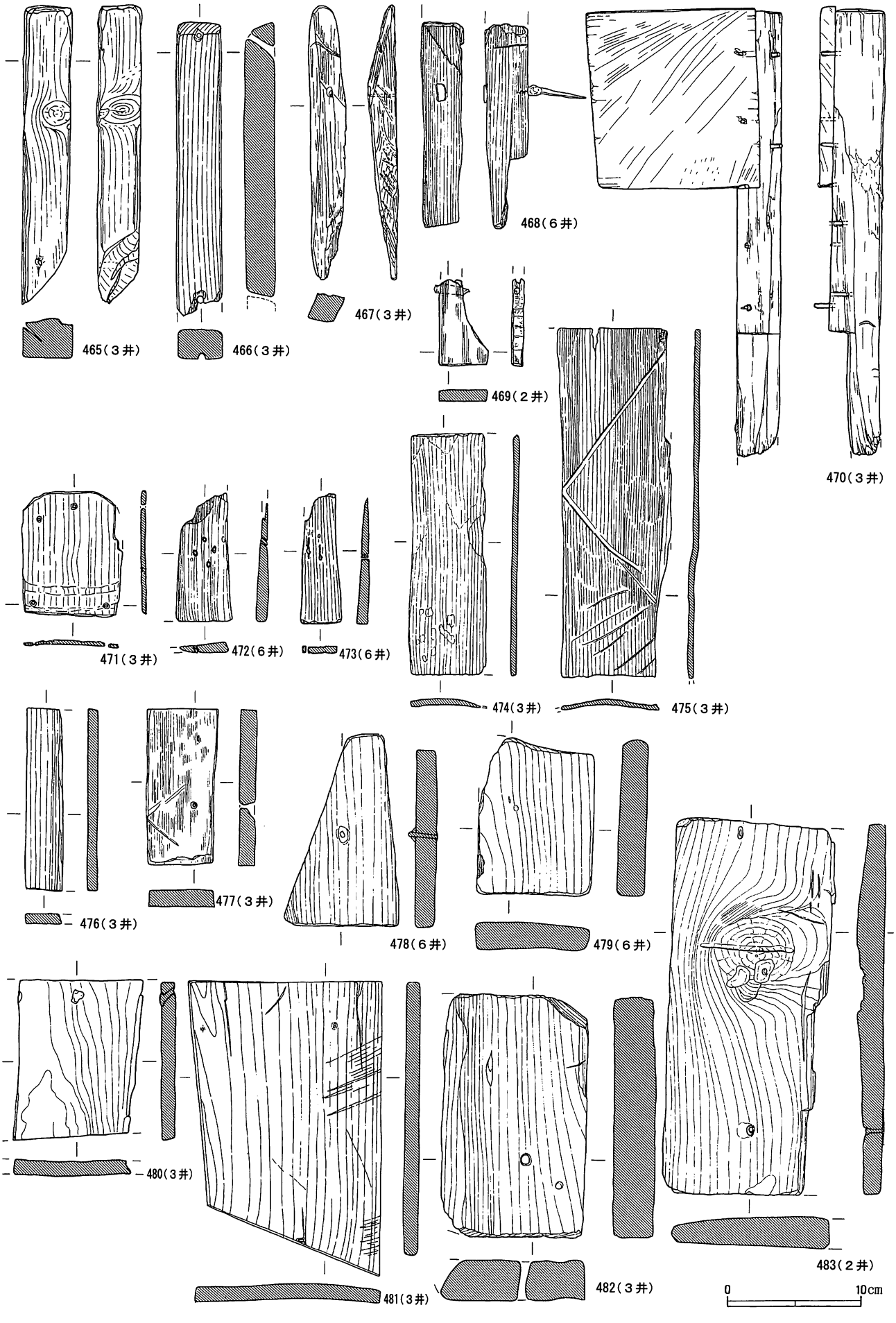

373(2井)
374(2井)
375(2井)
376(2井)
377(3井)
378(3井)
379(3井)
380(2井)
381(2井)
382(6井)
383(2井)
384(2井)
385(2井)
386(2井)
387(2井)
388(6井)
0
10cm

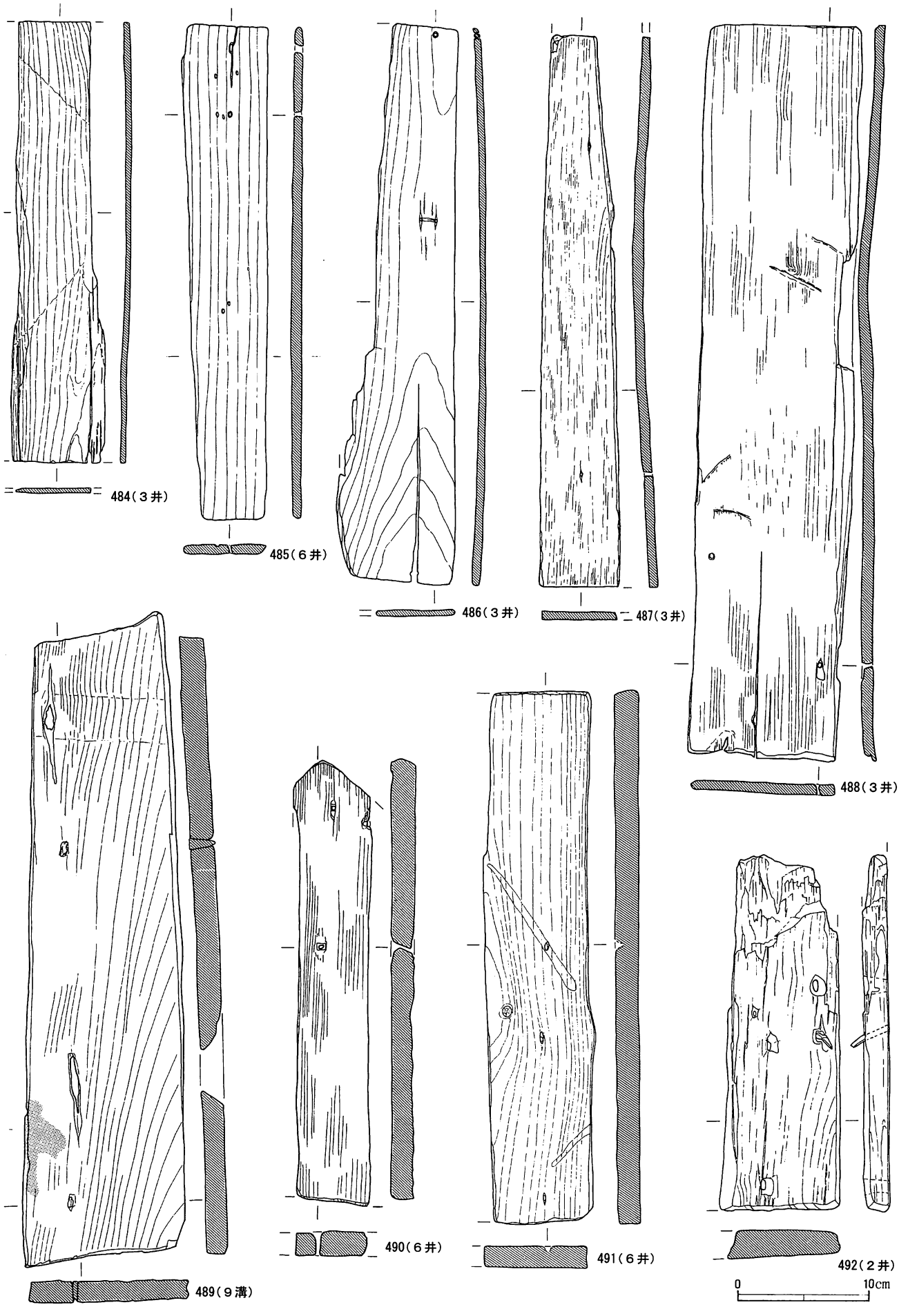

389(3井)
390(3井)
391(3井)
392(3井)
394(3井)
0
5cm
(391)
395(3井)
393(3井)
396(6井)
397(6井)
398(2井)
399(3井)
400(3井)
401(3井)
402(3井)
403(6井)
404(6井)
405(6井)
406(3井)
407(3井)
408(3井)
409(3井)
410(2井)
411(3井)
412(3井)
413(3井)
414(3井)
415(3井)
416(3井)
417(3井)
0
10cm

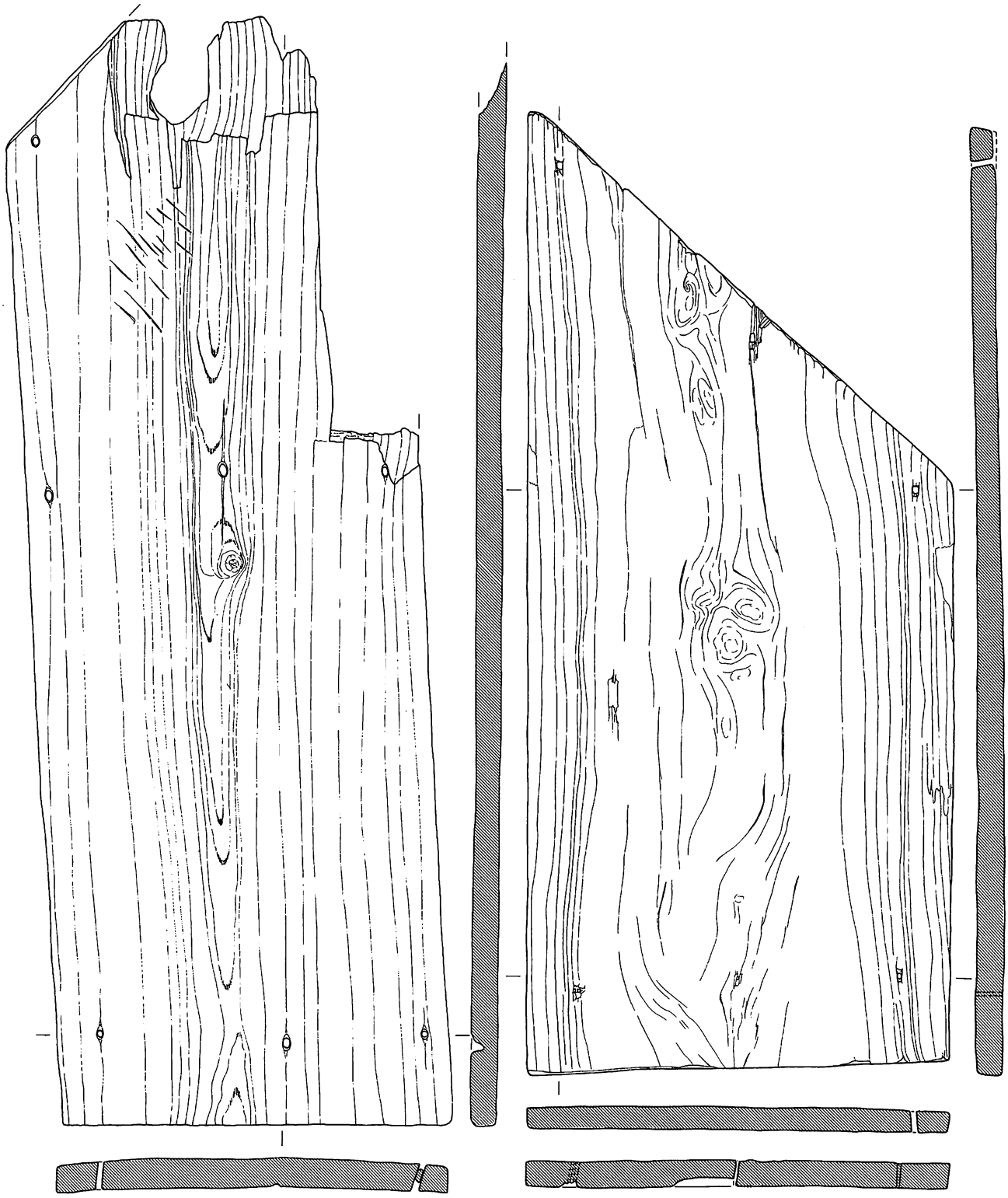
PL-40 木製品 不明製品　加工木（1）




450(6井)
451(6井)
452(3井)
453(3井)
454(6井)
455(3井)
456(3井)
457(3井)
458(3井)
459(3井)
460(3井)
461(3井)
462(6井)
463(3井)
464(3井)
0
10cm


465(3井)
466(3井)
467(3井)
468(6井)
469(2井)
470(3井)
471(3井)
472(6井)
473(6井)
474(3井)
475(3井)
476(3井)
477(3井)
478(6井)
479(6井)
480(3井)
481(3井)
482(3井)
483(2井)
0
10cm

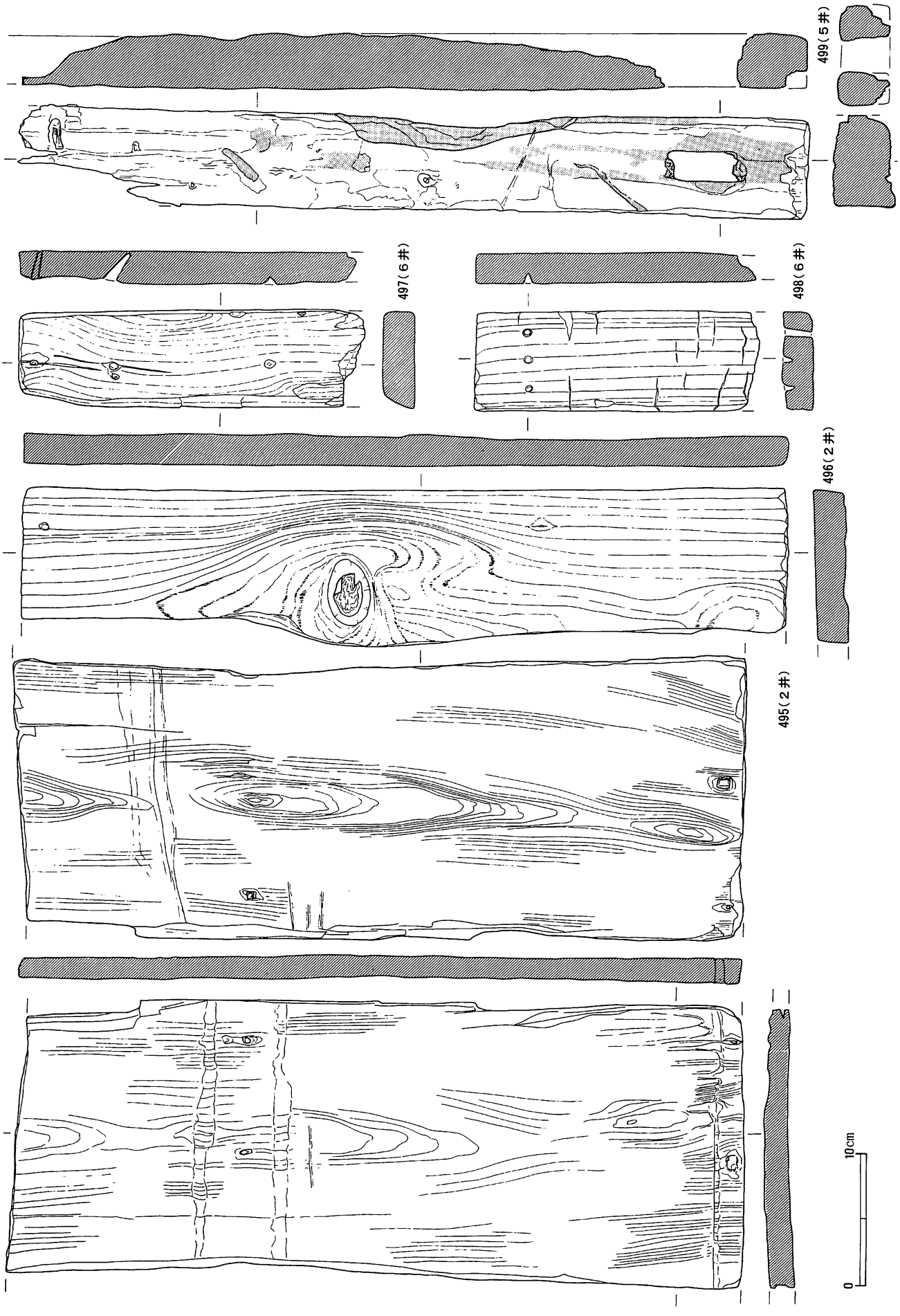

484(3井)
485(6井)
486(3井)
487(3井)
488(3井)
489(9溝)
490(6井)
491(6井)
492(2井)
0
10cm



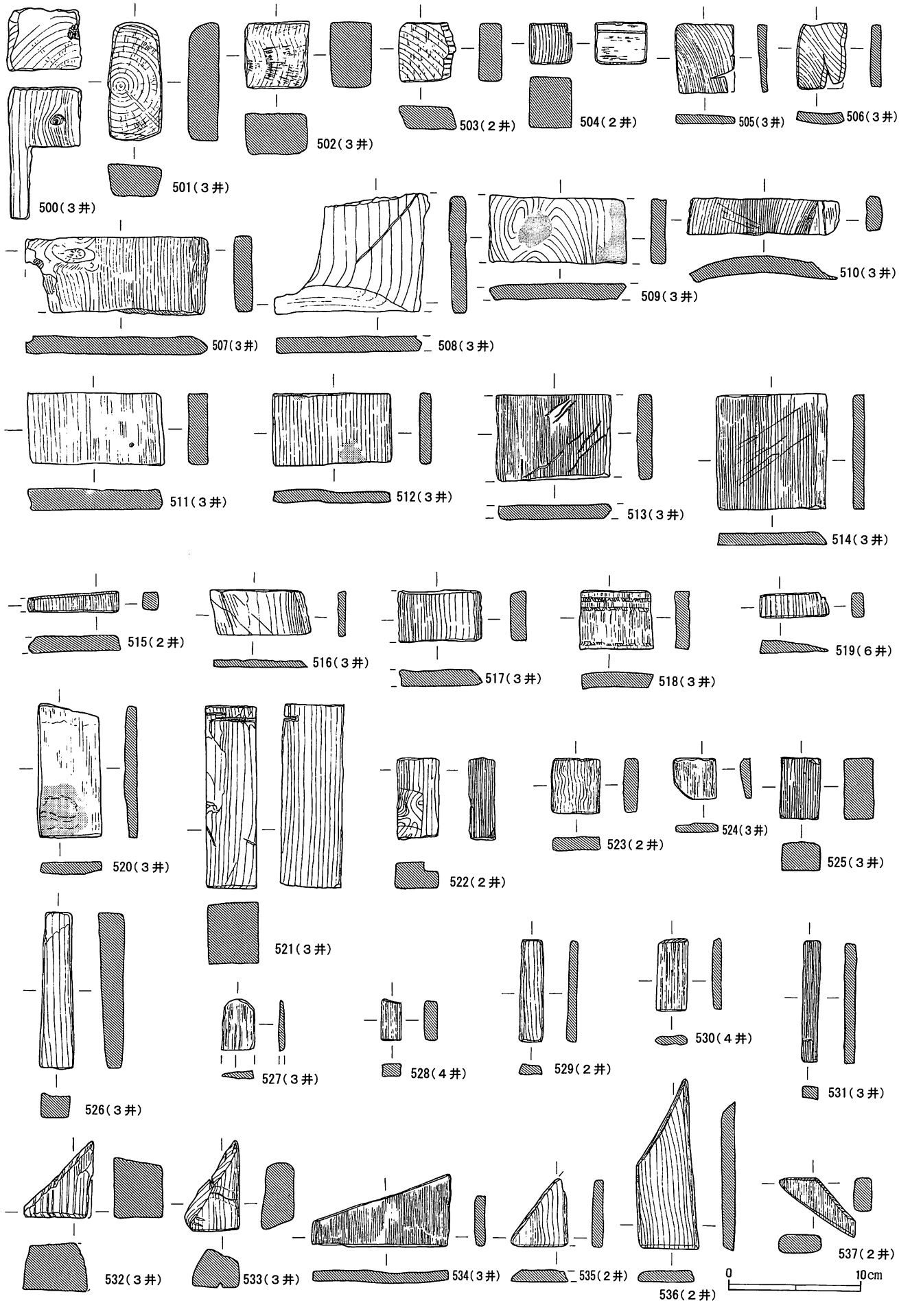
493(6井)

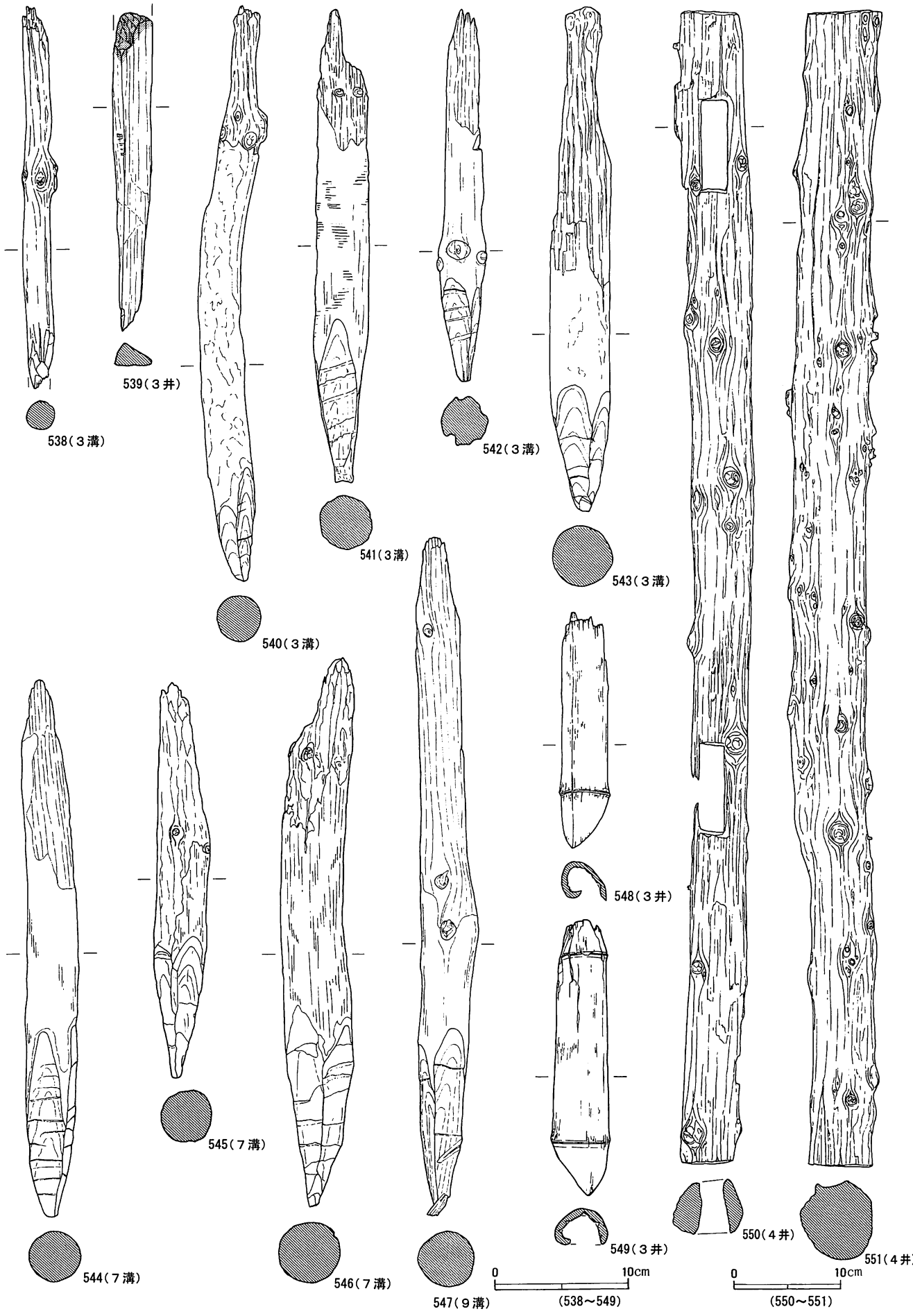
494(6井)

0 10cm


499(5井)
497(6井)
498(6井)
496(2井)
495(2井)
10cm
0

PL-46 木製品 加工木(7)




538(3溝)
539(3井)
540(3溝)
541(3溝)
542(3溝)
543(3溝)
544(7溝)
545(7溝)
546(7溝)
547(9溝)
548(3井)
549(3井)
550(4井)
551(4井)
0
10cm
(538～549)
0
10cm
(550～551)

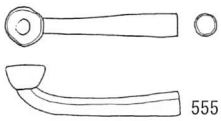
552(２井)

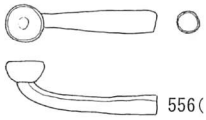
553(２井)

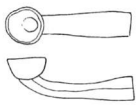
554(２井)

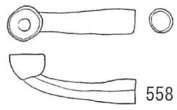
0　10cm
(552～554)

## 箒・縄


555(２井)


556(２井)


557(２井)


558(２土)

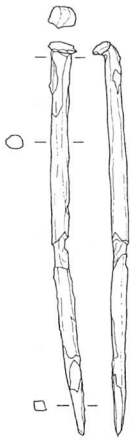
559(４溝)

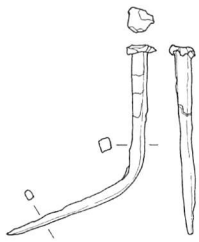
560(２井)

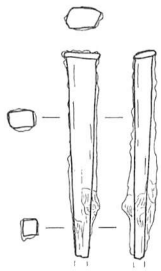
561(２井)

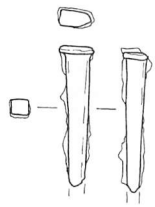
562(４溝)

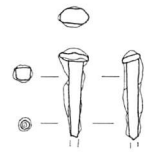
563(８溝)

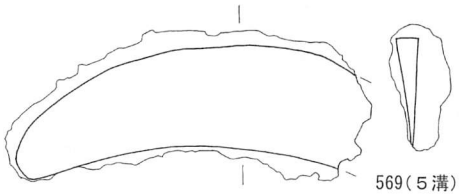

564(４溝)


565(２井)


566(５土)


567(５土)

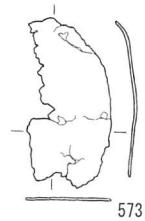

568(６土)


569(５溝)

570(４溝)

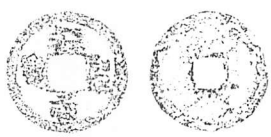
571(２土)

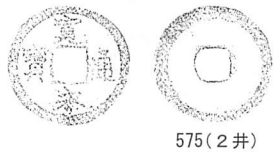
572(４溝)


573(７溝)

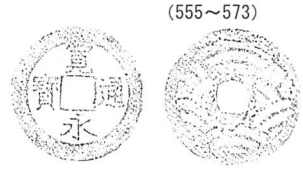
0　10cm
(555～573)

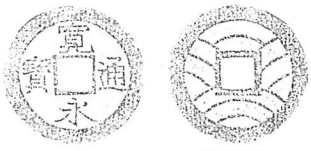
## 鉄・銅製品

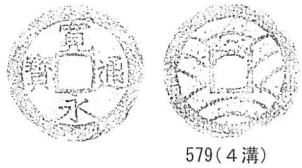

574(２井)

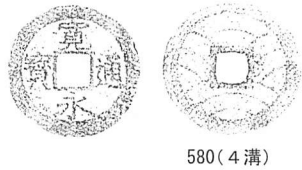

575(２井)

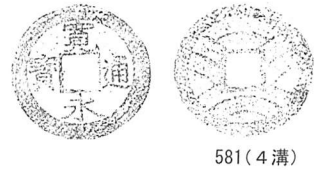
576(４溝)


577(４溝)

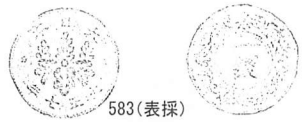

578(５井)


579(４溝)


580(４溝)


581(４溝)

582(４溝)


583(表採)

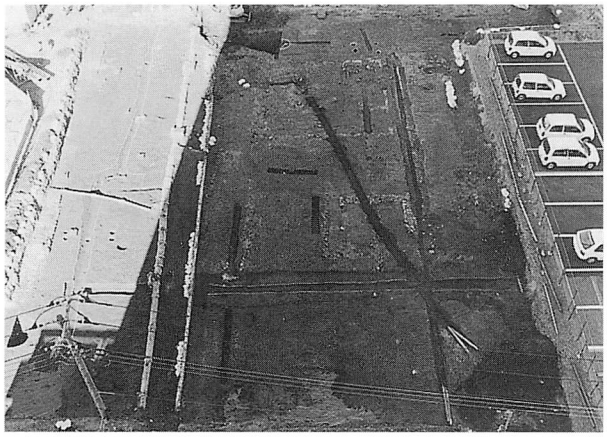
584(表採)

0　5cm
(574～584)

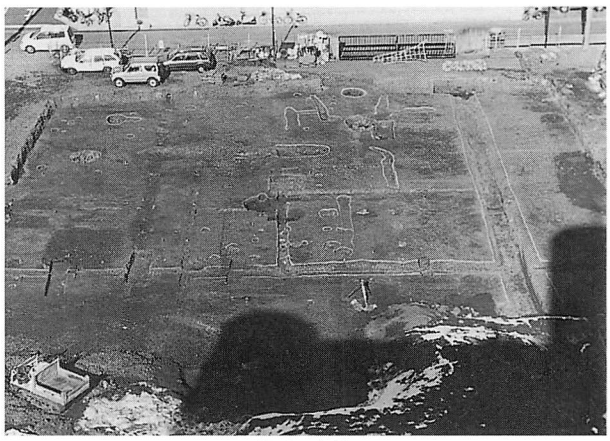
## 銭　貨

# 写　真　図　版

第2号井戸検出
（井戸枠5段目）

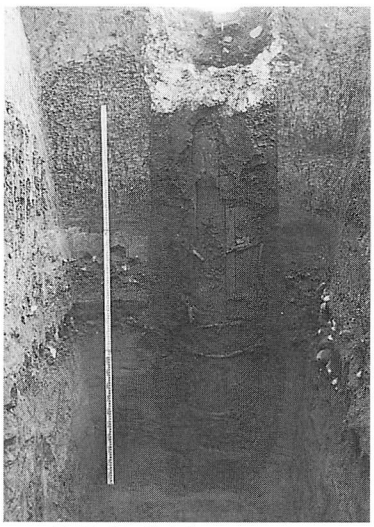


A区　全景



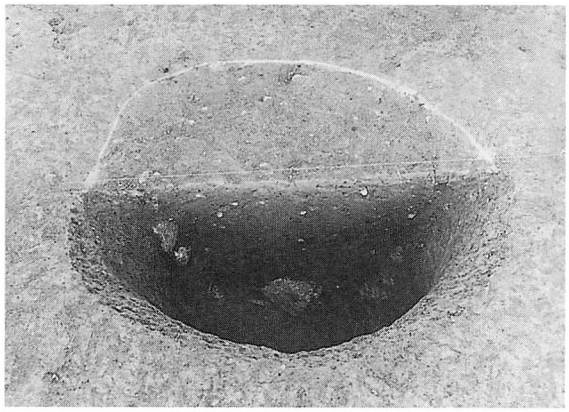
B区　全景

第1号井戸（東から）

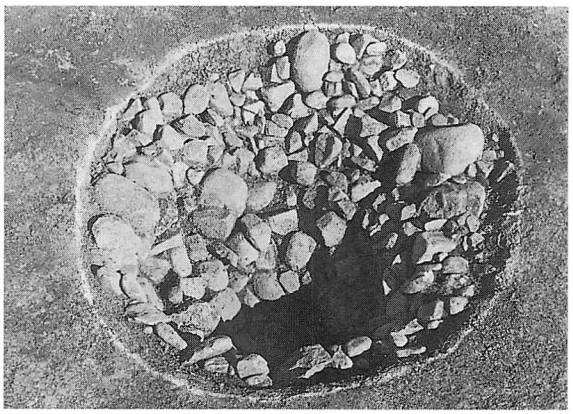


第2号井戸検出状況（西から）

第2号井戸半截状況（西から）

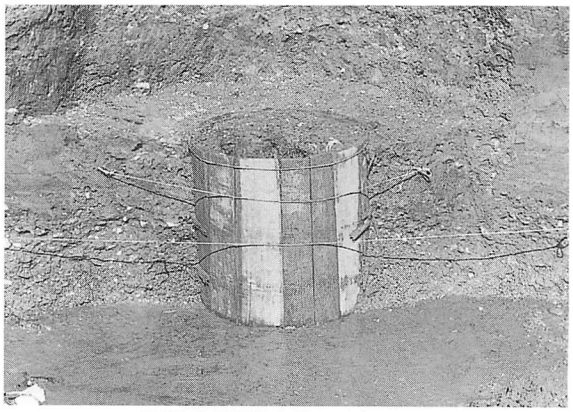


第3号井戸半截状況（南から）

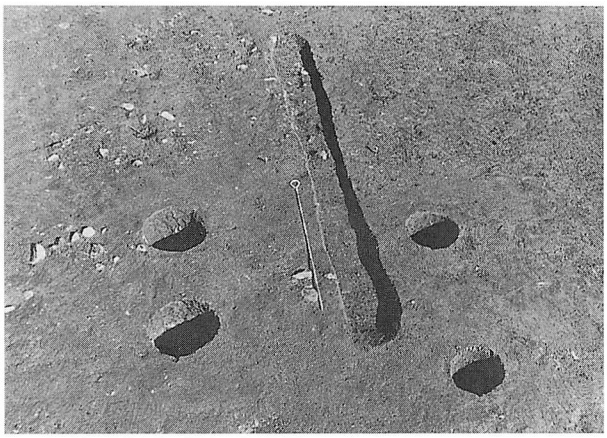


第4号井戸礫検出状況（南から）

第5号井戸礫検出状況（東から）

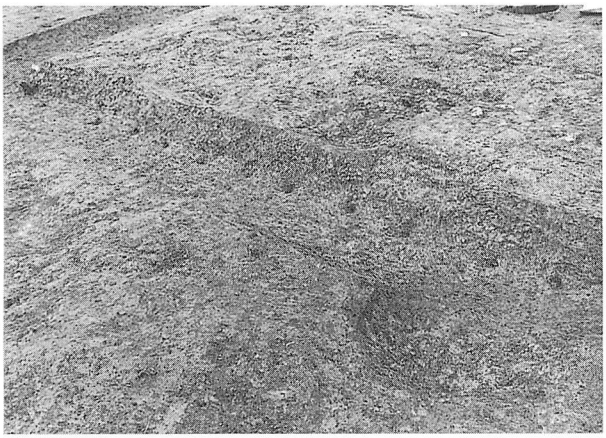


第6号井戸桶検出状況（南から）



第1号溝状遺構（南から）

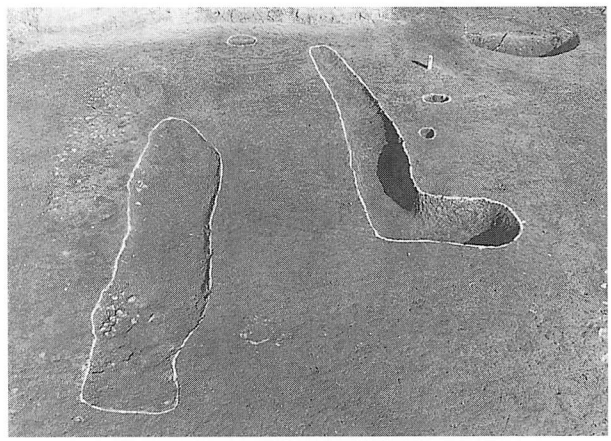
第2号溝状遺構礫検出状況（北から）



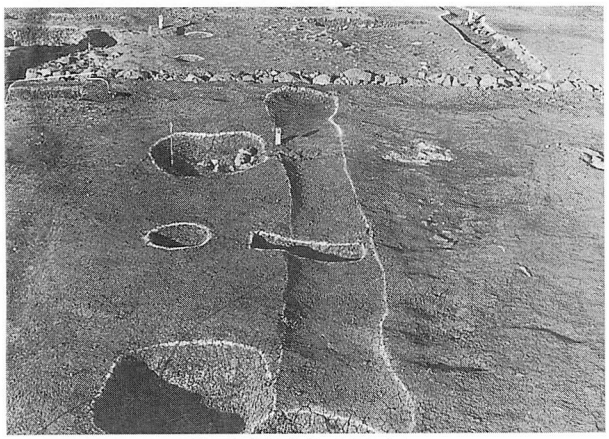
第3号溝状遺構（南から）

第4号溝状遺構（北から）

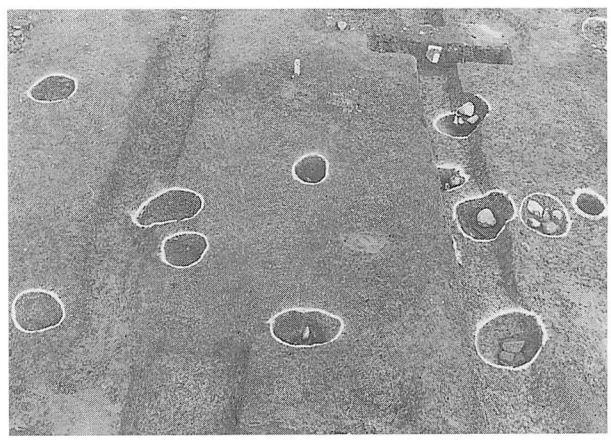
第4号溝状遺構礫検出状況（南から）



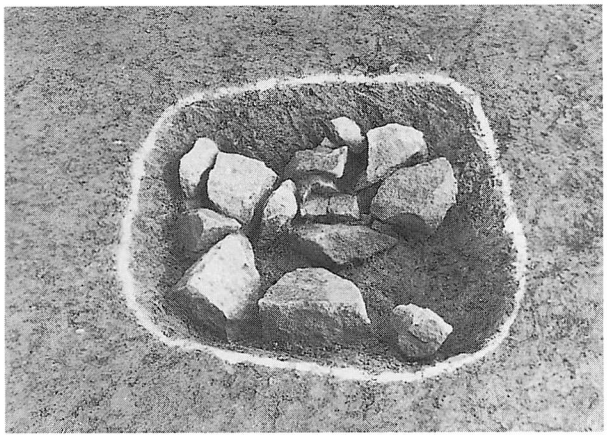
第5・6号溝状遺構（南から）



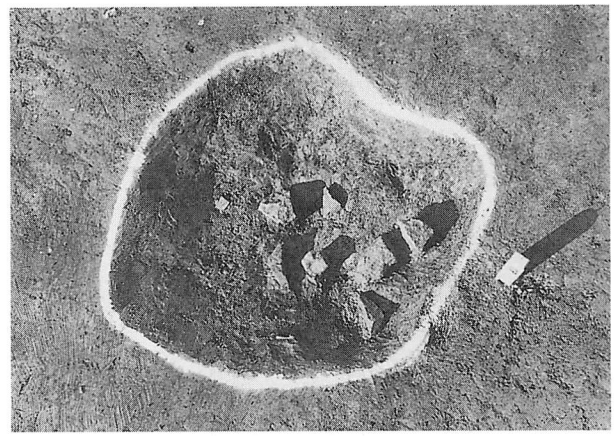
第8号溝状遺構（南から）



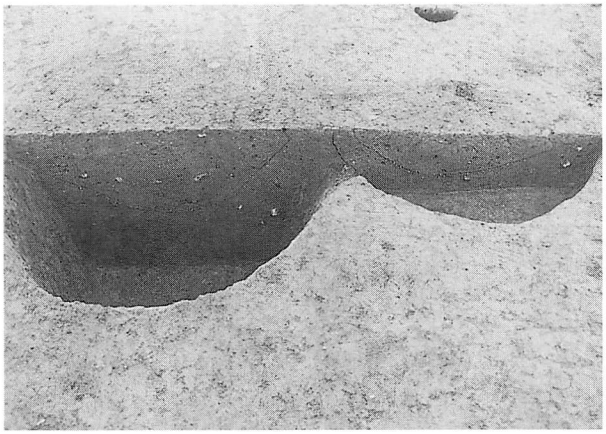
第9号溝状遺構・第21～33号ピット（南から）



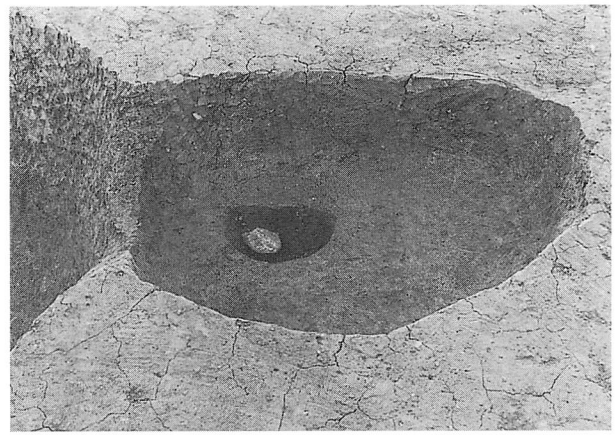
第1号土坑（西から）



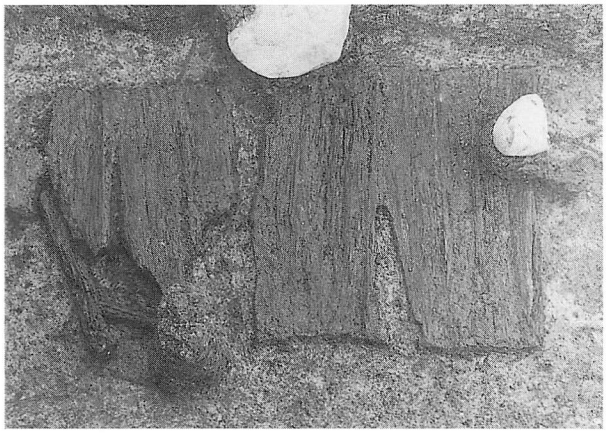
第2号土坑（南から）



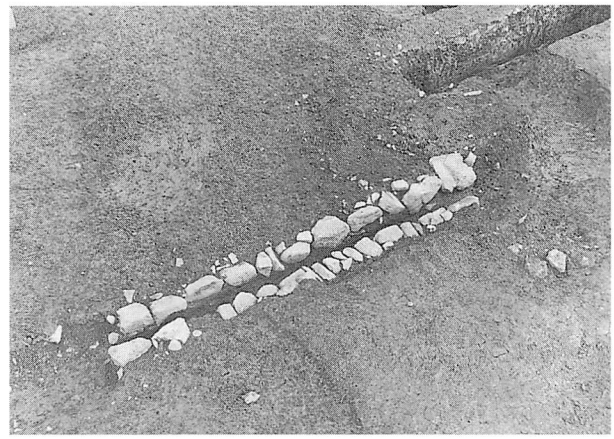
第4・5号土坑半截状況（南から）



第5号土坑（南から）

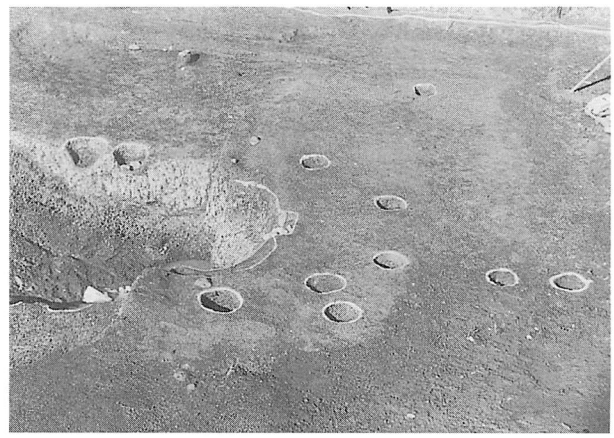


第6号土坑木棺検出状況（東から）

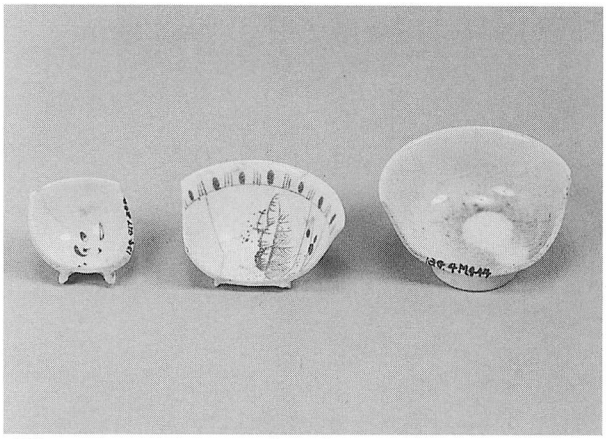


第1号暗渠（西から）

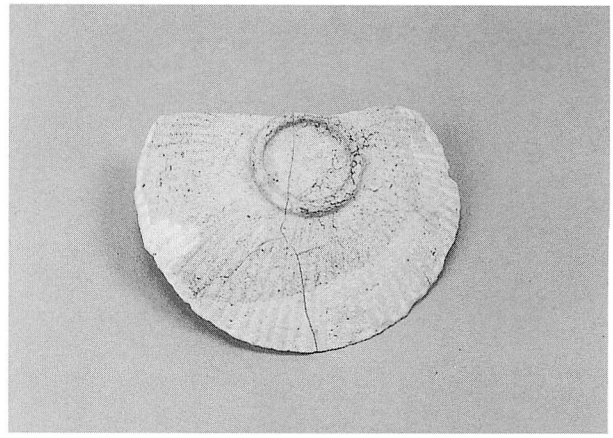
第2・3号暗渠（南から）



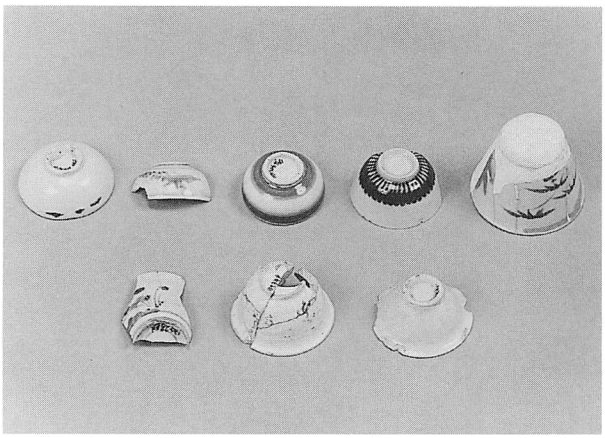
第41～50号ピット（南から）



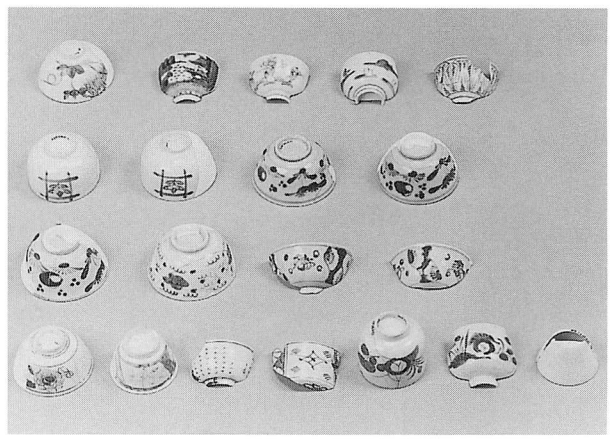
磁器　　薄手酒坏



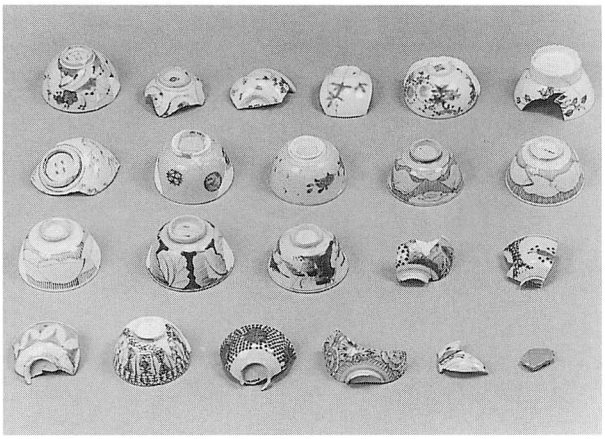
磁器　　紅猪口（1）



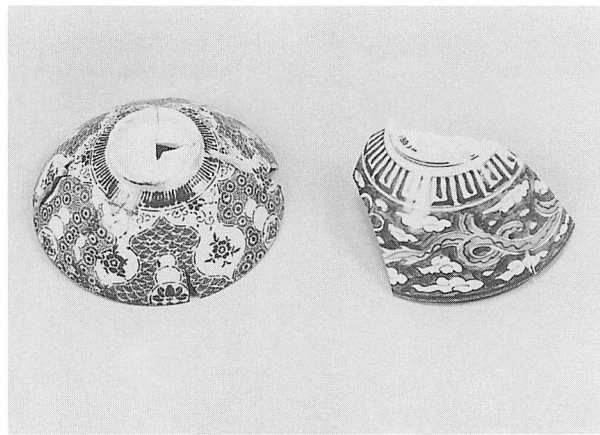
磁器　　紅猪口（2）・小坏



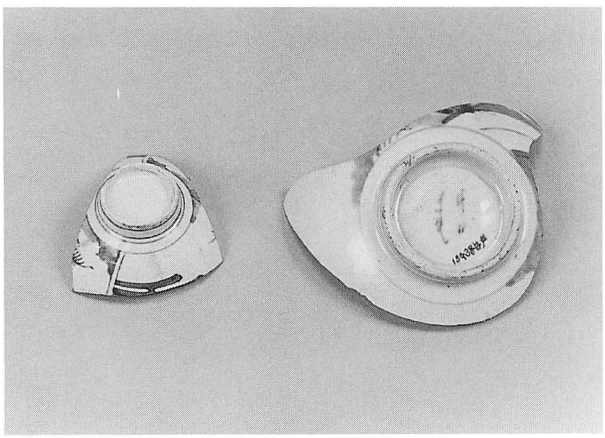
磁器　　小　碗



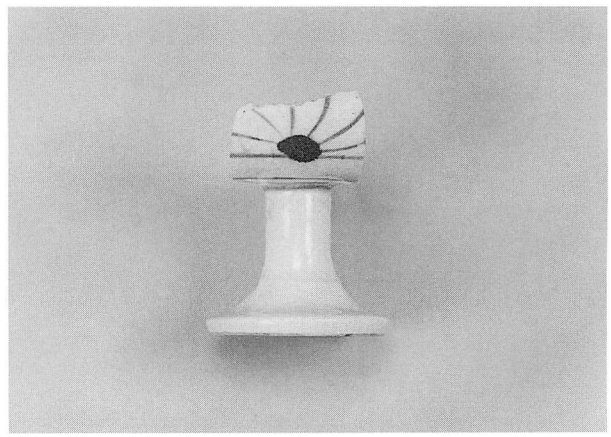
磁器　　中碗（1）



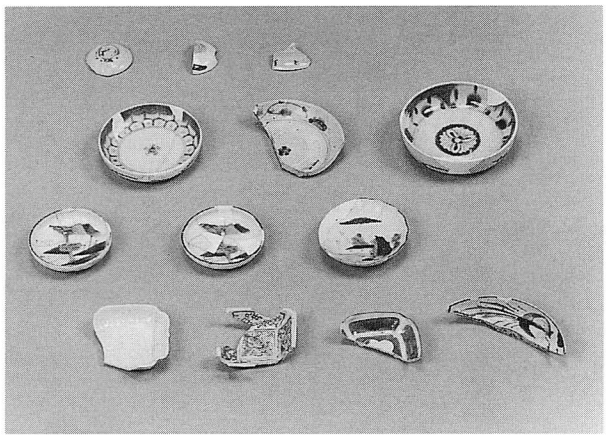
磁器　　中碗（2）



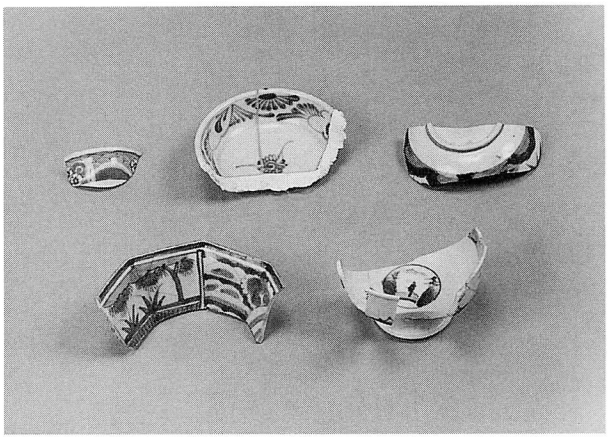
磁器　　中碗（3）・大碗



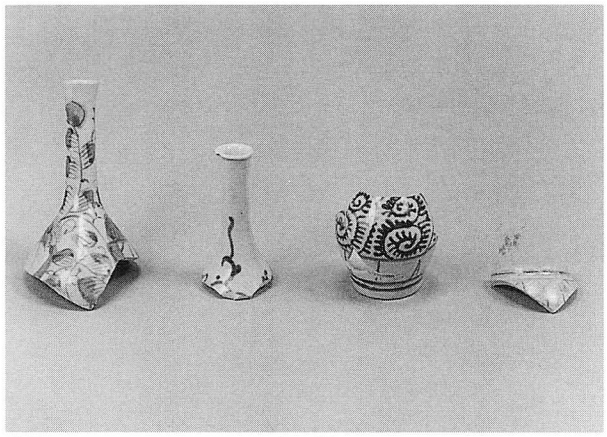
磁器　　仏飯器



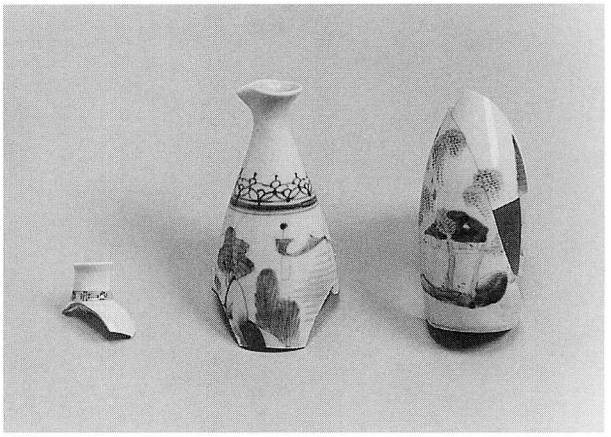
磁器　　極小皿・小皿・五寸皿



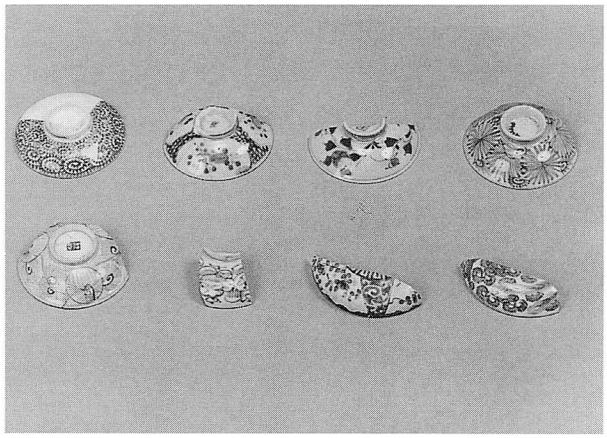
磁器　　小鉢・中鉢



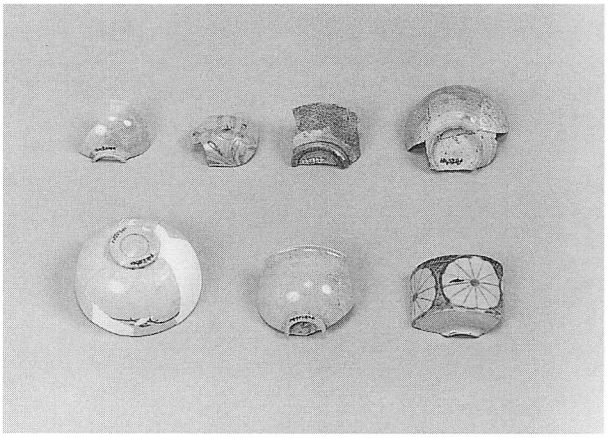
磁器　　小　瓶



磁器　　燗徳利

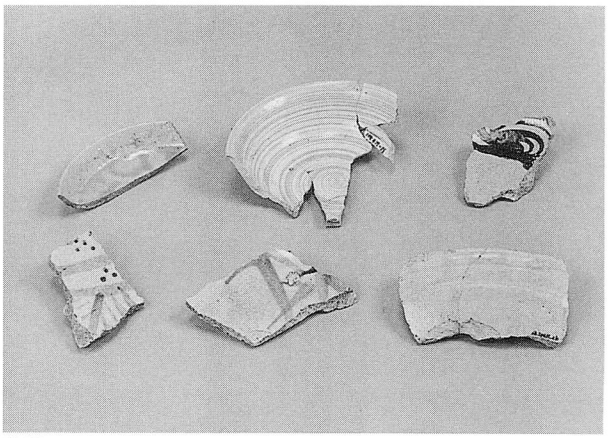


磁器　　蓋

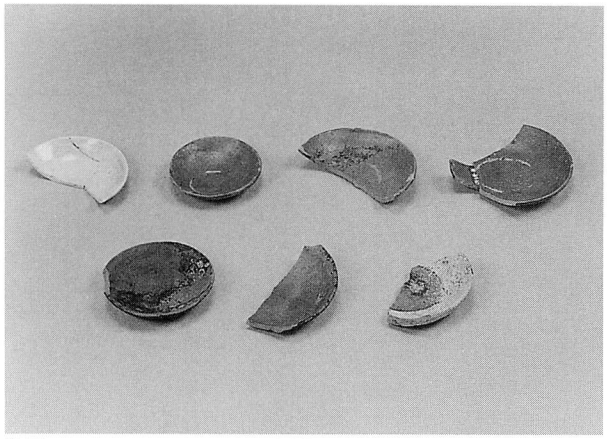


陶器　　小　碗

陶器　　中　碗

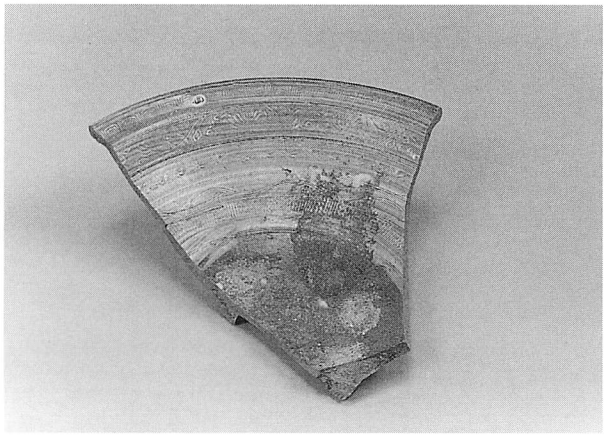


陶器　　小皿・大皿

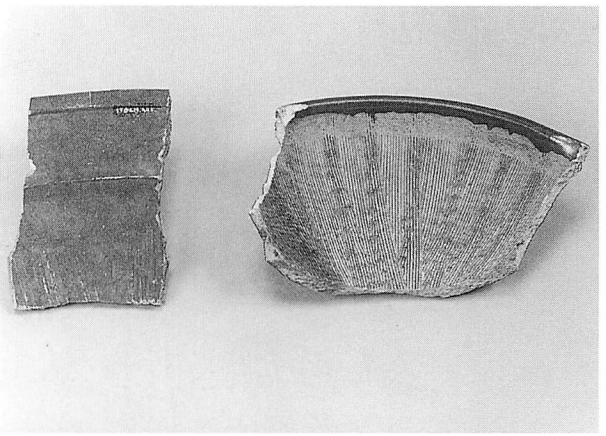


陶器　　灯明皿

陶器　　小　鉢

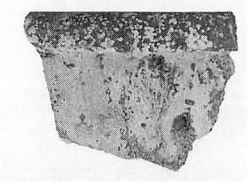


陶器　　大　鉢

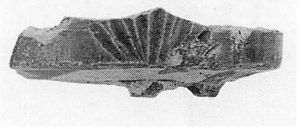


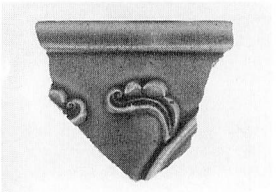
陶器　　擂鉢・餌擂鉢

陶器　　捏　鉢

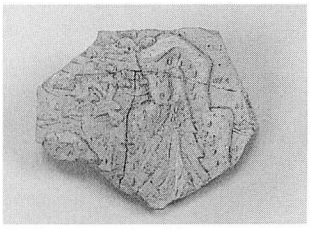


陶器　　手水鉢



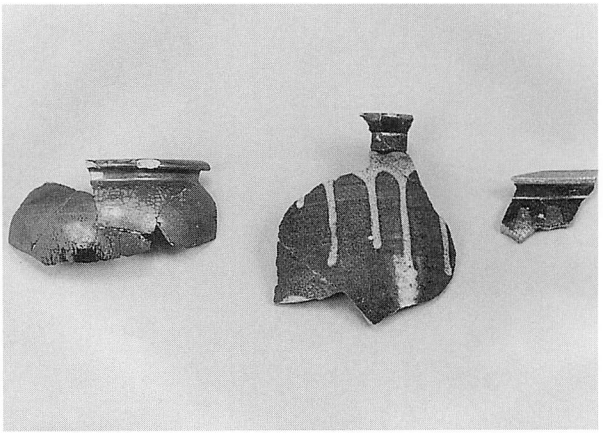


陶器　　香　炉

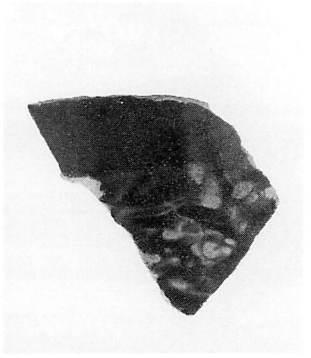


陶器　　火　鉢

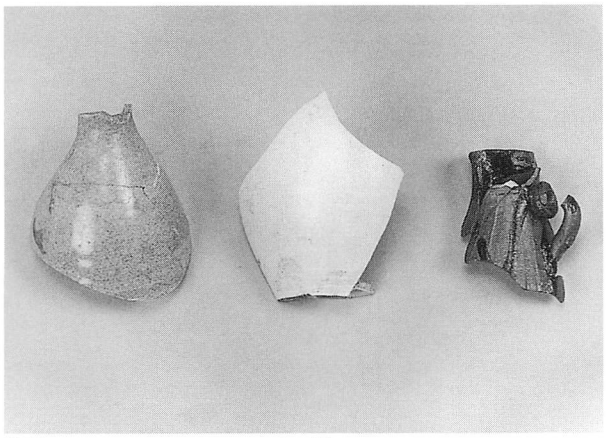
陶器　　餌猪口



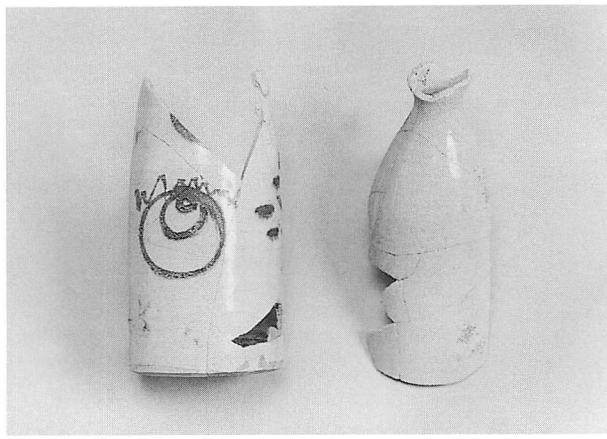
陶器　　小甕・中甕



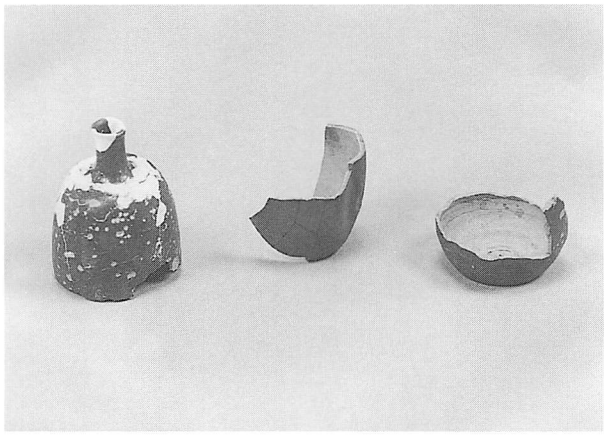
陶器　　水　甕



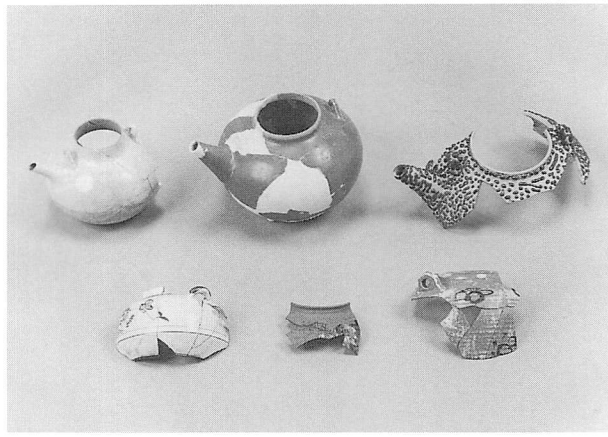
陶器　　小　瓶



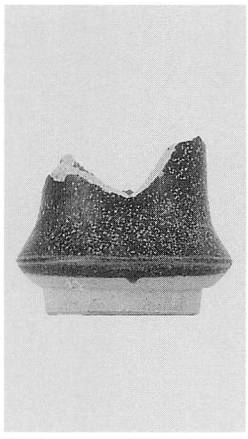
陶器　　燗徳利



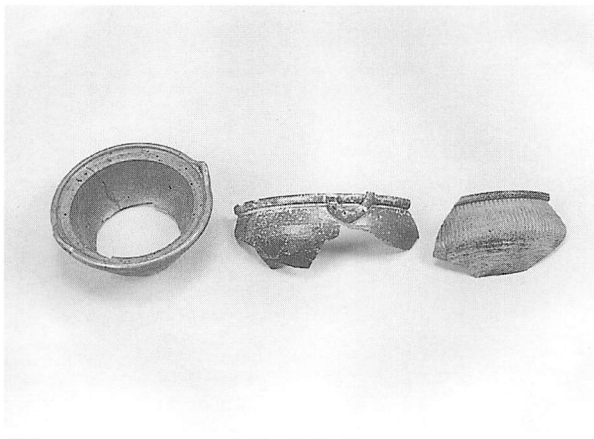
陶器　　中　瓶



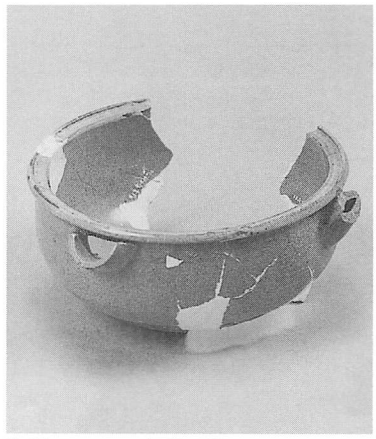
陶器　　土　瓶



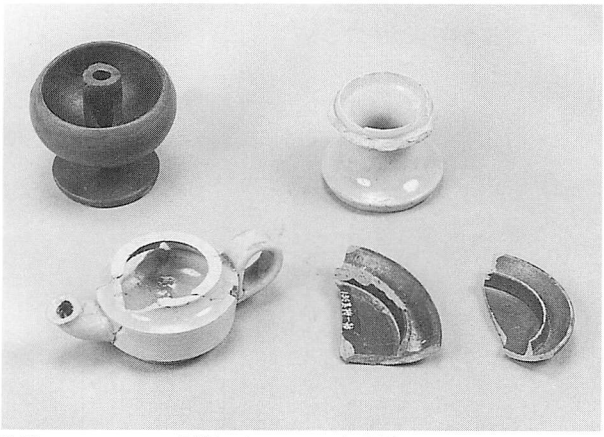
陶器　　仏花瓶



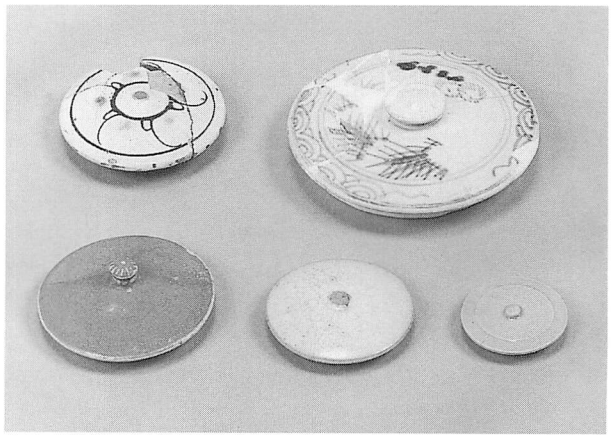
陶器　　土鍋・行平（1）



陶器　　行平（2）

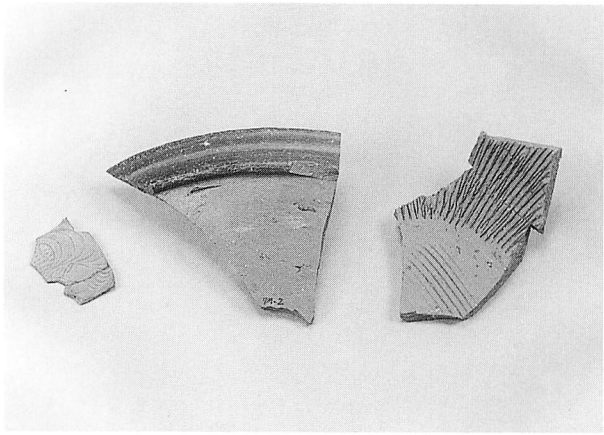


陶器　　秉燭・カンテラ・灯明受皿

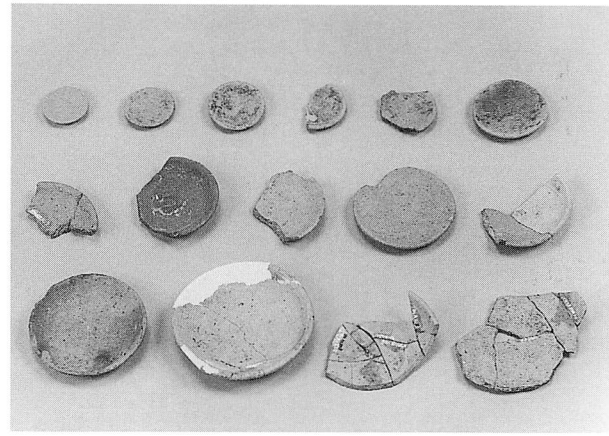


陶器　　土瓶蓋・カンテラ蓋

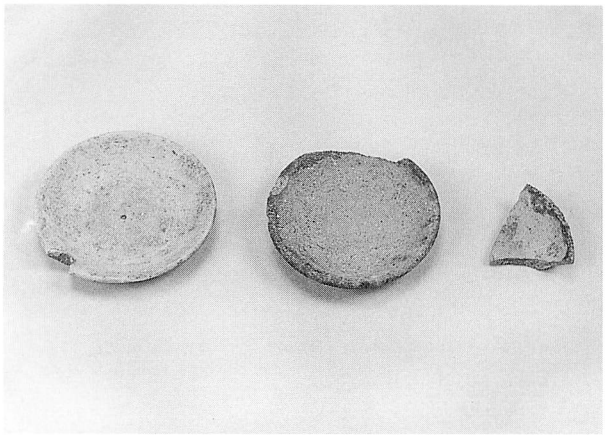
PL-56　炻器　皿類・鉢類
　　土器　皿類・鉢類・甕類・釜類



炻器　　小皿・擂鉢

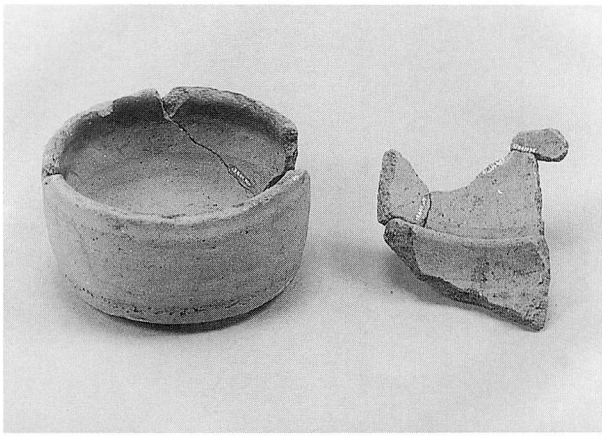


土器　　極小皿・小皿

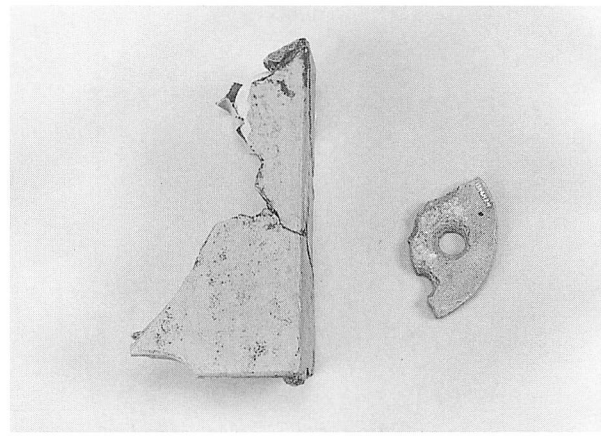


土器　　灯明皿

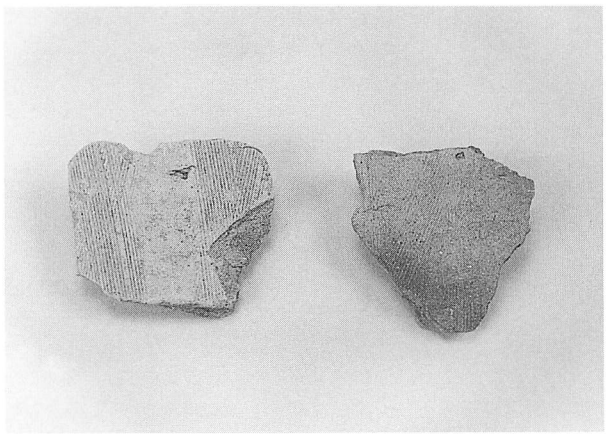
土器　　焼塩壺



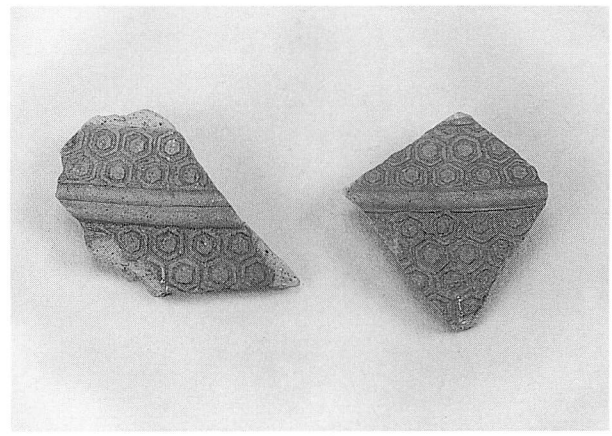
土器　　火鉢・七厘（1）



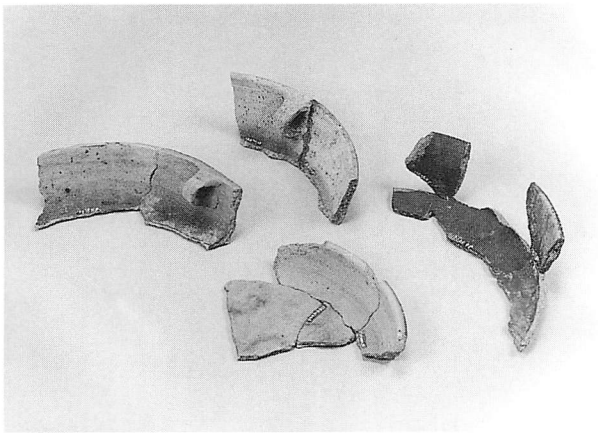
土器　　七厘（2）・さな



土器　　中　甕

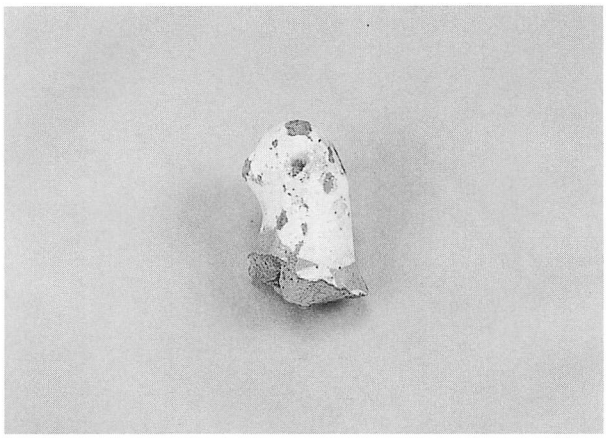


土器　　土　釜

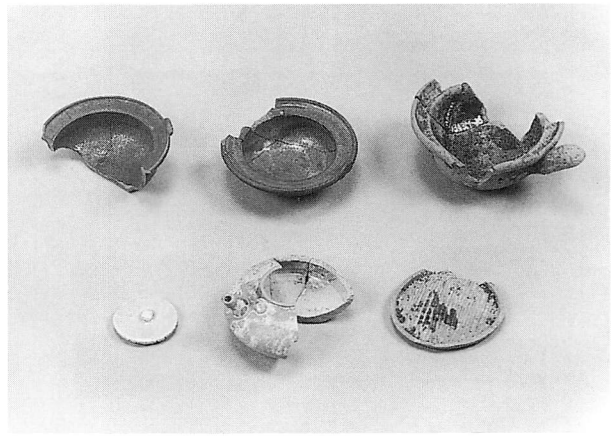


土器　　焙　烙

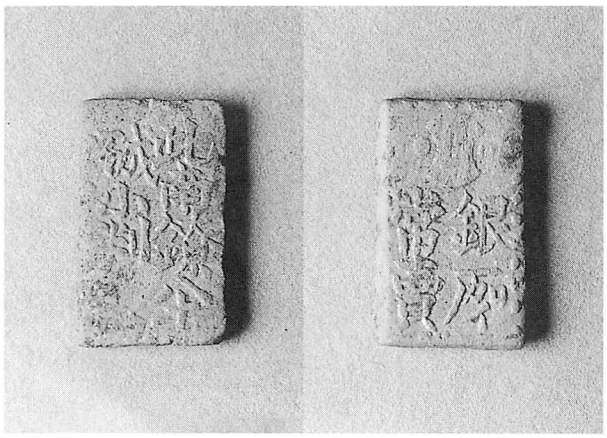
土器　　焼塩壺蓋



土製品　　笛

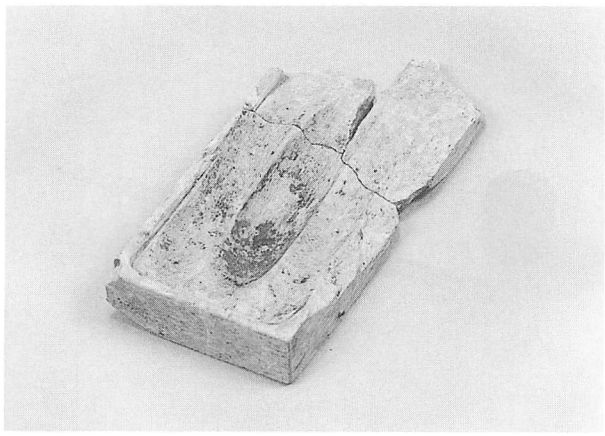


土製品　　ミニチュア

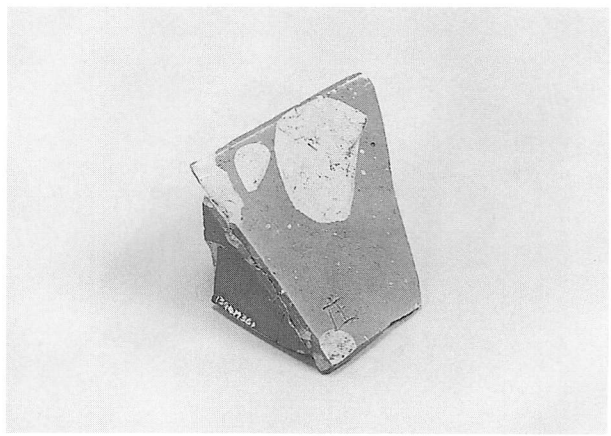


土製品　　模造銭貨

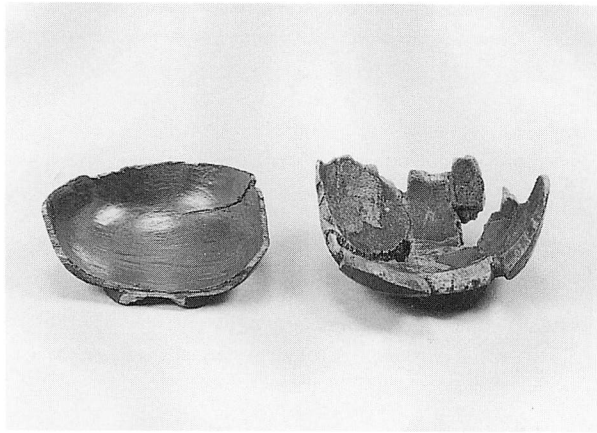
瓦　　丸瓦・平瓦・桟瓦・棟瓦



石製品　　硯

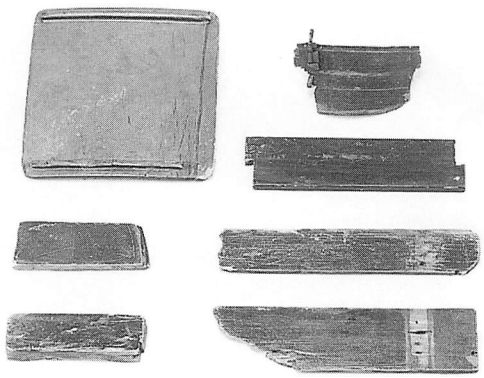


石製品　　蓋

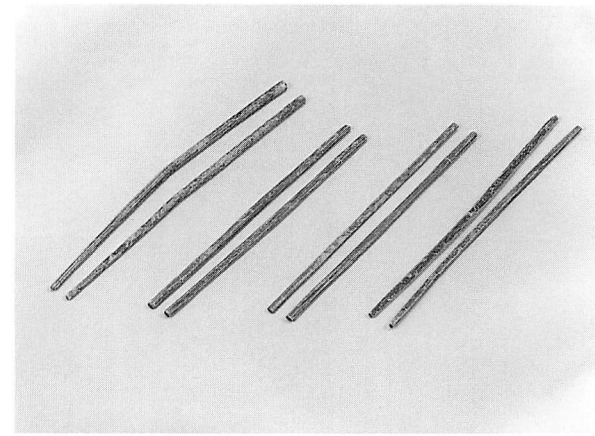


木製品　　漆　器

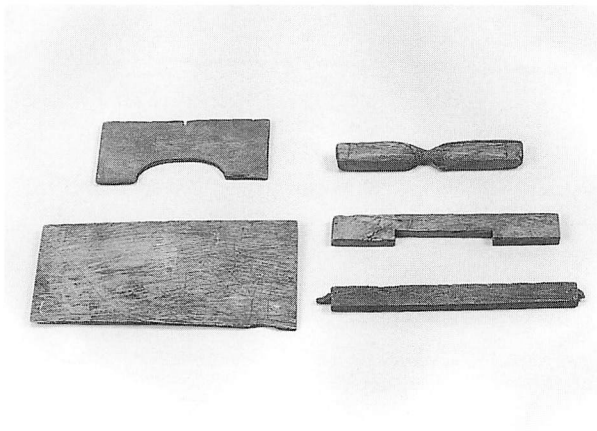
木製品　　傘部材



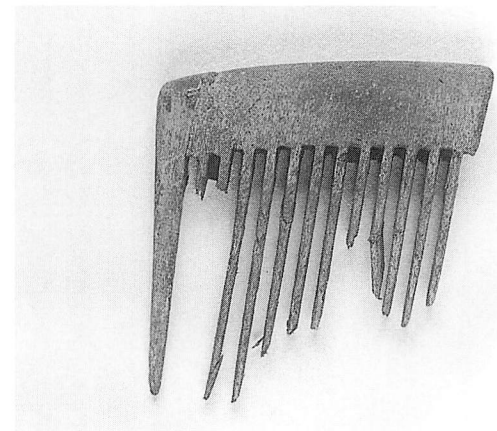
木製品　　蓋・箱物・曲物



木製品　　箸

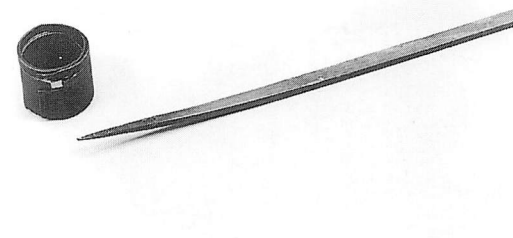


木製品　　膳　類

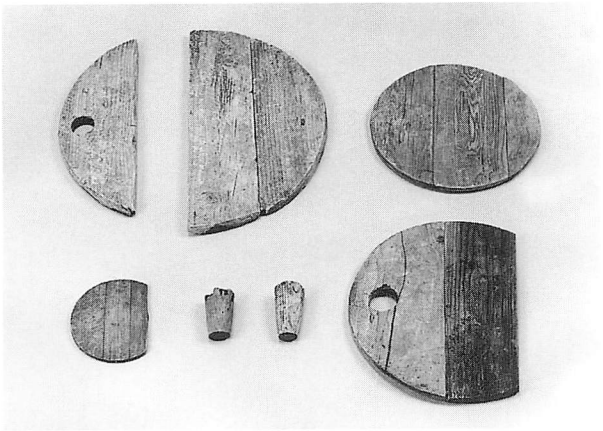


木製品　　櫛

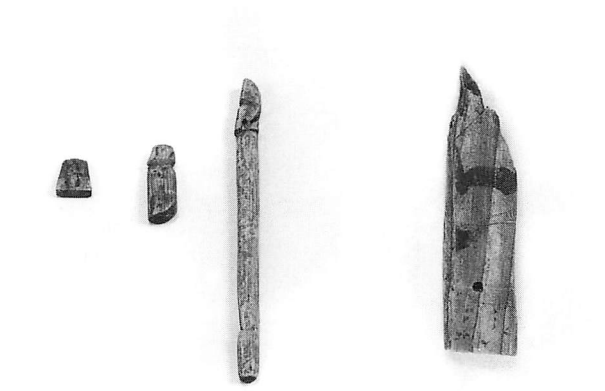
木製品　　下　駄



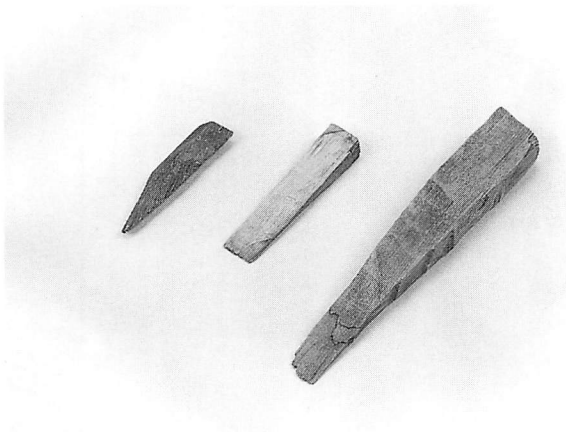
木製品　　柄　杓



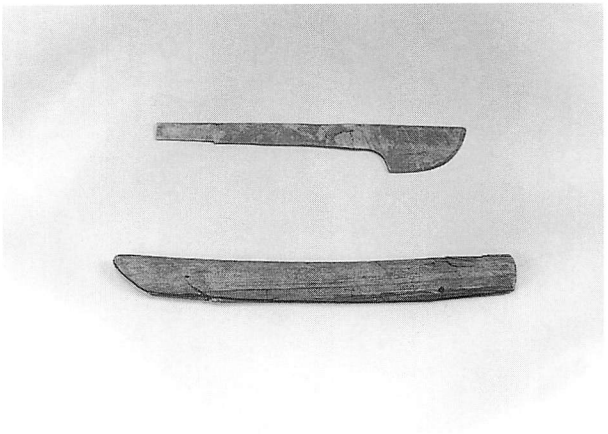
木製品　樽蓋・桶底板・栓



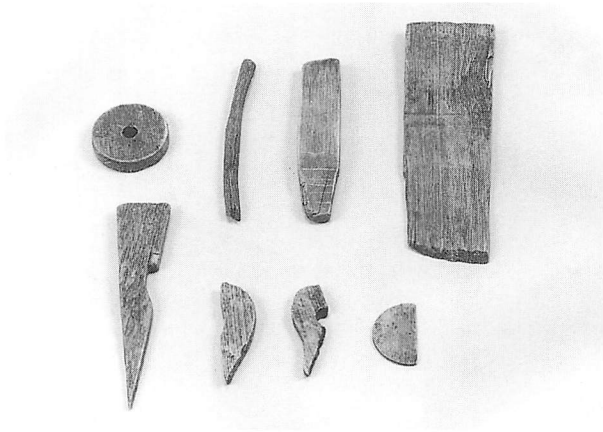
木製品　駒・人形　　木製品　木札



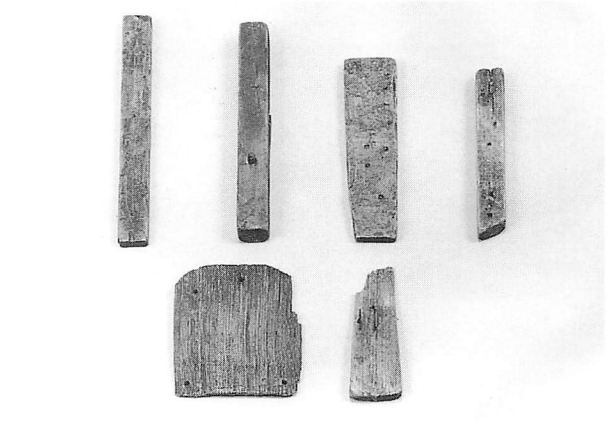
木製品　楔



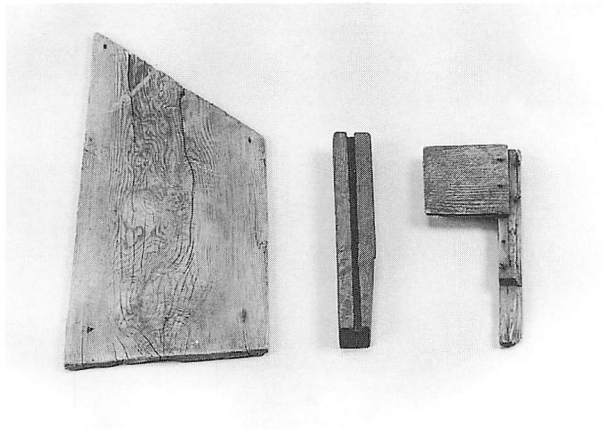
木製品　箆・刀鞘



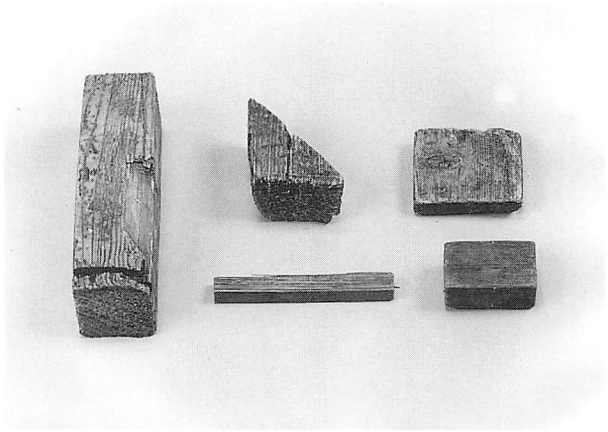
木製品　不明製品



木製品　加工木（1）



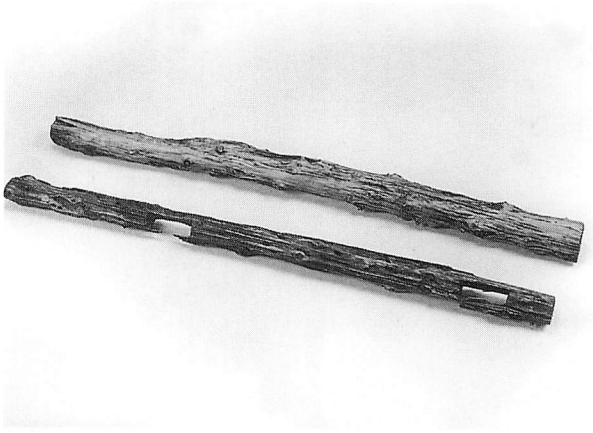
木製品　加工木（2）



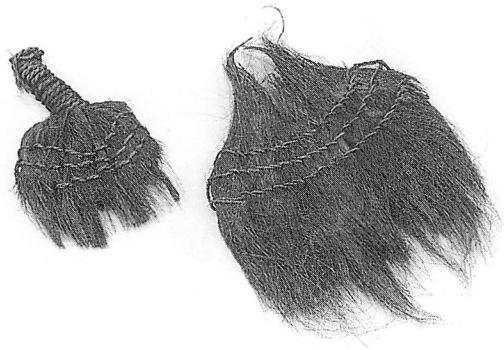
木製品　木っ端

PL-60　木製品　竹筒　胴木　住関係
金属製品

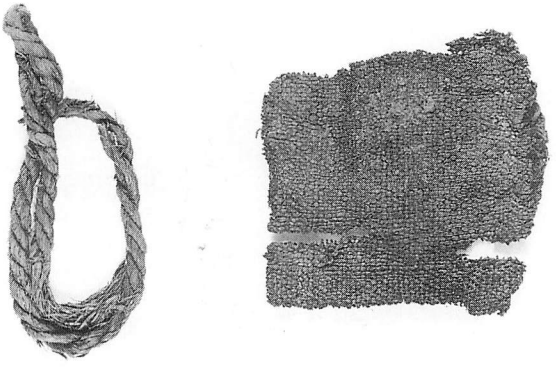
木製品　竹　筒



木製品　胴　木

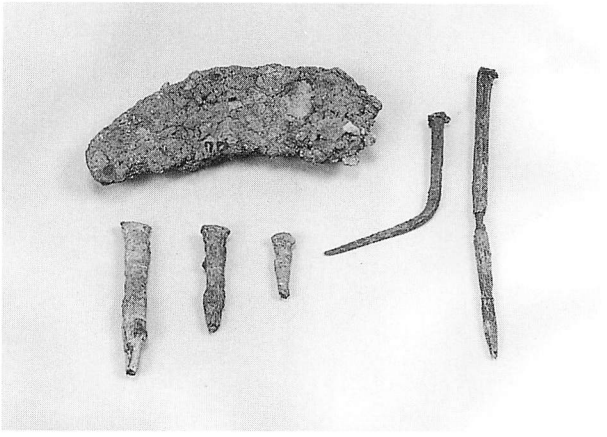


木製品　箒

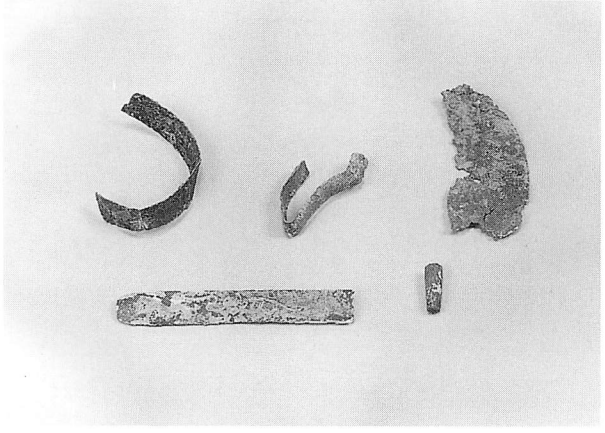


木製品　縄　木製品　布

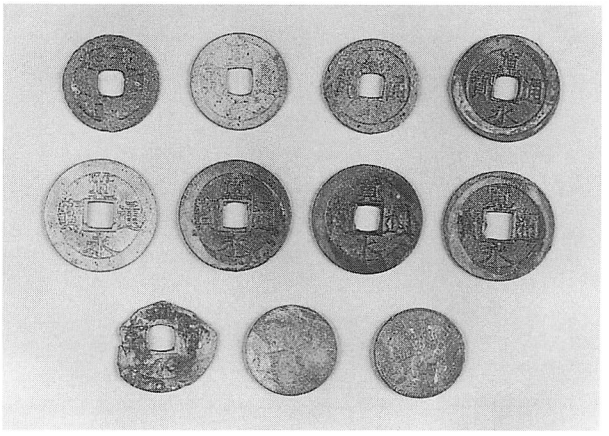
金属製品　煙　管



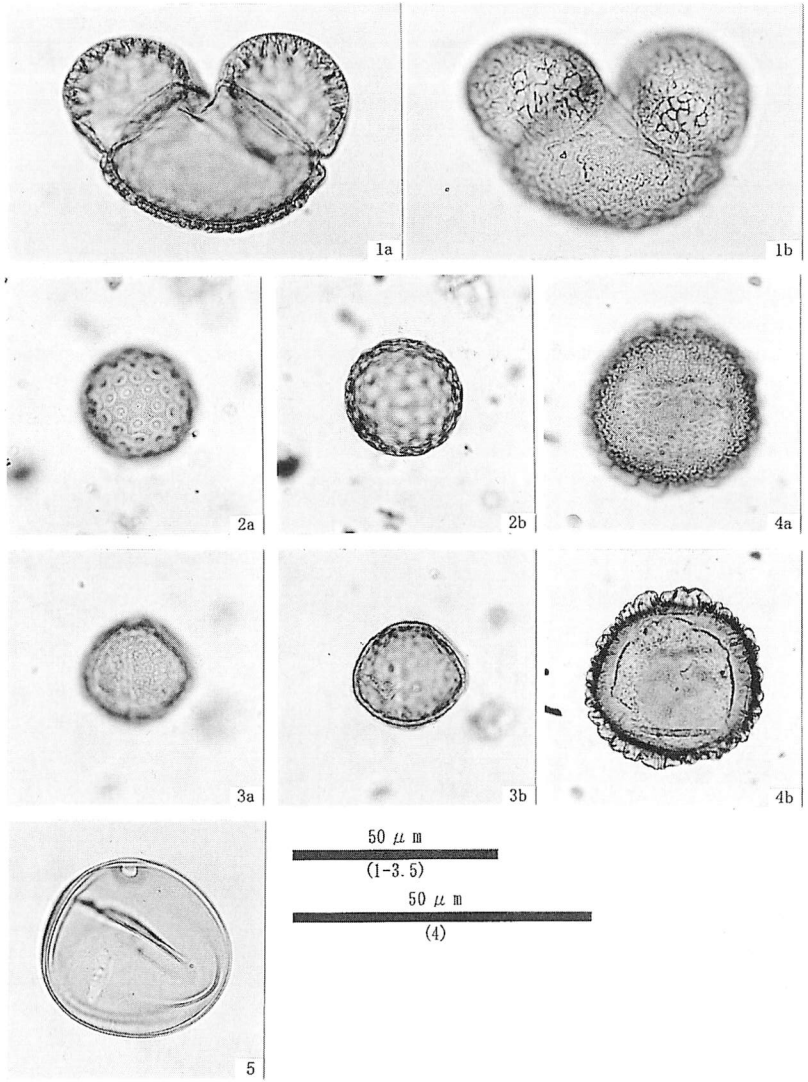
金属製品　鎌・釘



金属製品　小柄・その他

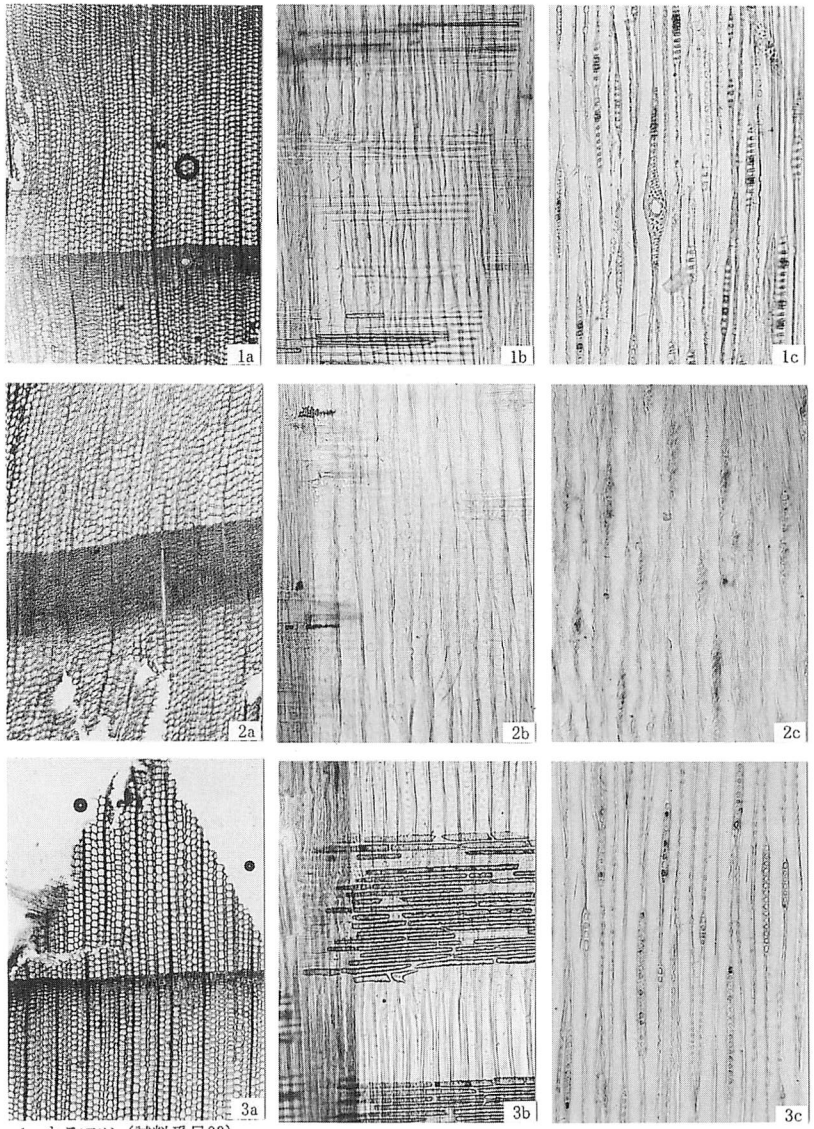


金属製品　銭　貨



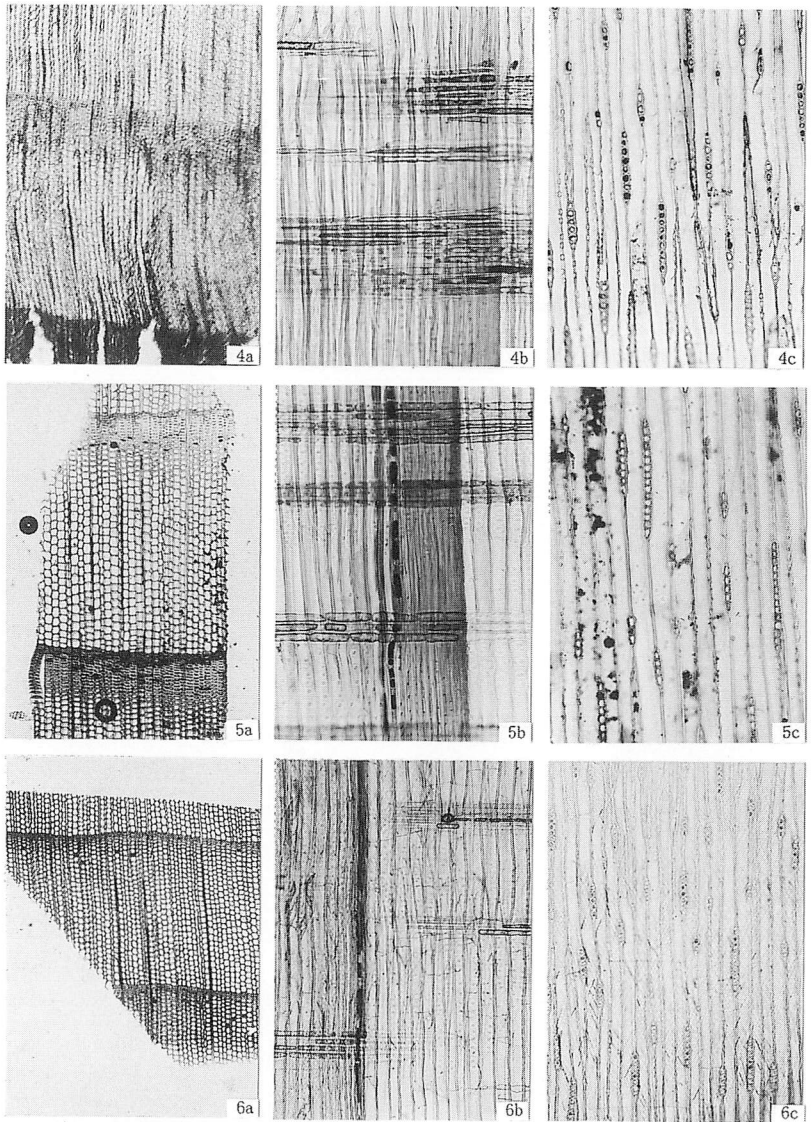

1．マツ属(No.6)
2．アカザ科(No.6)
3．コナラ属コナラ亜属(No.6)
4．ツガ属(No.6)
5．イネ科(No.6)

花粉化石



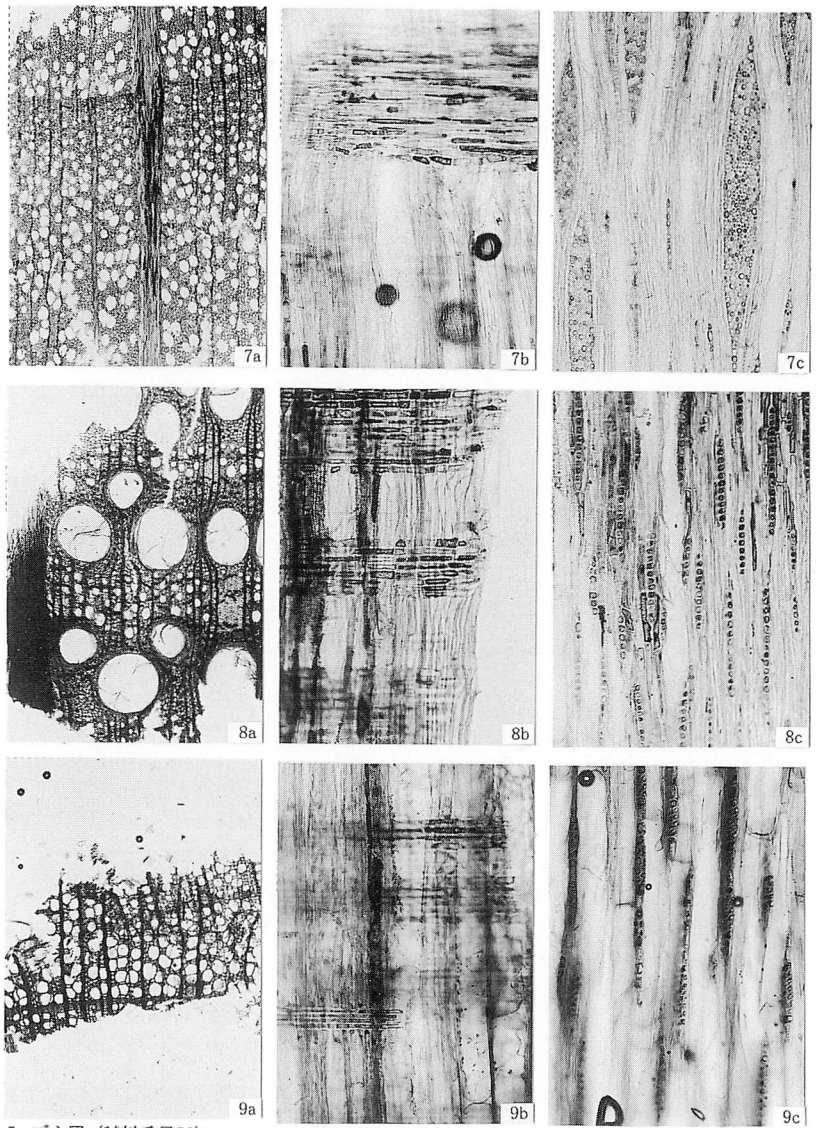

1．カラマツ（試料番号83）
2．マツ属複維管束亜属（試料番号94）
3．モミ属（試料番号90）
a：木口，b：柾目，c：板目

木材(1)



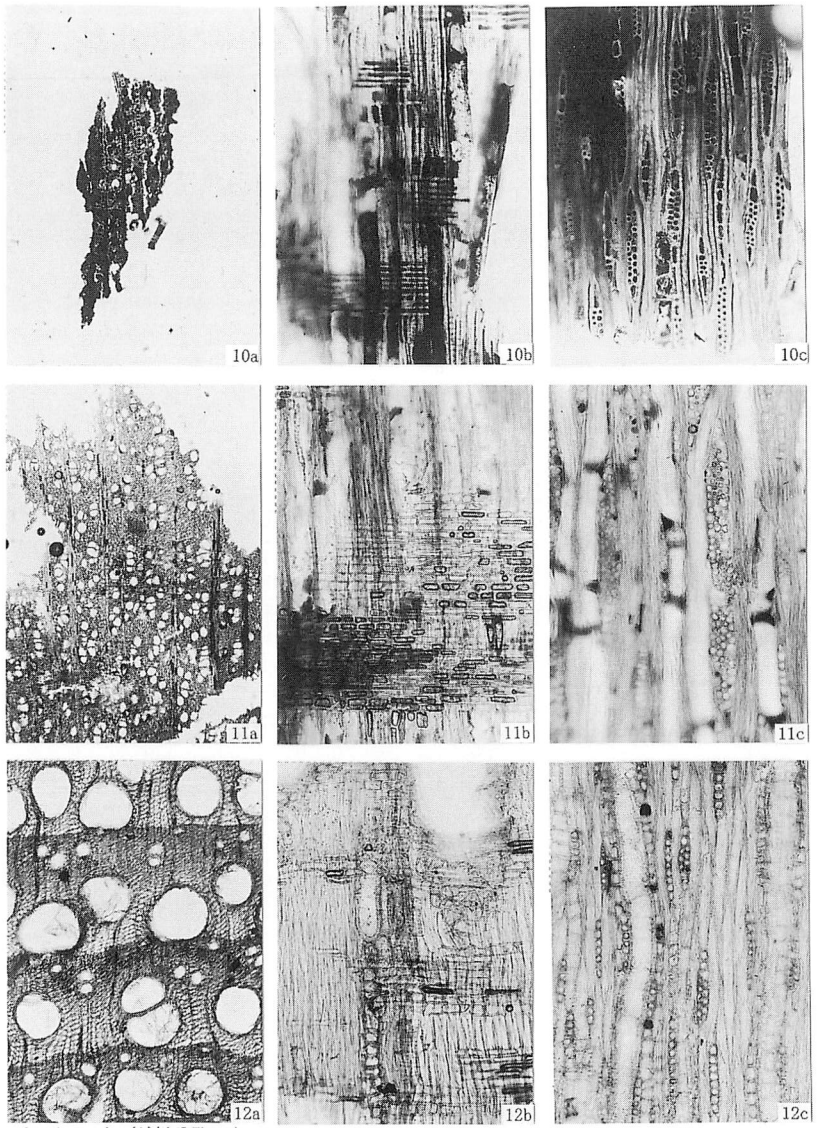

4. ツガ属（試料番号27A）
5. スギ（試料番号60）
6. ヒノキ（試料番号31B）
a：木口，b：柾目，c：板目

木材(2)



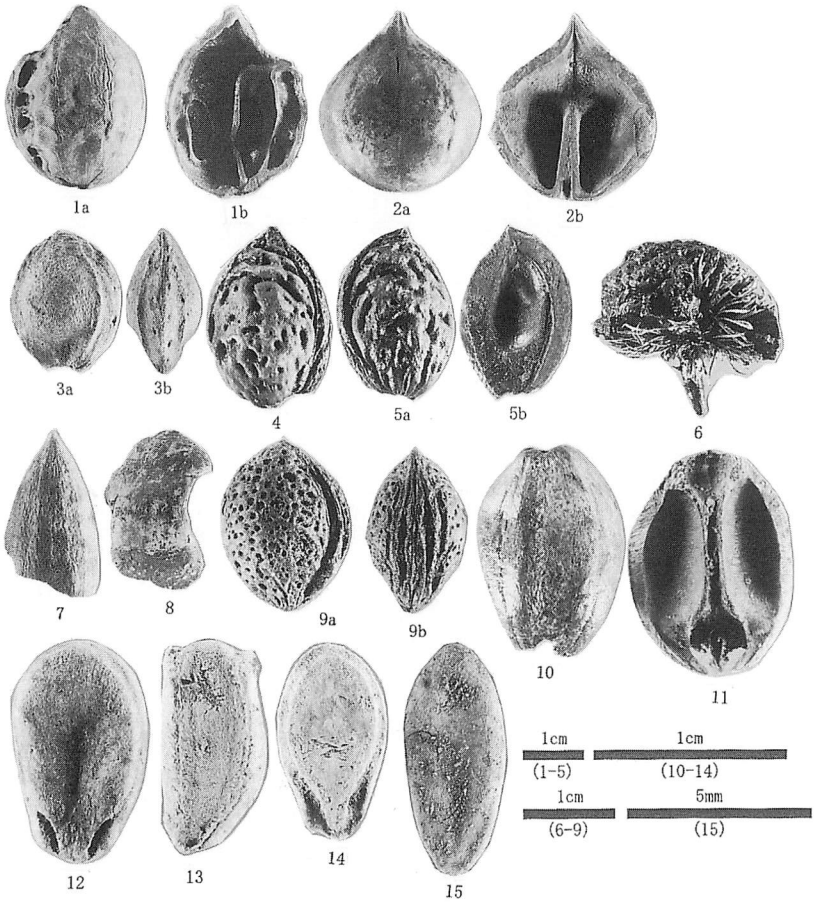

7. ブナ属（試料番号76）
8. コナラ属コナラ亜属コナラ節（試料番号74）
9. カツラ（試料番号44）
a：木口，b：柾目，c：板目

木材(3)



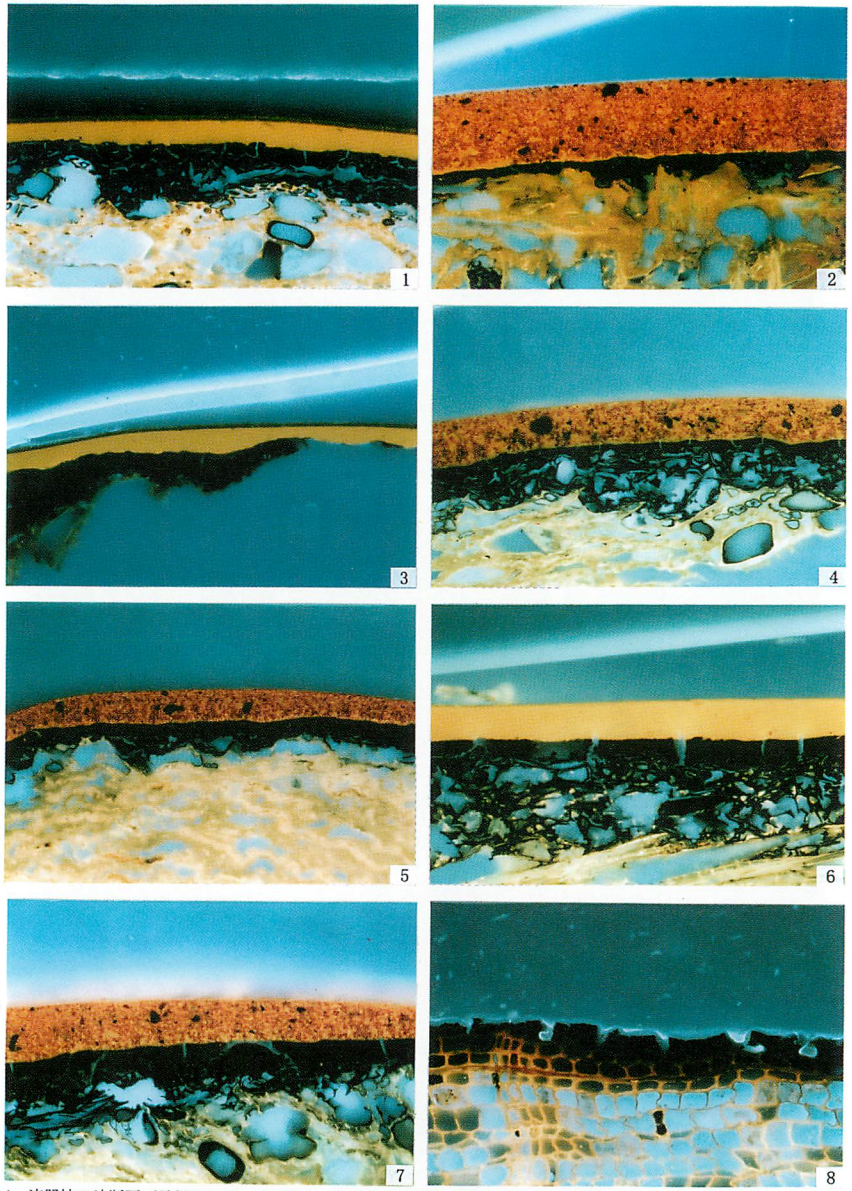

10. イスノキ（試料番号103）
11. サクラ属（試料番号19D）
12. トネリコ属（試料番号96）
a：木口，b：柾目，c：板目

木材(4)



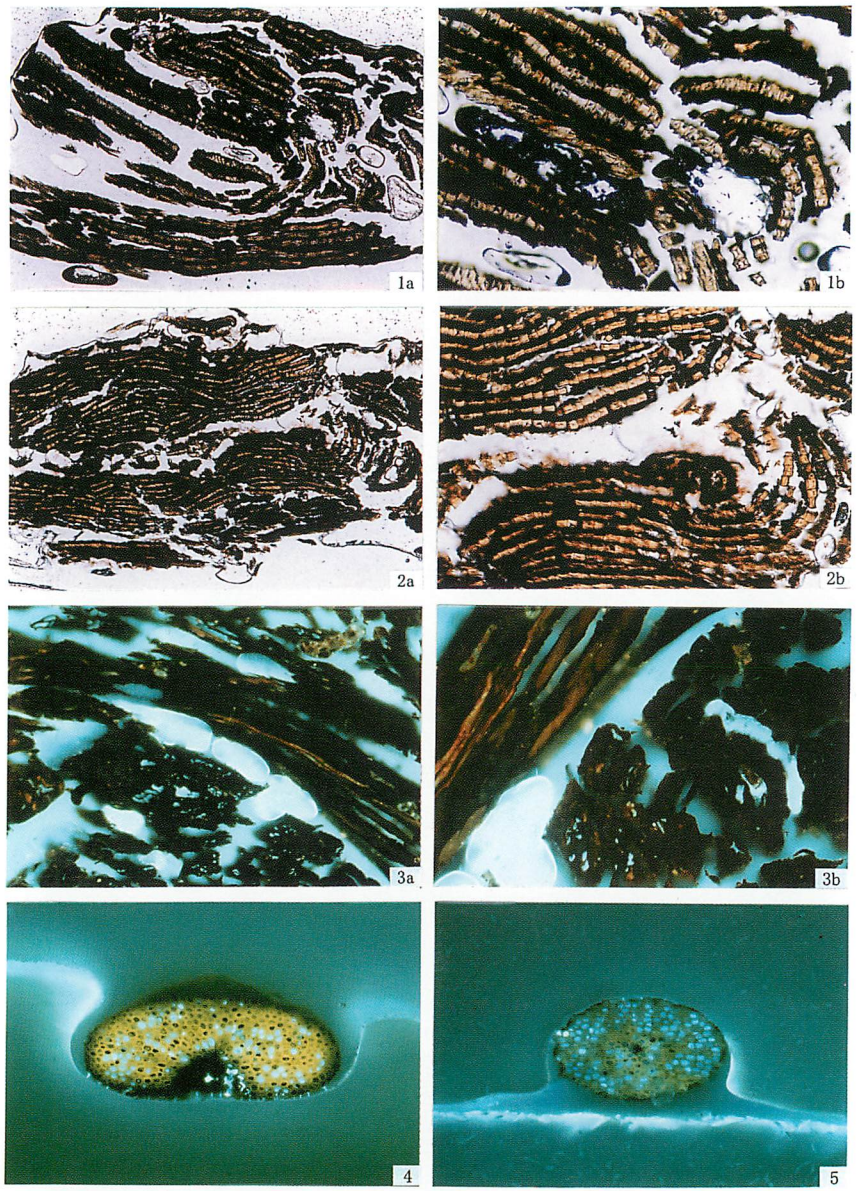

1. オニグルミ 核(No.5)
2. ヒメグルミ 核(No.3)
3. アンズ 核(No.1)
4. モモ 核(No.3)
5. モモ 核(No.3)
6. スギ 球果(No.3)
7. カヤ 種子(No.5)
8. クリ 果実(No.5)
9. ウメ 核(No.5)
10. センダン 核(No.5)
11. センダン 核(No.5)
12. トウガン 種子(No.5)
13. ヒョウタン類 種子(No.3)
14. ニホンカボチャ近似種 種子(No.5)
15. メロン類 種子(No.3)

種実遺体




1. 漆器椀の漆断面（試料番号33a；外側）2. 漆器椀の漆断面（試料番号33a；内側）
3. 漆器椀の漆断面（試料番号33b；外側）4. 漆器椀の漆断面（試料番号34；外側）
5. 漆器椀の漆断面（試料番号34；内側）6. 漆器椀の漆断面（試料番号36；外側）
7. 漆器椀の漆断面（試料番号36；内側）8. 漆器・黒の漆断面（試料番号39）

漆断面




1. 縄の横断面（４号井戸；縄）2. 縄の横断面（２号井戸内４段目；縄）
3. 布の繊維（３号井戸；繊維）4. 箒の毛（２号井戸内；箒(大)）
5. 箒の毛（２号井戸内；箒(小)）

繊維断面

## 甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | こうふじょうかまちいせき（ひゅうがまちいせきだいにちてん） |
| 書名 | 甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点） |
| 副題 | 山梨県北口駐車場建設に伴う発掘調査報告書 |
| シリーズ | 山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第220集 |
| 編著者名 | 保坂和博 |
| 編集機関 | 山梨県埋蔵文化財センター |
| 所在地 | 〒400-1508　山梨県東八代郡中道町下曽根923　　TEL 055-266-3016 |
| 発行者 | 山梨県教育委員会　山梨県土地開発公社 |
| 発行年月日 | 2004年（平成16年）３月31日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | <br>遺跡番号 | 北緯<br>（新） | 東経<br>（新） | 調査期間 | 調査面積<br>㎡ | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| こうふじょうかまちいせき<br>(ひゅうがまちいせきだいにちてん)<br>甲府城下町遺跡<br>（日向町遺跡第2地点） | やまなしけんこうふしきたぐち<br>山梨県甲府市北口<br>２丁目11 | 19201 | | 35°<br>40′<br>07″ | 138°<br>34′<br>15″ | 2001（平成13）年<br>11月１日～<br>2002（平成14）年<br>２月15日 | 2400㎡ | 山梨県北口駐車場建設に伴う事前調査 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 甲府城下町遺跡<br>（日向町遺跡第2地点） | 城下町 | 中世<br>近世<br>近代 | 井戸・溝状遺構・土坑・ピット・暗渠 | 磁器（肥前系、瀬戸・美濃系）<br>陶器（肥前系、瀬戸・美濃系、京焼系、信楽系）<br>炻器（備前系、堺系）<br>土器（在地系、泉州系：焼塩壺）<br>石製品（硯）<br>金属品（煙管・銭貨等）<br>木製品（漆製品、将棋の駒、人形、刀鞘、箸、櫛、下駄、曲物・桶等） | 武家屋敷で使用された陶磁器を検出 |

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第220集

# 甲府城下町遺跡（日向町遺跡第２地点）

ー山梨県北口駐車場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー

印刷日　2004年（平成16年）３月29日
発行日　2004年（平成16年）３月31日
編集　山梨県埋蔵文化財センター
山梨県東八代郡中道町下曽根923
TEL 055(266)3016
発行　山梨県教育委員会　山梨県土地開発公社
印刷　株式会社アド井上
TEL 055(273)6141